

# R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

意匠				構造			
図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-00	タイトル・図面リスト	A-30	(共通)既存3階全体天井伏図	A-60	(ホール棟)改修後3階平面図	A-90	(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井撤去・改修図)
A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	A-31	(共通)改修後1階全体天井伏図	A-61	(ホール棟)改修後R階平面図	A-91	(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井裏撤去・改修図)
A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	A-32	(共通)改修後2階全体天井伏図	A-62	(ホール棟)矩計図	A-92	(ホール棟)部分詳細図(客席ホール断面図撤去・改修図)
A-03	建築改修工事特記仕様書(その3)	A-33	(共通)改修後3階全体天井伏図	A-63	(ホール棟)矩計図	A-93	(ホール棟)部分詳細図(既存ホール屋根鉄骨トラス溶接詳細図)
A-04	建築改修工事特記仕様書(その4)	A-34	(共通)既存1階建具全体平面図	A-64	(ホール棟)矩計図	A-94	(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井裏撤去詳細図)
A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)	A-35	(共通)既存2階建具全体平面図	A-65	(ホール棟)矩計図	A-95	(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井裏改修詳細図)
A-06	建築改修工事特記仕様書(その6)	A-36	(共通)既存3階建具全体平面図	A-66	(ホール棟)矩計図	A-96	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)
A-07	建築改修工事特記仕様書(その7)	A-37	(共通)既存建具表(ホール棟)	A-67	(ホール棟)矩計図	A-97	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)
A-08	建築改修工事特記仕様書(その8)	A-38	(共通)既存建具表(ホール棟)	A-68	(ホール棟)矩計図	A-98	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)
A-09	建築改修工事特記仕様書(その9)	A-39	(共通)既存建具表(ホール棟)	A-69	(ホール棟)展開図	A-99	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)
A-10	外壁改修工事仕様書	A-40	(共通)既存建具表(楽屋棟)	A-70	(ホール棟)展開図	A-100	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)
A-11	(共通)設計概要・案内図・仕上表凡例	A-41	(共通)法チェック表	A-71	(ホール棟)展開図	A-101	(ホール棟)部分詳細図(天井下地脱落防止納まり図)
A-12	(共通)配置図	A-42	(共通)法チェック表	A-72	(ホール棟)展開図	A-102	(ホール棟)部分詳細図(既存階段廻り)
A-13	(共通)工区別延床面積求積図	A-43	(共通)改修後1階建具全体平面図	A-73	(ホール棟)展開図	A-103	(ホール棟)部分詳細図(外部廻り)
A-14	(共通)既存1階全体平面図	A-44	(共通)改修後2階建具全体平面図	A-74	(ホール棟)展開図	A-104	(ホール棟)部分詳細図(その他)
A-15	(共通)既存2階全体平面図	A-45	(共通)改修後3階建具全体平面図	A-75	(ホール棟)展開図	A-105	(ホール棟)外壁調査数量表
A-16	(共通)既存3階全体平面図	A-46	(共通)改修建具表(ホール棟)	A-76	(ホール棟)展開図	A-106	(ホール棟)外壁調査図(1)
A-17	(共通)既存R1,2階全体平面図	A-47	(共通)改修建具表(ホール棟)	A-77	(ホール棟)展開図	A-107	(ホール棟)外壁調査図(2)
A-18	(共通)改修後1階全体平面図	A-48	(共通)改修建具表(楽屋棟)	A-78	(ホール棟)展開図	A-108	(ホール棟)仮設計画図
A-19	(共通)改修後2階全体平面図	A-49	(共通)サインプロット図	A-79	(ホール棟)展開図	A-109	(ホール棟)外構
A-20	(共通)改修後3階全体平面図	A-50	(共通)サイン図-1	A-80	(ホール棟)展開図	A-110	(楽屋棟)仕上表
A-21	(共通)改修後R1,2階全体平面図	A-51	(共通)サイン図-2	A-81	(ホール棟)展開図	A-111	(楽屋棟)既存1階・屋上平面図
A-22	(共通)工事範囲仕上表	A-52	(ホール棟)仕上表(1)	A-82	(ホール棟)展開図	A-112	(楽屋棟)改修後1階・屋上平面図
A-23	(共通)工事範囲仕上表	A-53	(ホール棟)仕上表(2)	A-83	(ホール棟)展開図	A-113	(楽屋棟)断面図
A-24	(共通)改修後南側立面図	A-54	(ホール棟)既存1階平面図	A-84	(ホール棟)展開図	A-114	(楽屋棟)展開図(1)
A-25	(共通)改修後東側立面図	A-55	(ホール棟)既存2階平面図	A-85	(ホール棟)展開図	A-115	(楽屋棟)展開図(2)
A-26	(共通)改修後北側立面図	A-56	(ホール棟)既存3階平面図	A-86	(ホール棟)展開図	A-116	(楽屋棟)部分詳細図
A-27	(共通)改修後西側立面図	A-57	(ホール棟)既存R階平面図	A-87	(ホール棟)展開図	A-117	(楽屋棟)外壁調査図 数量表
A-28	(共通)既存1階全体天井伏図	A-58	(ホール棟)改修後1階平面図	A-88	(ホール棟)部分詳細図(ホール床仕上平面図・座席詳細図)		
A-29	(共通)既存2階全体天井伏図	A-59	(ホール棟)改修後2階平面図	A-89	(ホール棟)部分詳細図(1階WC廻り)		

巻工	・		<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図 A-00
竣工	・				縮尺 NO.SCALE	図面名称 タイトル・図面リスト	
監理	・						
施工	・						



4 防水改修工事

1 共通事項

2 降雨等に対する養生方法(とい共)

3 既存防水の処理

4 既存下地の処理

5 アスファルト防水

施工標準 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

改修用ドレン (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合)  
取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による

改修標準仕様書3.1.3(5)(7)-(9)による ( ) [3.1.3]

既存保護層の撤去 行う (範囲 図示 ) ○行わない [3.2.3、4、6]  
既存防水層の撤去 ○行う (範囲 図示 ) ・行わない  
既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 行う (M4S・M4AS1・M4C・M4D1・L4X) ・行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示 [3.2.6]  
POS工法及びPOSI工法(機械式固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理  
改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g) による 補修

設備機器架台、配管受部、パラベツト、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理  
図示 監督職員と協議する

屋根保護防水 [3.3.2-5]  
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1			ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	乾式 保護材 ・コンクリート押入れ (JIS R1250)
	・A-2				
	・A-3				
・P1B	・B-1				
	・B-2				
	・B-3				
・P2AI	・AI-1	(材質) JIS A 9512に基づく押出ホリスチレンフォーム断熱材3種A		フラットヤーンクロス 70g/m程度	
	・AI-2				
	・AI-3				
・P1BI	・BI-1				
	・BI-2				
	・BI-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ 水 80mm以上  
床タイル張り 水 60mm以上  
・乾式保護材  
窯業系パネル: 黒石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートの繊維質を発生したものの金属複合板 : 金属板と樹脂を積層一体化したものの (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能による

屋根露出防水  
高日射反射率防水の適用 [G] ・有 無  
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による		
	・C-2						
	・C-3						
	・C-4						
	・C-5						
・M3D ・POD	・D-1			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
	・D-2						
	・D-3						
	・D-4						
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1			改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ) ・25mm	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
	・DI-2						
	・DI-3						
	・DI-4						

屋根露出防水地線工法及び屋根露出防水地線断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
設置数量  
アスファルトルーフィング類製造所の指定による  
・脱気装置 個  
屋根露出防水地線断熱工法の場合の、ルーフトレン廻り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置  
図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所	保護層
・P1E	・E-1		・設ける
・P2E	・E-2		

・E-1の工程3を行う部位(貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)  
押入金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
屋根排水溝 図示

4 防水改修工事(続き)

6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]

高日射反射率防水の適用 [G] ・有 無

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考
				種類	使用量		
・M4S	・AS-T1			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による		
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
	・AS-T4						
	・AS-J3						
・POAS	・AS-T3			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
	・AS-T4						
	・AS-J3						
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1			改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ) ・25mm	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	
	・AS1-J1						
	・AS1-K1						

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
用途による区分 R種 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

屋根露出防水地線工法及び屋根露出防水地線断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 改質アスファルトシート類の製造所の指定  
・脱気装置 個 改質アスファルトシート類の製造所の指定  
屋根露出防水地線断熱工法の防湿シート (・設置する ・設置しない)  
押入金物の材質、形状及び寸法  
アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2-4、表3.5.1-3]

高日射反射率防水の適用 [G] ・有 無

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用 [G]	備考
				種類	使用量		
・POS ・S4S	・S-F1			ルーフィングシート類の製造所の仕様による	ルーフィングシート類の製造所の仕様による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S-F2						
	・S-M1						
	・S-M2						
	・S-M3						
・SSS	・S-F1			ルーフィングシート類の製造所の仕様による	ルーフィングシート類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない	
	・S-F2						
・MAS	・S-M1			ルーフィングシート類の製造所の仕様による	ルーフィングシート類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない	
	・S-M2						
	・S-M3						
・POSI ・SSSI ・S4S1 ・MAS1	・SI-F1			改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(b)による (種類) ・ (厚さ) 25mm・50mm	ルーフィングシート類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
	・SI-F2						
	・SI-M1						
	・SI-M2						

・S-M2またはSI-M2の立上り部の工法  
・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm )  
・機械式固定工法

・SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム (・設置する ・設置しない )  
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ・非歩行用 ・軽歩行用

4 防水改修工事(続き)

8 塗膜防水

9 シーリング

10 とい

11 アルミニウム製窓木

12 保証書及び期間

5 外壁改修工事

6-1 外壁改修工事

13 外壁改修工事

14 欠損部改修工事

屋内防水

種別	施工箇所	保護層			立上り部の保護
		塗り厚さ	平場のモルタル塗り	床塗り工法	
・S-C1			改修標準仕様書 6.15.6(b)(2)及び(3)に準ずる	改修標準仕様書 6.15.6(c)(1)に準ずる	7mm以下

床塗り場合の床の目地及び種類  
目地割り (・ 2m程度 最大目地間隔3m程度)  
目地の種類 (・ 押し目地)  
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ  
・種類 厚さ mm以上  
改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による  
絶縁シートの材質 発泡ポリエチレンシート  
固定金具の材質、形状及び寸法  
厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ルーフィングシート製造所の仕様  
設置個数 個 ルーフィングシート製造所の仕様  
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理  
行う (図示 ) ・行わない  
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別 S-F1、SI-F1の場合)  
行う (図示 ) ・行わない  
機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け  
1章 適用区分による風圧力 (1.0・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		備考
			種類	使用量	
・POX	X-1		主材料の製造所の仕様による	主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
	X-2				
○L4X	○X-1	図示	主材料の製造所の仕様による	主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
	○X-2				

ウレタン系系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 主材料製造所の仕様による  
設置個数 個 主材料製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
・PIY	Y-2		主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・PIZ	Y-2			

シーリング改修工法の種類  
・シーリング充填工法  
○シーリング再充填工法  
・拡張シーリング再充填工法  
・ブリッジ工法  
ボンドプレーカー張り ・適用する ・適用しない  
エッジング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所		シーリング材の種類 (記号)
○押出成形セメント板シーリング	PU-2	
○建具周囲シーリング	MS-2、PU-2	

シーリング材の目地寸法  
・図示 [3.7.8]  
シーリング材の接着性試験  
隅角接着性試験 ・引張接着性試験

[3.8.2、3]

種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)	・80	○00	・125
		・150		
		・50	・80	・100
		・50	・75	・100
軒どい	・	・50	・80	・100
		・50	・75	・100

ルーフトレン

種別	呼び	施工箇所	材種
○ろく屋根用 (・縦型 ○横型)	○ねじ込み式 ・ ・150	図示	
・バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50・75・100		
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・50・75・100		

とい安全物  
材質 ・鋼製(亜鉛めっき) ステンレス製  
形状 ・市販品(とい径100以下)  
25×4.5以上(とい径100を超えるもの)

足金物  
材質 ・鋼製(亜鉛めっき) ステンレス製  
形状 ・市販品

ロックウォール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放数量  
規制対象外  
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 図示  
たてどい金物の取付け 図示  
ルーフトレンの取付け  
水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

設計年月日 令和 7年 6月 日

工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

図面名称 建築改修工事特記仕様書 (その2)

図面番号 A-02

[3.9.2、3]

種類	本体幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	着色			
・オープン形式			・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2	・標準色 ( )			
				・特注色 ( )			
				○板材折曲げ形	・650・500	2.0以上	
				・シール形式	・板材折曲げ形	・	2.0以上

既存窓木の撤去 ○行う (範囲 図示 )  
行わない

下地補修の工法 図示  
板材折曲げ形の窓木の取付方法 図示  
板材折曲げ形の窓木の取付方法 図示  
床土遮音体システム 無 有  
窓木の固定金具の構法等  
1章 適用区分による風圧力 (1.0・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は完備業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)

[4.2.2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm)
3以上	3以下	0.50以上	5.0以上	15以上	5.0以上

保水係数 0.35-0.55 粘結係数 0.50-1.00

[4.2.2]

3 既製適合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、繊維材、湿和剤等を予め工種において所定の割合に配合した材料とする。  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能による

[1.6.2]

4 施工数量調査票

調査項目 外壁改修 ・防水改修 ・内壁改修 ( ) [1.6.2]  
調査範囲 図示 ( )  
調査方法 打診及び目視による ( ) [1.6.2]  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 ( ) [1.6.3]  
調査内容 [1.6.3]  
外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。(必要に応じ写真等を添付する。)  
調査報告書の部数 2部 ( )部

[4.1.4] [4.2.4-7]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上-1.0以下	・	130
		200-300	・
手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上-0.3未満	・50-100	・40
	0.3以上-0.5未満	・100-200	・70
機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上-1.0以下	・150-250	・130

エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形  
注入状況の確認方法 コア取りを行う  
取り部数 長さ500mごと及びその端数につき1個  
取り部の補修方法 図示 ・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す

リカットシール材充填工法  
材料 ・シーリング材  
充填材料 1成形又は2成形ポリウレタン系  
シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない  
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]

2 欠損部改修工事

○充填工法  
材料 ・エポキシ樹脂モルタル  
○ポリマーセメントモルタル

霧島市建築改修工事特記仕様書

設 計 者 園設計株式会社  
鹿児島県知事登録 第 1-3-164 号  
〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号  
TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179

外 村 選  
一級建築士登録 第160636号

所長	担当	製 図

法 適 合 確 認

有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認  
登録 第 1-4-19 号 構造設計一級建築士 第 11434 号  
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿  
株式会社ブランディー ・設備設計 ・設備法適合確認  
登録 第 1-5-90 号 設備設計一級建築士 第 1303 号  
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32 山中 憲幸

設計年月日 令和 7年 6月 日

工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

図面名称 建築改修工事特記仕様書 (その2)

図面番号 A-02

5-2	1 既存モルタル塗りの撤去	○行う (・全面 ○図示の範囲) ・行わない
	2 ひび割れ部改修工法	○行う (・全面 ○図示の範囲) ・行わない
3 欠損部改修工事	○充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.10] 材料 ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル	
4 浮き部改修工法	○アンカーピン工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.9-15]	
5-3	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法
5-3	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法
5-3	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法

5-3	3 欠損部改修工事	○欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] ・外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁
	5 目地改修工法	○目地改修工法 [4.1.4] [4.5.16] ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 ・伸縮調整目地の位置及び寸法 ・シーリング 改修標準仕様書3章 防水改修工事による
5-3	3 欠損部改修工事	○欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] ・外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁
	6 タイルの形状、寸法等	○タイルの形状、寸法等 [4.2.2] ・タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による ・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.3.10 (3)の(ウ)及び(エ)) ・シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 変成シリコン系 ・ ・シーリングの他事項は、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

5-4	1 浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験	○浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験 [4.4.9] [4.4.10] [4.4.12, 13]
	2 浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験	○浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験 [4.4.9] [4.4.10] [4.4.12, 13]
5-5	1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	○既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.6.3]
	2 下地調整材	○下地調整材 [4.5.2] 下地調整塗材(・C-1 ○C-2 ・OH-2) ・ポリマーセメントモルタル

5-5	3 仕上げ塗材仕上げ	○仕上げ塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1] 建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放熱量 規制対象外 ・ 新規仕上塗材の種類 ○厚付け仕上塗材
	4 マスチック塗材塗り	○マスチック塗材塗り [4.1.5] [4.6.2] 種別 ・A種 ・B種 (仕上げ塗りEP-G B種 ・A種)
5-5	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法
5-5	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法
5-5	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去位置 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ
	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 既存タイル張り面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法

霧島市建築改修工事特記仕様書	設計者	設計年月日 令和 7年 6月 日	図面番号 A-03
		工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築 1工区)	
霧島市建築改修工事特記仕様書	設計者	図面名称 建築改修工事特記仕様書(その3)	A-03
		有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認 登録 第1-4-19号 構造設計一級建築士 第11434号 鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿 株式会社ブランディー ・設備設計 ・設備法適合確認 登録 第1-5-90号 設備設計一級建築士 第1303号 鹿児島県鹿児島市市田上7丁目9-32 山中 憲幸	

⑥ ① 改修工事

2 防火戸

3 防犯建物部品

④ アルミニウム製建具

5 網戸等

6 樹脂製建具

⑦ 鋼製建具

8 鋼製軽量建具

⑤ 11 建具用金物

① 改修工事 [5.1.3]

性能等級

建具の種類	かぎせ工法	撤去工法	適用箇所
アルミニウム製建具	-	-	○建具表による
樹脂製建具	-	-	○建具表による
鋼製建具	○外部	-	○建具表による
	○内部	-	○建具表による
鋼製軽量建具	-	-	・建具表による
ステンレス製建具	-	-	・建具表による
木製建具	-	-	・建具表による

新規に建具を設ける場合  
壁部分の開口の開け方 図示  
新規建具周囲の補修方法及び範囲 図示  
建具建りシーリング 改修標準仕様書3章防火改修工事による

・適用する 適用箇所(・建具表による)

・適用しない

ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動  
・連動させる 適用箇所(・建具による)

・連動させない

・適用する( ) 適用箇所(・建具表による)

・適用しない

性能等級 [5.2.2~5] [表5.2.1、2]

外部に面する建具

A種(建具符号:・ 建具表による)

B種(建具符号:○ 建具表による)

C種(建具符号:・ 建具表による)

防音ドア、防音サッシ

・遮音性の等級(・建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ

・断熱材の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

耐震ドア

・面内変形追従性の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

特の見込み寸法

・建具表による

表面処理の種別

外部に面する建具

BB-1種・BB-2種

皮膚等の種類(改修標準仕様書5.2.2による)

BC-1種・BC-2種

屋内の建具

皮膚等の種類(改修標準仕様書5.2.2による)

結露水の処理工法

処理方式 水貯め式・排水式

設置箇所 建具表による

水切り板、ぜん板 建具表による

網戸等 [5.2.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	・0.25mm以上	・16~18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

性能等級 [5.2.2] [5.2.2~5] [表5.3.1]

外部に面する建具

A種(建具符号:・ 建具表による)

B種(建具符号:・ 建具表による)

C種(建具符号:・ 建具表による)

防音ドア、防音サッシ

・遮音性の等級(・T-1・T-2)

(建具符号:・ 建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ

・断熱材の等級(・H-4・H-5・H-6)

(建具符号:建具表による)

特の見込み寸法

・建具表による

表面色

標準色

・特注色

水切り板、ぜん板 図示

ガラス

複層ガラス

性能等級 [5.2.2] [5.2.2~5] [表5.4.2]

簡易気密型ドアセット

・適用する(建具符号:・ 建具表による)

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

S-4(建具符号:・ 建具表による)

S-5(建具符号:・ 建具表による)

S-6(建具符号:○ 建具表による)

JIS A 4102(ドアセット)、JIS A 4706(サッシ)による

防音ドア、防音サッシ

・遮音性の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ

・断熱材の等級(・H-4・H-5・H-6)

(建具符号:・ 建具表による)

耐震性能

・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

鋼板(JIS G 4305)に基づく

材 料	めっき付着量	厚  さ
JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	Z12又はF12	改修標準仕様書5.4.4による
・ステンレス鋼板・SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	Z12又はF12	

性能等級 [5.2.2] [5.2.2~4]

簡易気密型ドアセット

・適用する(建具符号・ 建具表による)

・適用しない

防音ドア、防音サッシ

・遮音性の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ

・断熱材の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

耐震性能

・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

鋼板 亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板

鋼板の厚さ

・改修標準仕様書5.5.1による

召合せ、縦小口包み板の材質

ステンレス鋼板 ・鋼板 ・アルミニウム合金押出成形材

⑥ ② ステンレス製建具

10 木製建具

⑥ 11 建具用金物

性能等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5]

簡易気密型ドアセット

・適用する(建具符号・ 建具表による)

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

S-4(建具符号:・ 建具表による)

S-5(建具符号:・ 建具表による)

S-6(建具符号:・ 建具表による)

防音ドア、防音サッシ

・遮音性の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ

・断熱材の等級(・建具表による)

(建具符号:・ 建具表による)

耐震性能

・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

鋼板(屋外) SUS304・SUS430J1L・SUS443J1

鋼板(屋内) SUS430・SUS430J1L・SUS443J1・SUS304

表面仕上げ HL仕上げ・鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ・角出し曲げ

建具材の加工、組立時の含水率 A種

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放熱量 規制対象外

・フラッシュ戸

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備 考
普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り(ラワン程度)	
	不透明塗料塗り(しな程度)	
	板面の品質(接着の程度)	(1類・2類)
・天然木 化粧合板	樹種名( ) 接着の程度(1類・2類)	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法(オーバーレイ・プリント・塗装)	
	表面性能(タイプ) 接着の程度(1類・2類)	

表面板の厚さ 標準仕様書 表16.7.6による

・かまち戸

かまち樹種( ) 鏡板樹種( )

見込み寸法 36mm 建具表による

・ふすま

張りの種別(型・型)

上張り・鳥の子 新高の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度

緑仕上げ・塗り縁 生地縁(素地)・生地縁(ウレタンクリヤー塗装)

見込み寸法 19.5mm 建具表による

・戸ふすま

見込み寸法 30mm 建具表による

紙張り障子

見込み寸法 30mm 建具表による

枠、くつずりの材料 建具表による

○マスターキー 製作する(・新規 ○既存にあわせる) [5.8.2~4] [表5.8.1]

シリンダー箱錠

レバーハンドル 材質 アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅

座金 丸座・長座

・埋り玉 材質 ステンレス

・本締め(性能) ・建築材料等品質性能表による

・空錠

レバーハンドル 材質 アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅

座金 丸座・長座

・埋り玉 材質 ステンレス

・グレモン錠

レバーハンドルの材質 亜鉛合金 ・ステンレス

製造所 図示

・ピボットヒンジ

カバー部の材質 ステンレス ・亜鉛合金

○ロアヒンジ

カバー部の材質 ステンレス

・ヒンジクローザー(丁番型) 材質 鋼(焼付け塗装)

・ヒンジクローザー(ピボット型) 材質 鋼(焼付け塗装)

○ドアクローザー

Grade1 Grade2

材質 アルミニウム合金

○掛棒、掛板 材質 ○ステンレス ・黄銅 ・合成樹脂

・アームスタッパー 材質 鋼(クロームめっき) ステンレス

○クレセント 材質 建具製造所の仕様による

・排煙オペレーター(埋込・露出)

金物の種類及び見え掛り部の材質等

改修標準仕様書 表5.8.1により適用は建具表による

金属建具用丁番の枚数及び大きさ

改修標準仕様書 表5.8.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ

改修標準仕様書 表5.8.3による

⑥ 12 自動ドア開閉装置

13 自閉式上吊り引戸装置

14 重量シャッター

⑩ 軽量シャッター

16 オーバーヘッドドア

⑦ 17 ガラス

性能

性能	防 錆	センサーの種類	凍結防止
改修標準仕様書表5.9.1による	・適用する ・適用しない	光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電流スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ	・行う (適用箇所は建具表による)  行わない

駆動力

電気式または電動油圧式( )

電源 AC100V(過電流保護装置付)( )

補助センサー 安全光線スイッチ1組( )

各開閉装置等に補助センサーを設ける

性能 改修標準仕様書 表5.10.1による [5.10.3]

シャッターの種類	耐風圧強度	備 考
・管理用シャッター	耐風圧強度( )Pa	障害物感知装置(自動閉鎖型)
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度( )Pa	危険防止機構
・屋内用防火シャッター		
・屋内用防塵シャッター		

開閉方式による種類

電動式(手動併用) ・上部手動式

屋内用防火シャッター若しくは防災シャッターの危険防止機構

改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)かつ(シ)

改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)(ハ)かつ(イ)

リモコンの有無 無 ・有(リモコン個数 個)

電動式の場合の電源 三相200V 0.75kW以下(過電流保護装置付)

管理用シャッターのシャッターケース 設ける ・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)

JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

めっきの付着量 Z12又はF12

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板カバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

・ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

開閉方式による種類

手動式 ○電動式(手動併用) [5.12.2~4]

シャッターケース 設ける ・設けない

耐風圧強度( )Pa

スラットの材質

スラットの形状 インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

ガイドレール・座板の材質 ステンレス(SUS304) ・溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の危険防止機構 有(障害物感知装置自動閉鎖型)

電動式の場合の電源 単相100V(過電流保護装置付)( )

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
・スチールタイプ	・125	・バランス式	・スタンダード形	・ステンレス鋼板
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・ファイバークラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	
	・50		・バーチカル形	

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 図示

⑦ 17 ガラス [3.7] [5.14.2~4]

○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類 建具表による

・網入り板ガラス及び線入り板ガラス網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 建具表による

・合せガラス

材料の板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びにガラスの合計厚さによる種類 建具表による

形状による種類

・平面合せガラス ・局面合せガラス

落着衝撃によるはく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類

1類 ・1類 ・2類 ・類

強化ガラス

形状による種類及び材料板ガラス種類による名称 建具表による

破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 1類 ・類

・熱線吸収ガラス

板ガラスの種類、厚さによる種類 建具表による

性能による種類 1類 ・2類

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 建具表による

断熱性による区分

T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6

日射取得性、日射遮断性による区分

G ・S

乾燥気体の種類

空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類、厚さによる種類 建具表による

日射遮断性による区分

1種 ・2種 ・3種

耐久性による区分(日射熱遮断性による区分が2種の場合)

A種 ・B種

映像調整

行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類、厚さによる種類 建具表による

⑥ ①7 ガラス(続き)

⑩ ⑧ 網箱

⑦ ① 改修範囲

② 既存床の除去及び下地補修

③ 既存壁の除去及び下地補修

4 製材

5 造作用集材

ガラスの据め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス据め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	シーリング材(SR-1) ガスケット ・グレイジングチャンネル形	・建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	シーリング材(SR-1)	・建具の製造所の仕様による ・図示

形式 ・30本入( )個 ・60本入( )個 ・120本入( )個 ・本入( )個

鋼製市販品とし、監督職員の承認による

① 改修範囲 [6.1.3]

既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

既存のまま 図示

② 既存床の除去及び下地補修 [6.2.2]

ビニルシート等の除去 仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(図示の範囲 除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去方法 ・自走式工法

既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による

③ 既存壁の除去及び下地補修 [6.3.2]

開口切壁撤去に伴う他の構造体の補修

改修標準仕様書4.4.8によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合は処理 行う 行わない)

図示

4 製材 [6.5.2]

JAS1083-5に基づく下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			2級	A種・B種		

JAS1083-2に基づく造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			・上小節	A種・B種		・
見え掛り面以外			小節以上	A種・B種		・

JAS1083-6に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			1等	10%以下		・

JAS1083以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			( )	・適用する	・適用する	A種・B種	・
			造作材の場合(・A種・B種)	・適用しない	・適用しない		・

・代用樹種を使用できない箇所( )

⑤ 造作用集材 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放熱量 規制対象外

・「集材材の日本農林規格」に基づく造作用集材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						1等・2等
						1等・2等

・「集材材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							・1等 ・2等

・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				・15%以下	・
				・15%以下	・

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						・15%以下	・

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者 設 計 者 園 設 計 株 式 会 社 鹿 児 島 県 知 事 登 録 第 1-3-164 号 〒 890-0067 鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 真 砂 本 町 21番7号 TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179

外村 選 一級建築士登録第160636号

法適合確認 有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認登録 第1-4-19号 鎌田 和 幸 鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 株式会社プランディ ・設備設計 ・設備法適合確認登録 第1-5-90号 設備設計一級建築士 第1303号 鹿児島県鹿児島市市田上7丁目9-32 山中 憲 幸

設計年月日 令和 7年 6月 日

工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

図面名称 建築改修工事特記仕様書(その4)

図面番号 A-04

7 内装改修工事	6 造作用単板積層材 [G]	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用					・適用する ・適用しない	・ ・	7 内装改修工事(続き)	10 防露・防蟻処理 [6.5.5]	・防露、防蟻処理が不要な樹種による製材 適用部位：( )	[6.5.5]	・薬剤の加圧注入による防露・防蟻処理 適用部位	保存処理性能区分 ・K 2 ・K 3 ・K 4	7 内装改修工事(続き)	18 合成樹脂塗床 [6.10.2-3]	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	7 内装改修工事(続き)	22 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]		
		施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																											
				・適用する ・適用しない	・ ・																													
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・JAS 0701以外の造作用単板積層材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・14%以下</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用				・14%以下	・適用する ・適用しない	・ ・	11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2-4]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.6.2-4]	・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ( )		19 フロロリング張り [G]	単層フロロリング [G]	[6.11.2-6] [表6.11.1-5]	7 内装改修工事(続き)	23 モルタル塗り [6.15.3.6]	吸水調整材は、改修標準仕様書表4.3.2.3による 既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 ( 図示 ・ ) ・設けない 床の目地 ・設ける (工法 押し目地 ・ ) (目地幅 2φ程度 ・ ) (最大目地間隔 3φ程度 ・ ) ・設けない								
		施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用																											
			・14%以下	・適用する ・適用しない	・ ・																													
・JAS 3079に基づく直交集成板 (CLT)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別 (接着性能 (使用環境))</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品名	強度等級	種別 (接着性能 (使用環境))	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用								野縁等の種類 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野外の軒天井、ピロティ天井等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	24 タイル張り [6.16.2-4]	伸縮調整目地の位置 床タイル ( 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示 ・ ) 床タイル以外 ( ・ 図示 ・ ) 伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等													
施工箇所	品名	強度等級	種別 (接着性能 (使用環境))	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用																												
・JAS 3079に基づく直交集成板 (CLT)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別 (接着性能 (使用環境))</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品名	強度等級	種別 (接着性能 (使用環境))	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用								野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	床の目地 (目地幅 2φ程度 ・ ) (最大目地間隔 3φ程度 ・ ) ・設けない														
施工箇所	品名	強度等級	種別 (接着性能 (使用環境))	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用																												
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・5.5</td> <td>・ラワン</td> <td>・1類</td> <td>広葉樹 ・2等以上 ・1等</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		・5.5	・ラワン	・1類	広葉樹 ・2等以上 ・1等	・適用する ・適用しない	・ ・	12 軽量鉄骨壁下地 [6.6.2-4]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.6.2-4]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	25 セルフレブレン材塗り [6.17.2.3]	種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準寸法(mm)									
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																										
	・5.5	・ラワン	・1類	広葉樹 ・2等以上 ・1等	・適用する ・適用しない	・ ・																												
・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用									・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	目地幅 2φ程度 (最大目地間隔 3φ程度) ・設けない												
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																											
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・2級以上 ・1級</td> <td>・1類 ・特類</td> <td>・C-D以上</td> <td>・12</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・ ・</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		・2級以上 ・1級	・1類 ・特類	・C-D以上	・12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・	・ ・	13 ビニル床シート [G]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.6.2.3]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	26 フリーアクセスフロア [20.2.2]	施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考
		施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																								
	・2級以上 ・1級	・1類 ・特類	・C-D以上	・12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・	・ ・																										
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・2級以上 ・1級</td> <td>・1類 ・特類</td> <td>・C-D以上</td> <td>・12</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・ ・</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		・2級以上 ・1級	・1類 ・特類	・C-D以上	・12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・	・ ・	・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	450角以上 ・600角以上	100 ・120	3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット							
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																										
	・2級以上 ・1級	・1類 ・特類	・C-D以上	・12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・ ・	・ ・																										
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	14 ビニル床タイル [G]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2.3]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	27 可動間仕切 [20.2.3]	構造形式による種類	構造基材の種類	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能									
		施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																												
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																														
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	パネル内表面材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能														
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																													
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	15 特殊機能床材 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	28 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]									
		施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																												
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・パーティクルボード [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・15</td> <td></td> <td>・13φ以上</td> <td>・P又はM</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		・15		・13φ以上	・P又はM		・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	モルタル・プラスチック面の下地調整 コンクリート・ALCパネル面の下地調整 せっこうボード面の下地調整																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
	・15		・13φ以上	・P又はM																														
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	16 ビニル床木 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	29 壁紙張り [6.14.2.3]	モルタル・プラスチック面の下地調整 コンクリート・ALCパネル面の下地調整 せっこうボード面の下地調整										
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・MDF [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	吸水調整材は、改修標準仕様書表4.3.2.3による 既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 ( 図示 ・ ) ・設けない 床の目地 ・設ける (工法 押し目地 ・ ) (目地幅 2φ程度 ・ ) (最大目地間隔 3φ程度 ・ ) ・設けない																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	17 カーペット敷き [G]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	30 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]								
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・MDF [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	伸縮調整目地の位置 床タイル ( 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示 ・ ) 床タイル以外 ( ・ 図示 ・ ) 伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	18 ビニル床木 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	31 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]								
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・パーティクルボード [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	目地幅 2φ程度 (最大目地間隔 3φ程度) ・設けない																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	19 特殊機能床材 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	32 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]								
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・MDF [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	モルタル・プラスチック面の下地調整 コンクリート・ALCパネル面の下地調整 せっこうボード面の下地調整																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	20 特殊機能床材 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	33 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]								
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・パーティクルボード [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	伸縮調整目地の位置 床タイル ( 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示 ・ ) 床タイル以外 ( ・ 図示 ・ ) 伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													
7 合板等 [G]	7 合板等 [G]	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧板加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	21 特殊機能床材 [6.8.2]	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防露、防蟻処理 適用部位 ( )	[6.8.2]	・フロロリングボード 1等	・釘留め工法 ( 概太張り ) ・板長500以上	・平滑仕上げ ・塗装品 ・無塗装品	7 内装改修工事(続き)	34 壁紙張り [6.14.2.3]	ホルムアルデヒド放数量	規制対象外	[6.14.2.3]								
		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																													
・パーティクルボード [G]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分							・野縁の耐力 屋外 ( 25形 ・19形 ) 屋内 ( 19形 ・25形 )	・野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( )	・薄膜型塗床材	・平滑仕上げ	目地幅 2φ程度 (最大目地間隔 3φ程度) ・設けない																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																													

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者	<p>園設計株式会社 鹿児島県知事登録 第 1-3-164 号 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号 TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179</p>	外村 選	<p>有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認 登録 第 1-4-19 号 構造設計一級建築士 第 11434 号 鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿 株式会社プランディー ・設備設計 ・設備法適合確認 登録 第 1-5-90 号 設備設計一級建築士 第 1303 号 鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32 山中 憲幸</p>	法適合確認	<p>設計年月日 令和 7年 6月 日 工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築 1工区) 図面名称 建築改修工事特記仕様書 (その5)</p>	図面番号 A-05
-----	---	------	---	-------	--	-----------





10-1	耐震改修工事 鉄骨工事(続)	10 壁開口部の補強	一般壁 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)6.2 (・A型 ・B型)) 耐震壁 ・ 図示による ( ) 補強方法 ・ 図示による ( ) 配筋方法 ・ 図示による ( ) 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ・ 図示による ( ) 補強形式 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 配筋種別 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ・ 図示による ( ) ・ 図示による ( )
		11 最上階柱補強	
		12 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部の補強筋を含む)	
		13 梁貫通孔の補強	
		14 基礎梁主筋の継手	
15 既存構造体との取合い			
10-2	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
		7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による [8.1.4] [8.2.7]
		8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・ 打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
10-3	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
		7 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (表7.2.3) ・ 構造用アンカーボルト ・ ABR400 セットの種類(JIS B 1220) ・ ABR490 セットの種類(JIS B 1220) ・ SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による ( ) ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による ( )
		8 溶接材料	溶接材料 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示による ( ) [8.2.10]
		9 ターンバックルOS-01参照	種類 建築用ターンバックル鋼 割増式 建築用ターンバックルボルト 羽子板ボルト ねじの呼び ・ 図示による ( ) [7.2.6] [7.2.6]
		10 床構造用デッキプレート	材質、形状及び寸法 (6.8.2) (7.2.7) ・ デッキプレート 単独の構法 ・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・ 図示による ( ) 鉄骨部材への溶接方法 ・ 図示による ( ) 耐火認定 (7.7.8) ・ 有り 耐火時間 ・ 図示による ( ) ・ 無し
10-4	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
		7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による [8.1.4] [8.2.7]
		8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・ 打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
		9 型枠	せき板の材料及び厚さ ・ 合板(12mm) [G] (但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示がある合板型枠を用いる場合に限る) 断熱材を兼用した型枠材の使用 ・ 行う 適用箇所 ( ) ・ 行わない
		10 コンクリートの打込み工法等	スリーブの材種・規格等 [8.2.7] [表8.2.6] ・ 改修標準仕様書 8.2.7(7)及び表9.2.6による 部位毎のコンクリート打設工法の指定 [8.21.8] [8.23.5]

補強工法						打設工法					
適用箇所						部 位					
・ 現場打ちコンクリート						・ 工法指定なし					
柱・梁・壁の増設工事						・ 全て					
・ 圧入工法						・ 図示 ( ) による					
・ 全て						・ 図示 ( ) による					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					
鉄筋コンクリート柱の溶接						・ 工法指定なし					
全周巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法						・ 全て					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					
・ 圧入工法						・ 全て					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					
・ 工法指定なし						・ 全て					
・ 圧入工法						・ 図示 ( ) による					
・ 図示 ( ) による						・ 図示 ( ) による					

鉄筋コンクリート柱の溶接全周巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.23.5]  
柱頭柱脚の隙間部間の型枠  
・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む  
柱頭柱脚の隙間寸法  
・ 図示による ( )  
既存柱外周部打込みコンクリート又はグラウト材の厚さ  
・ 図示による ( )

10-1	耐震改修工事 鉄骨工事(続)	10 壁開口部の補強	一般壁 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)6.2 (・A型 ・B型)) 耐震壁 ・ 図示による ( ) 補強方法 ・ 図示による ( ) 配筋方法 ・ 図示による ( ) 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ・ 図示による ( ) 補強形式 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 配筋種別 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ・ 図示による ( ) ・ 図示による ( )
10-2	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-3	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-4	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-5	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-6	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-7	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-8	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-9	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-10	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-11	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-12	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-13	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-14	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-15	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]

10-1	耐震改修工事 鉄骨工事(続)	10 壁開口部の補強	一般壁 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)6.2 (・A型 ・B型)) 耐震壁 ・ 図示による ( ) 補強方法 ・ 図示による ( ) 配筋方法 ・ 図示による ( ) 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ・ 図示による ( ) 補強形式 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 配筋種別 ・ 図示による (構造関係共通事項(配筋標準図)11.1 ) 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ・ 図示による ( ) ・ 図示による ( )
10-2	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-3	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-4	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-5	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-6	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-7	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-8	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-9	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-10	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-11	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-12	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-13	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]
10-14	耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ 図示による ( ) (6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
10-15	耐震改修工事 鉄骨工事	6 溶融垂鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種(F8T相当) 溶融垂鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による ( ) 溶融垂鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・ 大臣認定を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ( ) 摩滅面の処理 ・ フラスト処理(表面粗度50µm以上)又はリン酸塩処理 リン酸塩処理とした場合は必ず係数値の確認を行う すべり係数試験 試験方法等 ・ 「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による [8.2.9] [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]

霧島市建築改修工事特記仕様書										設計者	設 計 者 園設計株式会社 鹿児島県知事登録 第1-3-164号 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号 TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179	外村 選 一級建築士登録 第160636号 所長 担当 製 図	法適合確認	有限会社鎌田建築構造設計事務所 登録 第1-4-19号 鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 株式会社プランディー 登録 第1-5-90号 鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32	・ 構造設計 ・ 構造法適合確認 ・ 構造設計一級建築士 第11434号 ・ 鎌田 和寿 ・ 設備設計 ・ 設備法適合確認 ・ 設備設計一級建築士 第1303号 山中 憲幸	設計年月日 令和 7年 6月 日 工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 図面名称 建築改修工事特記仕様書(その8)	図面番号 A-08
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	---------------------------------------	-------	--	---	---	-----------

耐震改修工事 あと施工アンカー工事	10-4 ① あと施工アンカー OS-01参照	種類 ・金属系 セット方式 ・本体打込み式（改良型 ・従来型） アンカー本体の径及び埋込み深さ ・表示による（ ） 引張耐力 ・表示による（ ） せん断耐力 ・表示による（ ） 接合筋の種類、径、長さ ・表示による（ ） ・接着系 セット方式 ・カプセル式 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカー本体の径及び埋込み深さ ・表示による（ ） 引張耐力 ・表示による（ ） せん断耐力 ・表示による（ ） 施工方式 ・回転打撃式又は監督職員の見本の同等の施工方式 アンカー筋の種類、径、長さ ・表示による（ ）	[ 8.2.4 ]
	② あと施工アンカーの穿孔 OS-01参照	穿孔前の既存鉄筋及び埋設配管・配線の探査 探査範囲 あと施工アンカー施工部分全て 探査方法 ・鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・はつりだしによる ・穿孔機械 ハンマードリル ・コアドリル（施工場所 表示による（ ）） 金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する	[ 8.12.4 ]
	③ 施工確認試験 OS-01参照	試験の適用 実施する（ ・シアコネクタは除く ・シアコネクタを含む） 試験方法 引張試験 確認強度 表示する（ ）	[ 8.12.7 ]
	4 シアコネクタ (現場打ちコンクリート壁の打増し部を用いるシアコネクタ)	種類 ・金属系あと施工アンカー（従来型）の異形差筋アンカー 径 ・D10 既存壁への有効埋め込み長さ ・4d (d : シアコネクタの呼び径) (埋込み深さ = 5d) 増打ち壁への有効着長さ (mm) ・増打ち壁厚さ - 40mm 間隔 ・ 500 x 500	[ 8.12.4 ]

耐震改修工事 耐震スリット新設工事	10-7 1 スリットの方式及び充填材	[ 8.25.2 ]
	2 スリットの施工	[ 8.25.2 ]
耐震改修工事 地盤工事	10-8 1 支持地盤	[ 4.3.4, 5 ] [ 4.4.4 ] [ 4.5.5, 6 ] [ 4.5.4, 5 ]
	2 既製コンクリート杭地盤	[ 4.3.3 ]
	3 鋼杭地盤	[ 4.3.3 ]
	4 鋼管杭	[ 4.3.3 ]

地盤工事 地盤工事（続き）	10-8 2 既製コンクリート杭地盤（続き）	[ 4.3.2, 6 ] [ 7.2.5 ]
	3 鋼杭地盤	[ 4.3.3 ]
地盤工事 鋼管杭	種類	[ 4.3.3 ]
	試験杭	[ 4.3.3 ]
	本杭	[ 4.3.3 ]
	杭の現場継手	[ 4.3.3 ]

地盤工事 コンクリート杭地盤	4 場所打ちコンクリート杭地盤	[ 4.5.4 ] [ 6.3.7 ] [ 4.5.4 ] [ 4.5.1 ] [ 4.5.3-6 ] [ 4.5.4 ] [ 4.5.1 ] [ 4.5.4, 5 ]
	5 地盤改良（セメント系固化材を用いた工法による改良）	[ 4.2.2 ] [ 4.5.4, 6 ] [ 4.5.4, 6 ]
地盤工事 コンクリート地盤	6 置換コンクリート地盤（ラップコンクリート地盤）	[ 6.3.1 ]
	7 液状化対策	[ 4.6.2 ]
地盤工事 砂利地盤	8 砂利地盤	[ 4.6.3 ]
	9 捨コンクリート地盤	[ 4.6.4 ] [ 6.14.1-3 ] [ 6.3.1 ] [ 4.6.4 ]
地盤工事 連続繊維補強工事	10-6 1 適用範囲	[ 8.24.1 ]
	2 連続繊維シート	[ 8.2.13 ] [ 8.2.13 ] [ 8.24.6 ] [ 8.24.6 ] [ 8.24.6 ] [ 8.24.6 ]
地盤工事 連続繊維補強工事	3 連続繊維補強後の仕上げ	[ 4.6.2, 5 ]
	10 床下防潮層	[ 4.6.2, 5 ]

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者 聖園設計株式会社  
鹿児島県知事登録 第 1-3-164 号  
〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号  
TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179

外村 選  
一級建築士登録 第160636号  
所長 担当 製図  
法適合確認  
有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認  
登録 第 1-4-19 号  
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿  
株式会社プランディー ・設備設計 ・設備法適合確認  
登録 第 1-5-90 号  
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32 山中 憲幸

設計年月日 令和 7年 6月 日  
工事名称 R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築 1工区)  
図面名称 建築改修工事特記仕様書 (その9)  
図面番号 A-09

外壁改修工事仕様書

外壁複合改修工法

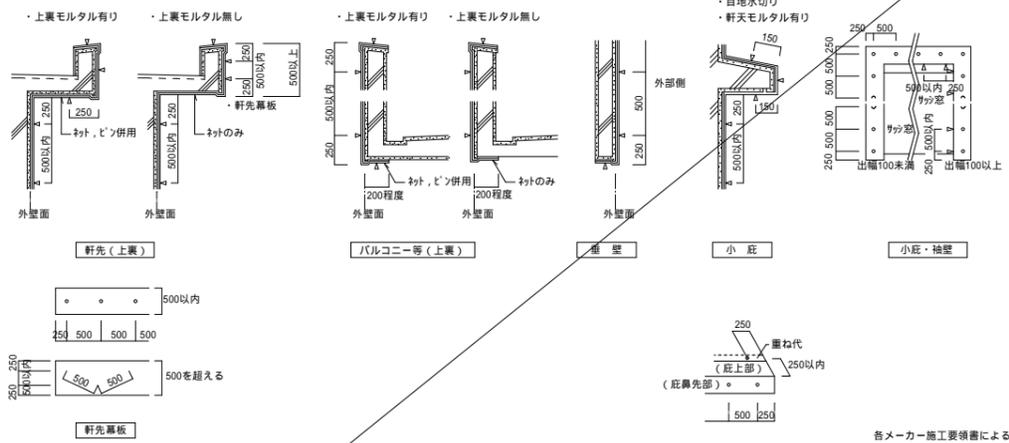
- 1 建設大臣より建設技術評価制度「外壁複合改修工法の開発」の開発目標を達しているものと認められた工法とする
- 2 使用材料にはアスベスト：クリンタイト、アササイト及びクロシドライトが含まれていないものとする。また、公的機関の報告書を提出する。
- 3 施工者は、同工法による鹿児島県内においての施工実績を提出すること
- 4 施工は、同工法による技術認定を取得した技術者の施工とする。
- 5 施工手順は、各メーカー仕様による。
- 6 工事完成後、外壁剥落・落下に対しての10年間保証書を元請業者・専門業者連名で提出すること
- 7 第三者賠償責任保険に加入している工法とし、加入証明書提出すること
- 8 定期点検：施工会社は定期的な自主点検で品質の管理を行い、異常が見られる場合には手直しを速やかに行い、施工及び設計者に報告すること。尚、点検の時期は2年目、4年目、6年目、7年目、8年目、9年目を行うこと。また、保証書には定期点検の予定を記載することとする。

参考工法（メーカー）

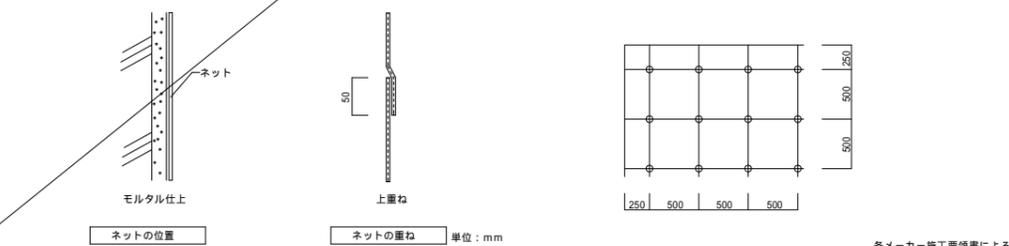
工法名	項目	既存塗材の処理	ピンニング箇所	ピンの形状 (ピン長さは、モルタル厚により適定すること)	ネットの材質	下処理	ネット及びモルタル	浮き部への注入	ひび割れ部への注入
タケモルピンネット工法		局部的に除去 (4ヶ所/m <sup>2</sup> に20cm)	1m <sup>2</sup> に4ヶ所以上	厚:2mm 	ガラス繊維製 二輪ネット	SBR系 セメントフィラー	SBR系ポリマー セメントモルタル	無し	0.5mm以上の ひび割れのみ注入
ボンダーボピンネット工法		縦・横50cm間隔で格子 状巾10cmで除去	1m <sup>2</sup> に4ヶ所以上	ワッシャー直径25mm 	ビニロン繊維製 三輪ネット	変性シリコン エポキシ樹脂系	SBR系ポリマー セメントモルタル	浮き面積0.25m <sup>2</sup> 以上の注入 (0.5'0.5=0.25m <sup>2</sup> )	0.3mm以上の ひび割れのみ注入
スーパーファイラーGNS ピンニングネット工法		脆弱部は除去	1m <sup>2</sup> に4ヶ所以上	S S P - 6 7 0 仕上モルタル厚み: 35 ~ 55 mm 	ビニロン繊維製 二輪ネット	アクリル系 セメントフィラー	アクリル系ポリマー セメントモルタル	浮き面積0.5m <sup>2</sup> 以上の注入	0.3mm以上の ひび割れのみ注入
ネットバリア工法#1		脆弱部は除去	1m <sup>2</sup> に4ヶ所以上	ワッシャー直径25mm 2.5mm 6.5mm 25mm 	アラミド・ビニロン 繊維複合ネット	超硬アクリルエマルジョン プレミックスフィラー	超硬アクリルエマルジョン プレミックスフィラー	浮き面積2.0m <sup>2</sup> 以上の注入	0.3mm以上の ひび割れのみ注入

一般面（重ね代・ピン位置・数）

- a. 一般壁に於けるアンカーピンの本数は4本/m<sup>2</sup>以上とする。
- b. 基板部分のアンカーは、幅500以内は直列に、500を超える場合は両端部より250の位置に各1本打ち、その間隔が500以内となる様にピン本数を定める。



- a. ネットの重ね代は50mm以上とする。
- b. アンカーピンの位置は、壁の端部より250とし、縦横500mm以内とする。



A 浮き部改修工法

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

(1) 適用範囲

モルタル塗りで下記の部位が浮いている場合は、剥落する恐れのある部分及び浮きの程度が大きければつり落とした方がよいと判断される部分を除去、浮き部をアンカーピンニングで躯体コンクリートに固定し、浮き代に注入充填する

1. バラベット及び笠木
2. 庇
3. 窓面台
4. 壁・柱その他

(2) 材 料

1. エポキシ樹脂は、J I S A 6 0 2 4（建築用注入補修用エポキシ樹脂）により種類は施工時期に適したもので、監督員の承諾を受けたものとする
2. アンカーピンの材質は、ステンレス S U S 3 0 4 呼び径4mmの丸棒とし、全ネジ切加工したものとする
3. アンカーピン固定用エポキシ樹脂は、特記製作所の製品とする

(3) 工 法

1. 注入範囲の確認は、テストハンマーを用いて確認し、又、アンカーピンニング注入範囲については共浮き防止も含め、チョーク等で明示し監督員と協議の上決定する
2. 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般改修（壁面等）は1.6本/m<sup>2</sup>、指定部分（見上げ面、庇鼻、まくさ隅角部分等）は2.5本/m<sup>2</sup>とする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする
3. 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい径とし、壁面に対し直角に穿孔する
4. アンカーピン固定用エポキシ樹脂をグリッサーを用いて、穿孔部の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1ヶ所当たり25CC（約30g）とする
5. アンカーピンを穿孔最深部まで挿入し、余長部はエポキシ樹脂の硬化を見計らってクリッパーで切断し、目立たぬ色のバテエポキシ樹脂で仕上げる
6. 浮き代が1mmを超える浮き部分がある場合は、監督員の指示を受けること
7. 施工中の汚れは直ちに除去、清掃する。

(4) 確 認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する

B ひび割れ部改修工法

Uカットシール充填工法

(1) 適用範囲

窓枠回りを除くひび割れ部0.3mm以上の場合に適用する

(2) 材 料

1. シール材は、充填材料製造所の指定する製品とする。

(3) 工 法

- (a). プライマー塗布及び充填時に接着体5以下又は50以上になるおそれのある場合は、作業を中止する。
- (b). シール材の仕上り状態及び硬化状態を視察及び触診により確認し、その結果を監督職員に提出して、承諾を受ける。
- (c). ひび割れ部の処理は、次による。
  - (1) ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅1.0mm程度、深さ1.0～1.5mm程度にU字型の溝を設ける。
  - (2) Uカット溝部に付着している切片、粉塵等は、ワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
  - (3) 接着体に塗したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。
- (d) プライマー塗布後、ごみ、ほこり等が付着した場合は当日充填ができない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。
- (d). 充填は、シーリング材又は可とうエポキシ樹脂材とし、製造所の仕様による配合、練混ぜ、充填とする。
  - (1) シーリング材のつえにポリマーセメントモルタルを充填する場合は、次による。
    - ・シーリング材はコンクリート面から3～5mm程度低めに充填し、充填後は、へらで押入下地と密着させて表面を磨き仕上げとする。
    - ・ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。
- (e). 養生及び清掃
  - (1) シール材が硬化するまでは損傷、汚染等のないようにすることともに降雨からも養生する。
  - (2) 充填以外に、付着した汚れ等を適切な方法で除去し、清掃する。

C ひび割れ部改修工法

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

(1) 適用範囲

窓枠回りを除くひび割れ部についてエポキシ樹脂を注入する場合に適用する

(2) 材 料

1. エポキシ樹脂は、J I S A 6 0 2 4（建築用注入補修用エポキシ樹脂）により種類は施工時期に適したもので、監督員の承諾を受けたものとする
2. シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、塗料等又は塗材等に支障のないものとする

(3) 工 法

- (a). ひび割れに沿って幅5.0mm程度程度の汚れを除去し、清掃する
- (b). 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う
- (c). 注入孔位置間隔は2.0.3.0.0mm/Mとする
- (d). 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける
- (e). 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空圧缶等により4Kg f / cm<sup>2</sup>以下として注入する
- (f). 注入時は、台座やシール材からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。尚注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生する
- (g). エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入パイプを適切な方法で除去し、清掃を行う

(4) 確 認

- ・注入時の確認は一つ上の注入パイプから漏出することを確認する。
- ・注入後の確認は注入が行われたか否かを視察する

注入孔の間隔	
ひび割れ幅 (mm)	注入パイプ間隔 (mm)
0.3以下	50 - 100
0.3 - 0.5	100 - 200
0.5 - 1.0	150 - 250
1.0以上	200 - 300

D 欠損部改修工法（鉄筋爆製部を含む）

ポリマーセメントモルタル充填工法

(1) 適用範囲

欠損部の面積が1箇所当たり0.25m<sup>2</sup>程度以下の場合に適用する

(2) 欠損部周辺のモルタルの除去

欠損部周辺のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切って損傷が拡大しないようにはつり除去する

(3) 下地面は、デッキブラシ等で水洗いを行い、モルタル等の接着を妨げるものを取り除く

下地面は、デッキブラシ等でクレンシ、汚れ、ほこり、油等の除去・清掃を行う。

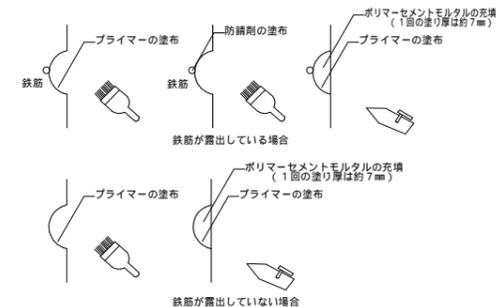
又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でクレンシを行い錆を除去し、防錆剤等を塗布して防錆処理を行う。尚、損傷が著しい部分の下地処理及び補強等は、監督員と協議する

(4) 欠損部周辺の危険部分は、ハンマー等で軽い打撃を受けて除去し欠損部の状況を目視によって確認する

(5) 下地部分は、ワイヤーブラシ等でクレンシ、汚れ、ほこり、油等の除去・清掃を行う。

1. 欠損部の危険部分をハンマー等で取り除き、プライマーを被着面にはけを用いて塗布する
2. ポリマーセメントモルタルは、製造所の仕様により、調合し練混ぜする
3. はがれの状況により、1～3層に分けてポリマーセメントモルタルを充填又は塗り付ける。各層の塗り厚は7mm程度とし、表面を金でて加圧しながら平滑に仕上げ
4. 各層共、急激な乾燥を避け、適切な養生を行う
5. 補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し清掃する
6. ポリマーセメントモルタルが硬化するまでは損傷、汚染等ないようにするとともに降雨等からも養生する

ポリマーセメントモルタル充填工法



E はつり部改修工法

ポリマー注入モルタル充填工法

(a) 適用範囲

モルタル充填を行う場合に適用する。

(b) 調査及び塗厚

(1) モルタルの調査及び塗厚は、表4.4.1による。

下地	表4.4.1 調査(容積比)及び塗厚の標準値等				
	下塗り セメント	中塗り 砂	上塗り セメント	塗厚の標準値 (mm)	
コンクリート	1	2.5	1	3	25

- (2) ポリマー注入モルタルの調査は、(1)による。ただし、混和剤の使用量は、セメント質量の5%（全面形分換算）程度とする。
- (3) ポリマーセメントペーストの混和剤の使用量は、セメント質量の5%（全面形分換算）程度とする。
- (4) 混和剤の使用量は、モルタルの強度等に著しい影響を与えない程度とする。
- (5) モルタルの練混ぜは、原則として、機械練りとする。
- (6) 1回の練混ぜ量は、60分以内に使い切れる量とする。
- (7) 1回の塗り厚は、7mmを標準とする。

(c) 下地処理

- (1) コンクリート、コンクリートブロック等の壁で、ひずみ、不陸等の著しい箇所は、目視し、水洗い等のうえモルタルで補修し、夏期は7日以上、冬期は14日以上放置する。ただし、気象条件等により、モルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
- (2) 総塗り厚が2.5mm以上になる場合は、ステンレス製アンカーピンを打ち込み、ステンレス製ラス又は、溶融金網、ネット等を取付け安全性を確保した上でモルタルを塗り付ける。

(d) 工法

- (1) 下塗り
  - ( ) (c) の下地処理ののち、下地の乾燥具合を見計らい、吸水調整材を吸水調整材製造所の仕様により全面に塗る。ただし、下塗りにポリマー注入モルタルを塗り付ける場合以外にあっては、(c) の下地処理ののち、吸水調整材塗りに代えてポリマーセメントペーストを1～2mm塗ることができる。この場合、必要に応じて保水剤を使用する。
  - ( ) 塗付けは、吸水調整材塗りを行った場合は乾燥後、ポリマーセメントペースト塗りをを行った場合は、ポリマーセメントペーストが乾燥しないうちに、塗残しのないよう全面に行う。
  - ( ) 下塗り面は、金でし磨きで荒らし目をつける。
  - ( ) 下塗り後、モルタル表面のドライアウトを防止するために、水濯しを行う。
  - ( ) 下塗りは、14日以上放置して、ひび割れ等を十分発生させてから次の塗付けにかかる。ただし、気象条件等により、モルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
- (2) 中塗り
  - ( ) 中塗りを行う場合は、(1) ( ) ののち、塗り付ける。塗り付け後、荒らし目をつけ、7日以上放置する。ただし、気象条件等によりモルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
  - ( ) 中塗り後、荒らし目をつけ、7日以上放置する。ただし、気象条件等によりモルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
- (3) 上塗り
  - ( ) 上塗りの状態を見計らい、面、角、ちり回り等注意到し、こてをむらなく平らにするよう、次により仕上げ。
  - ( ) 金で仕上げの場合は、金で押さえて仕上げ。
  - ( ) 木で仕上げの場合は、水引き具合を見計らい、木でてむらを取り、平たんに仕上げる。
  - ( ) はけ引き仕上げの場合は、木で均したのち、少量の水を混ぜたはけを引き、はけ目の通りよく仕上げる。

設計概要			
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	敷地面積	11,712.32㎡ (H10.10.7確認申請時)
工事場所	地名地番 鹿児島県霧島市国分中央三丁目8番1号	建築面積	2,954.51㎡ (H10.10.7確認申請時)
	住居表示 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号	延べ面積	4,472.55㎡ (H10.10.7確認申請時)
区域の指定	都市計画区域内	延べ率	25.22% < 90% (H10.10.7確認申請時)
防火地域 他	指定なし	建ぺい率	38.18% < 300% (H10.10.7確認申請時)
		容積率	階数 地上3階
その他の指定条件	幅員 20.50m	高さ	最高高さ 21.75 m(平均地盤面より) 最高軒高 10.455m(平均地盤面より)
用途地域	商業地域	構造種別	構造種別 鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
法定建ぺい率	80%+10% (角地適用)	耐火種別	耐火種別 耐火建築物
法定容積率	300%	建築設備の種類	電気・給水・排水・換気・暖房・冷房
主要用途	集会場	工事の種類	改修
特記事項			
・ 37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は日本農林規格に適合したものを使用する。		・ 壁下地(LGS)は65型(H=4.0m以下)90型(H=4.0~4.5m以下)100型(H=4.5~5.0m以下)とする。	
・ 内装仕上材、下地材及び天井裏等に用いる建築材料は、全てF を使用する。		・ 軽量鉄骨天井下地、目透かし張り場合は、野縁以外の目地あたりに目地板 を入れる。	
・ 配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の4に基づき施工する。		・ 床仕上の貼物下地についてはコンクリート表面の下地補修をする。	
・ 高圧ガス保安法第24条に基づき施工する。		・ ボード類による柱型、壁の見えがかり出隅部は、ボード用コーナー補強材にて補強すること。	
・ ガス事業法第162条に基づき施工する。		・ 防水型複層塗材E(低汚染型)のトップコートは2液アクリルシリコン樹脂仕上とする。	
・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に基づき施工する。		・ 設備機器類取付の補強等は建築工事とする。	
・ 水道法施行令第5条に基づき施工する。		・ ビニル床シートは熱溶接工法とする。	
・ 下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。		・ 特記以外の木部・鉄面の仕上げはSOP塗りとする。	
・ 給湯設備は、H12建告1388号に基づき施工する。		・ 施工時撤去、破損したものは現状復旧すること。	
・ 電気設備については、電気事業法により施工する。		・ クロス等壁紙仕上の下地がGB又はFKの場合は、ジョイント部分はバテ等でシゴキ、	
・ 既存敷地内の埋設物(配管など)について工事着工前に調査を行うこと。		・ 段差の生じないように入念に処置すること。	
・ 天井・壁の下地は特記なき限りLGS下地とする。天井下地は19型とし屋外部分は25型とする。		・ カーペット類、カーテン類は防災処理品とする。	

付近見取図



計画場所：霧島市国分中央三丁目8番1号

内装制限/排煙/排煙免除根拠凡例		塗装一覧表		仕上材符号一覧表			防火材料一覧表						
内装制限凡例	排煙免除根拠凡例	SOP	合成樹脂調合ペイント	RC	鉄筋コンクリート	GB-R	石膏ボード	石膏ボード(GB-R t=9.5)	準不燃	QM-9828	吸放湿化粧せっこうボード (GB-D-Hc t=9.5)	準不燃	QM-0172
(不) 下地共不燃材	告口 平成12年建告1436四口による	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	LC	軽量コンクリート	GB-F	強化石膏ボード	石膏ボード(GB-R t=12.5 15)	不燃	NM-8619	吸放湿化粧せっこうボード (GB-D-Hc t=12.5)	不燃	NM-0530
(準) 下地共準不燃材以上	告二 平成12年建告1436四二による	CL	クリアラッカー	PC	プレキャストコンクリート	GB-NC	不燃積層石膏ボード	強化石膏ボード(GB-F t=12.5,15,21,25)	不燃	NM-8615	繊維混入けい酸加シム板	不燃	NM-8578
(不) 不燃材	告ホ 平成12年建告1436四ホによる	OS	オイルステイン	CB	コンクリートブロック	GB-R-H	普通硬質石膏ボード	不燃積層石膏ボード(GB-NC t=9.5)	不燃	NM-0441	木毛セメント板	準不燃	QM-9022
(準) 準不燃材以上	告へ(1) 平成12年建告1436四へ(1)による	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	ALC	軽量気泡コンクリート板	GB-S	シーリング石膏ボード	普通硬質石膏ボード(GB-R-H t=9.5,12.5,15)	不燃	NM-9645	ロックウール吸音板(岩綿吸音板)	不燃	NM-8599
(難) 難燃材以上	告へ(2) 平成12年建告1436四へ(2)による	AE	アクリル樹脂エナメル	ECP	押出成形セメント板	GB-D	化粧石膏ボード	シーリング石膏ボード(GB-S t=9.5,12.5)	準不燃	QM-0898	吹付けロックウール	不燃	NM-8601
	告へ(3) 平成12年建告1436四へ(3)による	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	LGS	軽量鉄骨下地	GB-D-Hc	化粧吸放湿石膏ボード	シーリング石膏ボード(GB-S t=12.5)	不燃	NM-9639	グラスウール保温板	不燃	NM-8605
排煙方式凡例	告へ(4) 平成12年建告1436四へ(4)による	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	GW	グラスウール	FK	けい酸カルシウム板	化粧石膏ボード(GB-D t=9.5)	準不燃	QM-0524	グラスウールガラスクロス化粧マット	不燃	NM-8606
自然 自然排煙	告へ(5) 平成12年建告1436四へ(5)による	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	DR	ロックウール吸音板	MDF	ミディアムデンシティファイバーボード	化粧石膏ボード(GB-D t=9.5) (アートタイプ)	準不燃	QM-9824	塗料塗装/不燃材料(下地・法定不燃材)	不燃	NM-8585
機械 機械排煙	令126 令126条の2 1-3	DP-U	珉樹脂耐候性塗料塗					化粧石膏ボード(GB-D t=9.5) (スクエア)	不燃	NM-0879	ビニルクロス	不燃	NM-
免除 排煙免除		DP-F	珉樹脂耐候性塗料塗					化粧不燃積層石膏ボード(天井用)(GB-NC t=9.5)	不燃	NM-1864	曲面ボード(繊維混入石膏板) t=6.0	不燃	NM-2967

特記事項	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b>          一級建築士事務所          鹿児島県登録第1-3-164号          鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>		一級建築士登録 第160636号		設計年月日		工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号
			外村 選		R7・2・					
					縮尺					
					NO.SCALE					
						図面名称		(共通)設計概要・案内図・仕上表凡例		



配置図

着工	・	・
竣工	・	・
監理		
施工		

**堂園設計株式会社**  
 一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

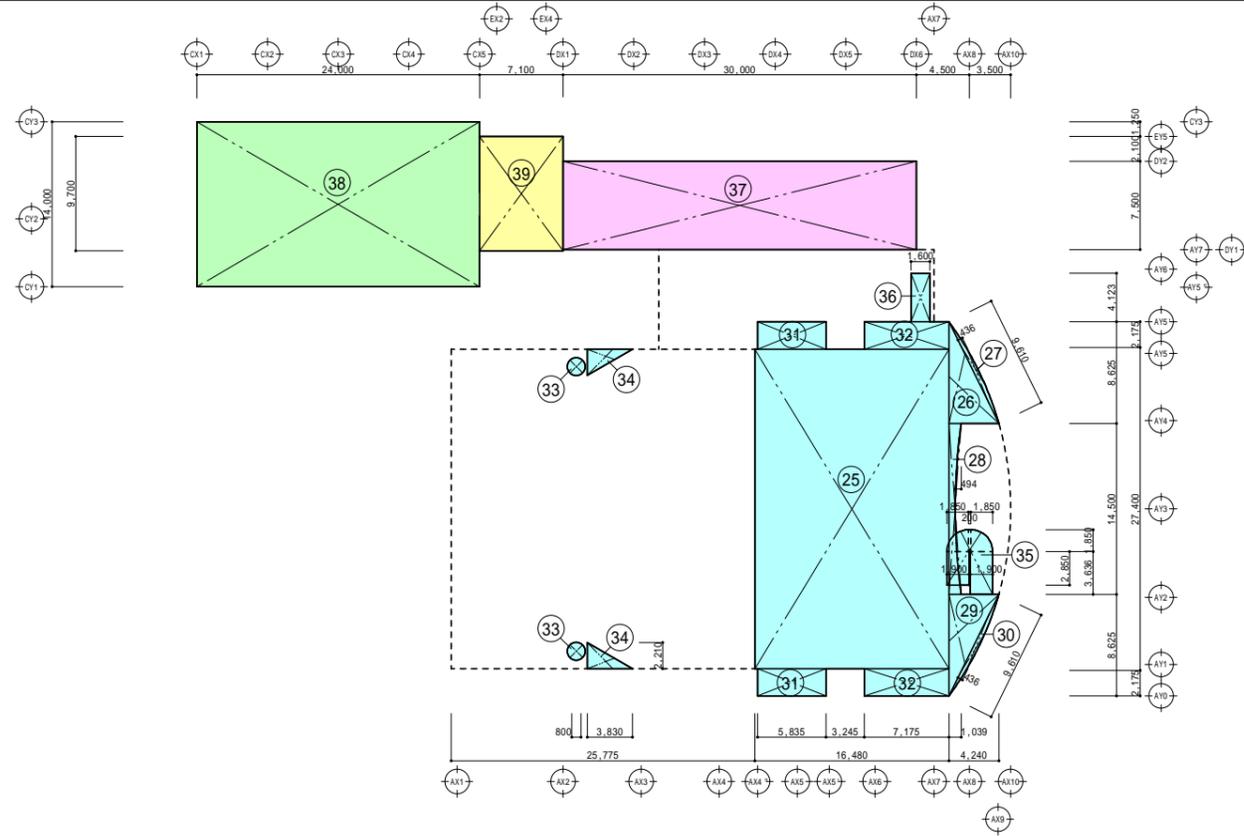
一級建築士登録 第160636号  
 外村 遼

設計年月日  
 R7・2・  
 縮 尺  
 1:300(A1)  
 1:600(A3)

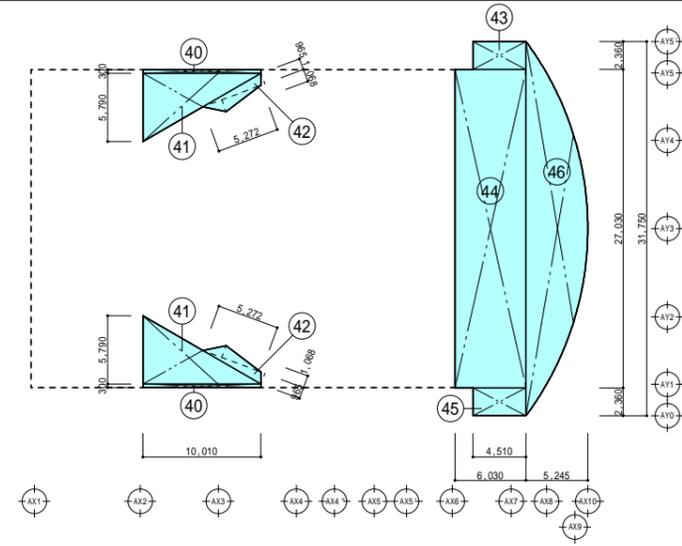
工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計 図  
 図面名称 (共通)配置図

図面番号  
 A-12

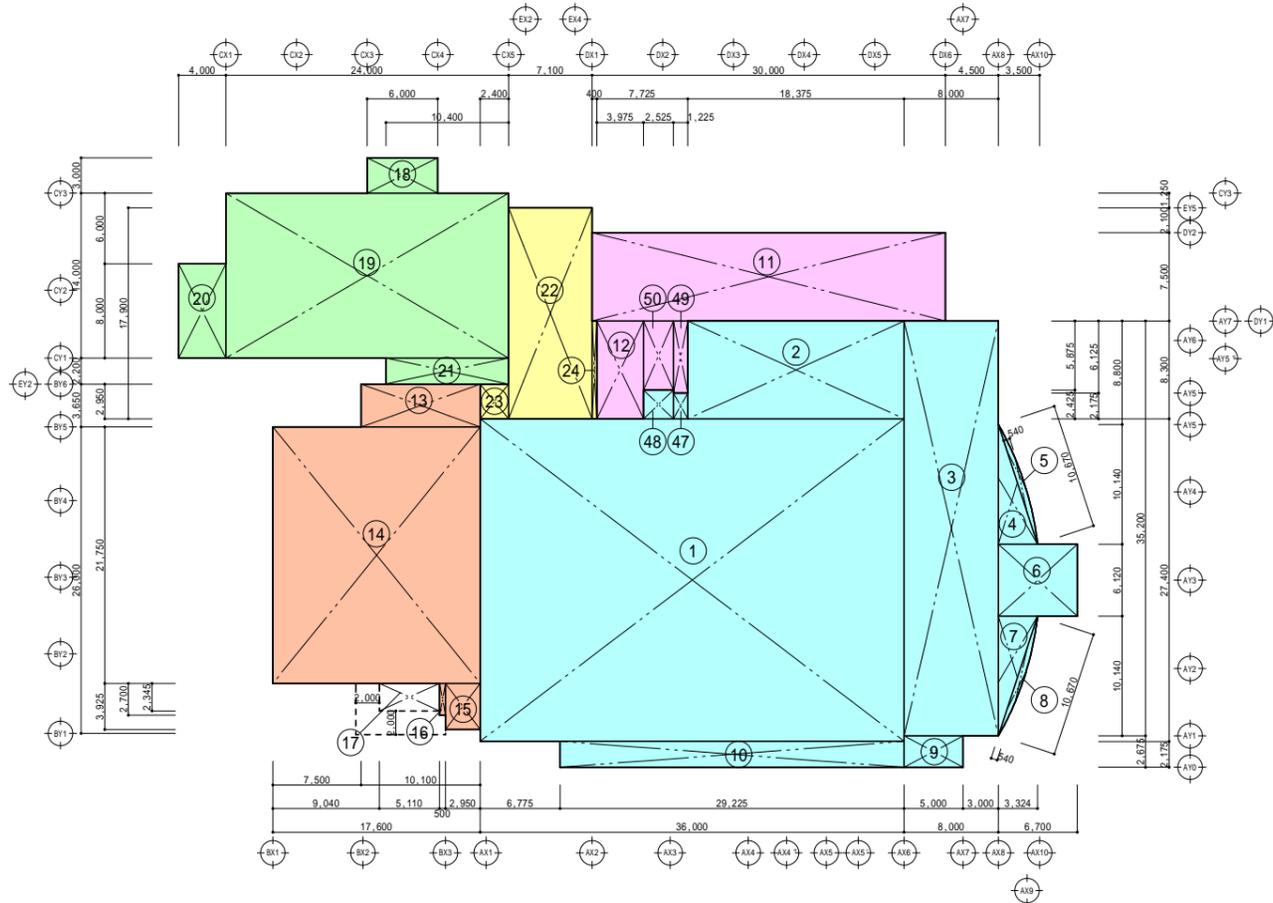
2階床面積 求積図



3階床面積 求積図



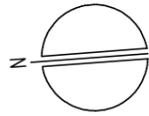
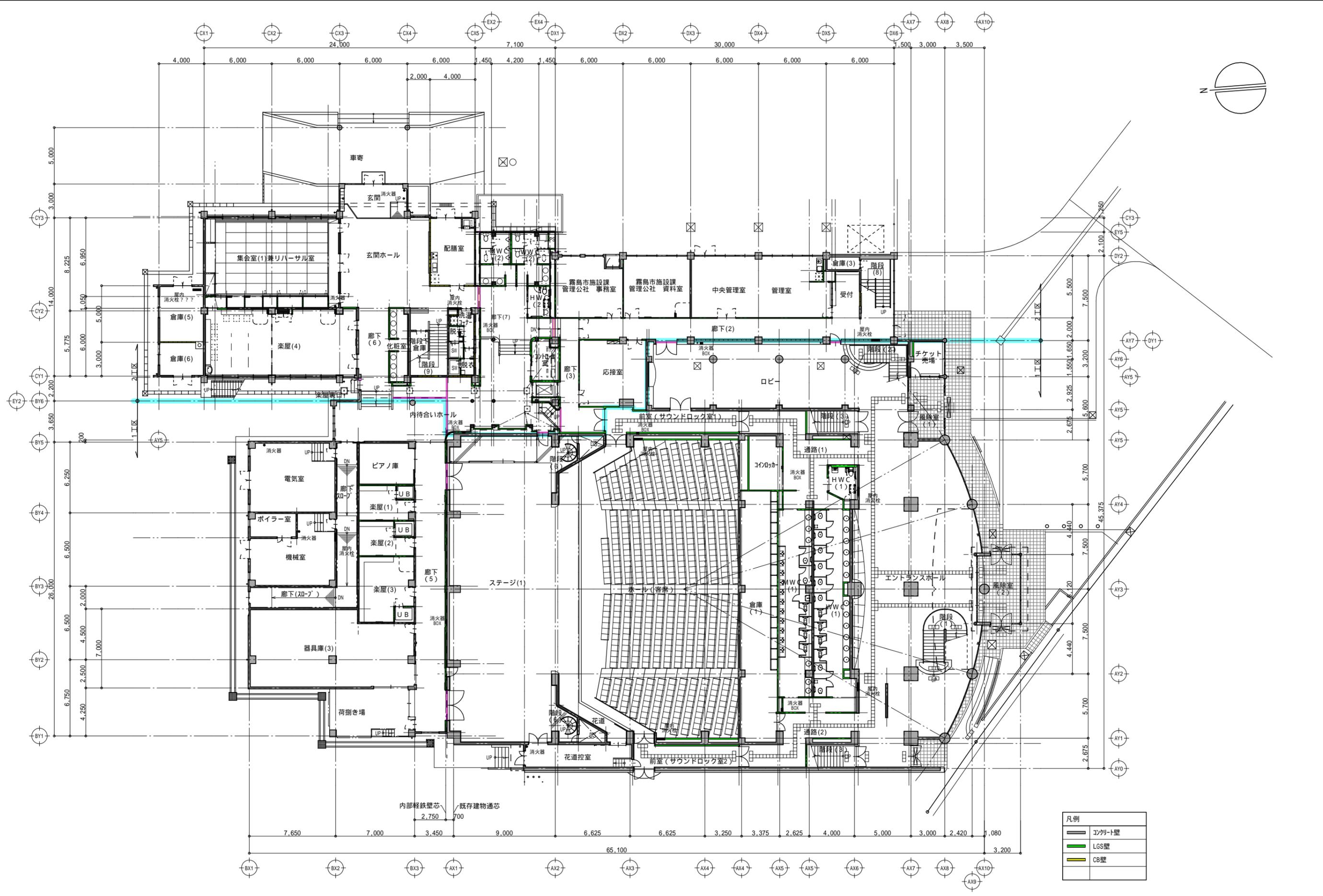
1階床面積 求積図



1階床面積 求積図

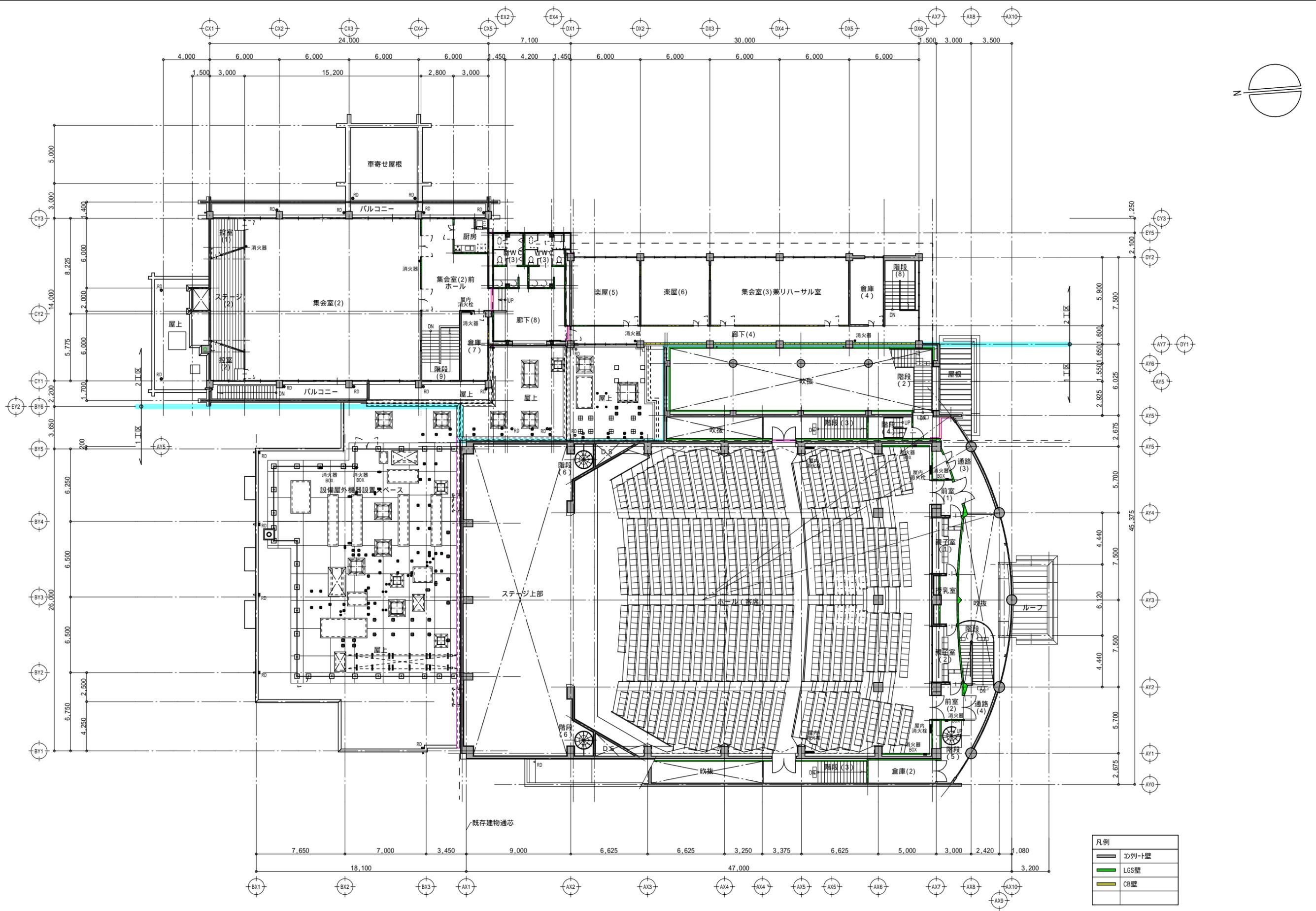
1階 面積求積表 (㎡)		2階 面積求積表 (㎡)		3階 面積求積表 (㎡)	
①	36.000 × 27.400	986.400000	②⑤	16.480 × 27.400	451.552000
②	18.375 × 8.300	152.512500	②⑥	4.240 × 8.625 × 1/2	18.285000
③	8.000 × 35.200	281.600000	②⑦	9.610 × 0.436 × 2/3	2.793307
④	3.324 × 10.140 × 1/2	16.852680	②⑧	1.039 × 14.500 - 14.500 × 0.494 × 2/3	10.290217
⑤	10.670 × 0.540 × 2/3	3.841200	②⑨	4.240 × 8.625 × 1/2	18.285000
⑥	6.700 × 6.120	41.004000	③⑩	9.610 × 0.436 × 2/3	2.793307
⑦	3.324 × 10.140 × 1/2	16.852680	③⑪	5.835 × 2.175 × 2	25.382250
⑧	10.670 × 0.540 × 2/3	3.841200	③⑫	7.175 × 2.175 × 2	31.211250
⑨	5.000 × 2.675	13.375000	③⑬	0.800 × 0.800 × 3.14 × 2	4.019200
⑩	29.225 × 2.175	63.564375	③⑭	3.830 × 2.210 ÷ 2 × 2	8.464300
⑪	1.225 × 2.175	2.664375	③⑮	(2.850 + 3.630) × 1.900 + 0.200 × 1.850 + 1.850 × 1.850 × 3.14 ÷ 2	18.055325
⑫	2.525 × 2.425	6.123125	③⑯	1.600 × 4.123	6.596800
ホール棟 1階床面積		1588.631135	ホール棟 2階床面積		597.727905
⑬	30.000 × 7.500	225.000000	③⑰	30.000 × 7.500	225.000000
⑭	3.975 × 8.300	32.992500	管理棟 2階床面積		225.000000
⑮	1.225 × 6.125	7.503125	③⑱	24.000 × 14.000	336.000000
⑯	2.525 × 5.875	14.834375	共同利用施設 2階床面積		336.000000
管理棟 1階床面積		280.330000	③⑲	7.100 × 9.700	68.870000
⑰	10.100 × 3.650	36.865000	内待合ホール 2階床面積		68.870000
⑱	17.600 × 21.750	382.800000			
⑲	2.950 × 3.925	11.578750			
⑳	0.500 × 2.700	1.350000			
㉑	5.110 × 2.345	11.982950			
楽屋棟 1階床面積		444.576700			
㉒	6.000 × 3.000	18.000000			
㉓	24.000 × 14.000	336.000000			
㉔	4.000 × 8.000	32.000000			
㉕	10.400 × 2.200	22.880000			
共同利用施設 1階床面積		408.880000			
㉖	7.100 × 17.900	127.090000			
㉗	2.400 × 2.950	7.080000			
㉘	0.400 × 8.300	3.320000			
内待合ホール 1階床面積		137.490000			

1工区	棟別	1階	2階	3階	計	3000.91
		ホール棟	1588.63	597.73	369.98	
2工区	楽屋棟	444.57	-	-	444.57	1456.57
	管理棟	280.33	225.00	-	505.33	
	共同利用施設	408.88	336.00	-	744.88	
計		2859.90	1227.60	369.98	4457.48	4457.48



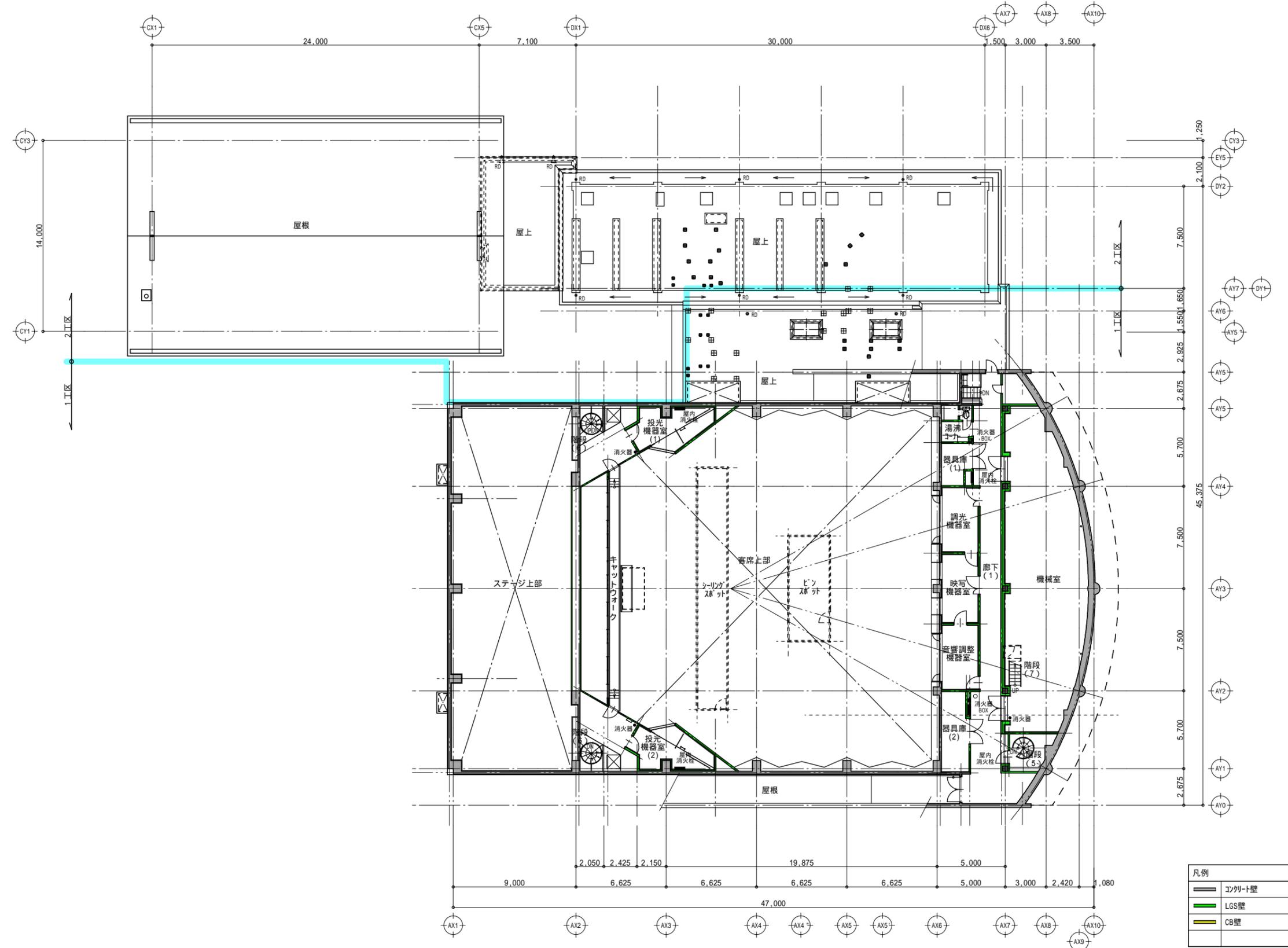
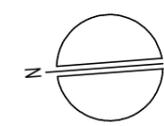
凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工 竣工 監理 施工	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (共通)既存 1階全体平面図	図面番号 A-14
----------------------	--	--------------------------	--	--------------------------------	------------------------	--------------



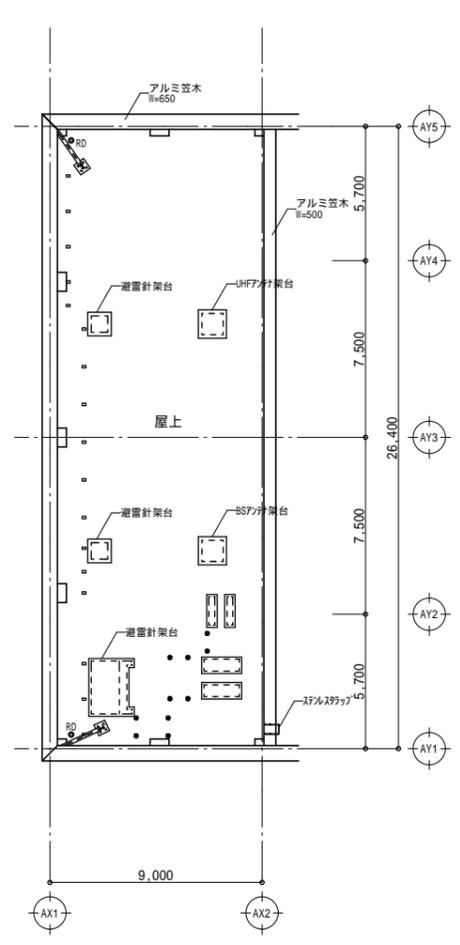
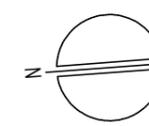
凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工 竣工 監理 施工	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (共通)既存 2階全体平面図	図面番号 A-15
----------------------	---	--------------------------	--	--------------------------------	------------------------	--------------

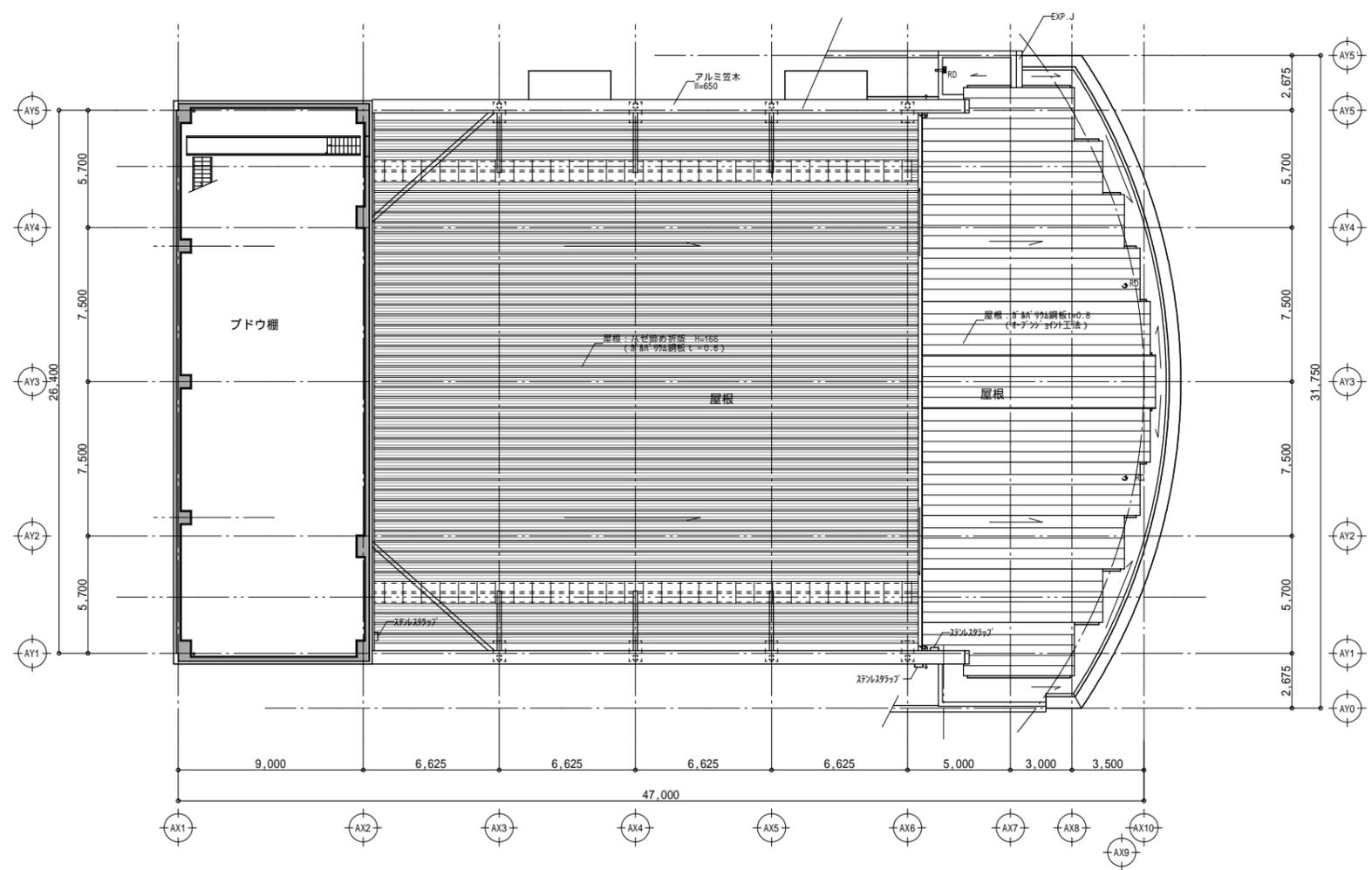


凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工	・	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-16
竣工	・		鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	図面名称 (共通)既存 3階全体平面図	
監理	・					
施工	・					



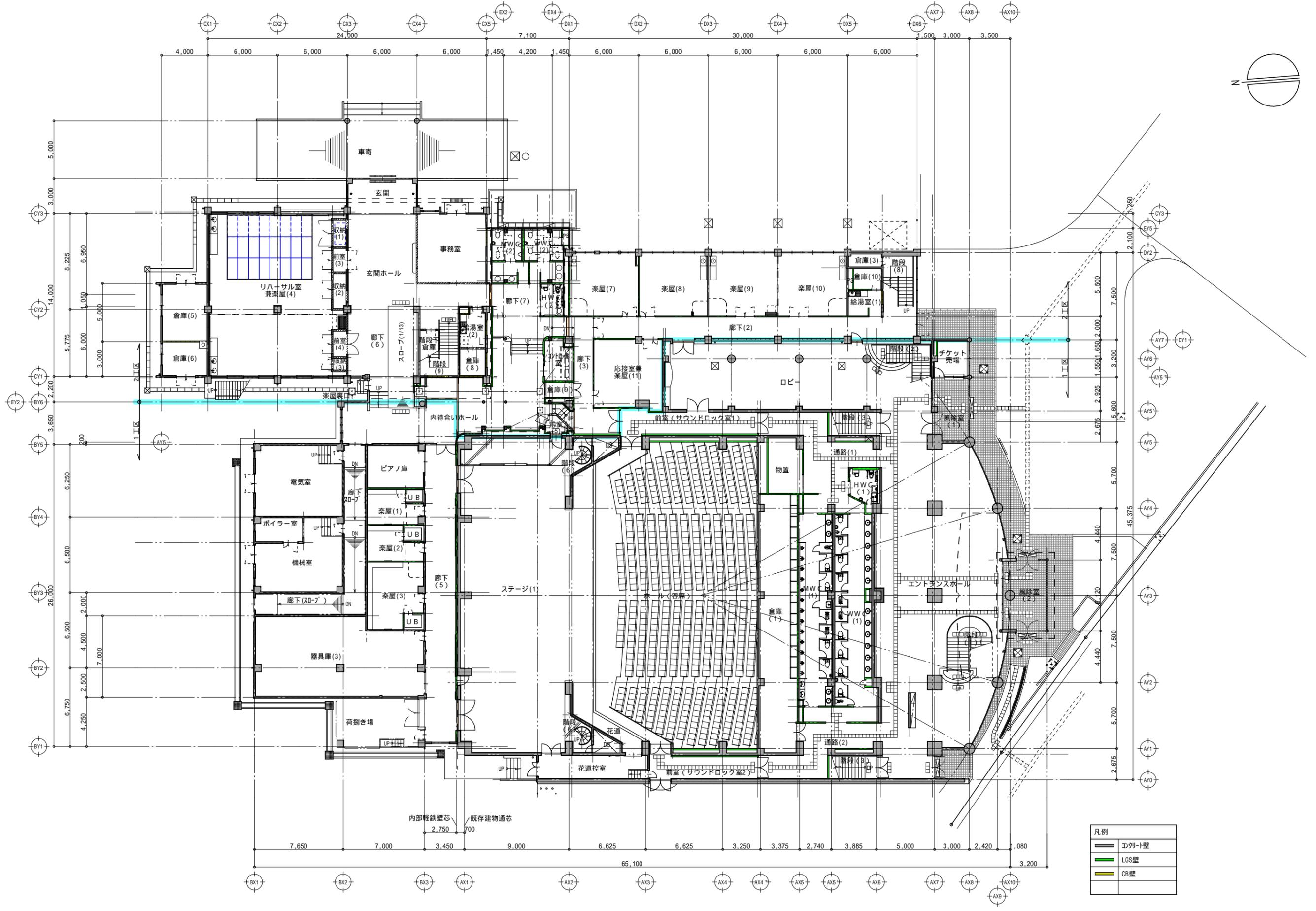
R 2 階屋根伏図



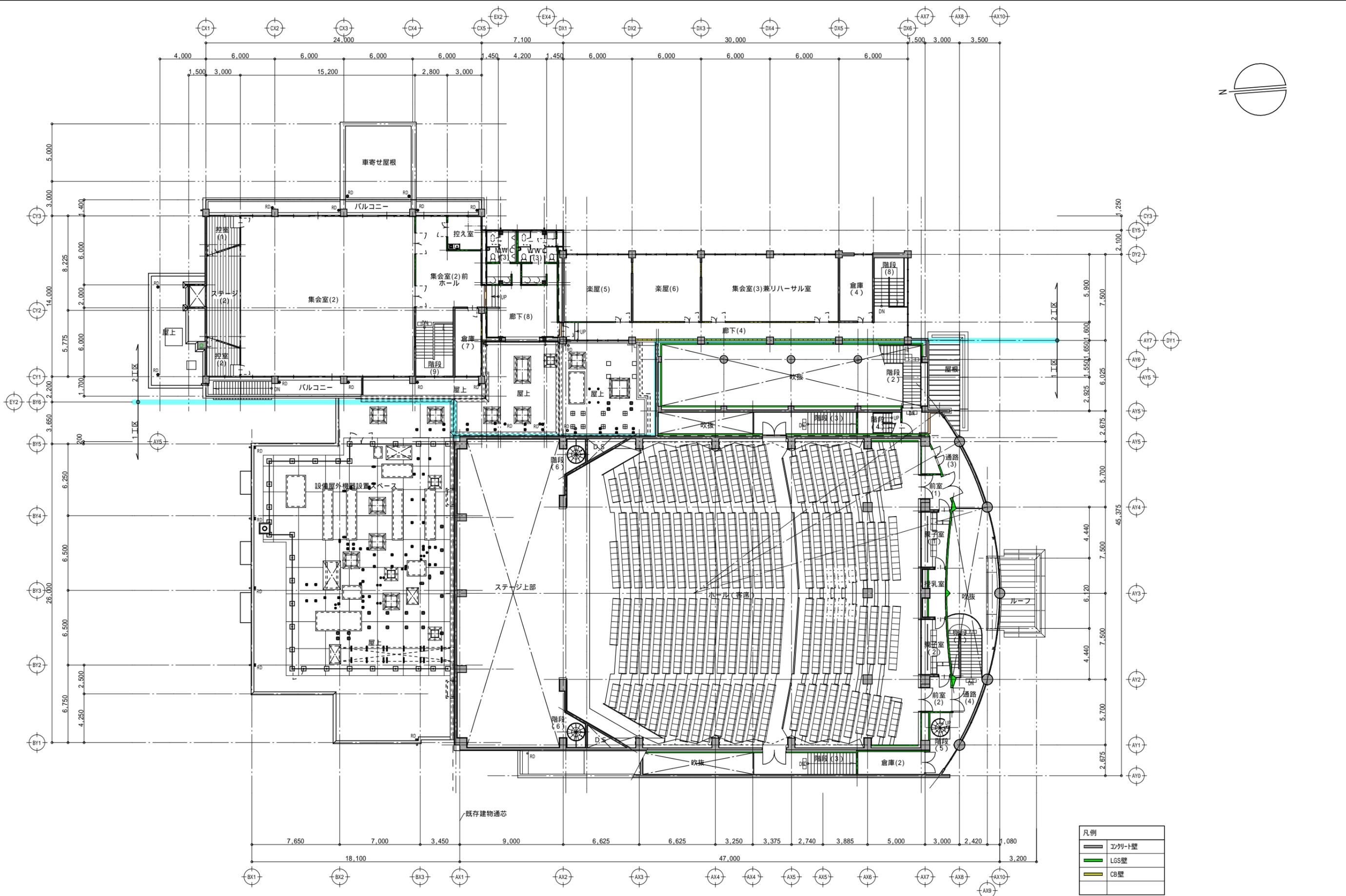
R 1 階屋根伏図

凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

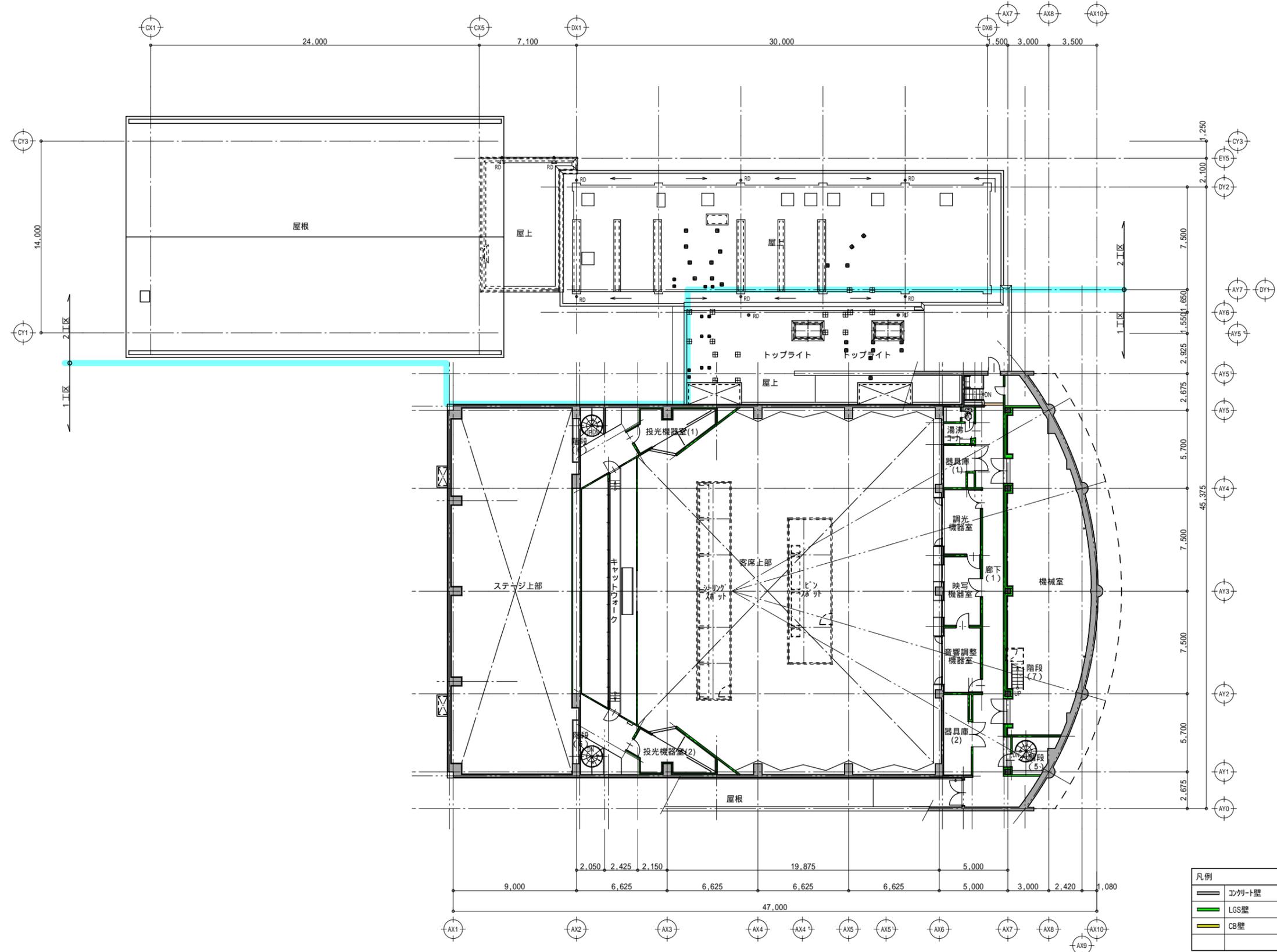
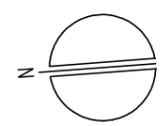
着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号	A-17
竣工	・		外村 遼	縮尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面名称	(共通)既存 R1, 2階全体平面図		
監理			照知事登録第1-3-164号						
施工									



着工 竣工 監理 施工	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 権 尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-18
			図面名称 (共通)改修後 1階全体平面図	設計図	

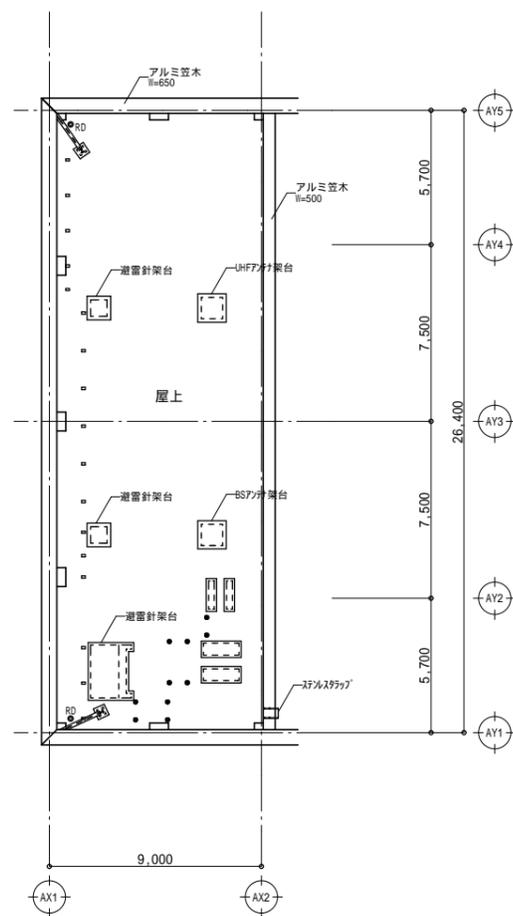
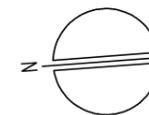


着工	・	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-19	
竣工	・			権 尺	設計図		
監理	・			1:150(A1) 1:300(A3)	図面名称	(共通)改修後 2階全体平面図	
施工	・						

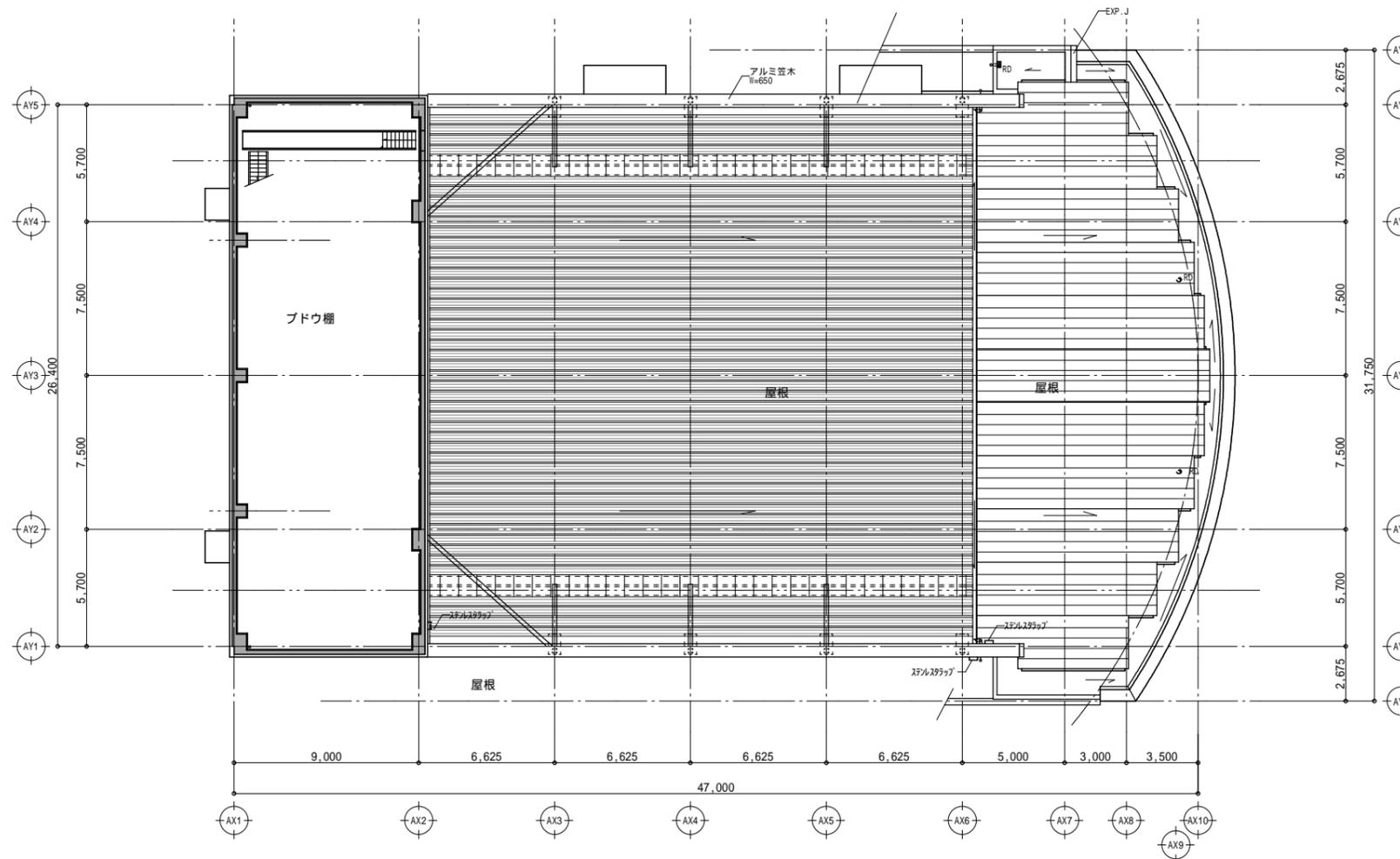


凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工		<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-20
竣工			鹿児島登録第1-3-164号	権 尺	図面名称 (共通)改修後 3階全体平面図	
監理				1:150(A1)		
施工				1:300(A3)		



R 2階屋根伏図



R 1階屋根伏図

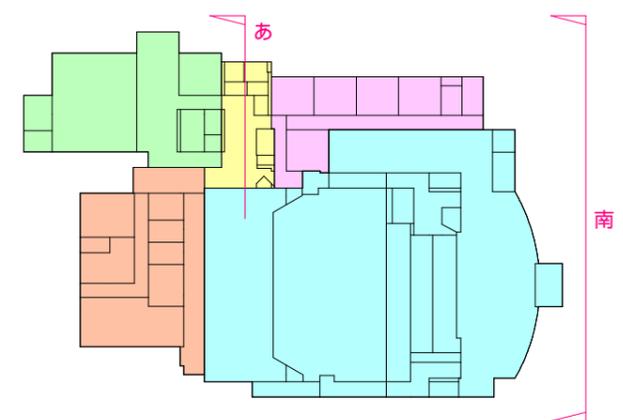
凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	設計年月日	R7・2・	<p>工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図</p> <p>図面名称 (共通)改修後 R1,2階全体平面図</p>	<p>図面番号 A-21</p>	
竣工	・		権尺	1:150(A1) 1:300(A3)			
監理	・		鹿児島市真砂本町21番7号	一級建築士登録 第160636号	外村 遼		
施工	・						

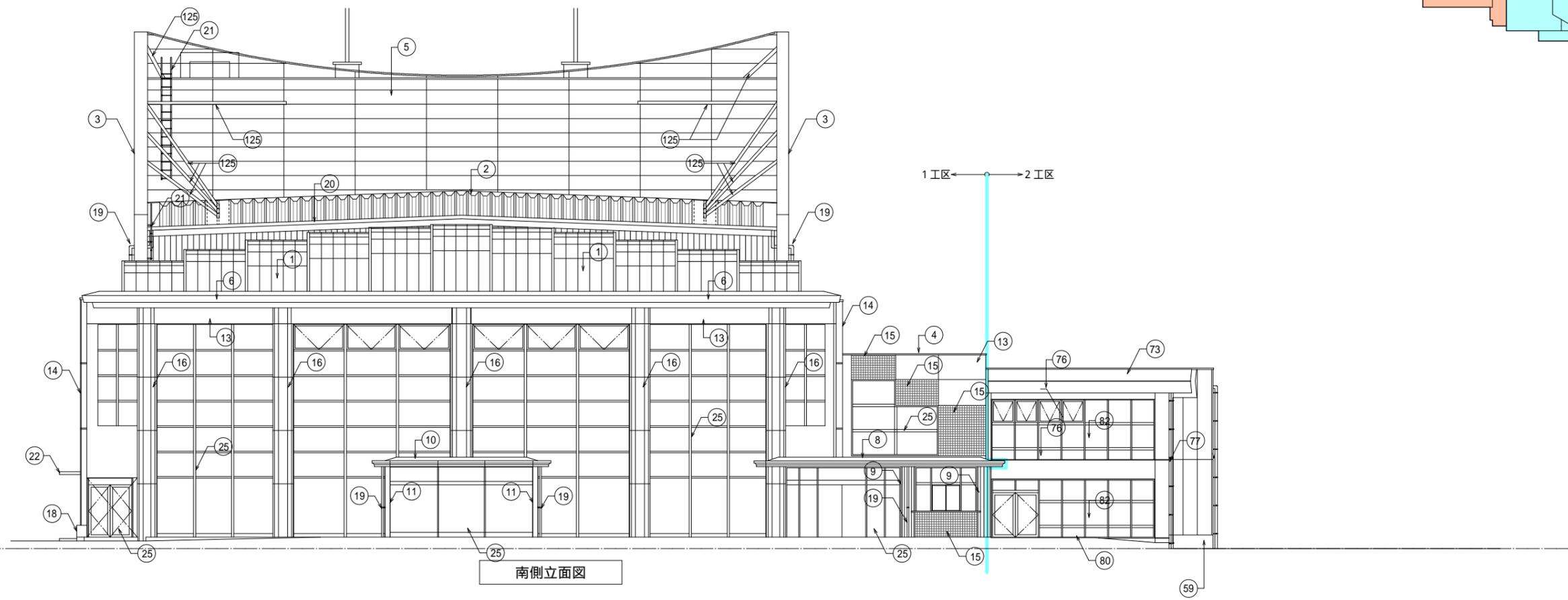
番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
①	ホール棟	屋根	屋根:ガルバリウム鋼板t=0.8 ゴムアスルーフィング張	高圧洗浄後(錆部分は錆落とし、ケレン処理)高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法 (鋼板ジョイント部は補強テープ張 1.0m/mを見込むこと)	錆部分: 500×500程度 2ヶ所
②	ホール棟	屋根	ハゼ締め折板 H=166 ガルバリウム鋼板t=0.6 結露防止材:発砲スチロールt=5.0張	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法 (鋼板ジョイント部は補強テープ張 1.0m/mを見込むこと)	
③	ホール棟	バラベツト笠木	アルミ笠木 W=650・H=500	既存のまま	
④	ホール棟	バラベツト笠木	アルミ笠木 W=200・H=325	既存のまま	
⑤	ホール棟	バラベツト内壁	中空押出成形板t=26mm(アスベスト含有) 金属粉入り塗料仕上げ 横張りジョイント目地シーリング	高圧洗浄後 エボキシシーラー処理の上、フッ素樹脂塗装 (付着試験(Xカットテープ法等)実施のこと) ジョイント目地シーリング打ち替え(PU-2)共	成形板不良箇所は、 監督職員と協議 の上取替とする。
⑥	ホール棟	軒先	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理 及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
⑦	ホール棟	軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理 及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
⑧	ホール棟	風除室(1)屋根	ガルバリウム鋼板t=0.8(※)W175樹脂系塗膜仕上 ゴムアスルーフィング張 スタイロフォームt=25	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法	
⑨	ホール棟	風除室(1) 軒裏・丸柱型	アルミパネルt=1.2mm(裏打ち材ヒル石吹付)	既存のまま	
⑩	ホール棟	風除室(2)屋根	ガルバリウム鋼板t=0.8(※)W175樹脂系塗膜仕上 ゴムアスルーフィング張 スタイロフォームt=25	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法	
⑪	ホール棟	風除室(2) 軒裏・丸柱型	アルミパネルt=1.2mm(裏打ち材ヒル石吹付)	既存のまま	
⑫	ホール棟	外壁	中空押出成形板t=26mm(アスベスト含有) 金属粉入り塗料仕上げ 横張りジョイント目地シーリング	高圧洗浄後 エボキシシーラー処理の上、フッ素樹脂塗装 (付着試験(Xカットテープ法等)実施のこと) ジョイント目地シーリング打ち替え(PU-2)共	
⑬	ホール棟	外壁	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
⑭	ホール棟	東側、西側 吹抜・階段部外壁	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
⑮	ホール棟	風除室(1)上部外壁	磁器質90角モザイクタイル貼	高圧洗浄 タイルアンカーピンニングエボキシ樹脂樹脂注入後 シラン系吸水防止材	
⑯	ホール棟	外部柱型	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
⑰	ホール棟	外部巾木	既存コンクリート部薄塗り仕上げ	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
⑱	ホール棟	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
⑲	ホール棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビカラーパイプ125 縦樋:スチール製φ75 掴み金物:ステンレス掴み金物 125・75 φ1,200	硬質塩ビカラーパイプ125 のみ、ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) ステンレス掴み金物 125・75 φ1,200 既存品使用	
⑳	ホール棟	軒 樋	軒樋包み:ステンレス鋼板t=1.5mm	軒樋包みは既存のまま 押えアングル:錆落とし、ケレンの上さび止め塗料塗	L-50×50 L=1,000 45ヶ所
㉑	ホール棟	タラップ	ST構造管タラップ 溶融亜鉛メッキ処理	既存のまま	
㉒	ホール棟	西側前室出入口庇: 天端・側面	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄	
㉓	ホール棟	西側前室出入口庇: 軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
㉔	ホール棟	西側花道控室 出入口庇:軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
㉕	ホール棟	外部金属製建具	スチール製・アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
㉖	ホール棟	外部金属製建具面台	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修	
㉗	ホール棟	北側空調ダクト屋根	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修	
㉘	楽屋棟	バラベツト笠木	コンクリート打放しの上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ	
㉙	楽屋棟	外壁	コンクリート打放しの上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ	
㉚	楽屋棟	荷捌き場 軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
㉛	楽屋棟	荷捌き場 梁型軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
㉜	楽屋棟	外部巾木	コンクリート打放し H=1,330	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
㉝	楽屋棟	北側出入口庇: 天端・側面	コンクリート打放し直押し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
㉞	楽屋棟	北側出入口庇:軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
㉟	楽屋棟	荷捌き場 階段手摺	ST構造管手摺 溶融亜鉛メッキ処理 笠木・支柱・下弦材・手すり子H=1,000	既存のまま	
㊱	楽屋棟	ストッパー	ショックレスストッパー L=3,000	既存撤去後カーブスツーパー新設(本木ゴム工業㈱ カーブスツーパー D型・中空型 CSD-0110黒+黄色タイプ入 同等)	W100×H100×L3,000 (肉厚18)2カ所
㊲	楽屋棟	外部金属製建具	スチール製・アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
㊳	楽屋棟	縦 樋	硬質塩ビカラーパイプ100 掴み金物:ステンレス製φ1,000内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製φ1,000内外 既存品使用	
㊴	楽屋棟	屋上フェンス	目隠しフェンスH=1,500	既存のまま	
㊵	共同利用 施設棟	屋根	防水モルタル下地t=40mm アスファルトシングル葺	既存仕上げ撤去後、下地全面モルタル塗後 環境対応型2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	

番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
㊶	共同利用 施設棟	屋根プレキャスト 飾り	プレキャストコンクリートAPエナメル	撤去後、モルタル補修の上 環境対応型2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	
㊷	共同利用 施設棟	屋根部煙突	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付	撤去後、ステンレス製カバー、2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	
㊸	共同利用 施設棟	軒先部	防水モルタル金鍍押しの上アクリル系リシン吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
㊹	共同利用 施設棟	軒裏部	フレキシブルボードt=4.0mmの上VP塗	既存フレキシブルボード(アスベスト含有)撤去後 FKt=10の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
㊺	共同利用 施設棟	バルコニー笠木	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄、下地調整の上特定化学物質無配合1成分形ウレタンX-2工法	
㊻	共同利用 施設棟	バルコニー軒先部	杉板枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
㊼	共同利用 施設棟	バルコニー軒裏部	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
㊽	共同利用 施設棟	バルコニー手摺部	笠木:アルミ角パイプ100×50 支柱:角パイプ100×50 横桟:アルミ角パイプ70×30	既存撤去後アルミ製手摺H=1,100 新設 (三協立山㈱)墜落防止手すり 60型NS 一段手すりタイプ 同等)	
㊾	共同利用 施設棟	外壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
㊿	共同利用 施設棟	外壁	ベニヤ型枠(リブ付)コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
1	共同利用 施設棟	車寄バラベツト笠木	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄 下地調整の上特定化学物質無配合1成分形ウレタンX-2工法	
2	共同利用 施設棟	車寄バラベツト見付	杉板枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
3	共同利用 施設棟	車寄梁型 軒裏	杉板枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
4	共同利用 施設棟	車寄 軒裏	フレキシブルボードt=4.0mmの上VP塗り	既存フレキシブルボード(アスベスト含有)撤去後 FKt=10の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
5	共同利用 施設棟	車寄 柱型	杉板枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
6	共同利用 施設棟	車寄 外壁	ポーダー磁器質タイル貼	既存撤去後下地補修調整後磁器質ポーダータイル張	
7	共同利用 施設棟	外部梁型・梁 軒裏	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
8	共同利用 施設棟	外部柱型	杉板枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
9	共同利用 施設棟	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
10	共同利用 施設棟	外部金属製建具面台	防水モルタル金鍍押し	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)	
11	共同利用 施設棟	外部金属製建具	アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
12	共同利用 施設棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビパイプ100 VU・75 VU 掴み金物:スチール製φ1,200内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製φ1,200内外に取替え	
12-1	共同利用 施設棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビパイプ100 VU・75 VU 掴み金物:スチール製φ1,200内外	撤去後硬質塩ビパイプ100 新設	
13	共同利用 施設棟	屋外階段ササラ壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
14	共同利用 施設棟	屋外階段踏面	プレコン280×1,580×50	高圧洗浄	
15	内待合 ホール	バラベツト笠木	アルミ笠木W=350	既存のまま	
16	内待合 ホール	バラベツト見付	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
17	内待合 ホール	外壁	ALC版t=100mm(挿入筋工法)の上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
18	内待合 ホール	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
19	内待合 ホール	外部金属製建具面台	アルミ製面台	既存のまま	
20	内待合 ホール	外部金属製建具	アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
21	内待合 ホール	縦 樋	縦樋:硬質塩ビカラーパイプ100・75 掴み金物:ステンレス製φ1,000内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製φ1,000内外 既存品使用	
22	管理棟	バラベツト内壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
23	管理棟	バラベツト見付・ 笠木	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
24	管理棟	バラベツト軒裏	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
25	管理棟	軒裏	コンクリート打放しの上外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
26	管理棟	外部梁型・梁 軒裏	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
27	管理棟	外部柱型	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
28	欠番				
29	管理棟	外壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
30	管理棟	外部巾木・階段	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	

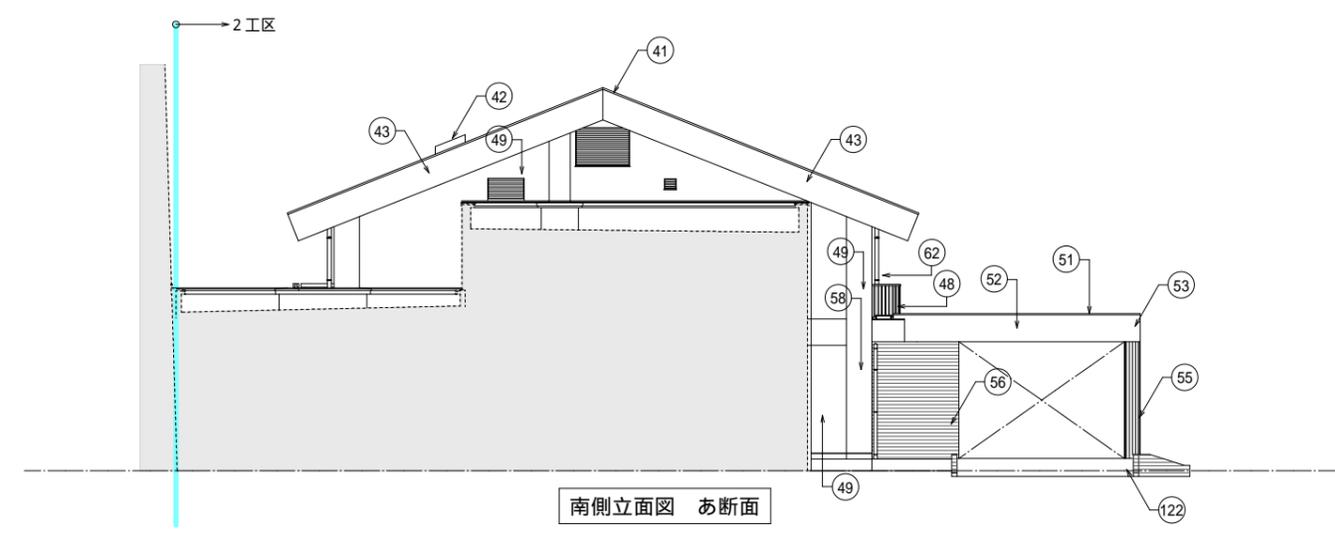




- : 改修ホール部分を示す。
- : 改修管理棟部分を示す。
- : 改修美屋棟部分を示す。
- : 改修共同利用施設部分を示す。
- : 改修内待合ホール部分を示す。

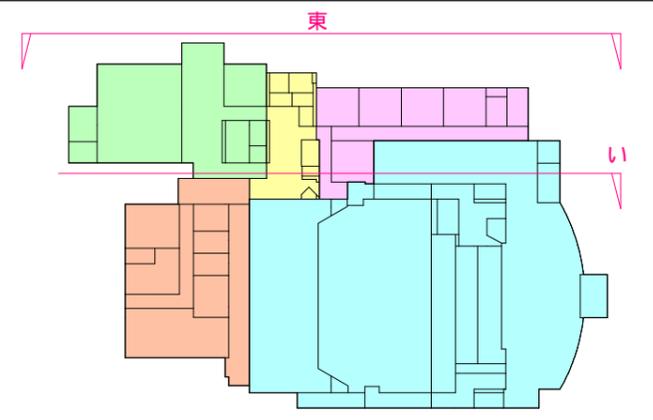


南側立面図

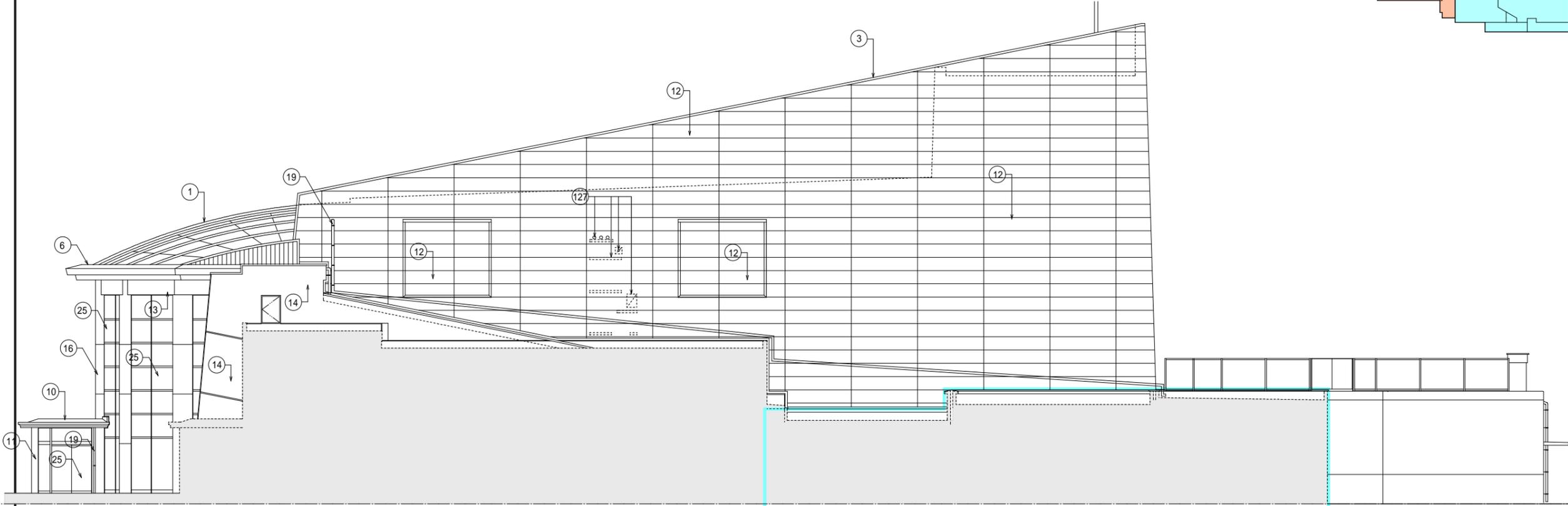


南側立面図 あ断面

着工 竣工 監理 施工	. . . . . . . . . . . .	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7 . 2 . 縮 尺 1 : 100(A1) 1 : 200(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図 図面名称 (共通)改修後 南側立面図	図面番号 A-24
----------------------	----------------------------------	---	--------------------------	--	---	--------------



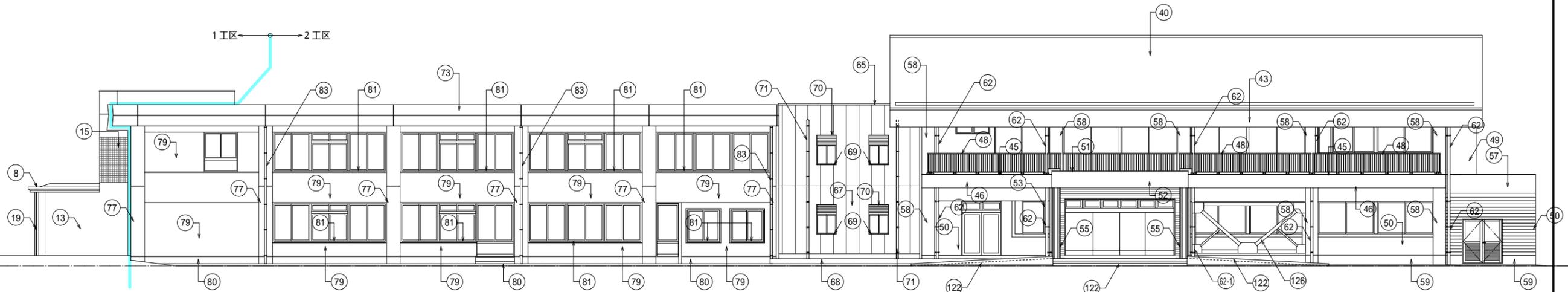
- : 改修ホール部分を示す。
- : 改修管理棟部分を示す。
- : 改修美屋棟部分を示す。
- : 改修共同利用施設部分を示す。
- : 改修内待合ホール部分を示す。



1 工区 ← → 2 工区

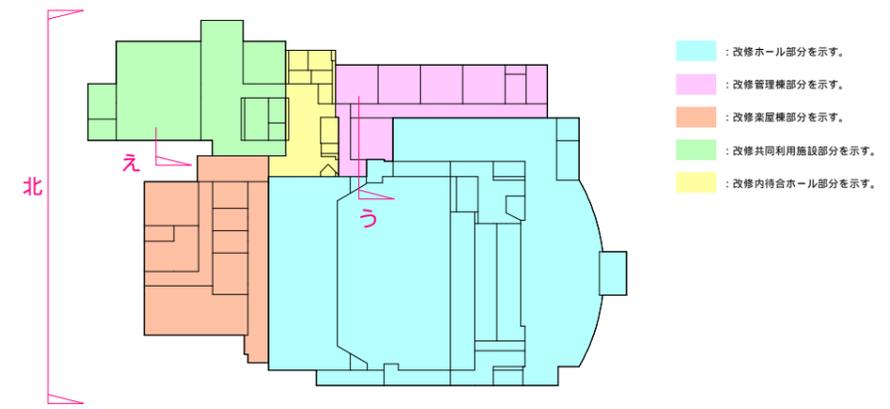
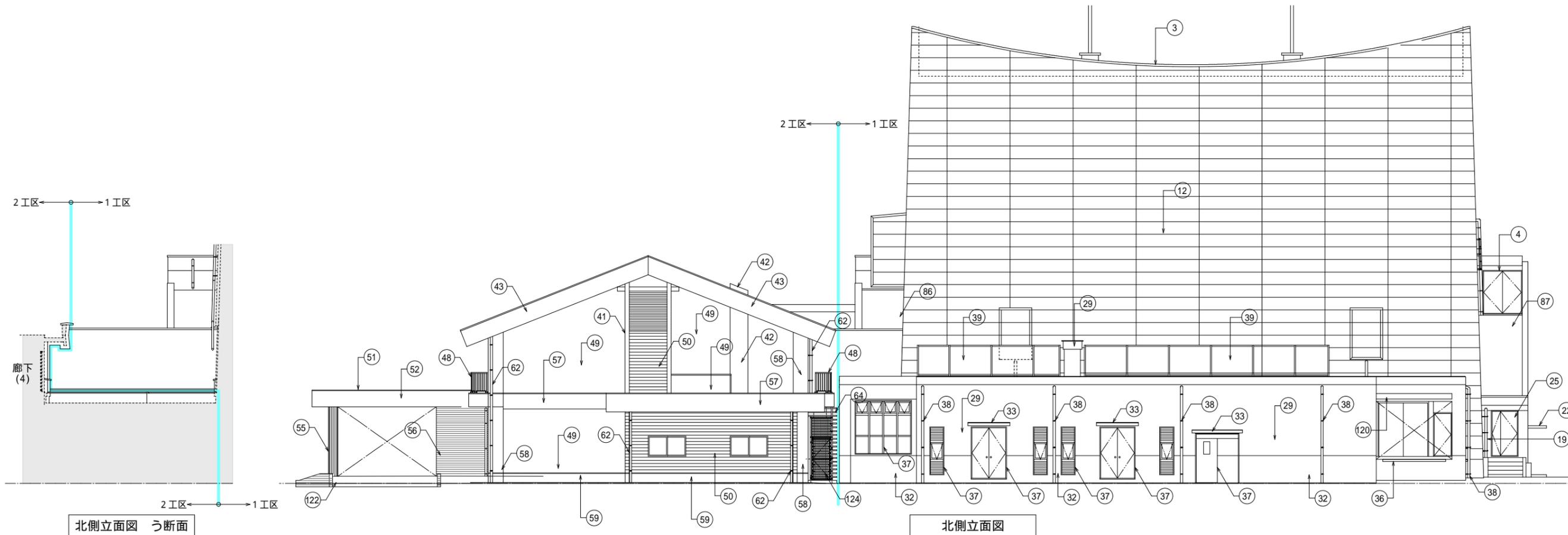
東側立面図 い断面

2 工区 ← → 1 工区



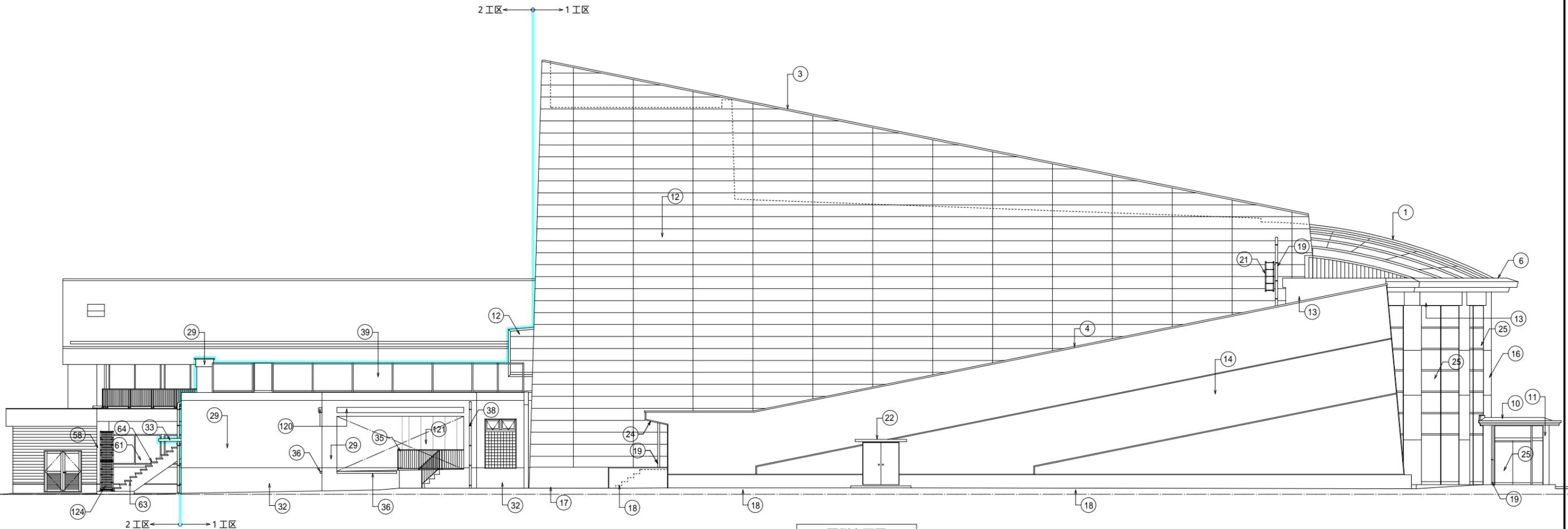
東側立面図

巻工 竣工 監理 施工	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-25
				図面名称 (共通)改修後 東側立面図	

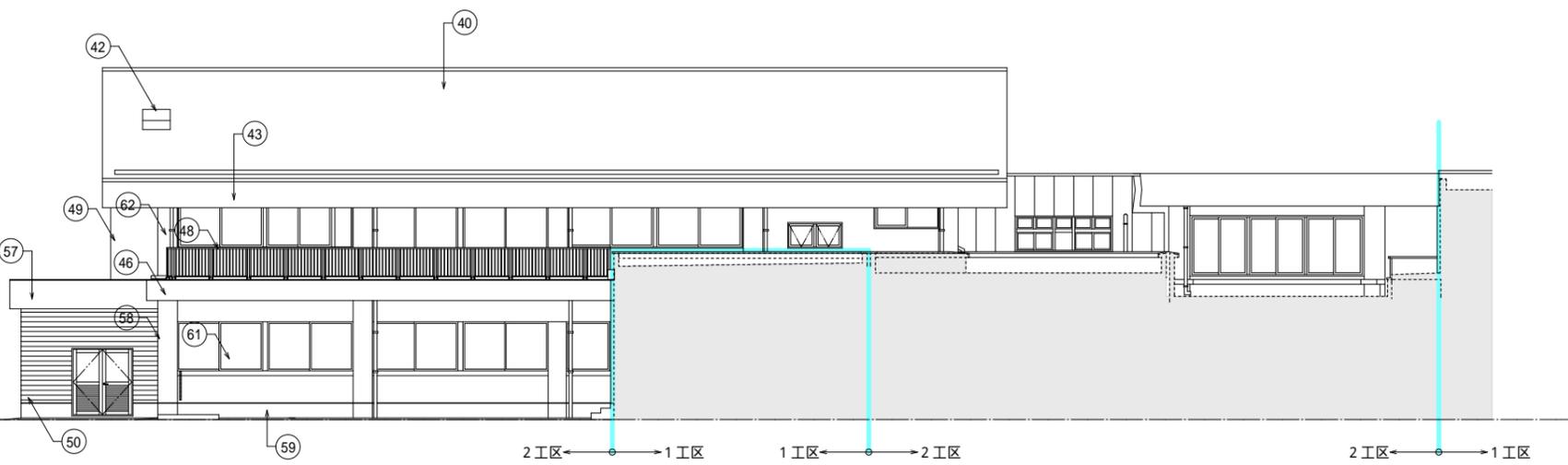


- : 改修ホール部分を示す。
- : 改修管理棟部分を示す。
- : 改修架層棟部分を示す。
- : 改修共同利用施設部分を示す。
- : 改修内待合ホール部分を示す。

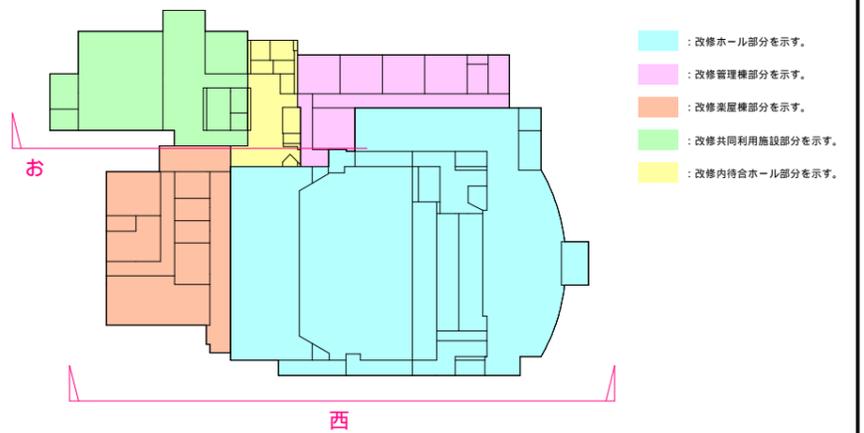
<table border="1"> <tr><td>着工</td><td>・</td></tr> <tr><td>竣工</td><td>・</td></tr> <tr><td>監理</td><td></td></tr> <tr><td>施工</td><td></td></tr> </table>	着工	・	竣工	・	監理		施工		<table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>									<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	<p>一級建築士登録 第160636号 外村 遼</p>	<p>設計年月日 R7・2・</p> <p>縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)</p>	<p>工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図</p> <p>図面名称 (共通)改修後 北側立面図</p>	<p>図面番号 A-26</p>
着工	・																					
竣工	・																					
監理																						
施工																						



西側立面図



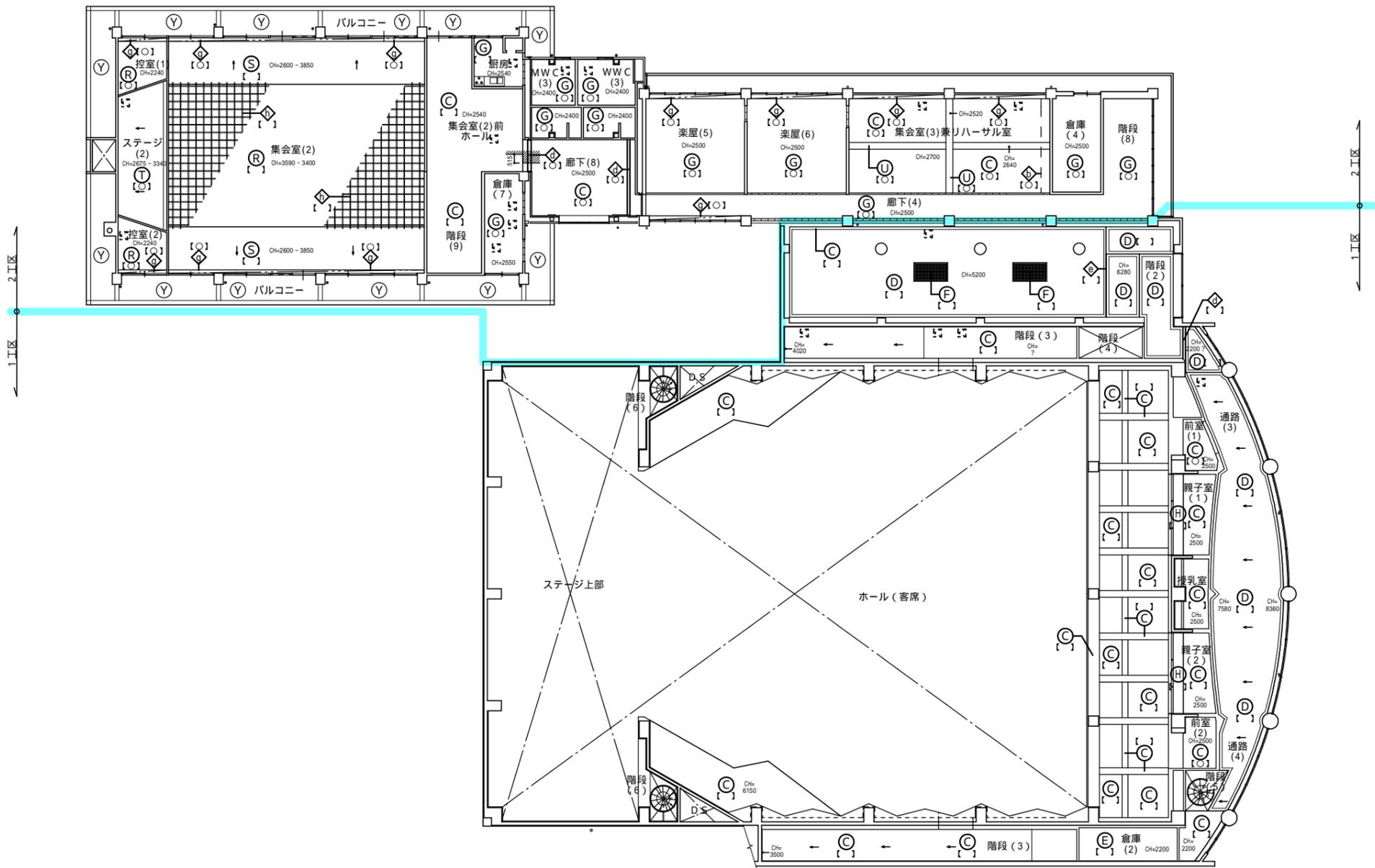
西側立面図 お断面



- : 改修ホール部分を示す。
- : 改修管理棟部分を示す。
- : 改修架屋棟部分を示す。
- : 改修共同利用施設部分を示す。
- : 改修内待合ホール部分を示す。

巻工 竣工 監理 施工	. . . . . . . . . . . .	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7 . 2 . 縮 尺 1 : 100(A1) 1 : 200(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図 (共通)改修後 西側立面図	図面番号 A-27
----------------------	----------------------------------	--	--------------------------	--	--------------------------------	----------------------	--------------





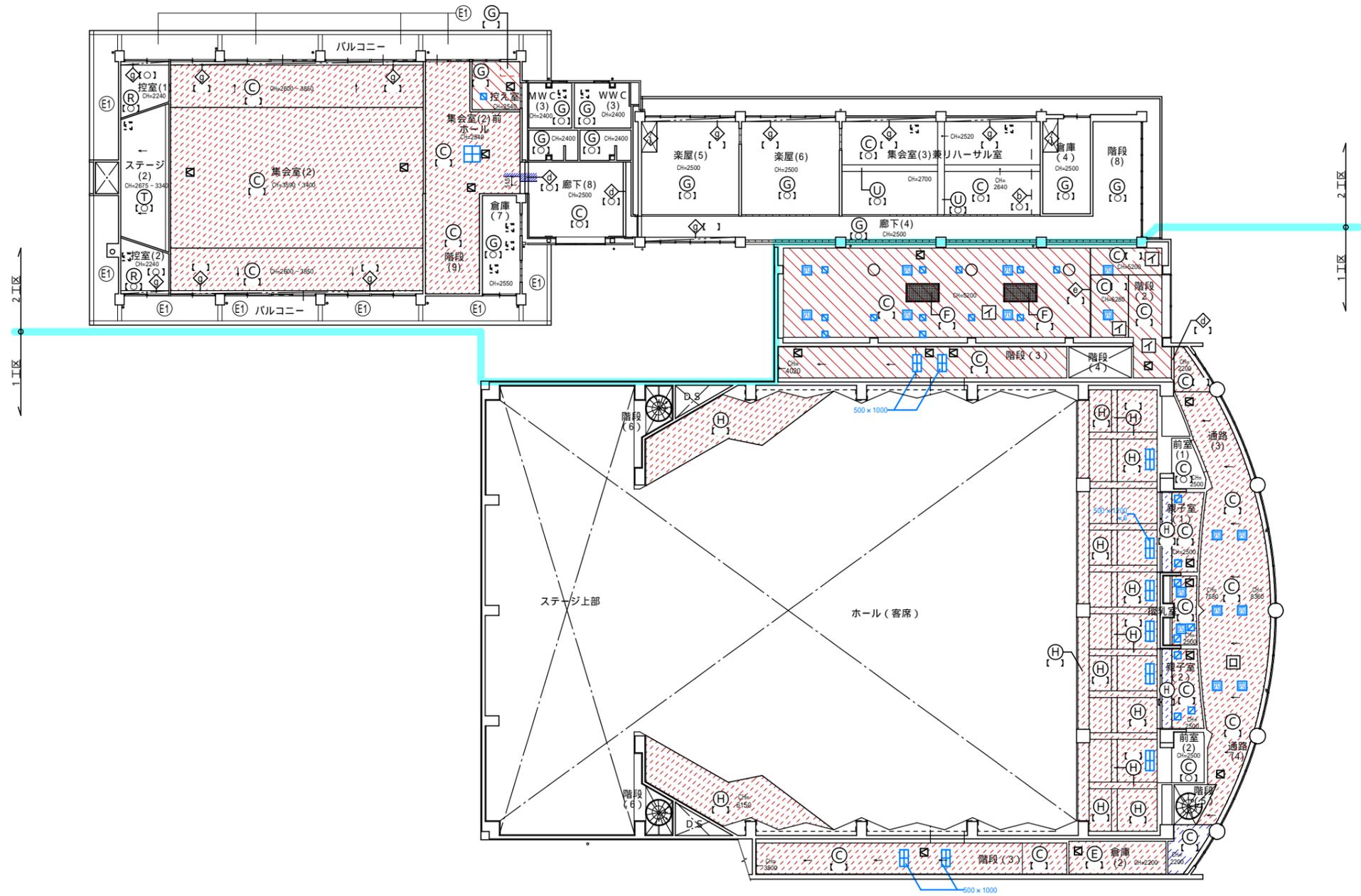
仕上凡例	
○A	アルミパネル t=1.2 (裏打材 ヒル石吹付け)
○B	アルミスバンドレル t=1.6
○C	ロックウール化粧吸音板 t=9.5
○D	ロックウール化粧吸音板 t=15.0 (キューブ) (リブライン)
○E	ケイカル板 t=6.0 目透し張 EP (910×910)
○F	アクリルルーバー
○G	化粧石膏ボード t=9.5
○H	PB t=9.5 EP (継目処理工法)
○I	PB t=9.5+9.5+9.5 EP (継目処理工法)
○J	PB t=12.5+9.5 EP (継目処理工法)
○K	耐火野地板現し
○L	既存屋根ALC, 鉄骨梁現し
○M	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付け
○N	コンクリート下地 EP
○O	グラスウール t=50 (32kg/m³) ガラスクロストンボ止め
○P	木毛板 t=25 打込み
○Q	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
○R	穿孔石膏ボード、ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
○S	無機質繊維成形板 t=9.0 リブ
○T	木小巾板 t=12.0 敷目張 (米ヒバ)
○U	PB t=9.5 EP
○V	コンクリート打放し補修
○W	ラワン合板 t=2.7
○X	化粧石膏ボード t=9.0 (木目柄)
○Y	フレキシブルボード t=4.0 VP (アスベスト含有)
○Z	
◆	ブラインドボックス (スチール)
◆	天吊りカーテンレール及びカーテン
◆	メタリカルルーバー
◆	EXP-J カバー
◆	防煙垂れ壁 H=500 (網入が 52 t=6.87 桟)
◆	天吊りハンガーパイプ
◆	カーテンボックス (木製)
◆	木格子：桟 45×90@455 (タテヨコ)
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	天井点検口 (既設)

<table border="1"> <tr><td>着工</td><td>●</td></tr> <tr><td>竣工</td><td>●</td></tr> <tr><td>監理</td><td></td></tr> <tr><td>施工</td><td></td></tr> </table>	着工	●	竣工	●	監理		施工		<table border="1"> <tr><td>凡例</td><td>○</td><td>既存のまま</td></tr> <tr><td></td><td>□</td><td>既存材に塗装</td></tr> <tr><td></td><td>◇</td><td>撤去(下地共)</td></tr> <tr><td></td><td>△</td><td>仕上材撤去(LGS下地は残す)</td></tr> <tr><td></td><td>▽</td><td>取外し調整の上、再取付</td></tr> <tr><td></td><td>◇</td><td>外壁改修図面参照</td></tr> </table>	凡例	○	既存のまま		□	既存材に塗装		◇	撤去(下地共)		△	仕上材撤去(LGS下地は残す)		▽	取外し調整の上、再取付		◇	外壁改修図面参照	<p><b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL (代) 099-257-1177</p>	<p>一級建築士登録 第160636号 外村 暹</p>	<p>設計年月日 R7・2・</p> <p>縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)</p>	<p>工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図</p> <p>図面名称 (共通)既存2階全体天井伏図</p>	<p>図面番号 A-29</p>
着工	●																															
竣工	●																															
監理																																
施工																																
凡例	○	既存のまま																														
	□	既存材に塗装																														
	◇	撤去(下地共)																														
	△	仕上材撤去(LGS下地は残す)																														
	▽	取外し調整の上、再取付																														
	◇	外壁改修図面参照																														



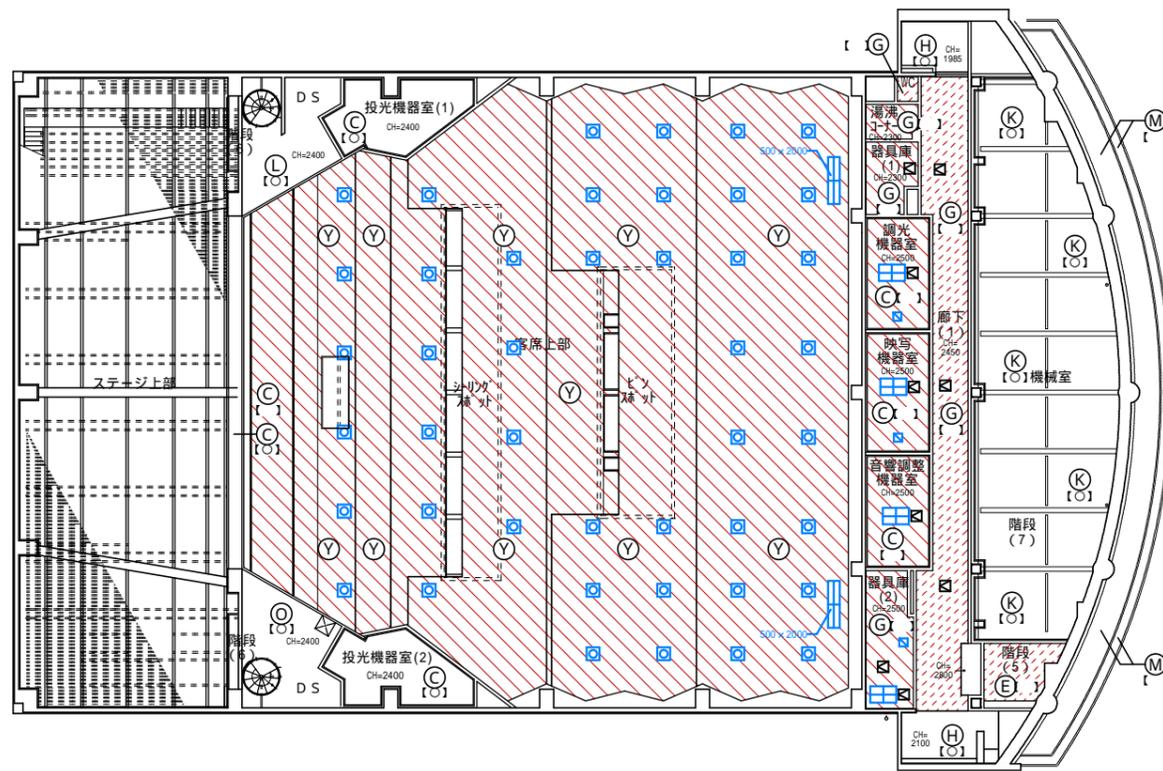


仕上凡例	
(A)	アルミパネル t=1.2 (裏打材 ヒル石吹付け)
(B)	アルミスパンドル t=1.6
(C)	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
(D)	ロックウール化粧吸音板 t=15.0 (キューブ) (リブライン)
(E)	ケイカル板 t=6.0 目透し張 EP (910×910)
(E')	ケイカル板 t=10.0 EP
(F)	アクリルルーバー
(G)	化粧石膏ボード t=9.5
(H)	P B t=9.5 EP (継目処理工法)
(I)	P B t=9.5+9.5+9.5 EP (継目処理工法)
(J)	P B t=12.5+9.5 EP (継目処理工法)
(K)	耐火野地板現し
(L)	既存屋根 A L C, 鉄骨梁現し
(M)	化粧型枠コンクリート打放し F C C 吹付け
(N)	コンクリート下地 EP
(O)	グラスウール t=50 (32kg / m <sup>3</sup> ) ガラスクロストンボ止め
(P)	木毛板 t=25 打込み
(Q)	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
(R)	穿孔石膏ボード, ボーダー平石 GB-Rt=9.0の上EP
(S)	無機質繊維成形板 t=9.0 リブ
(T)	木小巾板 t=12.0 敷目張 (米ヒバ)
(U)	P B t=9.5 EP
(V)	コンクリート打放し補修
(W)	ラワン合板 t=2.7
(X)	化粧石膏ボード t=9.0 (木目柄)
(Y)	準構造化天井下地 P B t=12.5+12.5 EP (継目処理工法)
(Z)	GB-Rt=12.5+木目調シート(不燃)貼
◇	ブラインドボックス (スチール)
◇	天吊りカーテンレール及びカーテン
◇	メタリカルーパー
◇	EXP-J カバー
◇	防煙垂れ壁 H=500 (綱入ガサ t=6.87 桟)
◇	天吊りハンガーパイプ
◇	カーテンボックス (木製)
◇	木格子: 梶 45×90@455 (タテヨコ)
◇	ピクチャーレール
◇	一時撤去再取付
◇	防煙垂れ壁 H=500 垂壁 (不燃シートテンションタイプ)
□	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
□	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
○	天井点検口 (既設のまま)
□	天井点検口 450角 (新設)
⊕	設備用開口補強 950角 (新設)
⊕	設備用開口補強 × (910'は図中) (新設)
⊕	設備用開口補強 400角 (新設)
⊕	設備用開口補強 350角 (新設)
⊕	設備用開口補強 500角 (新設)
⊕	設備用開口補強 450角・600角 (新設)



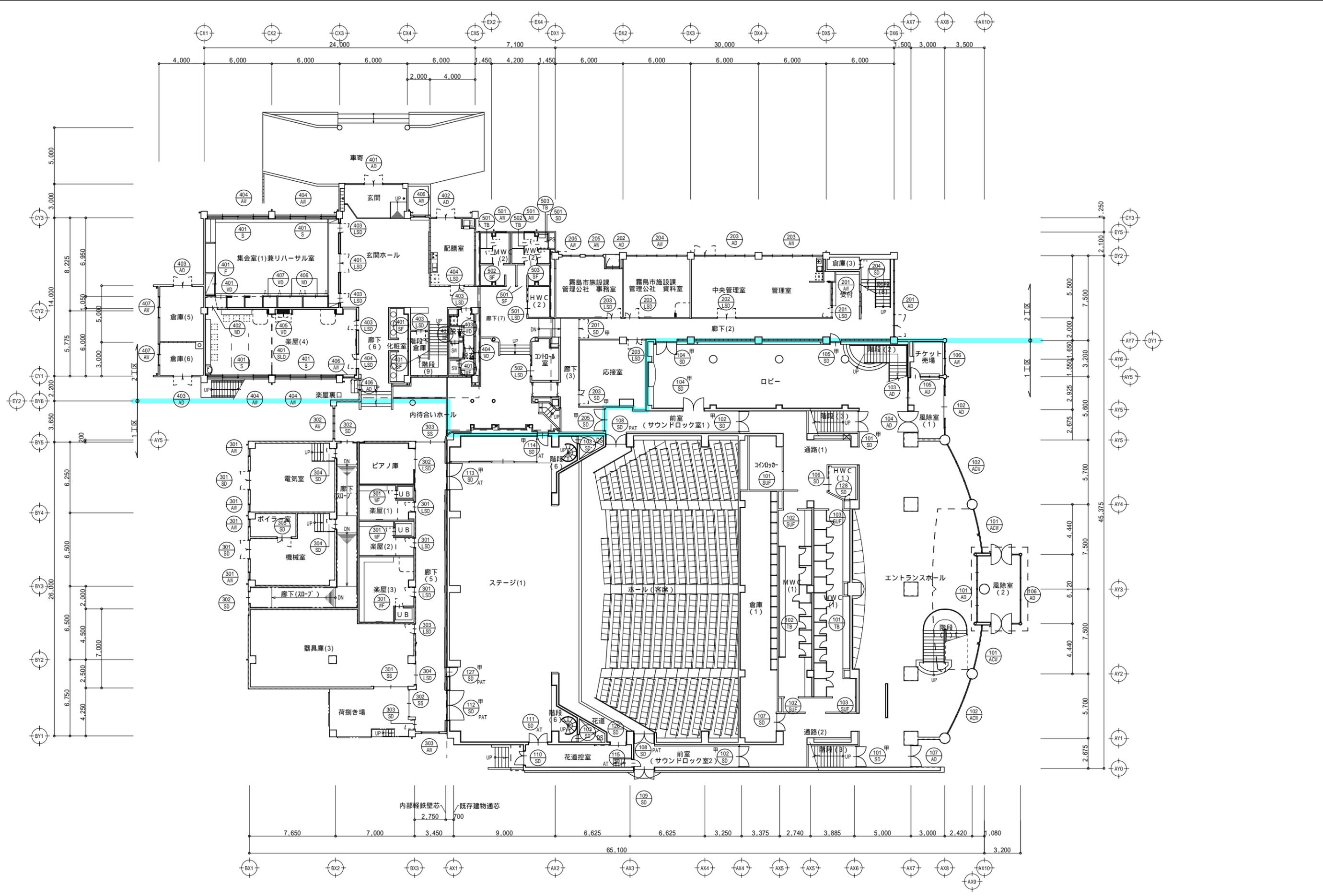
仕上凡例	
(A)	アルミパネル t=1.2 (裏打材 ヒル石吹付け)
(B)	アルミスパンデル t=1.6
(C)	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
(D)	ロックウール化粧吸音板 t=15.0 (キューブ) (リブライン)
(E)	ケイカル板 t=6.0 目透し張 EP (910×910)
(E1)	ケイカル板 t=10.0 EP
(F)	アクリルルーバー
(G)	化粧石膏ボード t=9.5
(H)	PB t=9.5 EP (継目処理工法)
(I)	PB t=9.5+9.5+9.5 EP (継目処理工法)
(J)	PB t=12.5+9.5 EP (継目処理工法)
(K)	耐火野地板現し
(L)	既存屋根ALC, 鉄骨梁現し
(M)	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付け
(N)	コンクリート下地 EP
(O)	グラスウール t=50 (32kg/m <sup>3</sup> ) ガラスクロストンボ止め
(P)	木毛板 t=25 打込み
(Q)	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
(R)	穿孔石膏ボード, ポーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
(S)	無機質繊維成形板 t=9.0 リブ
(T)	木小巾板 t=12.0 敷目張 (米ヒバ)
(U)	PB t=9.5 EP
(V)	コンクリート打放し補修
(W)	ラワン合板 t=2.7
(X)	化粧石膏ボード t=9.0 (木目柄)
(Y)	準構造化天井下地 PB t=12.5+12.5 EP (継目処理工法)
(Z)	GB-Rt=12.5+木目調シート(不燃)貼
◇	ブラインドボックス (スチール)
◇	天吊りカーテンレール及びカーテン
◇	メタリカルルーバー
◇	EXP-J カバー
◇	防煙垂れ壁H=500 (網入が 5t = 6.87mm 枠)
◇	天吊りハンガーパイプ
◇	カーテンボックス (木製)
◇	木格子: 梅45×90@455 (タテヨコ)
◇	ピクチャーレール
◇	一時撤去再取付け
◇	防煙垂れ壁H=500垂壁 (不燃シートテンションタイプ)
⊠	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
⊠	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
⊠	天井点検口 (既設のまま)
⊠	天井点検口 450角 (新設)
⊠	設備用開口補強 950角 (新設)
⊠	設備用開口補強 × (910'は図中) (新設)
⊠	設備用開口補強 400角 (新設)
⊠	設備用開口補強 350角 (新設)
⊠	設備用開口補強 500角 (新設)
⊠	設備用開口補強 450角・600角 (新設)

凡例 (○)・・・既存のまま ( )・・・既存材に塗装 [ ]・・・仕上材貼替 (LGS下地新設) [ ]・・・仕上材貼替 (LGS下地は既存利用) [ ]・・・取外し調整の上、再取付 [ ]・・・外壁改修図面参照	[ ]・・・新設	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (共通)改修後2階全体天井伏図	図面番号 A-32
---	----------	---	--------------------------	--	--------------------------------	-------------------------	--------------

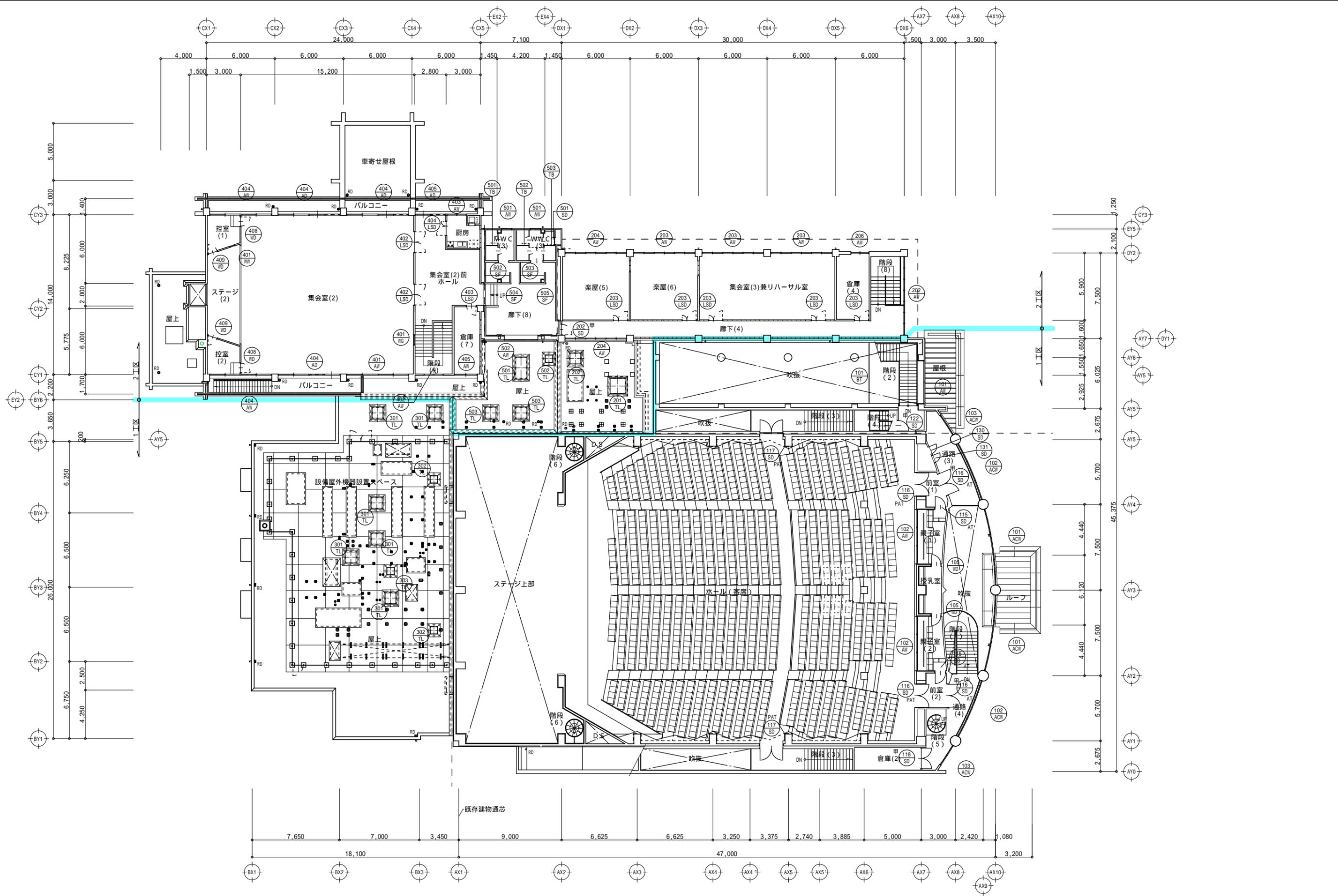


仕上凡例	
(A)	アルミパネル t=1.2 (裏打材 ヒル石吹付け)
(B)	アルミスバンドレル t=1.6
(C)	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
(D)	ロックウール化粧吸音板 t=15.0 (キューブ) (リブライン)
(E)	ケイカル板 t=6.0 目透し張 EP (910×910)
(E1)	ケイカル板 t=10.0 EP
(F)	アクリルルーバー
(G)	化粧石膏ボード t=9.5
(H)	PB t=9.5 EP (継目処理工法)
(I)	PB t=9.5+9.5+9.5 EP (継目処理工法)
(J)	PB t=12.5+9.5 EP (継目処理工法)
(K)	耐火野地板現し
(L)	既存屋根 ALC, 鉄骨梁現し
(M)	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付け
(N)	コンクリート下地 EP
(O)	グラスウール t=50 (32kg/m³) ガラスクロストンボ止め
(P)	木毛板 t=25 打込み
(Q)	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
(R)	穿孔石膏ボード, ボーダー平石 GB-Rt=9.0 の上 EP
(S)	無機質繊維成形板 t=9.0 リブ
(T)	木小巾板 t=12.0 敷目張 (米ヒバ)
(U)	PB t=9.5 EP
(V)	コンクリート打放し補修
(W)	ラワン合板 t=2.7
(X)	化粧石膏ボード t=9.0 (木目柄)
(Y)	準構造化天井用下地 PB t=12.5+12.5 EP (継目処理工法)
(Z)	GB-Rt=12.5+木目調シート(不燃)貼
◇	ブラインドボックス (スチール)
◇	天吊りカーテンレール及びカーテン
◇	メタリカルルーバー
◇	EXP-J カバー
◇	防煙垂れ壁 H=500 (網入が 5t t=6.87 縦枠)
◇	天吊りハンガーパイプ
◇	カーテンボックス (木製)
◇	木格子: 梅 45×90@455 (タテヨコ)
◇	ピクチャーレール
◇	一時撤去再取付け
◇	防煙垂れ壁 H=500 垂壁 (不燃シートテンションタイプ)
⊠	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
⊠	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
⊠	天井点検口 (既設のまま)
⊠	天井点検口 450角 (新設)
⊠	設備用開口補強 950角 (新設)
⊠	設備用開口補強 × (910'は図中) (新設)
⊠	設備用開口補強 400角 (新設)
⊠	設備用開口補強 350角 (新設)
⊠	設備用開口補強 500角 (新設)
⊠	設備用開口補強 450角・600角 (新設)

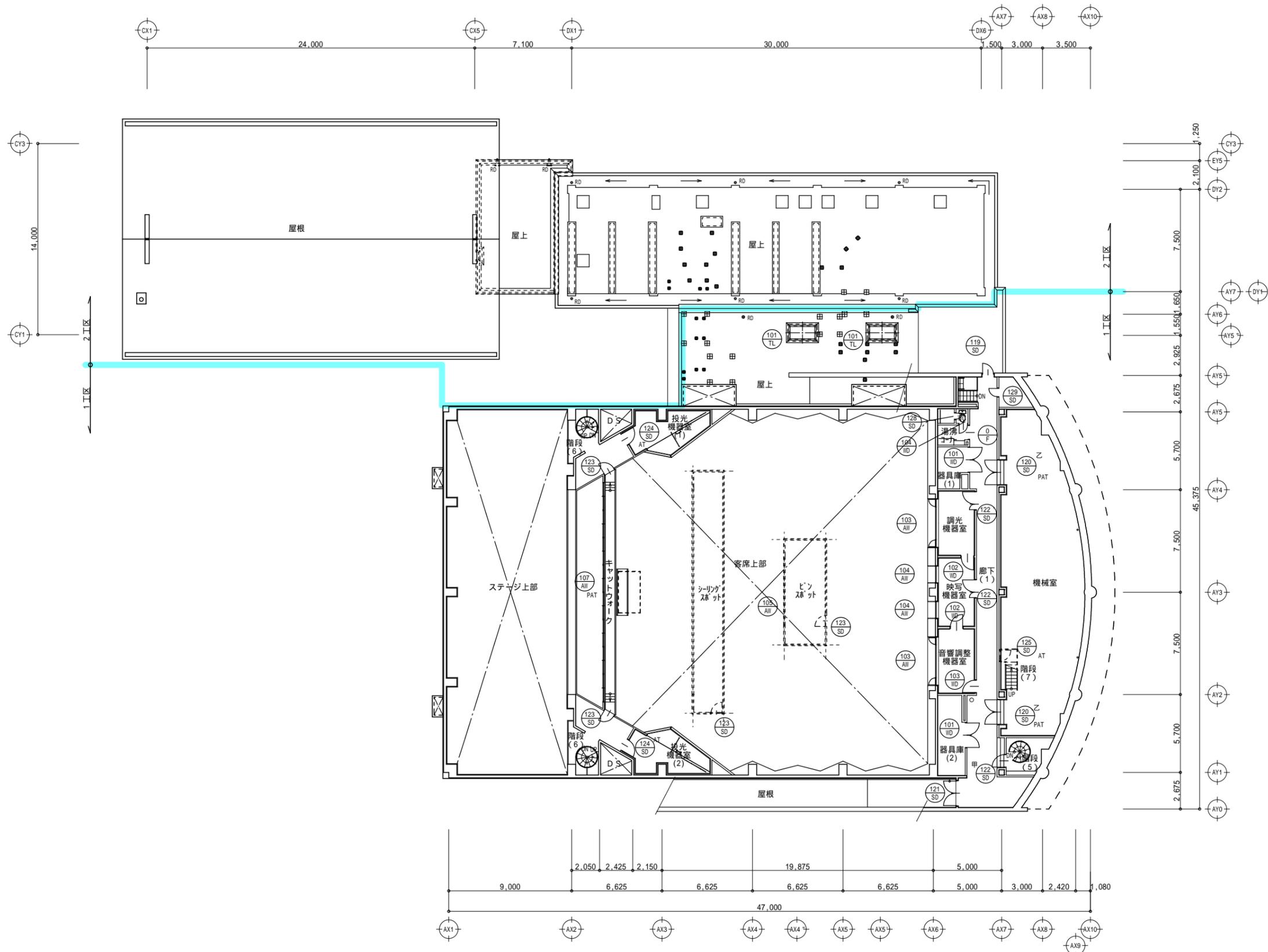
<table border="1"> <tr><td>凡例</td><td>○・・・既存のまま</td><td>□・・・新設</td></tr> <tr><td></td><td>■・・・既存材に塗装</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>▨・・・仕上材貼替 (LGS下地新設)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>▨・・・仕上材貼替 (LGS下地は既存利用)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>▨・・・取外し調整の上、再取付</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>▨・・・外壁改修図面参照</td><td></td></tr> </table>	凡例	○・・・既存のまま	□・・・新設		■・・・既存材に塗装			▨・・・仕上材貼替 (LGS下地新設)			▨・・・仕上材貼替 (LGS下地は既存利用)			▨・・・取外し調整の上、再取付			▨・・・外壁改修図面参照		<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-33
凡例	○・・・既存のまま	□・・・新設																					
	■・・・既存材に塗装																						
	▨・・・仕上材貼替 (LGS下地新設)																						
	▨・・・仕上材貼替 (LGS下地は既存利用)																						
	▨・・・取外し調整の上、再取付																						
	▨・・・外壁改修図面参照																						
			図面名称 (共通)改修後3階天井伏図																				



着工 竣工 監理 施工	内部軽鉄壁芯 2,750 既存建物通芯 700	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 照知事登録第1-3-164号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮 尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (共通)既存1階建具全体平面図	図面番号 A-34
----------------------	----------------------------------	--	--------------------------	---	--------------------------------	-------------------------	--------------



着工 竣工 監理 施工	〃 〃 〃 〃	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (共通)既存2階建具全体平面図	図面番号 A-35
----------------------	------------------	---	-------------------------	--	--------------------------------	-------------------------	--------------



着工	・	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-36	
竣工	・			縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	設計図		
監理	・				図面名称 (共通)既存3階建具全体平面図		
施工	・						

符号	【○】 ACW-101	エントランスホール 2ヶ所	【○】 ACW-102	エントランスホール 2ヶ所	【○】 ACW-103	2階 通路(4) 1ヶ所	【○】 ACW-103'	2階 通路(3) 1ヶ所	符号	【○】 AD-101	1階 風除室(2) 1ヶ所
※									※		
形式	排煙窓付ハメ殺し戸		ハメ殺し戸		ハメ殺し戸		ハメ殺し戸		形式	ランマ嵌め殺し窓付両引込み自動ドア	
材料 仕上	アルミ シルバー (方立カバー フッ素焼付)		アルミ シルバー (方立カバー フッ素焼付)		アルミ シルバー (方立カバー フッ素焼付)		アルミ シルバー (方立カバー フッ素焼付)		材料 仕上	アルミ シルバー	
硝子	熱線反射ガラス(ア)10 最下段:熱線反射ガラス(ア)12		熱線反射ガラス(ア)10 最下段:熱線反射ガラス(ア)12		熱線反射ガラス(ア)10		熱線反射ガラス(ア)10		硝子	テンブライト(ア)12mm	
備考	ワンタッチオペレーター (壁埋込み)								備考		
符号	【○】 AD-103	1階 風除室(1) 1ヶ所	【】 AD-104	1階 風除室(1) 1ヶ所	【○】 AD-105	1階 チケット売場 1ヶ所	【】 AD-106	1階 風除室(2) 1ヶ所	【○】 AD-107	エントランスホール 1ヶ所	
※											
形式	ランマ嵌め殺し窓付片引込み自動ドア 100		ランマ嵌め殺し窓付両開きドア 70		引違い窓付片開きドア 70		ランマハメ殺し窓付両開き付ハメ殺し戸 100		ランマアルミパネル付両開き戸 70		
材料 仕上	アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		
硝子	テンブライト(ア)12mm		強化ガラス(ア)8mm		透明ガラス(ア)6.0mm		強化ガラス(ア)8mm		熱線反射ガラス(ア)10		
備考											
符号	【○】 AW-101	2階 階段(2) 1ヶ所	【○】 AW-102	2階 親子室 2ヶ所	【○】 AW-103	3階 調光機器室 音響調整機器室 2ヶ所	【○】 AW-104	3階 映写機器室 2ヶ所	【】 AW-105	ピンスポット 1ヶ所	
※											
形式	嵌め殺し連窓 70		嵌め殺し3連窓 70		片開き窓付嵌め殺し窓 70		嵌め殺し窓 70		片開き窓付嵌め殺し窓 70		
材料 仕上	アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		
硝子	熱線反射ガラス(ア)10		強化ガラス(ア)4.0mm		強化ガラス(ア)4.0mm		強化ガラス(ア)4.0mm		強化ガラス(ア)4.0mm		
備考											
符号	【○】 AW-106	1階 チケット売場 1ヶ所									
※											
形式	嵌め殺し窓付引違い窓 70										
材料 仕上	アルミ シルバー										
硝子	熱線反射ガラス(ア)10										
備考											

巻工	・	【○】・・・既存のまま		<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 進	設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図	図面番号 A-37
竣工	・	【】・・・既存を美装(塗装又は貼替等)			鹿児島市登録第1-3-164号	縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	図面名称 (共通)既存建具表(ホール棟)	
監理	・	【】・・・撤去(枠共)						
凡例		【】・・・撤去(枠以外又は一部)						
施工	・	【】・・・既存を補修、又は部品交換						

符号	【】 A11-107	キャットウォーク 1ヶ所	【】 SD-101	1階 階段(3) 2ヶ所	【】 SD-102	1階 サウンドロック室 2ヶ所	【○】 SD-103	1階 D S 2ヶ所	【】 SD-104(104')	1階 ロビー 2ヶ所	【】 SD-105	1階 ロビー 1ヶ所						
図面																		
形式	8連引違い窓(遮音サッシ)		両開き戸		両開き戸		片開き戸		両開き戸		片開き戸							
材料仕上	70		両開き戸		両開き戸		片開き戸		両開き戸		片開き戸							
硝子	強化ガラス(ア)4.0mm		両開き戸		両開き戸		片開き戸		両開き戸		片開き戸							
備考	PAT(遮音3.0dB)		両開き戸		両開き戸		片開き戸		両開き戸		片開き戸							
符号	【】 SD-106	1階 HWC(1) 1ヶ所	【】 SD-107	1階 倉庫(1) 1ヶ所	【】 SD-108	1階 ホール(客席) 2ヶ所	【】 SD-109	1階 サウンドロック室 1ヶ所	【】 SD-110	1階 花道控室 1ヶ所	【】 SD-111	1階 花道控室 1ヶ所	【○】 SD-112	1階 ステージ(1) 1ヶ所	【】 SD-113	1階 ステージ(1) 1ヶ所	【】 SD-114	1階 ステージ(1) 1ヶ所
図面																		
形式	片引き自動ドア		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		片開き戸	
材料仕上	230		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		片開き戸	
硝子	片引き自動ドア		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		片開き戸	
備考	PAT		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		片開き戸	
符号	【】 SD-115	2階 前室(1)(2) 2ヶ所	【】 SD-116	2階 ホール(客席) 2ヶ所	【】 SD-116'	2階 前室(1)(2) 2ヶ所	【】 SD-117	2階 ホール(客席) 2ヶ所	【】 SD-118	2階 倉庫(2) 1ヶ所	【○】 SD-119	3階 廊下(1) 1ヶ所	【○】 SD-120	3階 機械室 1ヶ所	【○】 SD-120'	3階 機械室 1ヶ所	【】 SD-121	3階 廊下(1) 1ヶ所
図面																		
形式	片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸	
材料仕上	100		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸	
硝子	片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸	
備考	AT		両開き戸		両開き戸		両開き戸		親子開き戸		片開き戸		両開き戸		両開き戸		両開き戸	
符号	【】 SD-122	2階 階段(4) 2ヶ所	【】 SD-122'	3階 調光機器室 2ヶ所	【】 SD-123	ピンスポット シーリングスポット 2ヶ所	【○】 SD-123'	キャットウォーク 2ヶ所	【○】 SD-124	3階 投光機器室 2ヶ所	【○】 SD-125	3階 機械室 1ヶ所	【】 SD-126	1階 花道控室 1ヶ所	【】 SD-127	1階 ステージ(1) 1ヶ所	【】 SD-128	1階 HWC(1) 2ヶ所
図面																		
形式	片開き戸		親子両開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片開き戸		片開き戸	
材料仕上	170		親子両開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片開き戸		片開き戸	
硝子	片開き戸		親子両開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片開き戸		片開き戸	
備考	AT		親子両開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		片引き戸		片開き戸		片開き戸	

凡例 【○】・・・既存のまま 【】・・・既存を美装(塗装又は貼替等) [ ]・・・撤去(枠共) [ ]・・・撤去(枠以外又は一部) [ ]・・・既存を補修、又は部品交換	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町2番7号 TEL(代)099-257-1177	設計年月日 R7.2. 縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図 図面名称 (共通)既存建具表(ホール棟)	図面番号 A-38
---	--	---	---	--------------

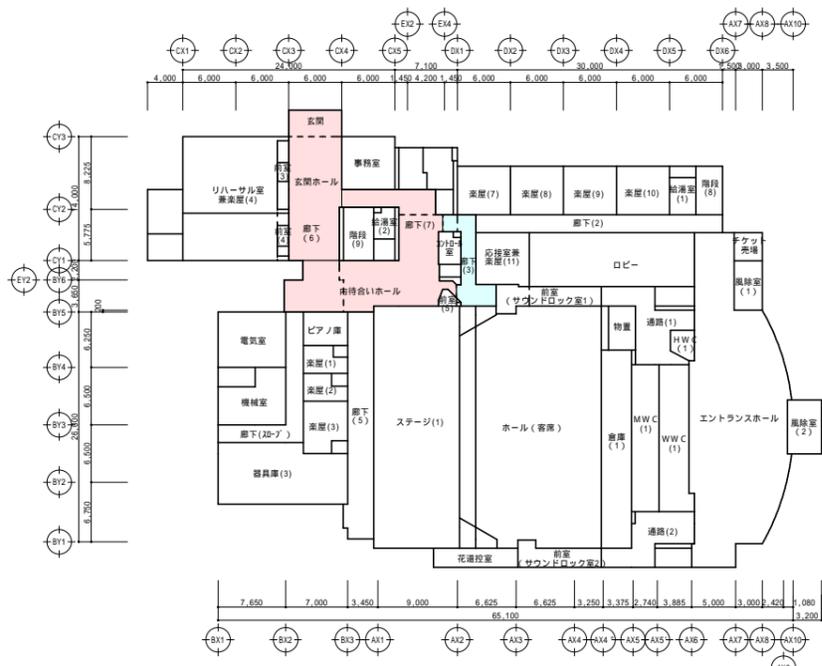
符号	【○】 SD-129 3階 廊下(1) 1ヶ所	【】 SD-130 2階 通路(3) 1ヶ所	【】 SD-131 2階 通路(3) 1ヶ所	【】 TL-101 屋上 2ヶ所	BT-101 ロビー 1ヶ所				
図面									
形式	片開き戸 60	片開き戸	片開き戸	排煙採光天窗	防災垂れ壁				
材料仕上	スチール	スチール	スチール						
硝子				アクリル板 (ア)6.0	網入りガラス (ア)6.8				
備考				オペレーター(壁埋め込み)					
符号	【○】 SUF-101 1階 ヨイロッカー 1ヶ所	【○】 SUF-102 1階 MWC(1) 2ヶ所	【○】 SUF-103 1階 WWC(1) 1ヶ所	【○】 SUF-103' 1階 WWC(1) 1ヶ所	【○】 WD-101 3階 器具庫(1)(2) 2ヶ所	【○】 WD-102 3階 映写機器室 2ヶ所	【○】 WD-103 3階 音響調整機器室 1ヶ所	【○】 WD-104 3階 WC 1ヶ所	【○】 WD-105 2階 授乳室 2ヶ所
図面									
形式	三方枠	三方枠	三方枠	三方枠	両開き戸 141	片開き戸 239	片開き戸	片開き戸 145	片開き戸 230
材料仕上	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ
硝子									
備考									
符号	【】 TB-101 1階 WWC(1) 1ヶ所	【】 TB-102 1階 MWC(1) 1ヶ所							
図面									
形式	トイレブース 40						トイレブース 40		
材料仕上	高圧メラミン化粧板						高圧メラミン化粧板		
硝子									
備考									
符号									
図面									
形式									
材料仕上									
硝子									
備考									

符号	【○】 AH-301 1階 電気室、機械室 4ヶ所	【○】 AH-302 1階 内待合いホール 1ヶ所	【○】 AH-303 1階 廊下(5) 1ヶ所		【】 SS-301 1階 器具庫(3) 1ヶ所	【】 SS-302 1階 廊下(5) 1ヶ所	【】 SS-303 1階 廊下(5) 1ヶ所	
断面図								
形式	すべり出し窓付ガラリ 70	ランマ外倒し窓付 F I X 窓 70	ランマ外倒し窓付ガラスブロック窓 70		軽量電動シャッター	軽量電動シャッター	軽量電動シャッター	
材料仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー		スラット: カラー鋼板 (t=0.8)	スラット: カラー鋼板 (t=0.8)	スラット: カラー鋼板 (t=0.8)	
硝子	網入型板(ア) 6.8mm	網入型板(ア) 6.8mm	網入型板(ア) 6.8mm ガラス 145×145×95					
備考		排煙オペレーター (SL-250)	排煙オペレーター (SL-250)					
符号	【】 SD-301 1階 電気室、機械室 2ヶ所	【】 SD-302 1階 廊下(20-7) 2ヶ所	【】 SD-303 1階 廊下(5) 1ヶ所	【○】 SD-304 1階 電気室、機械室 2ヶ所	【】 SD-305 1階 ボイラー室 1ヶ所	【】 TL-301 屋上 6ヶ所	【】 TL-302 屋上 2ヶ所	【】 TL-303 屋上 1ヶ所
断面図								
形式	両開き防音ドア 90	半自動閉鎖装置付引戸 127	片開きドア 80	片開きドア 170	親子開きドア 80	排煙採光天窗	排煙採光天窗	排煙採光天窗
材料仕上	スチール t=0.8mm 両面フラッシュ(防錆塗装) OP	スチール t=0.8mm 両面フラッシュ(防錆塗装) OP	スチール t=0.8mm 両面フラッシュ OP	スチール t=0.8mm 両面フラッシュ OP	スチール t=0.8mm 両面フラッシュ OP			
硝子		網入型板(ア) 6.8mm				アクリルドーム	アクリルドーム	アクリルドーム
備考						オペレーター	オペレーター	オペレーター
符号	【○】 LSD-301 1階 楽屋 3ヶ所	【○】 LSD-302 1階 ピアノ庫 1ヶ所	【○】 LSD-303 1階 器具庫 1ヶ所	【○】 LSD-304 1階 器具庫 1ヶ所		【】 WF-301 1階 楽屋(1)-(3) 3ヶ所		
断面図								
形式	片開き戸 195	半自動閉鎖装置付引戸 127	片開き戸 170	半自動閉鎖装置付引戸 129		四方枠		
材料仕上	化粧軽量鋼板(t=0.67フラッシュ)	化粧軽量鋼板(t=0.87フラッシュ)	化粧軽量鋼板(t=0.67フラッシュ)	化粧軽量鋼板(t=0.87フラッシュ)		木製		
硝子			型板(ア) 2.0mm	型板(ア) 2.0mm				
備考		セミエアタイト仕様						
符号								
断面図								
形式								
材料仕上								
硝子								
備考								

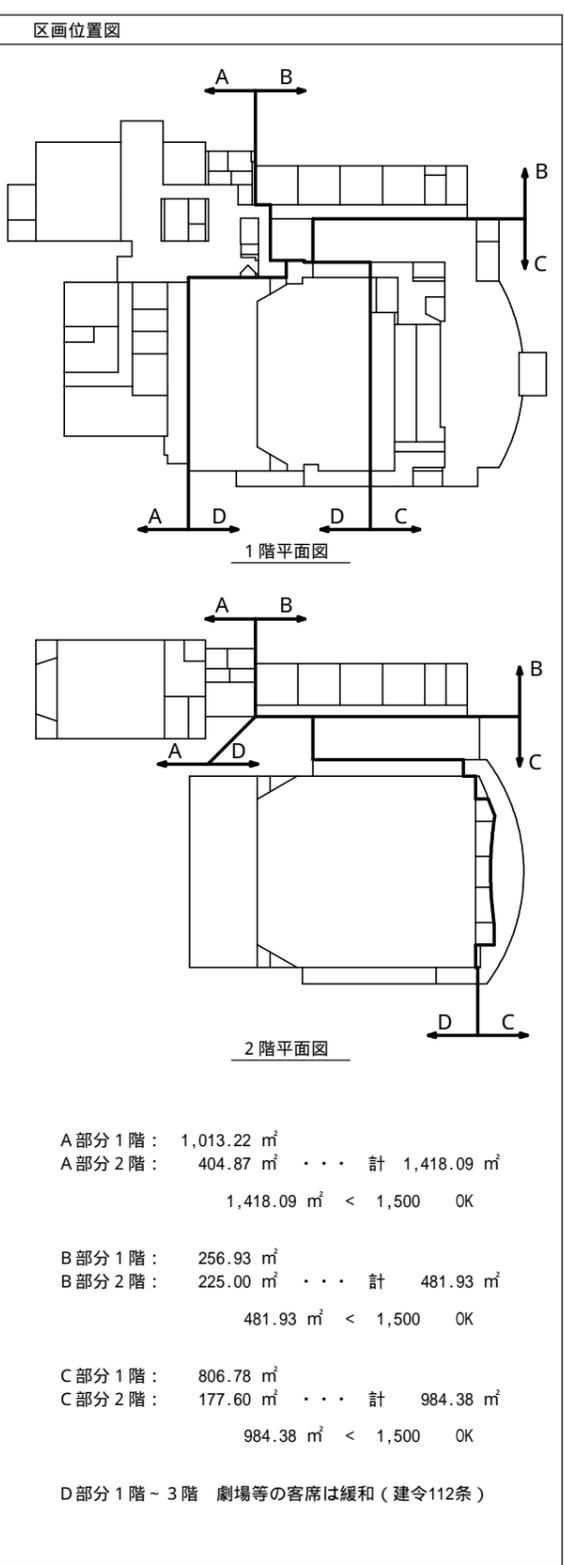
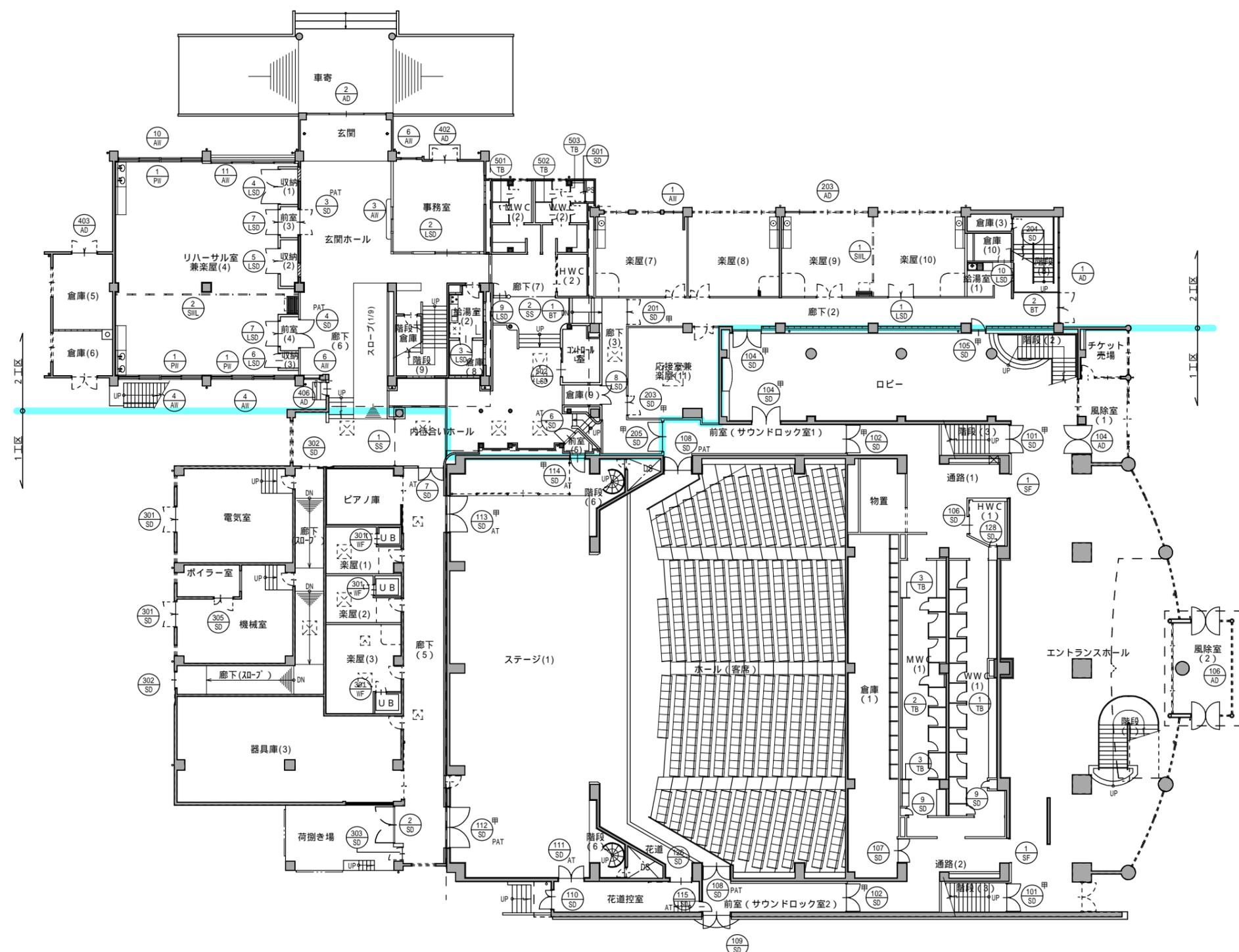
室名	床面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	採光補正係数	有効採光面積 (㎡)	判定	必要換気面積 (㎡)	有効換気面積 (㎡)	判定	必要排煙面積 (㎡)	有効排煙面積 (㎡)	判定							
風除室(1)	17.78	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.35	告示1436号1項四号二-(2)	OK							
風除室(2)	23.56	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.47	告示1436号1項四号二-(2)	OK							
チケット売場	10.16	1/20 0.50	-	-	AIW-106	$1.23 \times (1.10+0.515) = 1.98645$ $0.725 \times (1.10+0.515) \times 2 = 2.34175$	4.32	OK	1/20 0.50	AIW-106	$0.615 \times 1.10 = 0.6765$	0.67	OK	1/50 0.20	告示1436号1項四号二-(4)	OK		
ロビー	114.53	1/20 5.72	-	-	-	-	-	OK	1/20 5.72	機械換気による	OK	1/50 2.29	TL-101 × 2	$1.288 (メカ資料) \times 2 = 2.576$	2.57	OK		
エントランスホール	373.17	1/20 18.65	-	-	-	-	-	OK	1/20 18.65	機械換気による	OK	1/50 7.46	ACW-101 × 2	$(2.165+2.17+2.165) \times 1.0 \times 2$	13.00	OK		
ホール(客席)	786.27	1/20 39.31	-	-	-	採光無窓 非常用照明設置	-	OK	1/20 39.31	機械換気による	OK	1/50 15.72	機械換気による	-	-	OK		
ステージ(幕下)	39.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.78	機械換気による	-	-	OK		
ステージ(1)	266.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 5.32	機械換気による	-	-	OK		
通路(1)	46.89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.93	機械換気による	-	-	OK		
通路(2)	30.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.61	機械換気による	-	-	OK		
前室(サド 07室1)	28.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.57	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
前室(サド 07室2)	22.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.44	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
花道控室	20.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.41	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
倉庫(3)	3.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.07	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
給湯室(1)	6.90	-	-	-	-	-	-	1/20 0.34	機械換気による	OK	1/50 0.13	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK			
倉庫(10)	5.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.11	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
楽屋(10)	33.00	1/20 1.65	-	-	AIW-203	$1.70 \times 1.76 \times 2 = 5.984$ $1.70 \times (1.30+0.36) = 2.822$	8.80	OK	1/20 1.65	AIW-203	$0.85 \times 1.76 \times 2 = 2.992$ $0.85 \times (1.30+0.36) = 1.411$	4.40	OK	1/50 0.66	AIW-203	$0.85 \times 0.46 \times 2 = 0.782$	0.78	OK
楽屋(9)	33.00	1/20 1.65	-	-	AD-203	$1.70 \times 1.76 \times 3 = 8.976$	8.97	OK	1/20 1.65	AD-203	$0.85 \times 1.76 \times 3 = 4.488$	4.48	OK	1/50 0.66	AD-203	$0.85 \times 0.46 \times 3 = 1.173$	1.17	OK
楽屋(8)	33.00	1/20 1.65	-	-	AIW-204	$1.70 \times 1.76 \times 3 = 8.976$	8.97	OK	1/20 1.65	AIW-204	$0.85 \times 1.76 \times 3 = 4.488$	4.48	OK	1/50 0.66	AIW-204	$0.85 \times 0.46 \times 3 = 1.173$	1.17	OK
楽屋(7)	33.00	1/20 1.65	-	-	AIW-205 × 2 AIW-1	$1.50 \times 1.46 \times 2 = 4.38$ $1.00 \times 1.76 = 1.76$	6.14	OK	1/20 1.65	AIW-205 × 2 AIW-1	$0.75 \times 1.46 \times 2 = 2.19$ $1.00 \times 1.76 = 1.76$	3.95	OK	1/50 0.66	AIW-205 × 2 AIW-1	$0.75 \times 0.16 \times 2 = 0.24$ $1.00 \times 0.46 = 0.46$	0.70	OK
1階 廊下(2)階段(8)	72.30	138.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 2.76	-	-	-	3.51	OK	
2階 廊下(4)階段(8)	65.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AIW-2 AIW-204	$0.92 \times 0.85 \times 3 = 2.346$ $0.85 \times 0.46 \times 3 = 1.173$	-	-	OK	
応接室兼楽屋(11)	35.70	1/20 1.78	-	-	TL-201	$1.20 \times 1.20 \times 3 = 4.32$	4.32	OK	1/20 1.78	機械換気による	OK	1/50 0.71	TL-201	$1.47 (メカ資料) = 1.47$	1.47	OK		
楽屋(1)	13.65	1/20 0.68	-	-	TL-301	$0.83 \times 0.83 \times 3 = 2.0667$	2.06	OK	1/20 0.68	機械換気による	OK	1/50 0.27	TL-301	$0.61 (メカ資料) = 0.61$	0.61	OK		
楽屋(2)	13.12	1/20 0.65	-	-	TL-301	$0.83 \times 0.83 \times 3 = 2.0667$	2.06	OK	1/20 0.65	機械換気による	OK	1/50 0.26	TL-301	$0.61 (メカ資料) = 0.61$	0.61	OK		
楽屋(3)	26.84	1/20 1.34	-	-	TL-301 TL-303	$0.83 \times 0.83 \times 3 = 2.0667$ $0.54 \times 0.54 \times 3 = 0.874$	2.94	OK	1/20 1.34	機械換気による	OK	1/50 0.53	TL-301 TL-303	$0.61 (メカ資料) = 0.61$ $0.23 (メカ資料) = 0.23$	0.84	OK		
廊下(スロープ)	44.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.89	TL-301 SD-302	$0.61 (メカ資料) = 0.61$ $0.95 \times 0.40 = 0.38$	0.99	OK		
ピアノ庫	19.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.38	-	-	-	-	OK	
電気室	47.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.95	-	-	-	-	OK	
機械室	40.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.81	-	-	-	-	OK	
器具庫(3)	96.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 1.92	-	-	-	-	OK	
廊下(5)	77.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 1.54	-	-	-	-	OK	
廊下(3)	23.78	27.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.56	TL-202	$0.61 (メカ資料) = 0.61$	0.61	OK		
廊下(7) (内待合ホール)	3.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
内待合ホール (内待合ホール)	0.99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
内待合ホール (楽屋棟)	36.86	247.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 4.94	AIW-302 TL-301 × 2	$0.60 \times 0.565 \times 4 = 1.356$ $0.61 (メカ資料) \times 2 = 1.22$	6.07	OK		
内待合ホール (共同利用施設)	22.88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
内待合ホール廊下(7) (内待合ホール)	72.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TL-503 × 2	$0.61 (メカ資料) \times 2 = 1.22$	-	-		
玄関ホール廊下(6) (共同利用施設)	115.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AD-2 AIW-6	$0.79 \times 0.40 \times 6 = 1.896$ $0.90 \times 0.45 = 0.405$	-	-		
事務室	36.00	1/20 1.80	-	-	AD-402	$0.865 \times 0.40 \times 2 = 0.692$ $1.80 \times 2.00 = 3.60$	4.29	OK	1/20 1.80	AD-402	$0.865 \times 0.40 \times 2 = 0.692$ $0.90 \times 2.00 = 1.80$	2.49	OK	1/50 0.72	AD-402 AIW-6	$0.865 \times 0.40 \times 2 = 0.692$ $0.90 \times 0.50 = 0.45$	1.14	OK
リハーサル室(上)	94.03	1/20 4.70	-	-	AIW-5 × 2	$2.60 \times 1.50 \times 2 \times 2 = 15.60$	15.60	OK	1/20 4.70	AIW-5 × 2	$1.30 \times 1.50 \times 2 \times 2 = 7.80$	7.80	OK	1/50 1.88	AIW-10	$0.85 \times 0.43 \times 6 = 2.129$	2.12	OK
リハーサル室(下)	59.38	1/20 2.96	-	-	AIW-5 × 2	$2.60 \times 1.50 \times 2 \times 2 = 15.60$	15.60	OK	1/20 2.96	AIW-5 × 2	$1.30 \times 1.50 \times 2 \times 2 = 7.80$	7.80	OK	1/50 1.18	AIW-4 × 2	$1.30 \times 0.43 \times 2 \times 2 = 2.236$	2.23	OK
前室(3)	2.79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.05	-	-	-	-	OK	
前室(4)	3.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.06	-	-	-	-	OK	
給湯室(2)	8.04	-	-	-	-	-	-	1/20 0.40	機械換気による	OK	1/50 0.16	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	-	OK		
倉庫(8)	5.84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.11	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		
コントロール室	8.86	1/20 0.44	-	-	TL-502	$0.54 \times 0.54 \times 3 = 0.874$	0.87	OK	1/20 0.44	機械換気による	OK	1/50 0.17	TL-502	$0.26 (メカ資料) = 0.26$	0.26	OK		
倉庫(9)	3.51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.07	告示1436号1項四号二-(2)	-	-	OK		

着工	・	・	・	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177 照知事登録第1-3-164号	一級建築士登録第160636号 外村 遼	設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図	図面番号	A-41
竣工	・	・	縮尺			NO.SCALE	図面名称	(共通)法チェック表			
監理	・	・									
施工	・	・									

室名	床面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	採光補正係数	有効採光面積 (㎡)	判定	必要換気面積 (㎡)	有効換気面積 (㎡)	判定	必要排煙面積 (㎡)	有効排煙面積 (㎡)	判定
2 前室(1)	7.55	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.15	機械排煙による	OK
前室(2)	8.42	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.16	機械排煙による	OK
親子室(1)	11.74	1/20 0.58	-	-	OK	1/20 0.58	機械換気による	OK	1/50 0.23	機械排煙による	OK
親子室(2)	11.74	1/20 0.58	-	-	OK	1/20 0.58	機械換気による	OK	1/50 0.23	機械排煙による	OK
授乳室	9.30	1/20 0.46	-	-	OK	1/20 0.46	機械換気による	OK	1/50 0.18	機械排煙による	OK
倉庫(2)	12.87	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.25	告示1436号1項四号二-(2)	OK
倉庫(4)	17.70	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.35	告示1436号1項四号二-(2)	OK
集会室(3) 兼リハーサル室	70.80	1/20 3.54	-	-	17.61 OK	1/20 3.54	AW-203 × 2 0.85 × 1.76 × 2 × 2 = 11.968 1.70 × (1.30 + 0.36) × 2 = 5.644	8.80 OK	1/50 1.40	AW-203 × 2 0.85 × 0.46 × 2 × 2 = 1.564	1.56 OK
楽屋(5)	35.40	1/20 1.77	-	-	8.97 OK	1/20 1.77	AW-204 1.70 × 1.76 × 3 = 8.976	4.48 OK	1/50 0.70	AW-204 0.85 × 0.46 × 3 = 1.173	1.17 OK
楽屋(6)	35.40	1/20 1.77	-	-	8.80 OK	1/20 1.77	AW-203 1.70 × 1.76 × 2 = 5.984 1.70 × (1.30 + 0.36) = 2.822	4.40 OK	1/50 0.70	AW-203 0.85 × 0.46 × 3 = 1.173	0.78 OK
集会室(2)前ホール	37.40	57.80	-	-	-	-	-	-	1/50 1.15	AW-402 AD-4 0.765 × 0.70 × 2 = 0.918 1.20 × 0.40 × 2 = 0.96	1.87 OK
階段(9)	20.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
控入室	9.00	1/20 0.45	-	-	0.90 OK	1/20 0.45	AW-403 0.75 × 0.60 × 2 = 0.90	0.90 OK	1/50 0.18	AW-403 0.75 × 0.60 × 2 = 0.90	0.90 OK
倉庫(7)	14.40	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.28	告示1436号1項四号二-(2)	OK
集会室(2)	212.80	1/20 10.64	-	-	0.00 OK	1/20 10.64	AD-3 × 3 (2.60 × 2.50 + 2.60 × 1.50) × 3 = 31.20	OK	1/50 4.25	AD-3 × 3 (1.30 × 0.40 + 1.30 × 0.40) × 3 = 3.12 AW-5 1.30 × 0.40 × 2 = 1.04 AW-5(半) × 2 1.30 × 0.40 × 2 = 1.04	5.20 OK
ステージ(2)	24.00	1/20 1.20	-	-	-	1/20 1.20	-	-	1/50 0.48	-	-
控室(1)	9.00	1/20 0.45	-	-	-	1/20 0.45	-	-	1/50 0.18	AW-5(半) 1.30 × 0.40 = 0.52	0.52 OK
控室(2)	9.00	1/20 0.45	-	-	-	1/20 0.45	-	-	1/50 0.18	AW-5(半) 1.30 × 0.40 = 0.52	0.52 OK
廊下(内待合)	32.33	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.64	AW-502 0.535 × 0.36 × 4 = 0.7704	0.77 OK
3 映写機器室	14.95	1/20 0.74	-	-	OK	-	採光無窓 非常用照明設置	OK	1/50 0.29	告示1436号1項四号二-(2)	OK
調光機器室	14.08	1/20 0.70	-	-	OK	-	採光無窓 非常用照明設置	OK	1/50 0.28	告示1436号1項四号二-(2)	OK
音響調整機器室	14.08	1/20 0.70	-	-	OK	-	採光無窓 非常用照明設置	OK	1/50 0.28	告示1436号1項四号二-(2)	OK
器具庫(1)	6.88	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.13	告示1436号1項四号二-(2)	OK
器具庫(2)	12.53	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.25	告示1436号1項四号二-(2)	OK
機械室	139.17	-	-	-	-	-	-	-	1/50 2.78	告示1436号1項四号二-(1)	OK
湯沸	3.80	-	-	-	-	-	-	-	1/50 0.07	告示1436号1項四号二-(2)	OK
廊下(1)	72.55	-	-	-	-	-	-	-	1/50 1.45	機械排煙による	OK

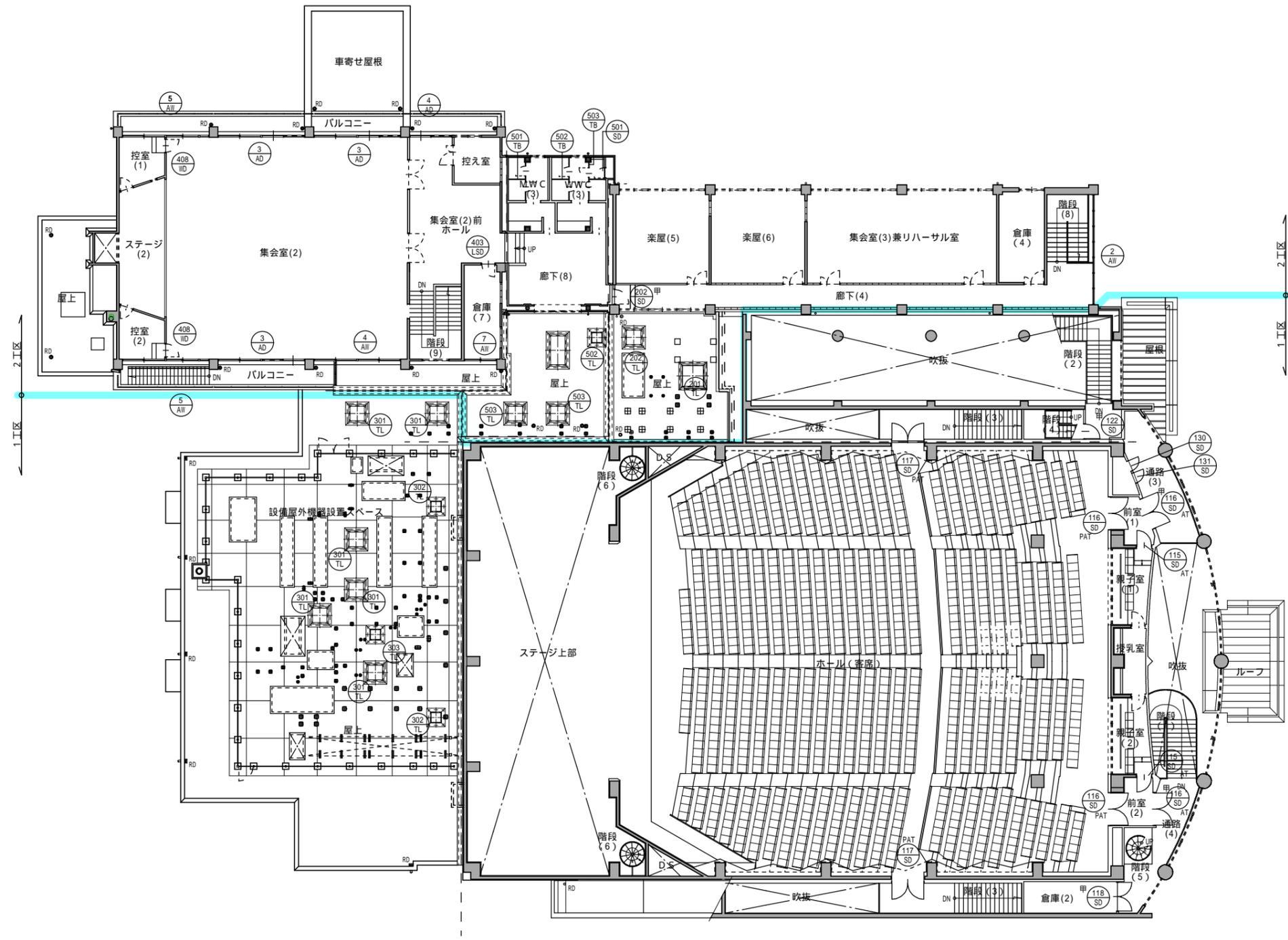


階	延床面積 必要面積	有効面積の算定	階	延床面積 必要面積	有効面積の算定	階	延床面積 必要面積	有効面積の算定		
1	2,859.90 ㎡ 95.33 ㎡ (2,859.90 ㎡ / 30)	ACW-101 × 2 (2.165+1.64) × (2.48-0.16) × 2 = 17.655 (既存のまま) ACW-102 × 2 (1.70+1.705+1.70) × (2.48-0.16) × 2 = 23.687 (既存のまま) AD-107 1.81 × 2.20 = 3.982 (既存のまま) AD-1 1.90 × 1.85 + 0.90 × 0.90 × 5 = 7.565 (改修) AW-1 1.00 × 1.76 = 1.760 (改修) AD-203 (0.85+0.85) × 1.76 + 0.85 × 1.30 = 4.097 (改修) AW-203 (0.85+0.85) × 1.76 + 0.85 × 1.30 = 4.097 (既存のまま) AW-204 0.85 × 1.76 × 3 = 4.488 (既存のまま) AW-205 × 2 0.75 × 1.46 × 2 = 2.190 (既存のまま) AD-2 5.00 × 1.80 = 9.000 (改修) AD-402 1.80 × 2.00 = 3.600 (改修) AD-406 0.80 × 2.00 = 1.600 (既存のまま) AW-4 × 2 1.30 × 1.50 × 2 × 2 = 7.800 (改修) AW-6 0.90 × 1.50 = 1.350 (改修) AW-10 1.30 × 0.95 × 2 = 2.470 (改修) 合計 95.341 95.33 < 95.341 OK	2	597.73 ㎡ 【ホール棟】 必要面積 19.92 ㎡ (597.73 ㎡ / 30)	有効面積の算定 ACW-102 × 2 (1.70+1.705+1.70) × (0.945+1.0) × 2 = 19.840 (既存のまま) ACW-103 (1.2025+1.2025) × (0.945+1.0) = 4.677 (既存のまま) ACW-103' (0.9375+0.9375) × (0.945+1.0) = 3.646 (既存のまま) 合計 28.163 19.92 < 28.163 OK	3	369.98 ㎡ 【ホール棟】 必要面積 12.33 ㎡ (369.98 ㎡ / 30)	有効面積の算定 有効開口 無し 合計 0.000 12.33 > 0.000 NG	【管理棟・共同利用施設・内待合ホール】 延床面積 629.87 ㎡ 必要面積 20.99 ㎡ (629.87 ㎡ / 30)	有効面積の算定 AW-203 × 3 (0.85+0.85) × 1.76 + 0.85 × 1.30 × 3 = 12.291 (既存のまま) AW-204 0.85 × 1.76 × 3 = 4.488 (既存のまま) AD-3 × 3 1.30 × 2.50 + 1.30 × 1.50 × 3 = 15.600 (改修) AD-4 1.235 × 2.00 = 2.470 (改修) 合計 34.849 20.99 < 34.849 OK

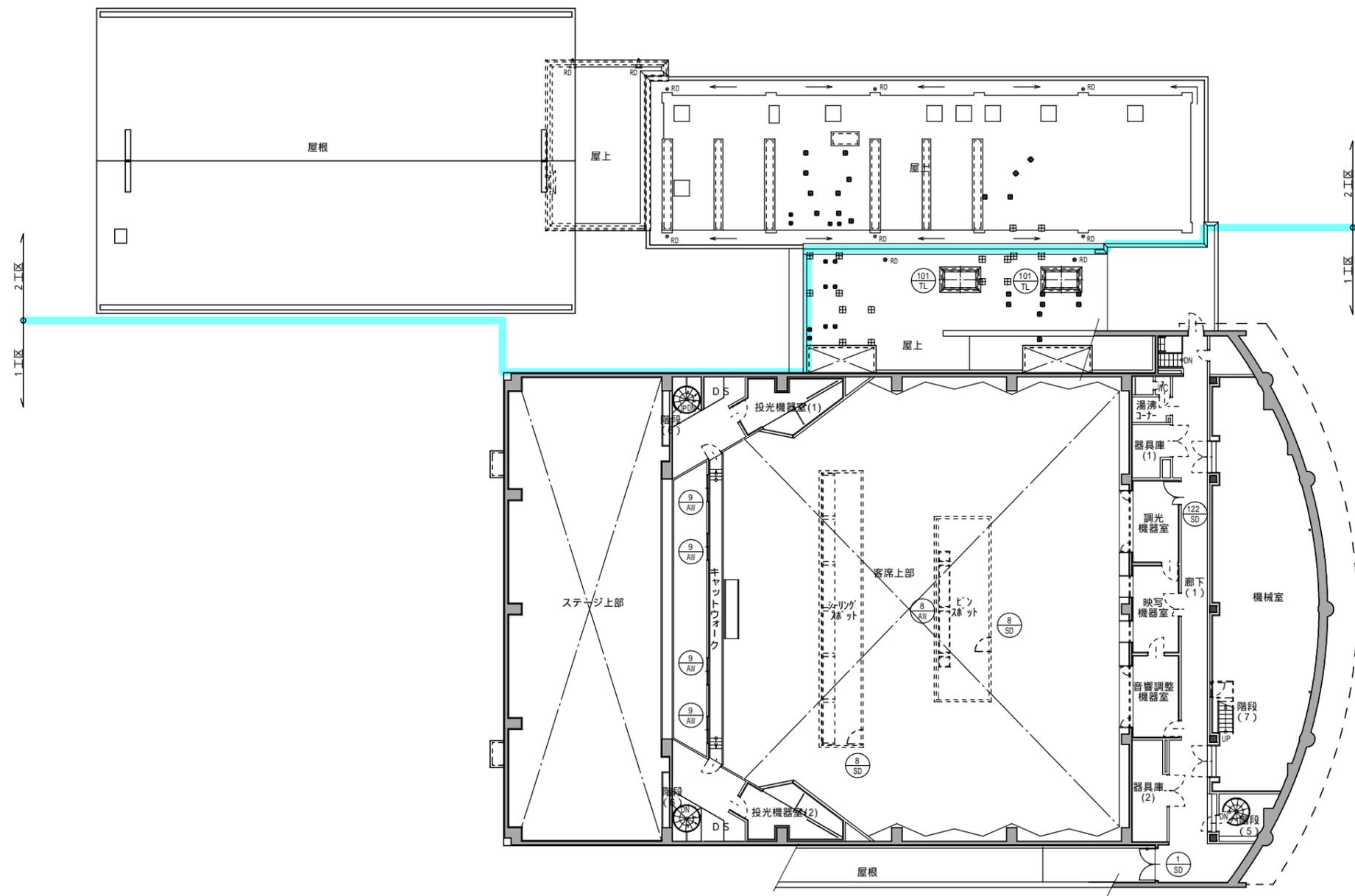


A部分1階:	1,013.22 m <sup>2</sup>	
A部分2階:	404.87 m <sup>2</sup>	・・・計 1,418.09 m <sup>2</sup>
1,418.09 m <sup>2</sup> < 1,500 OK		
B部分1階:	256.93 m <sup>2</sup>	
B部分2階:	225.00 m <sup>2</sup>	・・・計 481.93 m <sup>2</sup>
481.93 m <sup>2</sup> < 1,500 OK		
C部分1階:	806.78 m <sup>2</sup>	
C部分2階:	177.60 m <sup>2</sup>	・・・計 984.38 m <sup>2</sup>
984.38 m <sup>2</sup> < 1,500 OK		
D部分1階～3階 劇場等の客席は緩和(建令112条)		

巻工 竣工 監理 施工	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-43
----------------------	---	--	--------------------------------	--------------



着工	・	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号	A-44
竣工	・		縮尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面名称	(共通)改修後2階建具全体平面図			
監理			一級建築士登録第160636号	外村 遼					
施工			照知事登録第1-3-164号						

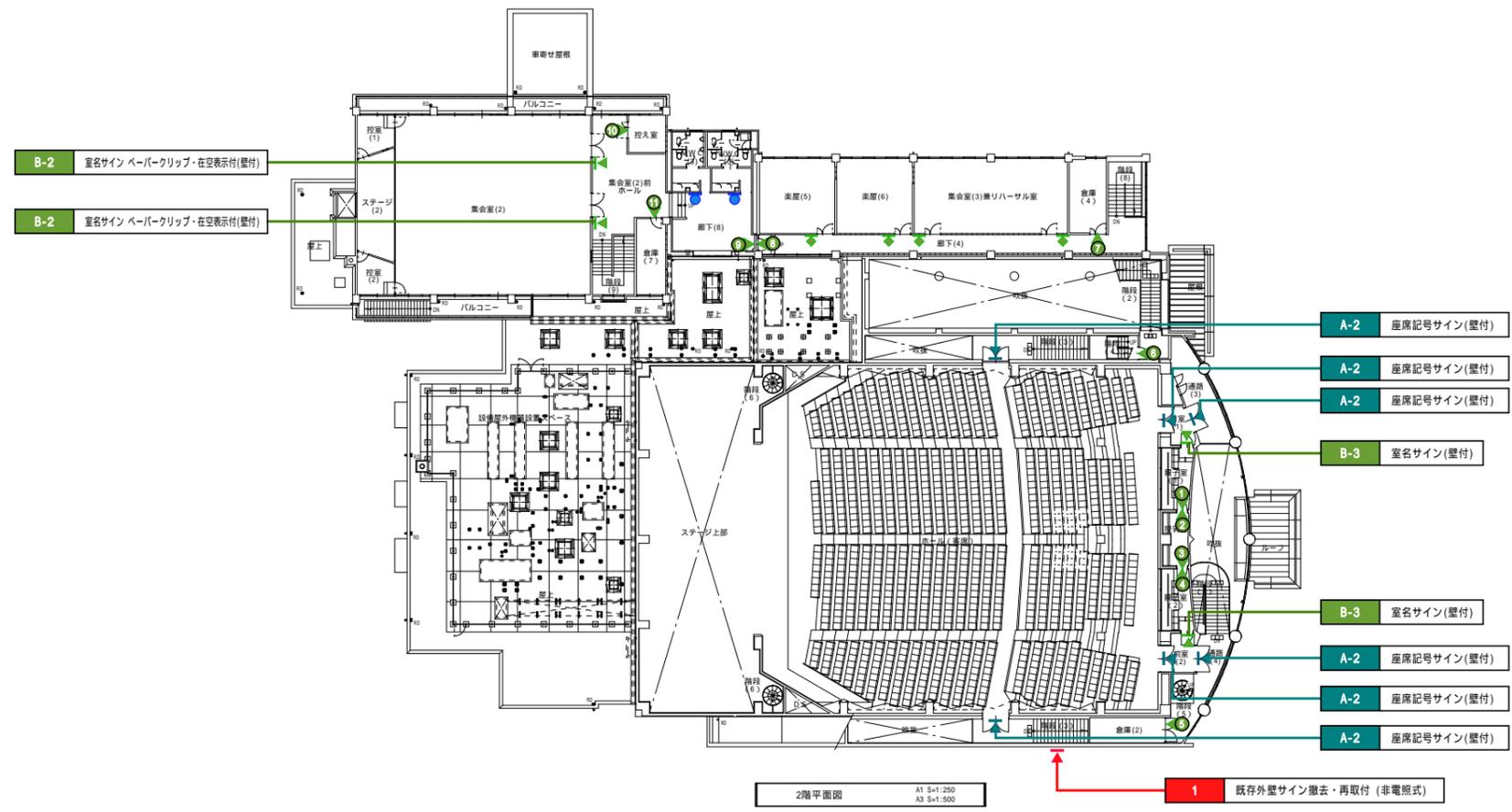


着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号	A-45
竣工	・		縮尺	1:150(A1) 1:300(A3)	図面名称	(共通)改修後3階建具全体平面図		
監理			一級建築士登録 第160636号	外村 遼				
施工			照知事登録第1-3-164号					

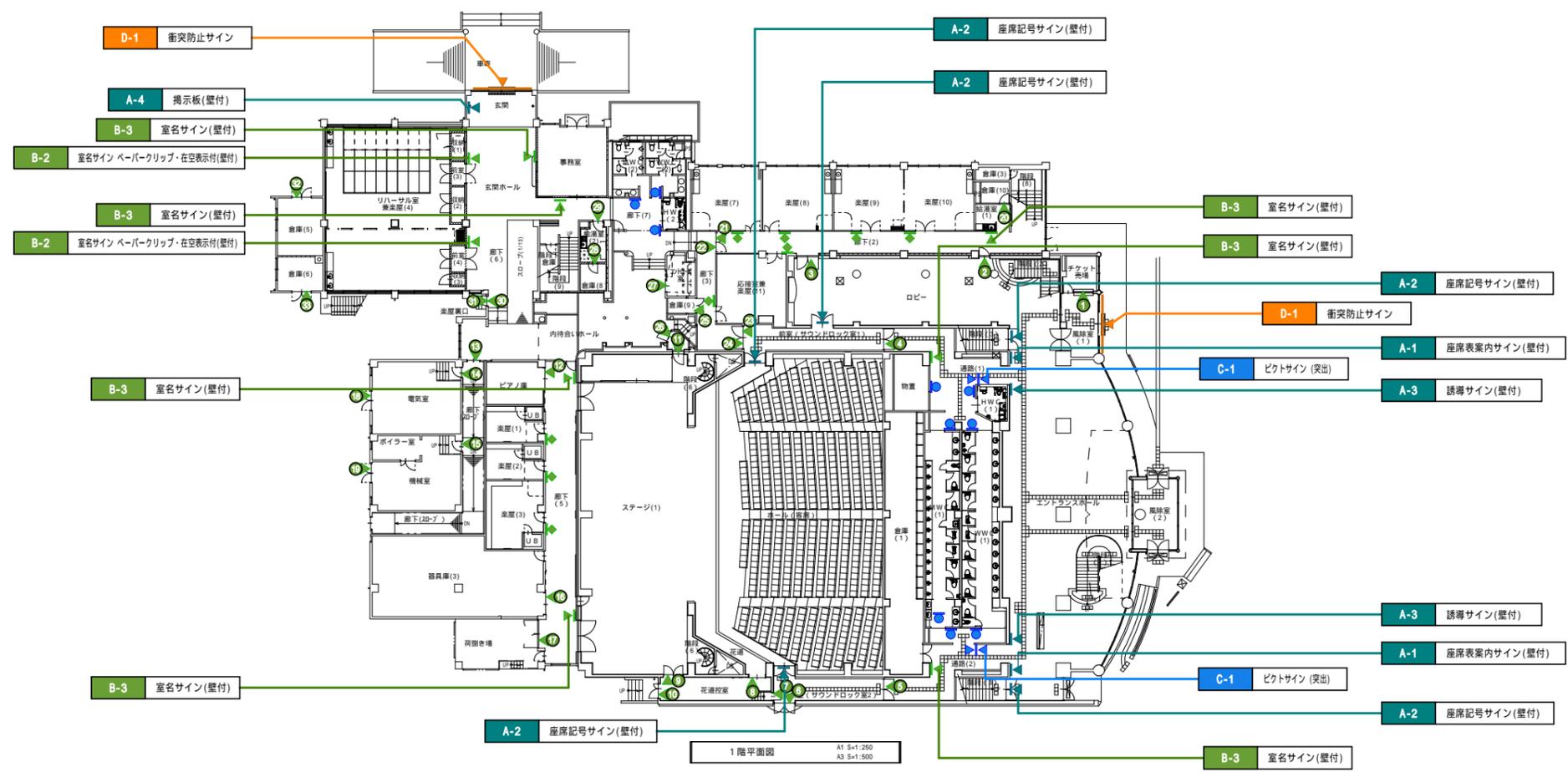
符号	AD-104	1階 風除室(1) 1ヶ所	AD-106	1階 風除室(2) 1ヶ所	SD-101	1階 階段(3) 2ヶ所	SD-102	1階 サウンドロック室 2ヶ所	SD-104(104')	1階 ロビー 2ヶ所	SD-105	1階 ロビー 1ヶ所	SD-106	1階 HWC(1) 1ヶ所				
図面																		
形式見込	(ランマ嵌め殺し窓付) 両開きドア	70	Fix窓ランマFix窓付両開きドア	100	両開きドア	120	両開き戸	120	両開き戸	213(80)	片開き戸	120	片引き自動ドア	230				
材料仕上	アルミ シルバー		-		スチール ダイノックシート貼		スチール ダイノックシート貼		スチール		スチール		スチール					
金物	ステンレス押棒、フロアヒンジ(2個)の交換 附属金物一式		フロアヒンジ(4個)の交換 附属金物一式		フロアヒンジ(1ヶ所×2個)の交換 附属金物一式		-		-		-		-					
硝子	強化ガラス t=8.0		-		-		-		-		-		-					
備考	扉部のみかぶせ工法にて交換		-		扉・枠部 SOP 塗替、ダイノックシート貼替		扉・枠部 SOP 塗替、ダイノックシート貼替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替					
符号	SD-107	1階 倉庫(1) 1ヶ所	SD-108	1階 ホール(客席) 2ヶ所	SD-109	1階 サウンドロック室 1ヶ所	SD-110	1階 花道控室 1ヶ所	SD-111	1階 花道控室 1ヶ所	SD-112	1階 ステージ(1) 1ヶ所	SD-113	1階 ステージ(1) 1ヶ所	SD-114	1階 ステージ(1) 1ヶ所	SD-115	2階 前室(1)(2) 2ヶ所
図面																		
形式見込	両開き戸	120	両開き戸	120	両開き戸	120	親子開き戸	135	両開き戸	100	両開き戸	120	両開き戸	120	片開き戸	100	片開き戸	100
材料仕上	スチール		スチール、合成皮革フトン貼		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール	
金物	-		-		-		ドアチェック(1ヶ所)の調整		-		-		-		-		-	
硝子	-		-		-		-		-		-		-		-		-	
備考	扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替、合成皮革フトン貼替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替	
符号	SD-116	2階 ホール(客席) 2ヶ所	SD-116'	2階 前室(1)(2) 2ヶ所	SD-117	2階 ホール(客席) 2ヶ所	SD-118	2階 倉庫(2) 1ヶ所	SD-122	2階 階段(4) 1ヶ所	SD-122'	3階 調光機器室 1ヶ所	SD-126	1階 花道控室 1ヶ所	SD-128	1階 HWC(1) 1ヶ所	SD-130	2階 通路(3) 1ヶ所
図面																		
形式見込	両開き戸	120	両開き戸	170	両開き戸	120	両開き戸	170	片開き戸	170	親子両開き戸	192	片引き戸	200	片開き戸	60	片開き戸	
材料仕上	スチール、合成皮革フトン貼		スチール、合成皮革フトン貼		スチール、合成皮革フトン貼 ボタン押さえ		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール		スチール	
金物	-		-		ドアチェック(1ヶ所)の調整		-		丁番の調整		鍵の調整		-		-		-	
硝子	-		-		-		-		-		-		-		-		-	
備考	扉・枠部 SOP 塗替、合成皮革フトン貼替		扉・枠部 SOP 塗替、合成皮革フトン貼替		扉・枠部 SOP 塗替、合成皮革フトン貼替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替	
符号	SD-131	2階 通路(3) 1ヶ所	SD-1	3階 廊下(1) 1ヶ所	SD-8	ピンスポット シーリングスポット 2ヶ所	SD-9	1階 MWC(1)WVC(1) 2ヶ所	AW-8	ピンスポット 1ヶ所		AW-9	キャットウォーク 4ヶ所					
図面																		
形式見込	片開き戸		両開き戸	80	片開き戸	100	片開き戸	100	片開き窓・嵌め殺し窓		70	引違窓		70				
材料仕上	スチール		t=1.6 溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP(AT)		t=0.8 両面ワッパ(防錆塗装) OP		t=0.8 両面ワッパ(防錆塗装) OP		アルミ 2次電解着色(高耐候性塗料コート)			アルミ 2次電解着色(高耐候性塗料コート)						
金物	-		レバーハンドル、D.C、丁番、フランス落とし シリンダー本掛り錠、緊急開放装置付 附属金物一式		レバーハンドル、D.C、丁番 附属金物一式		レバーハンドル、D.C、丁番 附属金物一式		アルミ水切 ハンドルストッパー 附属金物一式			戸車 クレセント 附属金物一式						
硝子	-		-		-		-		フロート強化板ガラス t=5.0 + 透明飛散防止フィルム			70-t強化板ガラス t=4.0 + 透明飛散防止フィルム						
備考	扉・枠部 SOP 塗替		下枠ステン、スチール枠(OP塗)		下枠ステン、スチール枠(OP塗)		-		扉・枠部 SOP 塗替			扉・枠部 SOP 塗替						

符号	TB - 1	1階 WWC (1) 1ヶ所	TB - 2	1階 MWC (1) 1ヶ所	TB - 3	1階 MWC (1) 2ヶ所
断面図						
形式 見込	トイレブース		トイレブース		トイレブース	
材料 仕上	高圧メラミン樹脂化粧板フラッシュ (芯材: A'-B'-37)		高圧メラミン樹脂化粧板フラッシュ (芯材: A'-B'-37)		高圧メラミン樹脂化粧板フラッシュ (芯材: A'-B'-37)	
金物	アルミアールエッジ (中心吊り)、表示付スライドボルト (非常解除付) 戸当りストッパー 他 付属金物一式		アルミアールエッジ (中心吊り)、表示付スライドボルト (非常解除付) 戸当りストッパー 他 付属金物一式		付属金物一式	
硝子	-		-		-	
備考	小松クォー& TB-GPR 同等以上		小松クォー& TB-GPR 同等以上		小松クォー& TB-GPR 同等以上	
符号	TL - 101	屋上 2ヶ所				
断面図						
形式 見込	排煙採光天窗					
材料 仕上	ポリカドーム (面体交換)					
金物	ワイヤー交換、注油等メンテナンス 1ヶ所ダンパー (4本) 交換					
硝子	-					
備考	オペレーター (既存のまま)					
符号	SF - 1	1階 通路 (1) (2) 2ヶ所				
断面図						
形式 見込	三方枠 幕板付					
材料 仕上	t=1.6 溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP					
金物	-					
硝子	-					
備考	-					
符号						
断面図						
形式 見込						
材料 仕上						
金物						
硝子						
備考						

符号	SD - 2	1階 廊下(5) 1ヶ所	SD - 7	1階 廊下(5) 1ヶ所	SS - 1	1階 内待合いホール 1ヶ所	SD - 301	1階 電気室、機械室 2ヶ所	SD - 302	1階 廊下(20-7) 2ヶ所	SD - 303	1階 廊下(5) 1ヶ所	SD - 305	1階 ボイラー室 1ヶ所	IF - 301	1階 楽屋(1) - (3) 3ヶ所
立面																
形式見込	両開きドア 90		両開きドア(AT)		電動軽量シャッター		両開き防音ドア 90		半自動閉鎖装置付引戸 127		片開きドア 80		親子開きドア 80		四方枠	
材料仕上	t=1.6 溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP		t=1.6 溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP		スチール溶融亜鉛めっき鋼板		スチール t = 0.8mm 両面ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ(防錆塗装) OP		スチール t = 0.8mm 両面ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ(防錆塗装) OP		スチール t = 0.8mm 両面ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ OP		スチール t = 0.8mm 両面ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ OP		木製	
金物	レバーハンドル シリンダー本締錠 DC ステンレス丁番 フランス落し 戸当り 付属金物一式		レバーハンドル シリンダー本締錠 DC ステンレス丁番 フランス落し 戸当り 付属金物一式		アルミ形材座板 ガイドレール 付属金物一式		扉開閉不具合(1ヶ所)の調整		駆動装置(1ヶ所)の交換				ラッチの調整			
硝子																
備考	下枠: t=1.5 ステンレス加工 グラスウール充填		下枠: t=1.5 ステンレス加工 グラスウール充填				扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替		扉・枠部 SOP 塗替				枠部 OP 塗替	
符号	TL - 301	屋上 6ヶ所	TL - 302	屋上 2ヶ所	TL - 303	屋上 1ヶ所										
立面																
形式見込	排煙採光天窗		排煙採光天窗		排煙採光天窗											
材料仕上	ポリカドーム(面体交換)		ポリカドーム(面体交換)		ポリカドーム(面体交換)											
金物	ワイヤー交換、注油等メンテナンス		ワイヤー交換、注油等メンテナンス		ワイヤー交換、注油等メンテナンス											
硝子																
備考	オペレーター(既存のまま)		オペレーター(既存のまま)		オペレーター(既存のまま)											
符号																
立面																
形式見込																
材料仕上																
金物																
硝子																
備考																
符号																
立面																
形式見込																
材料仕上																
金物																
硝子																
備考																
符号																

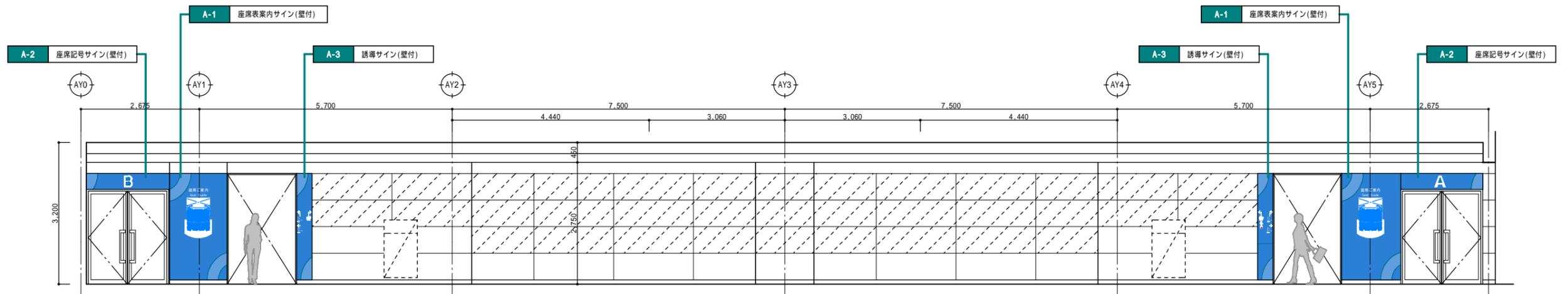
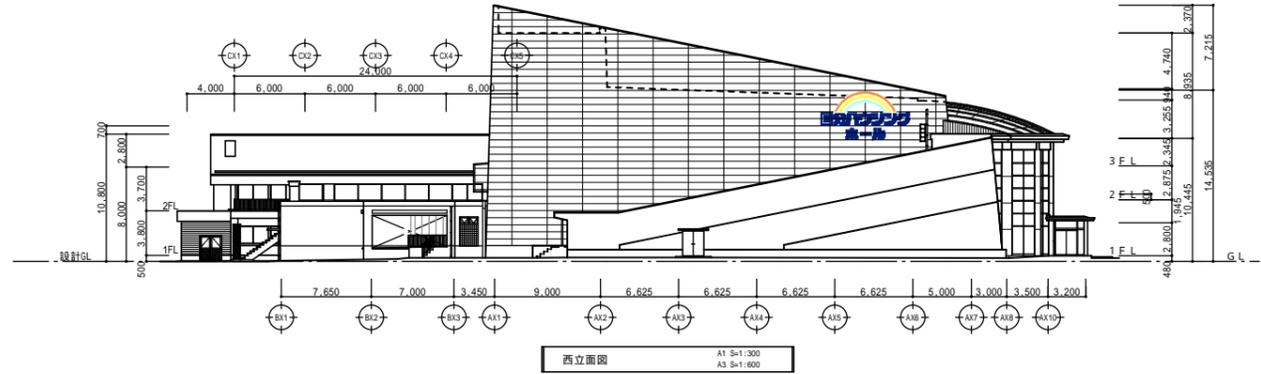
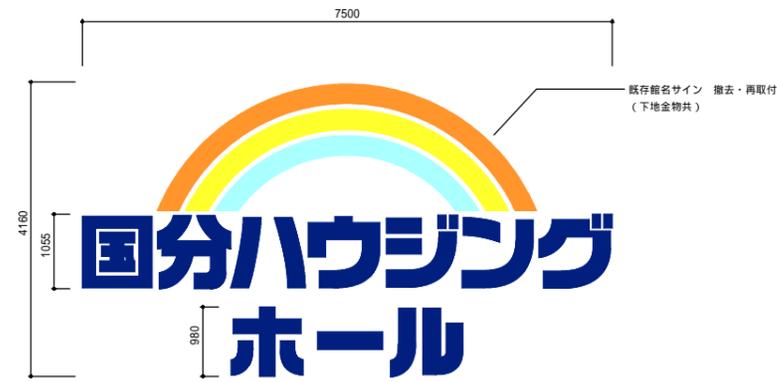


区分	記号	サイン名称	外構		1F					2F					数量			
					ホール		管理			待合			ホール			管理		
			1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2		3		
外構	1	既存外壁サイン撤去・再取付 (非電照式)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
案内	A-1	座席表案内サイン(壁付)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	A-2	座席記号サイン(壁付)	-	5	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	A-3	誘導サイン(壁付)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	A-4	掲示板(壁付)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
室名	B-1	室名サイン ペーパークリップ付(壁付)	-	-	3	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	13
	B-2	室名サイン ペーパークリップ・在空表示付(壁付)	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	4
	B-3	室名サイン(壁付)	-	2	2	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	B-4	室名サイン シート(貼付)	-	11	8	5	6	3	6	-	3	2	-	-	-	-	-	44
ピクト	C-1	ピクトサイン (突出)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	C-2	ピクトサイン(平付)	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
規制	D-1	衝突防止サイン	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2



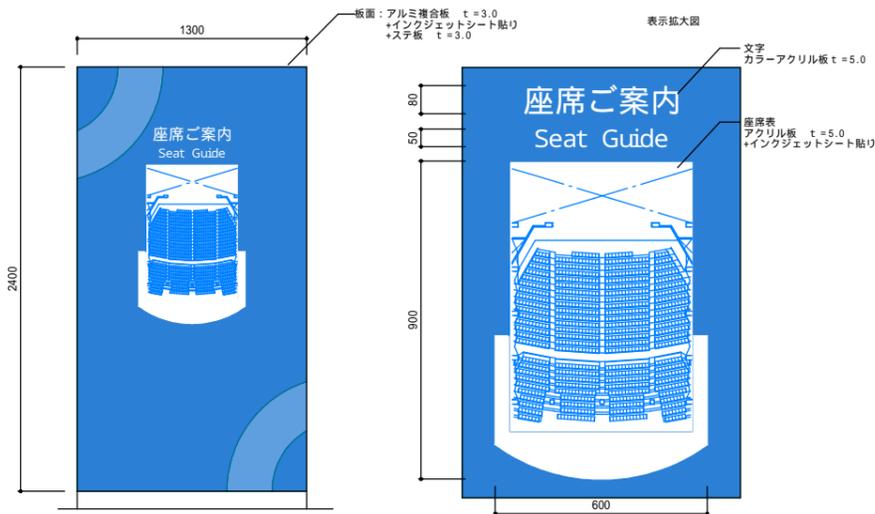
- ▽ = B-1 室名サイン ペーパークリップ付(壁付)
- = C-2 ピクトサイン(平付)
- ① = B-4 室名サイン シート(貼付)

外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
外構	1	既存外壁サイン撤去・再取付 (非電照式)	1	-	-	1	A1 S=1:50 A3 S=1:100

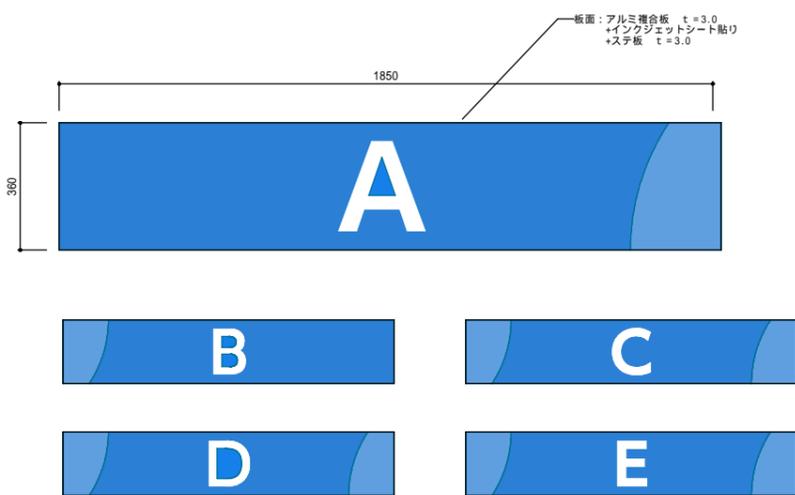


エントランスホール展開図 A1 S=1:50  
A3 S=1:100

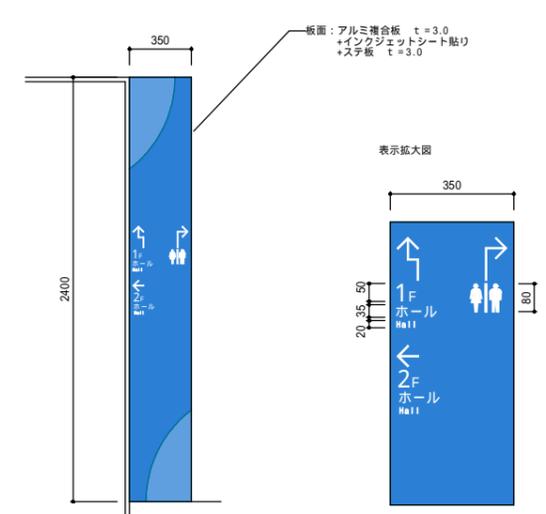
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
案内	A-1	座席案内サイン(壁付)	-	2	-	2	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40



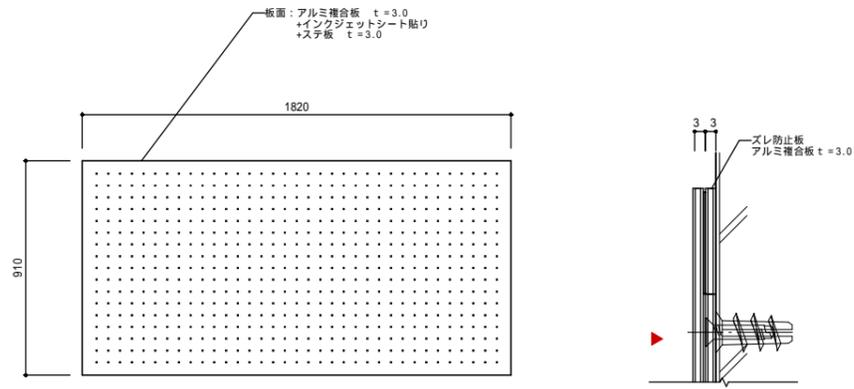
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
案内	A-2	座席記号サイン(壁付)	-	5	6	11	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40



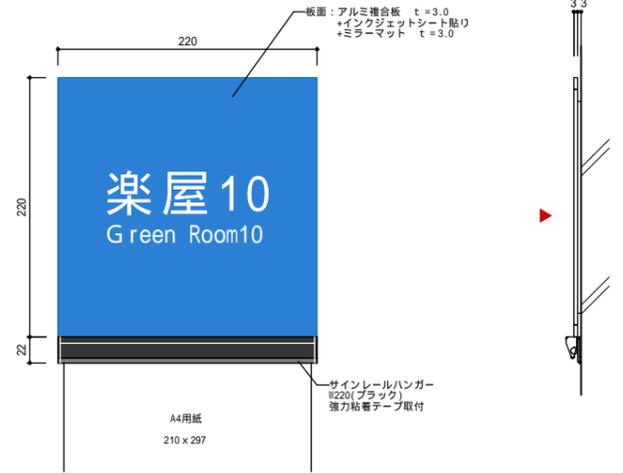
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
案内	A-3	誘導サイン(壁付)	-	2	-	2	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40



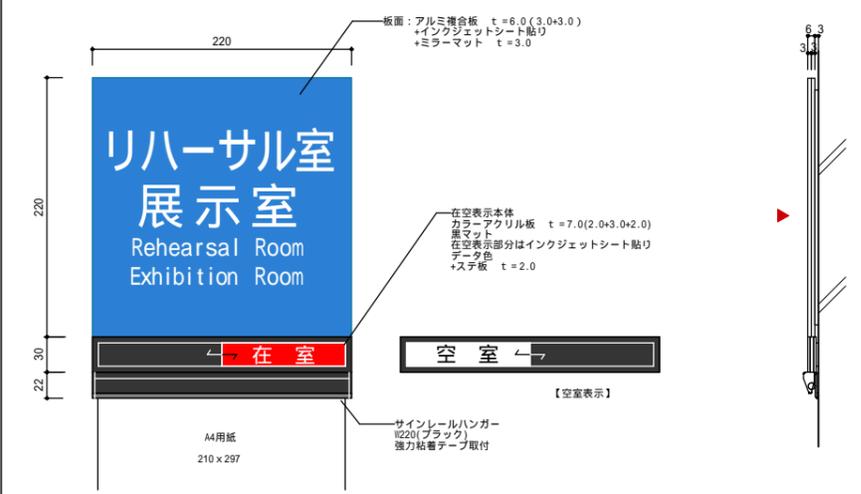
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
案内	A-4	掲示板(壁付)	-	1	-	1	A1 S=1:15, 1:1 A3 S=1:30, 1:2



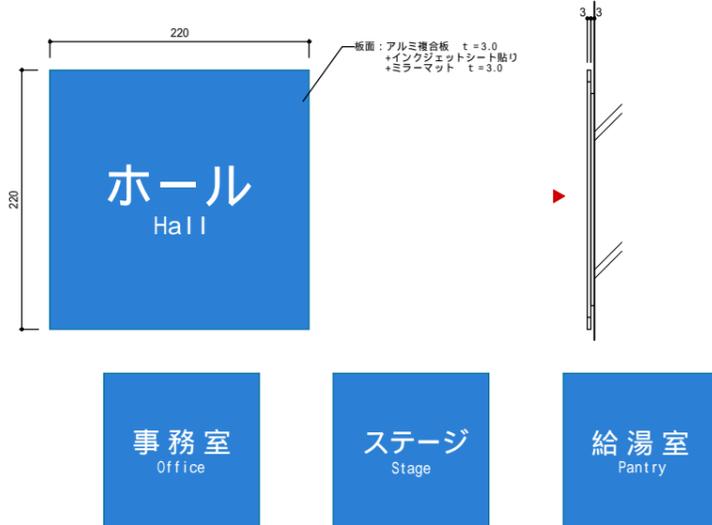
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
室名	B-1	室名サイン ペーパークリップ付(壁付)	-	9	4	13	A1 S=1:3 A3 S=1:6



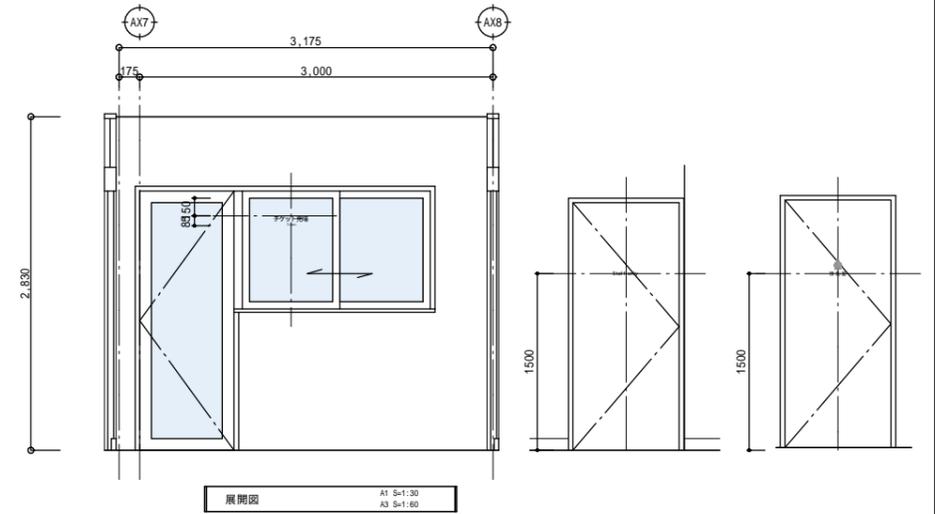
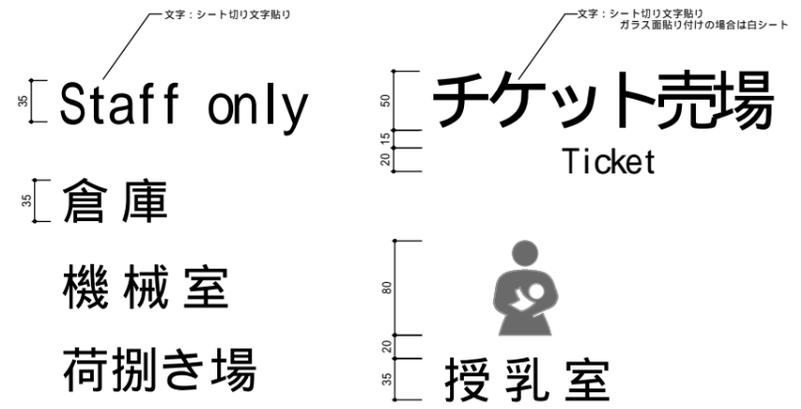
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
室名	B-2	室名サイン ペーパークリップ・在空表示付(壁付)	-	2	2	4	A1 S=1:3 A3 S=1:6



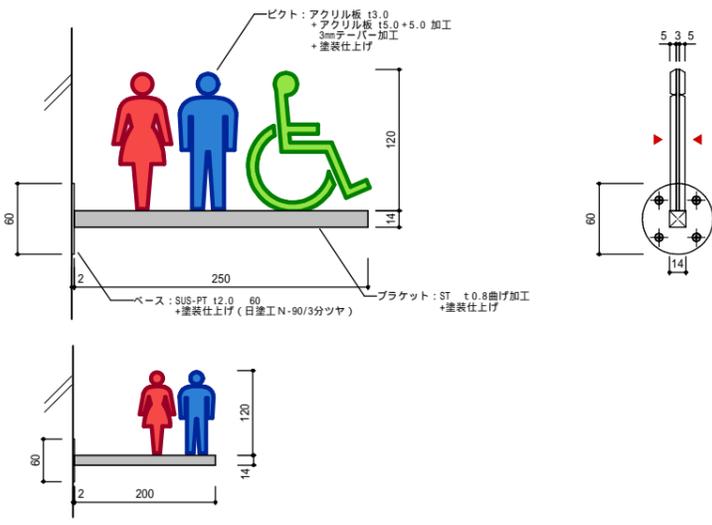
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
室名	B-3	室名サイン(壁付)	-	7	2	9	A1 S=1:3, 1:5 A3 S=1:6, 1:10



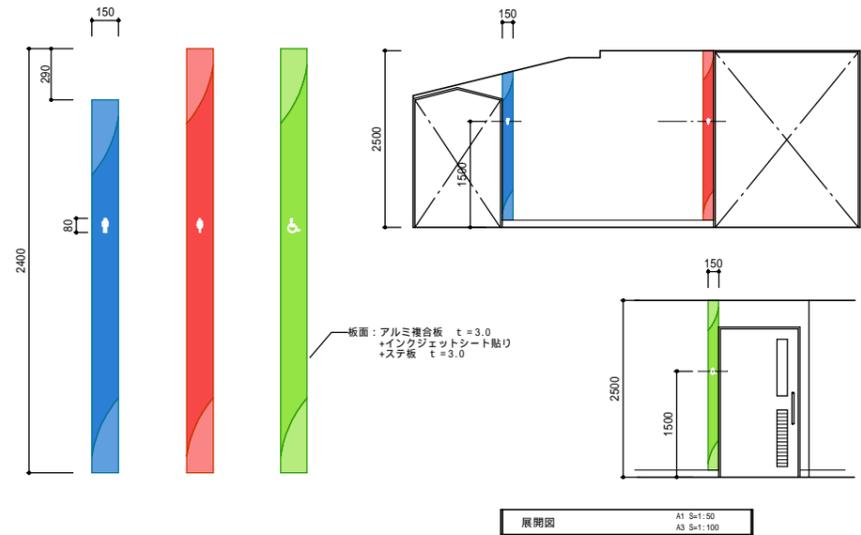
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
室名	B-4	室名サイン シート(貼付)	-	33	11	44	A1 S=1:3 A3 S=1:6



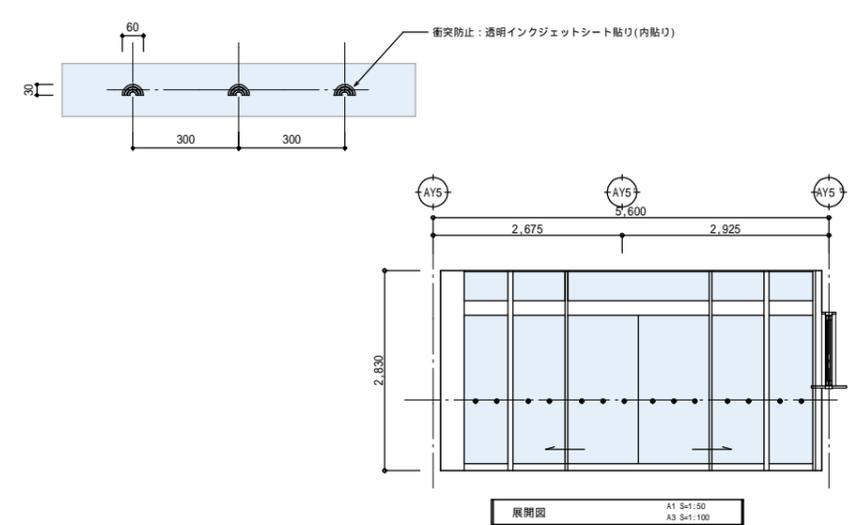
外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
ピクト	C-1	ピクトサイン(突出)	-	2	-	2	A1 S=1:3, 1:5 A3 S=1:6, 1:10



外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
ピクト	C-2	ピクトサイン(平付)	-	9	2	11	A1 S=1:20 A3 S=1:40



外構	記号	サイン名称	外構	1F	2F	数量	Scale
規制	D-1	衝突防止サイン	-	2	-	2	A1 S=1:10 A3 S=1:20



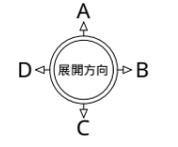
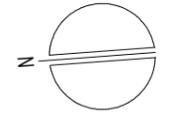
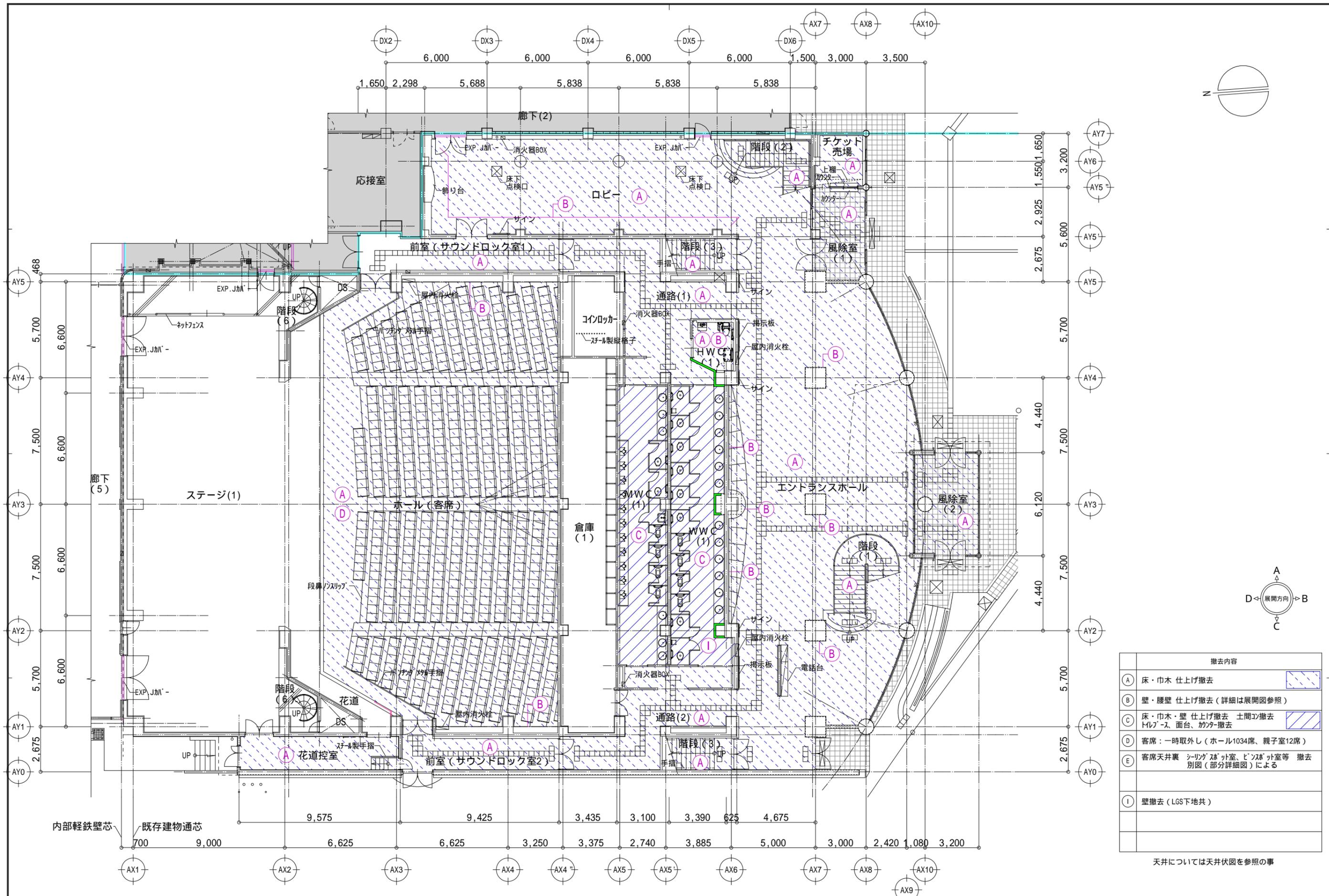
外部仕上表		表中 "00" は、A-22.23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。			
部 位	仕 様		部 位	仕 様	
	既 存	改 修 後		既 存	改 修 後
屋 根	ガルバリウム鋼板t=0.8 ①	高圧洗浄後、一部(500×500×2ヶ所)錆部分は錆落とし、ケレン処理後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法	軒 裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付 ⑦ ⑲ ⑳ ㉑	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ
	ハゼ締め折版 H=166 (ガルバリウム鋼板t=0.6 無塗装品) ②	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法		アルミパネルt=1.2(裏打ち材ヒル石吹付) ⑨ ⑪	既存のまま
	風除室屋根: ガルバリウム鋼板t=0.8(カラー: ポリエステル樹脂系塗膜仕上) ⑧ ⑩	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法		FKt=5.0目透し張りの上EP塗り ⑪⑫	EP-G塗り塗り替え
外 壁	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付 ⑬ ⑭	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	笠 木	FKt=5.0目透し張りの上VP塗り(一部欠損) ⑪⑫ ⑬⑭ ⑮⑯	FKt=5.0 目透し張り替えの上水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ
	中空押出成型板t=26 金属粉入り塗料仕上げ ⑫	既存撤去後中空押出成型板t=26(金具工法)張 + セミックハイブリッドシリコン樹脂塗装		アルミ製 W=650,500 ③	既存撤去後アルミ製笠木W=650・500 新設
	磁器質50角タイル張 ⑮	高圧洗浄 タイルアンカーピンニングエポキシ樹脂樹脂注入後 シラン系吸水防止材		アルミ製 W=200,325 ④	既存のまま
パナット内壁	中空押出成型板t=26mm 金属粉入り塗料仕上横張りジョイント目地シーリング ⑤	既存撤去後 中空押出成型板 厚26(金具工法)、ファイバー処理の上、セラミックハイブリッドシリコン樹脂塗料仕上ジョイント目地シーリング打ち替え(PU-2)共	建 具	外部金属製建具 ⑲	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)
	鉄骨部 H-100×200 ⑫⑬	錆部分は錆落とし、ケレンの上DP塗装	面 台	防水モルタル金鍍押し ⑳	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修
軒 先	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付 ⑥	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	ダケ屋根	防水モルタル金鍍押し ㉑	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修
丸 柱	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付 ⑮	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上含浸密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	縦 樋	硬質塩化ビニル管 V P 125、ステンレス 75 掴み金物: ステンレス@1,200 ⑲	硬質塩化ビニル管 125のみ、ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂)、その他は既存のまま
巾 木	既存コンクリート部薄塗り仕上げ ⑰	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	軒 樋	軒樋包み: ステンレス鋼板t=1.5mm ㉒	軒樋包みは既存のまま 押えアングル: 錆落とし、ケレンの上さび止め塗料塗
	化粧型枠コンクリート打放し ⑱	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ		ドレン	横引き型ドレン鋳鉄製100 ⑩⑪ ⑫⑬
屋 上	ゴムシート防水(非歩行) ⑳ ㉑ ㉒	平 場: 高圧洗浄 特定化学物質無配合1成分形ウレタン機械的固定工法 立上り: 高圧洗浄 特定化学物質無配合1成分形ウレタン密着メッシュ入り工法	タラップ	ST構造管タラップ 溶融亜鉛メッキ処理 ㉓	既存のまま
庇	防水モルタル金鍍押し ㉔	高圧洗浄			

内部仕上表		特記なき仕上げ材料は全て難燃以上とする。											
階	室 名	床		巾 木		壁		天井		天井高		備 考 ( 改 修 後 )	
		既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後		
1	風除室(1)	(不) 磁器質300角タイル 免除 告へ(2)	磁器質150角タイル 既存仕上げ撤去後下地補修調整	-	-	EP塗装 RC、一部LGS+GB-R	EP-G 下地補修調整	アルミスバンドレルt=1.6 LGS	既存のまま	2,830	2,830	点字ブロック 天井点検口	風除室(1)
	風除室(2)	(不) 磁器質300角タイル 免除 告へ(2)	磁器質150角タイル 既存仕上げ撤去後下地補修調整	-	-	(壁)アルミパネル(ヒル石裏打) (丸柱)EP塗装 (壁)LGS (丸柱)RC	(壁)既存のまま (丸柱)EP-G (壁)既存のまま (丸柱)下地補修調整	アルミスバンドレルt=1.6 LGS	既存のまま	2,830	2,830	点字ブロック 天井点検口	風除室(2)
	チケット売場	(不) 長尺塩ビシートt=2.0 免除 告へ(5)	長尺塩ビシートt=2.0張(防滑・抗菌・消臭) 既存仕上げ撤去後下地補修調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去 ビニル巾木 H=100	EP(継目処理工法) RC、一部LGS+GB-R	EP-G 下地補修調整	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 既存のまま	2,830	2,830	天井点検口	チケット売場
	ロビー	(不) 塩化ビニルインレイド床タイルt=3.0 自然 -	複層ビニル床タイル張t=3.0 既存仕上げ撤去後下地調整	天然木 練付仕上 H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 天然木練付仕上材H=1000,1200 RC, LGS	下地補修調整 EP-G塗装 既存撤去の上GB-Rt = 12.5 EP-G 一部: アルミ複合版の上タイルシート貼 ( 掲示面はアルミ複合版 )	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ) ポーター部: DRt=9.5 LGS	仕上撤去後、脱落防止金物取付の上 GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 既存撤去の上LGS下地新設	5,200 6,280	5,200 6,280	壁付ビクチャーレール L=5000×2 点字ブロック 天井点検口	ロビー
	エントランスホール	(不) 塩化ビニルインレイド床タイルt=3.0 自然 -	複層ビニル床タイル張t=3.0 既存仕上げ撤去後下地調整	天然木 練付仕上 H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 化粧型枠コンクリート打放しの上FCC吹付 天然木練付仕上材H=1200 ポータータイル張 RC, LGS	下地補修調整 EP-G塗装 既存撤去の上GB-Rt = 12.5 EP-G 一部: アルミ複合版の上タイルシート貼 ( 掲示面はアルミ複合版 )	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ) ポーター部: GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 一部: 既存仕上(下地共)撤去後 GB-Rt=12.5+木目調シート(不燃)貼 一部: 仕上撤去後、脱落防止金物 取付の上GB-Rt=9.5+DRt=9.0 既存のまま 一部: LGS新設	2,750 3,200 3,700 4,100 4,280 7,580 -8,360	2,750 3,200 3,700 4,100 4,280 7,580 -8,360	ビクチャーレール L=35m 点字ブロック 天井点検口	エントランス ホール
	ホール(客席)	(不) 通路部分: カーペット敷t=6.0 機械 - 客席部分: 長尺シートt=2.0 -	通路部分: 長尺塩ビシートt=2.0張 (防滑・抗菌・消臭) 客席部分: 長尺塩ビシートt=2.0張 (防滑・抗菌・消臭) 既存仕上げ撤去後下地調整	木製OP H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	スラグ石膏板t=12.0の上EP 有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP ( 共寒冷紗張GWt=50充填 ) GWt=50(32kg/m <sup>2</sup> )が ラクダ木縦格子止 LGS	下地調整後EP-G 壁面積の約30%は寒冷紗増張後EP-G 仕上撤去後(寒冷紗共)、スラグ石膏 ボ-ド t=12.0、寒冷紗張の上EP-G 共GWは既存のまま AX7通: 既存木縦格子の上 GB-Rt=12.5の上EP-G 既存のまま	GB-Rt=9.5 + 9.5 + 9.5 EP GB-Rt=12.5 + 9.5 EP GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	既存仕上(下地共)撤去後 GB-Rt = 12.5 + 12.5 EP-G ( 曲面 ) 客席奥: GB-Rt=9.5+EP-G (下地既存のまま) 既存下地撤去後 準構造化天井専用下地 客席奥: 既存のまま	詳細図 による	詳細図 による	客席: 一時取外しクリーニング後、再取付 段鼻ノリッパ: 取替 コナート製手摺: 立上り部EP-G塗替 木製笠木: 下地調整後UC パナット外手摺: SOP塗替	ホール(客席)
	ステージ(1)	(不) 檜集成材t=21 本実張り 機械 - コンクリート同時押え	既存のまま	-	-	GWt=50(32kg/m <sup>2</sup> )が ラクダ木止 RC	既存のまま	コンクリート表し	既存のまま			設備用足場: 枠組足場(手摺先行工法) W=1.2m×L=40.0m×H=3.0m	ステージ(1)
	花道	(不) 檜集成材t=21 本実張り 機械 - コンクリートこて押え	既存のまま	木製OP H=100	既存のまま	スラグ石膏板t=12.0の上EP LGS	EP-G 下地補修調整	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	GB-Rt=9.5+EP-G 既存のまま			花道出入口前: 目隠し壁新設	花道
	HWC(1)	(不) 長尺塩ビシートt=2.0 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0張(防滑・抗菌・消臭) モルタル 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	SUS製巾木 H=100	FKt=6.0の上EP RC	メラミン化粧板t=3.0(H=1,900まで) EP-G 既存仕上げ撤去、下地補修調整後 GB-St=12.5(GL工法、一部LGS新設)	FKt=6.0目透し張 EP(910×910) LGS	既存仕上げ撤去後 FKt=6.0目透し張 EP-G(910×910) 既存のまま	2,500	2,500	鏡 天井点検口	HWC(1)
	MWC(1)	(不) モザイクタイル貼 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0張(防滑・抗菌・消臭) 汚垂れ受け: 御影石 t=30 既存仕上及び土間コン t = 120撤去後 モルタル 土間コンクリート t = 150新設	陶器質 100角タイル	SUS製巾木 H=100	陶器質100角タイル RC	メラミン化粧板t=3.0(H=1,900まで) EP-G 既存仕上げ撤去、下地補修調整後 GB-St=12.5(GL工法、一部LGS下地)	FKt=6.0目透し張 EP(910×910) LGS	FKt=6.0目透し張 EP-G(910×910) 既存撤去の上LGS下地新設	1,850 -	1,850 -	マ-ブ ライトカバー、マ-ブ ライト面台、鏡 汚垂石 天井点検口	MWC(1)
	WWC(1)	(不) モザイクタイル貼 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0張(防滑・抗菌・消臭) モルタル 既存仕上げ及び土間コン t = 120撤去後 土間コンクリート t = 150新設	陶器質 100角タイル	SUS製巾木 H=100	陶器質100角タイル RC	メラミン化粧板t=3.0(H=1,900まで) EP-G 既存仕上げ撤去、下地補修調整後 GB-St=12.5(GL工法、一部LGS下地)	FKt=6.0目透し張 EP(910×910) LGS	FKt=6.0目透し張 EP-G(910×910) 既存撤去の上LGS下地新設	2,500	2,500	マ-ブ ライトカバー、鏡 天井点検口	WWC(1)
	物置	(不) 長尺塩ビシートt=2.0 免除 告へ(2)	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G 下地補修調整	EP RC	下地補修調整後EP-G 既存のまま	1,700 -	1,700 -	ス-ル製縦格子下地補修後SOP	物置

特 記 事 項	<div style="text-align: center;"><b>堂 園 設 計 株 式 会 社</b></div> <small>一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</small>		<small>一級建築士登録 第1606366号 外村 遼</small>		設計年月日	R7・2・	工 事 名 称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計 図	図面番号	A-52
					縮 尺		図 面 名 称	(ホール棟)仕上表(1)			
					NO.SCALE						

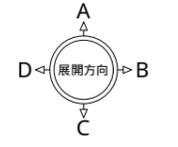
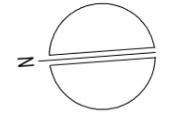
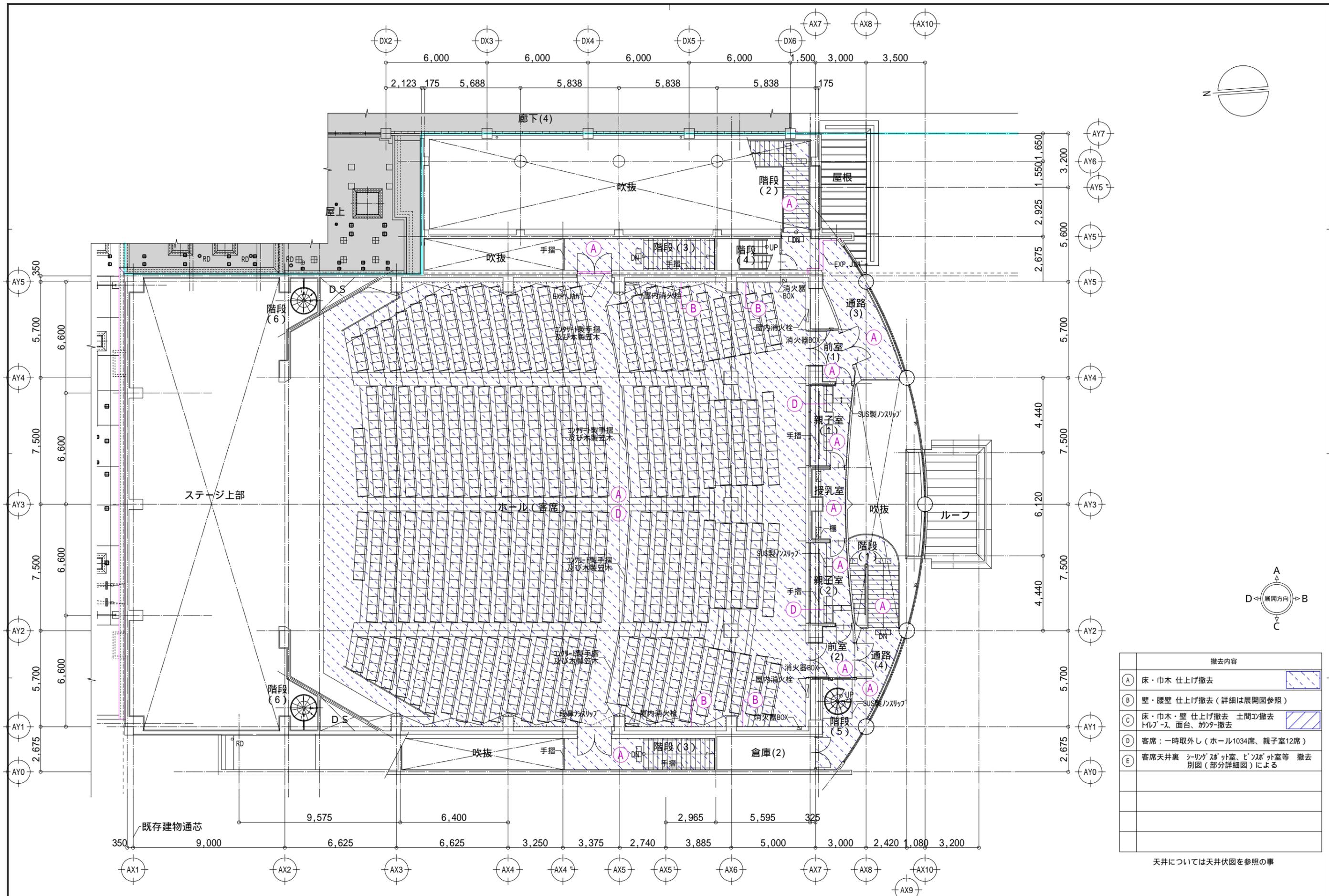
内部仕上表		1告ニ(2): H12告示1436号第四号ニ-(2)		告示(4): H12告示1436号第四号ニ-(4)		2(不): 不燃材料 (準): 準不燃材以上(難): 難燃材以上		3(上段): 仕上材・下段: 下地材		特記なき仕上材料は全て難燃以上とする。			
階	室名	床		巾木		壁		天井		天井高		備考(改修後)	
		内装制限 排除 免除 告へ(2)	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存		
1	倉庫(1)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 化粧型枠コンクリート打放しの上EP RC	既存のまま	EP RC	1,700 ~ 2,300	1,700 ~ 2,300	-	倉庫(1)
	通路(1)(2)	(不) 機械 -	塩化ビニールインレイド床タイルt=3.0	複層ビニル床タイル張t=3.0	ビニル巾木 H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	1,700 ~ 2,500	1,700 ~ 2,500	点字ブロック 天井点検口	通路(1)(2)
	前室 (サウンドロック(1))	(不) 免除 告へ(2)	タイルカーベット敷 500角	既存仕上撤去後タイルカーベット敷(500角)	木製OP H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	3,500 ~ 7,100	3,500 ~ 7,100	点字ブロック 天井点検口	サウンド ロック(1)
	前室 (サウンドロック(2))	(不) 免除 告へ(2)	タイルカーベット敷 500角	既存仕上撤去後タイルカーベット敷(500角)	木製OP H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	3,500 ~ 7,100	3,500 ~ 7,100	点字ブロック 天井点検口	サウンド ロック(2)
	花道控室	(不) 免除 告へ(2)	長尺ビニル床シートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張	ビニル巾木 H=100	既存撤去 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	2,200	2,200	階段段鼻ノンスリップ取替え ｽﾌﾟｰﾙ製手摺下地調整後SOP	花道控え
2	通路(3)(4)	(不) 自然 -	カーベット敷t=6.0	既存仕上撤去後カーベット敷t=6.0	木製OP H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) GB-F15.02重張の上EP RC, LGS	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	2,200 ~ 2,835	2,200 ~ 2,835	SUS製ノスリップ 取替 支柱:ｽﾌﾟｰﾙ製下地調整後SOP 笠木:集成堅木45 下地調整後UC 天井点検口	通路(3)(4)
	前室(1)(2)	(不) 機械 -	カーベットt=6.0	既存仕上撤去後カーベット敷t=6.0	木製OP H=100	既存撤去 木製巾木SOP H=100	有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP 通路(3)(4)側: GB-F15.02重張の上EP LGS, RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	2,500	2,500	-	前室(1)(2)
	親子室(1)(2)	(不) 機械 -	タイルカーベット敷 500角	既存仕上撤去後タイルカーベット敷(500角)	ビニル巾木 H=100	既存撤去 木製巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 吹抜側:GB-Ft=15.0 2重張の上EP RC, LGS	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	2,500	2,500	客席:一時取外しクリーニング後、再取付 段鼻ノスリップ 取替 防護マットt=50、天井点検口	親子室(1)(2)
	授乳室	(不) 機械 -	タイルカーベット敷 500角	既存仕上撤去後タイルカーベット敷(500角)	ビニル巾木 H=100	既存撤去 木製巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 吹抜側:GB-Ft=15.0 2重張の上EP RC, LGS	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	2,500	2,500	天井点検口	授乳室
	倉庫(2)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) 化粧型枠コンクリート打放しの上EP RC	既存のまま	FKt=6.0(目透し張)の上EP RC	2,200	2,200	天井点検口	倉庫(2)
3	映写機器室	(不) 免除 告へ(5)	ニードルパンチカーベット敷きt=4.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	GWt=50(32kg/m3)がラスクレストン® 止 LGS	既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	天井点検口	映写機器室
	調光機器室	(不) 免除 告へ(5)	ニードルパンチカーベット敷きt=4.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	GWt=50(32kg/m3)がラスクレストン® 止 LGS	既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	天井点検口	調光機器室
	音響調整機器室	(不) 免除 告へ(5)	ニードルパンチカーベット敷きt=4.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	GWt=50(32kg/m3)がラスクレストン® 止 LGS	既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	天井点検口	音響調整 機器室
	器具庫(1)(2)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	FKt=8.0(目透し張)の上EP LGS	既存のまま	GB-Dt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	天井点検口	器具庫(1)(2)
	WC	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=75	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC, LGS	既存のまま	GB-Dt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	-	WC
	湯沸コーナー	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=75	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) LGS	既存のまま	GB-Dt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,500	2,500	-	湯沸コーナー
	廊下(1)	(不) 機械 -	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=75	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) LGS	既存のまま	GB-Dt=9.5 天井裏:GWt=50(24kg/m3) LGS	2,600	2,600	天井点検口	廊下(1)
	機械室	(準) 免除 告へ(1)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	FKt=6.0の上 GWt=50(32kg/m3)がラスクレストン® 止め LGS	既存のまま	耐火野地板表し	-	-	-	機械室
	投光機器室(1)(2)		ニードルパンチカーベット敷きt=4.0	既存のまま	木製 OP H=75	既存のまま	GWt=50(32kg/m3)がラスクレストン® 止め LGS	既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	2,400	2,400	-	投光機器室 (1)(2)
	共通	階段(1)		タイルカーベット敷 500角	タイルカーベット敷(500角)	-	-	-	-	-	-	-	SUS製ノスリップ 取替 支柱・中残:下地調整後UC 笠木:下地調整後UC 点字ブロック
階段(2)			タイルカーベット敷 500角	タイルカーベット敷(500角)	-	-	-	-	-	-	-	SUS製ノスリップ 取替 支柱・中残:下地調整後UC 笠木:下地調整後UC 点字ブロック	階段(2)
階段(3)			タイルカーベット敷 500角	タイルカーベット敷(500角)	ビニル巾木 H=100	既存撤去 木製巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	-	-	SUS製ノスリップ 取替 笠木:下地調整後UC 点字ブロック 天井点検口	階段(3)
階段(4)			チェッカープレート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP(継目処理工法) RC	既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	-	-	-	階段(4)
階段(5)~(7)			チェッカープレート	既存のまま	-	-	-	-	(5) FKt=6.0目透し張 EP(910×910) (6)(7) -	-	-	-	階段(5) ~ (7)

特記事項	堂園設計株式会社		一級建築士登録 第160636号		設計年月日		工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号
	一級建築士事務所		外村 遼		R7・2・					
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177				縮尺					
					NO.SCALE					
						図面名称		(ホール棟)仕上表(2)		



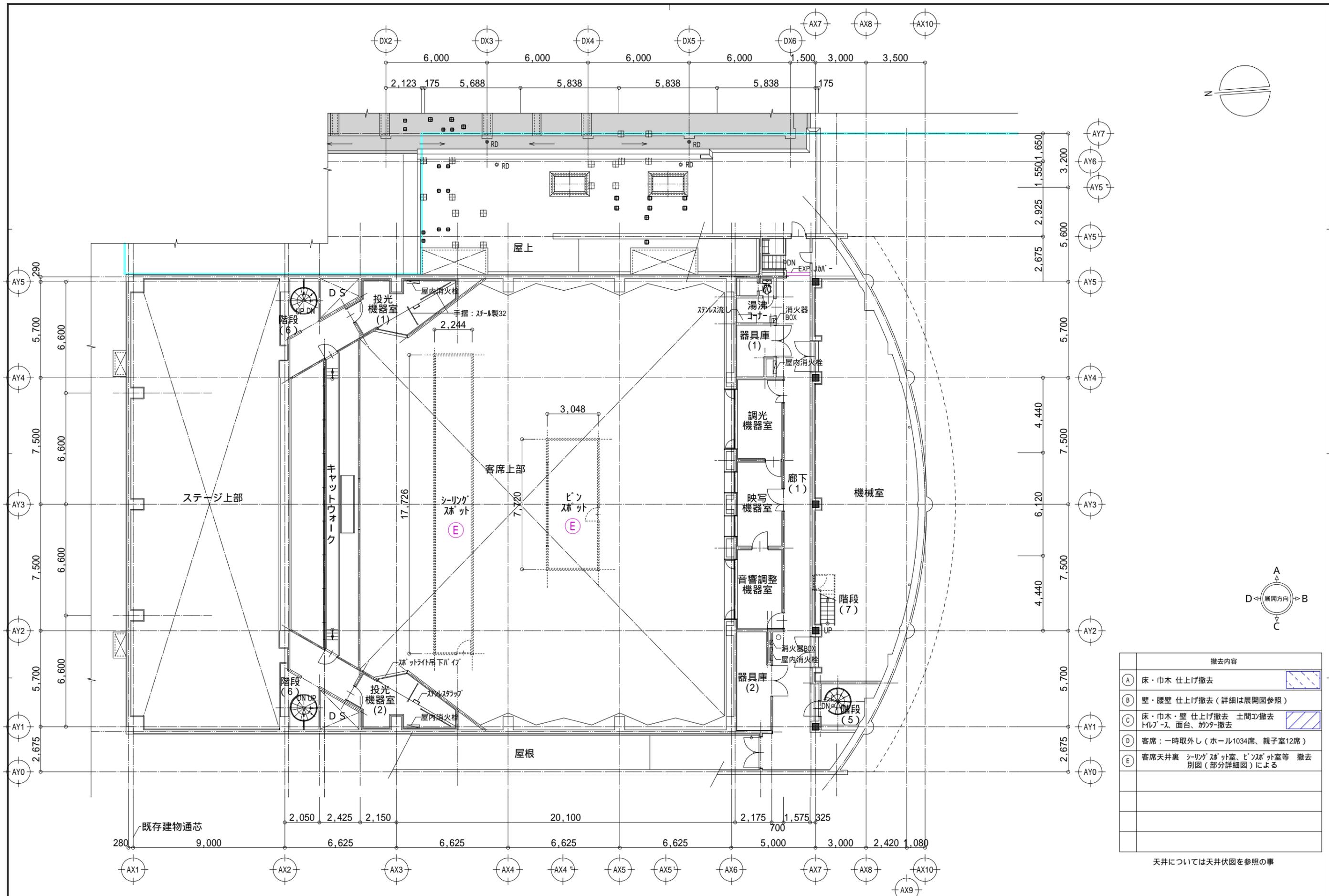
撤去内容	
(A)	床・巾木 仕上げ撤去
(B)	壁・腰壁 仕上げ撤去 (詳細は展開図参照)
(C)	床・巾木・壁 仕上げ撤去 土間コン撤去 トリアス、面台、カンタ撤去
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)
(E)	客席天井裏 シリックがけ外室、ピンがけ外室等 別図 (部分詳細図) による
(I)	壁撤去 (LGS下地共)

天井については天井伏図を参照の事



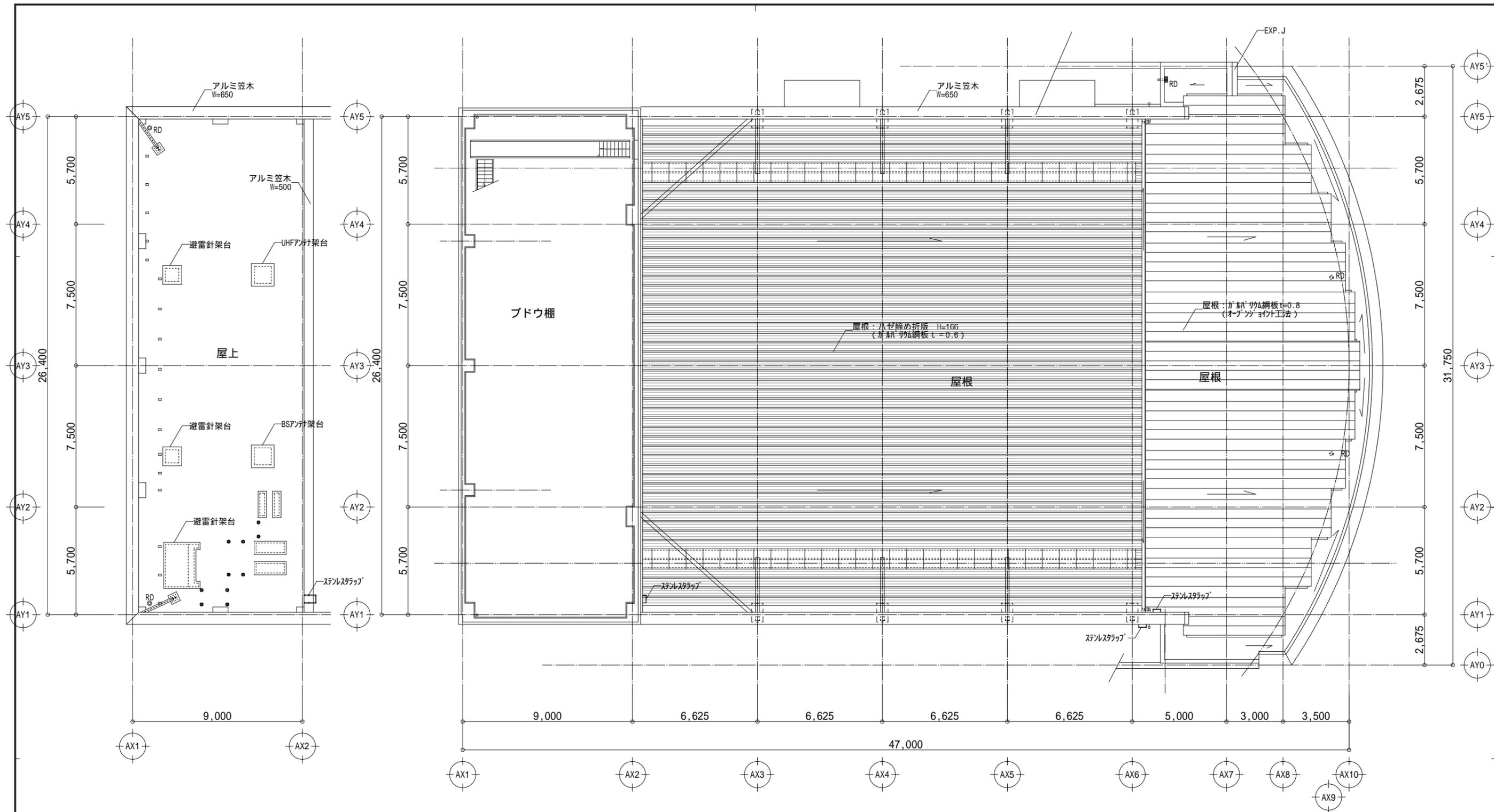
撤去内容	
(A)	床・巾木 仕上げ撤去
(B)	壁・腰壁 仕上げ撤去 (詳細は展開図参照)
(C)	床・巾木・壁 仕上げ撤去 土間コン撤去 トリアス、面台、カウンター撤去
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)
(E)	客席天井裏 シーリング、ボタ室、ピンボタ室等 別図 (部分詳細図) による

天井については天井伏図を参照の事



撤去内容	
(A)	床・巾木 仕上げ撤去
(B)	壁・腰壁 仕上げ撤去 (詳細は展開図参照)
(C)	床・巾木・壁 仕上げ撤去 土間コン撤去 トリアス、面台、カンタ撤去
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)
(E)	客席天井裏 シーリングスポット室、ピンスポット室等 別図 (部分詳細図) による

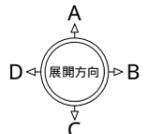
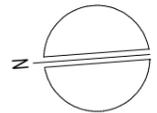
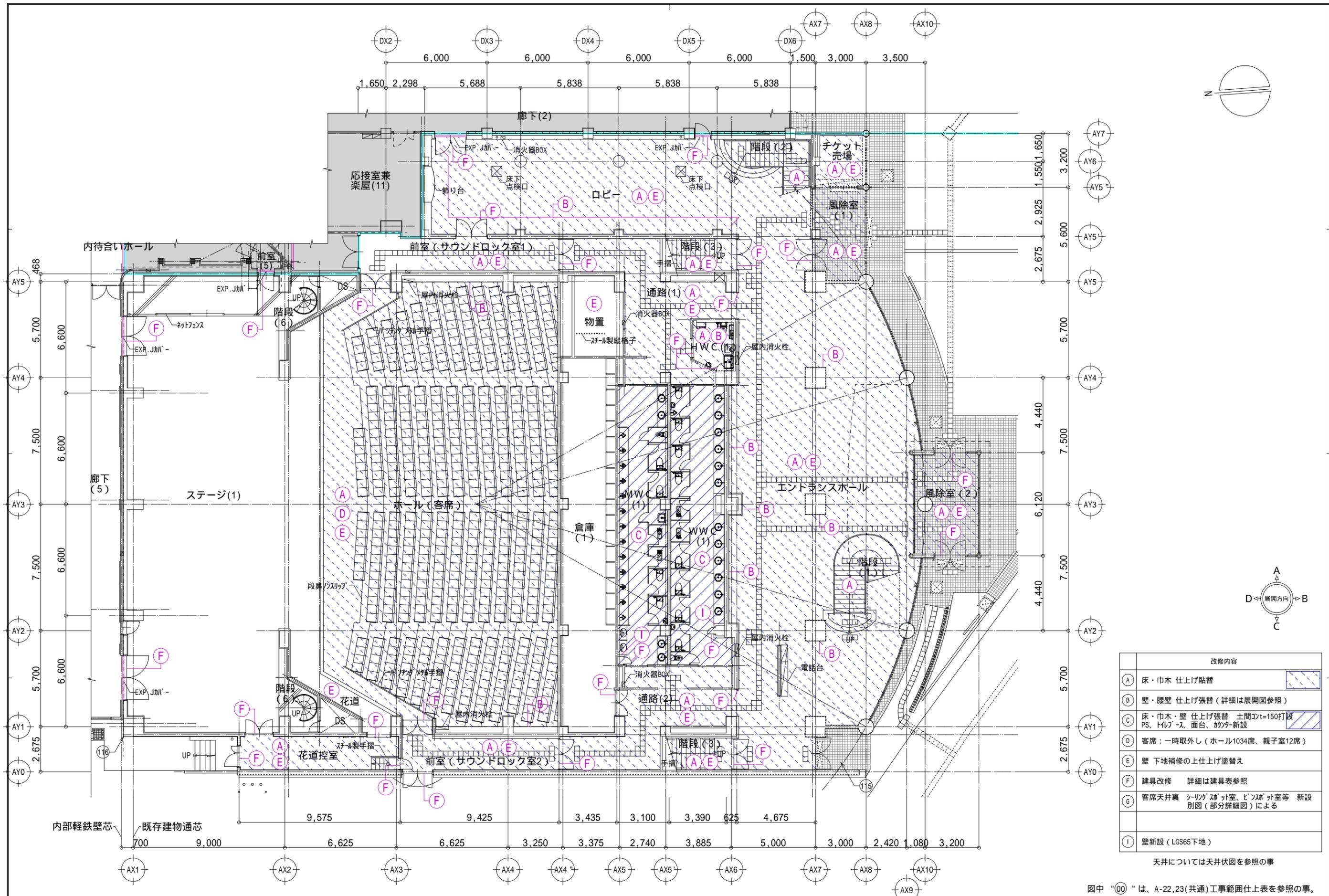
天井については天井伏図を参照の事



R 2 階屋根伏図

撤去内容	
(A)	床・巾木 仕上げ撤去
(B)	壁・腰壁 仕上げ撤去
(C)	床・巾木・壁 仕上げ撤去 土間コンクリートレス、面台、加納撤去
(D)	客席：一時取外し（ホール1024席、親子室12席）
(E)	客席天井裏 シーリング 剥がし室、ビンスポット室等 撤去別図（部分詳細図）による

天井については天井伏図を参照の事

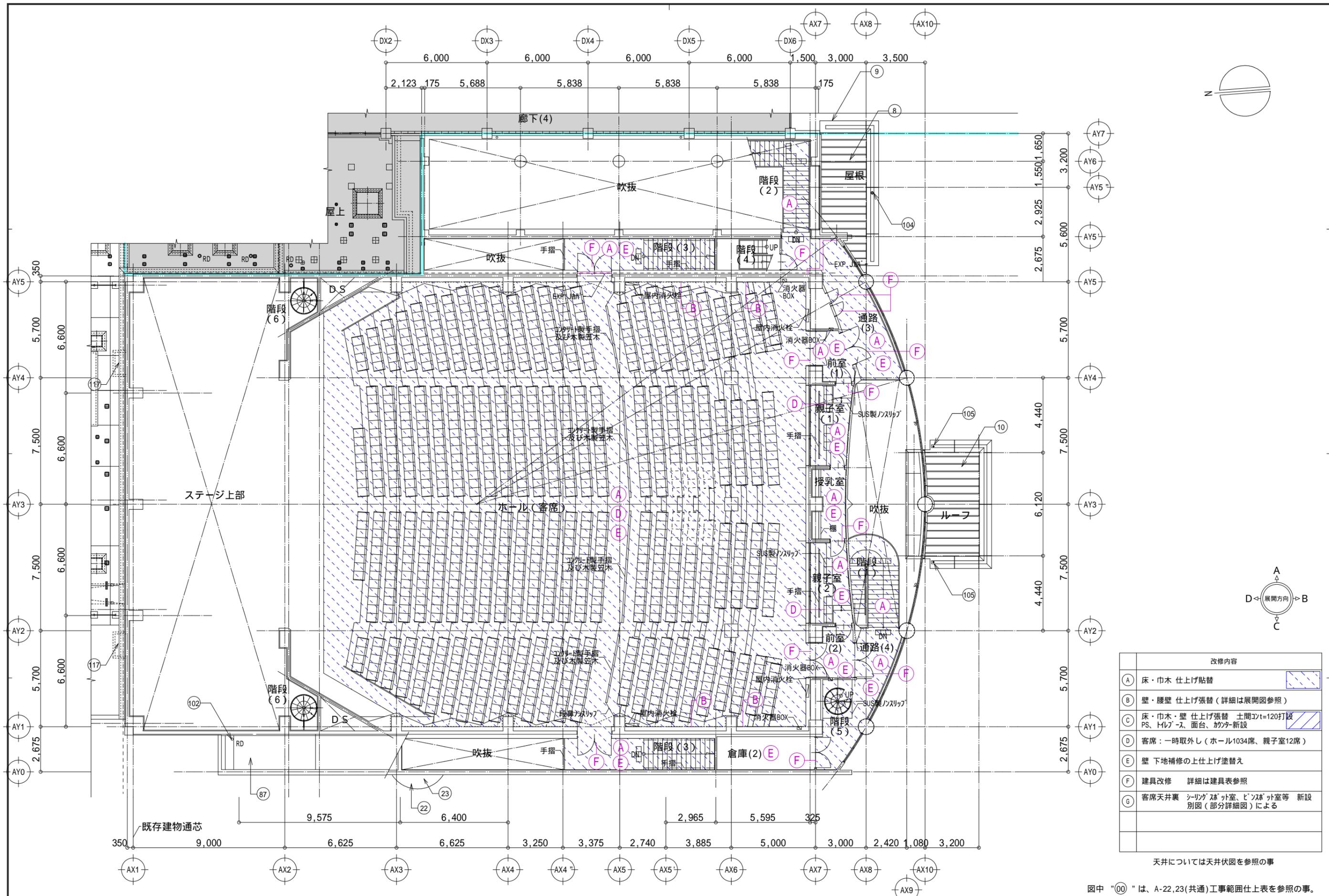


改修内容	
(A)	床・巾木 仕上げ貼替
(B)	壁・腰壁 仕上げ張替 (詳細は展開図参照)
(C)	床・巾木・壁 仕上げ張替 土間コン=150打設 PS、トイレ、面台、カウンター新設
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)
(E)	壁 下地補修の上仕上げ塗替え
(F)	建具改修 詳細は建具表参照
(G)	客席天井裏 シリカボード外室、ビニル外室等 新設 別図 (部分詳細図) による
(I)	壁新設 (LGS65下地)

天井については天井伏図を参照の事

図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	<b>堂園設計株式会社</b>	一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号	外村 遼	R7・2・	R7露島市民会館大規模改修工事 (建築1工区)	A-58
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		縮尺	図面名称	(ホール棟)改修後1階平面図

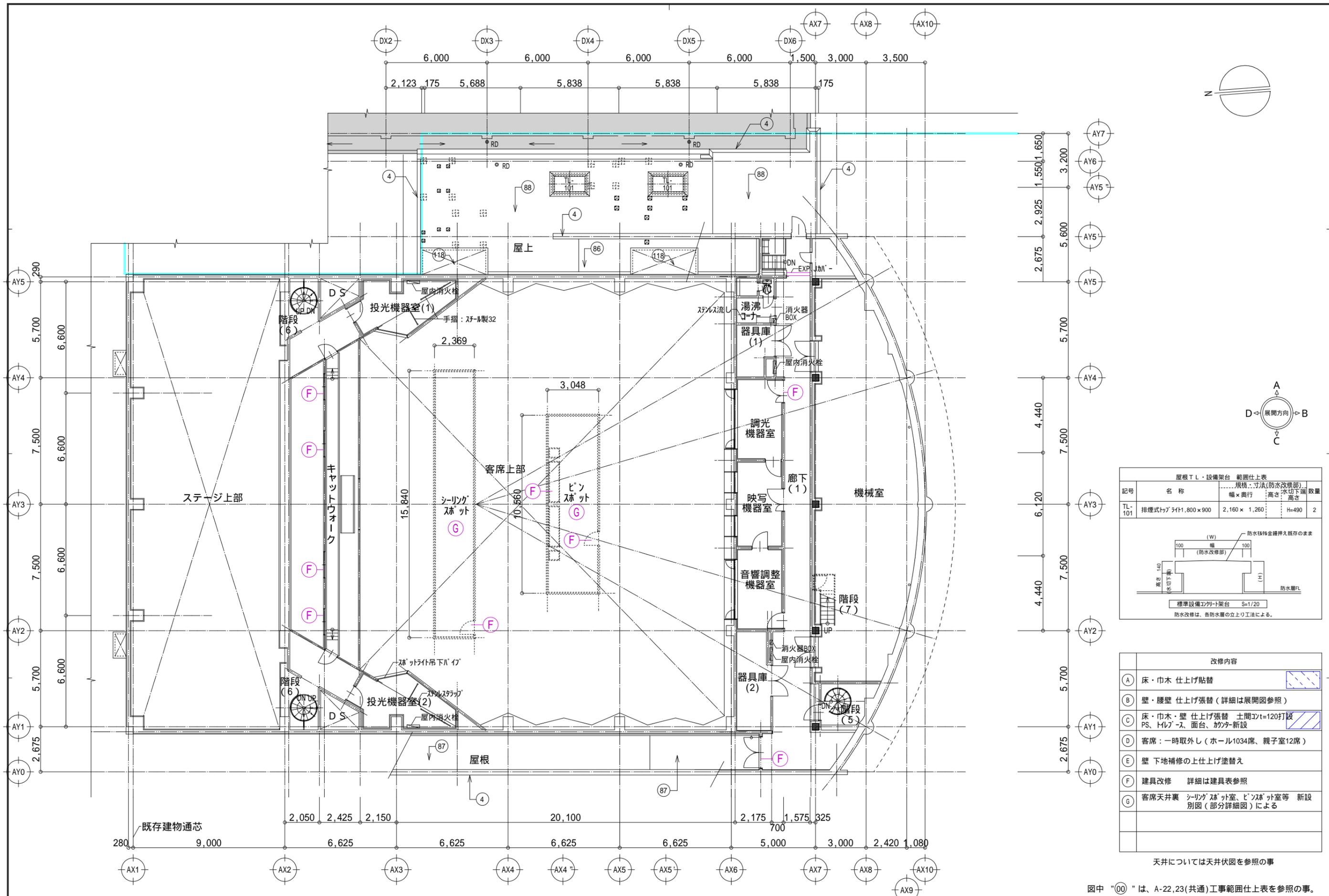


改修内容	
(A)	床・巾木 仕上げ貼替
(B)	壁・腰壁 仕上げ張替 (詳細は展開図参照)
(C)	床・巾木・壁 仕上げ張替 土間コン=120打設 PS、トイレ入、面台、カウンター新設
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)
(E)	壁 下地補修の上仕上げ塗替え
(F)	建具改修 詳細は建具表参照
(G)	客席天井裏 シリカゲス® 外室、ビニル® 外室等 新設 別図 (部分詳細図) による

天井については天井伏図を参照の事

図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	<b>堂園設計株式会社</b>	一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号	外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事 (建築1工区)	A-59
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL (代) 099-257-1177		縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	図面名称	(ホール棟)改修後2階平面図



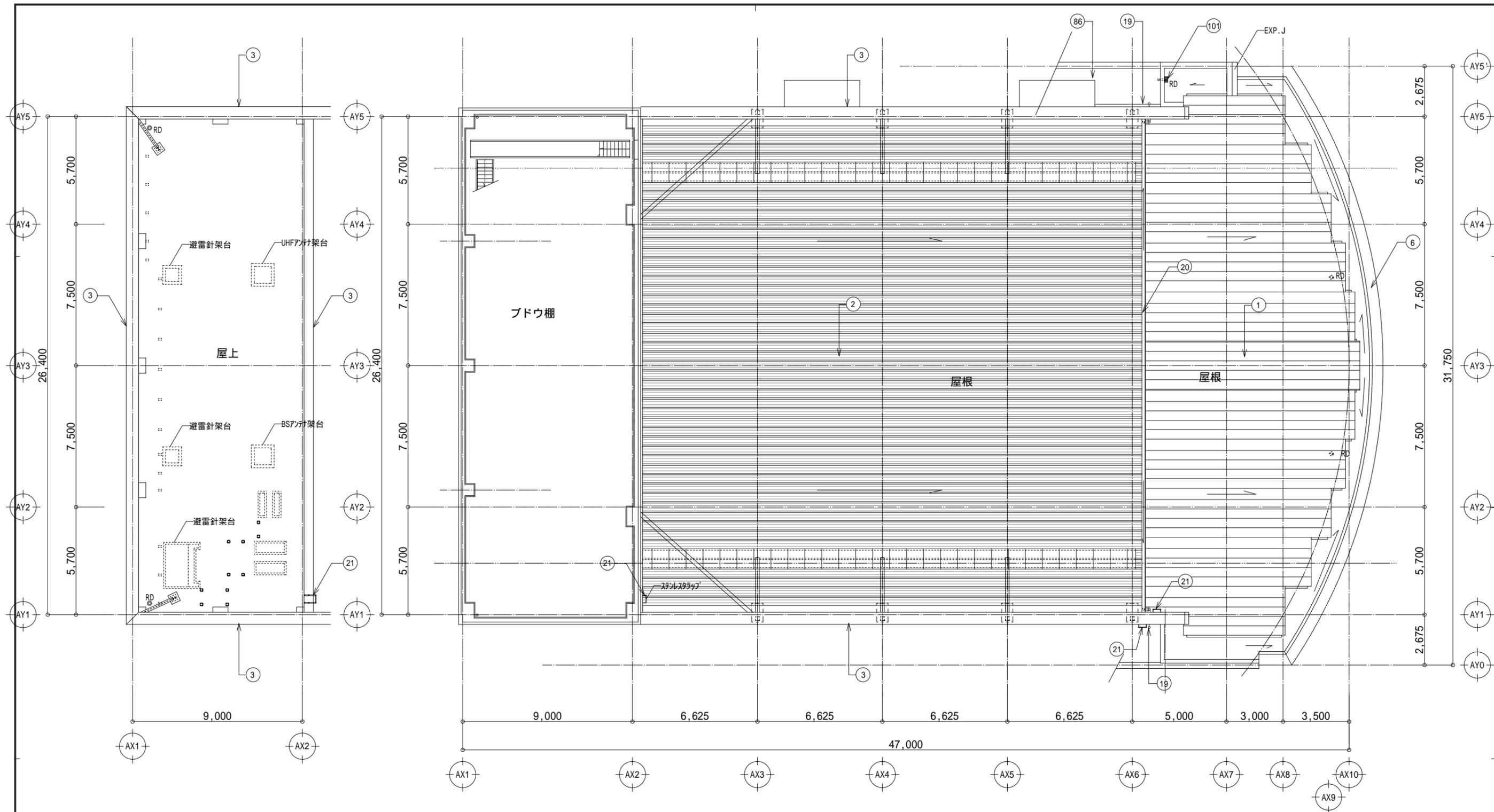
記号	名称	規格・寸法(防水改修部)	数量
TL-101	排煙式トライブライト	幅×奥行 2,160×1,260 高さ 490	2

標準設備コナート架台 S=1/20  
防水改修は、各防水層の上り工法による。

(A)	床・巾木 仕上げ貼替	
(B)	壁・腰壁 仕上げ張替 (詳細は展開図参照)	
(C)	床・巾木・壁 仕上げ張替 土間コン=120打設 PS、トライブライト、面台、カクタ新設	
(D)	客席：一時取外し (ホール1034席、親子室12席)	
(E)	壁 下地補修の上仕上げ塗替え	
(F)	建具改修 詳細は建具表参照	
(G)	客席天井裏 シーリングスポット室、ピンスポット室等 新設 別図 (部分詳細図) による	

天井については天井伏図を参照の事

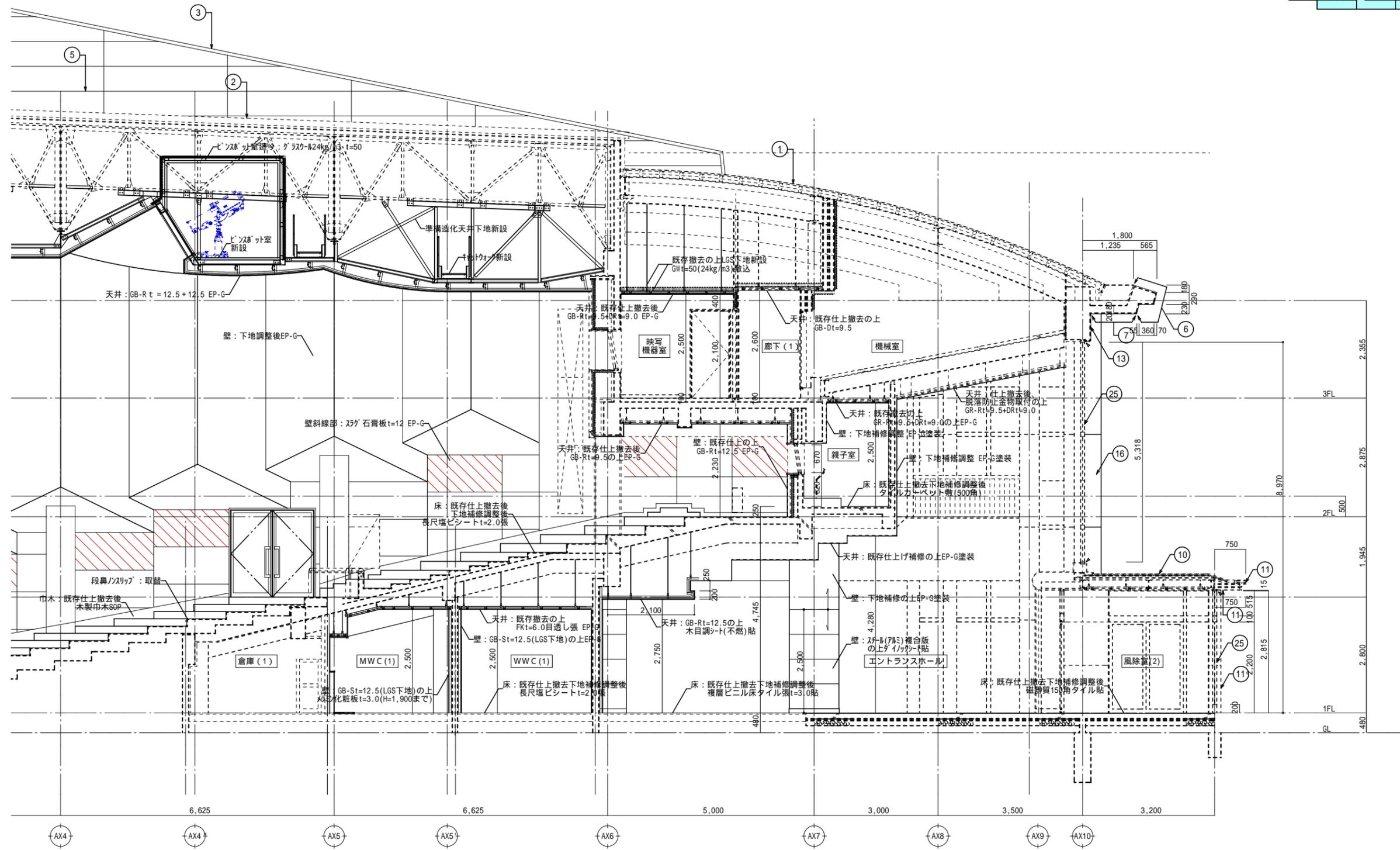
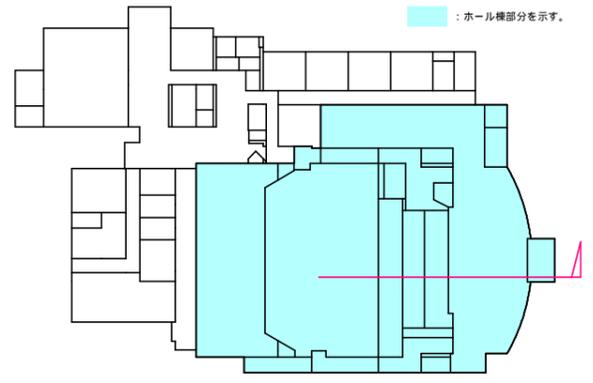
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。



図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

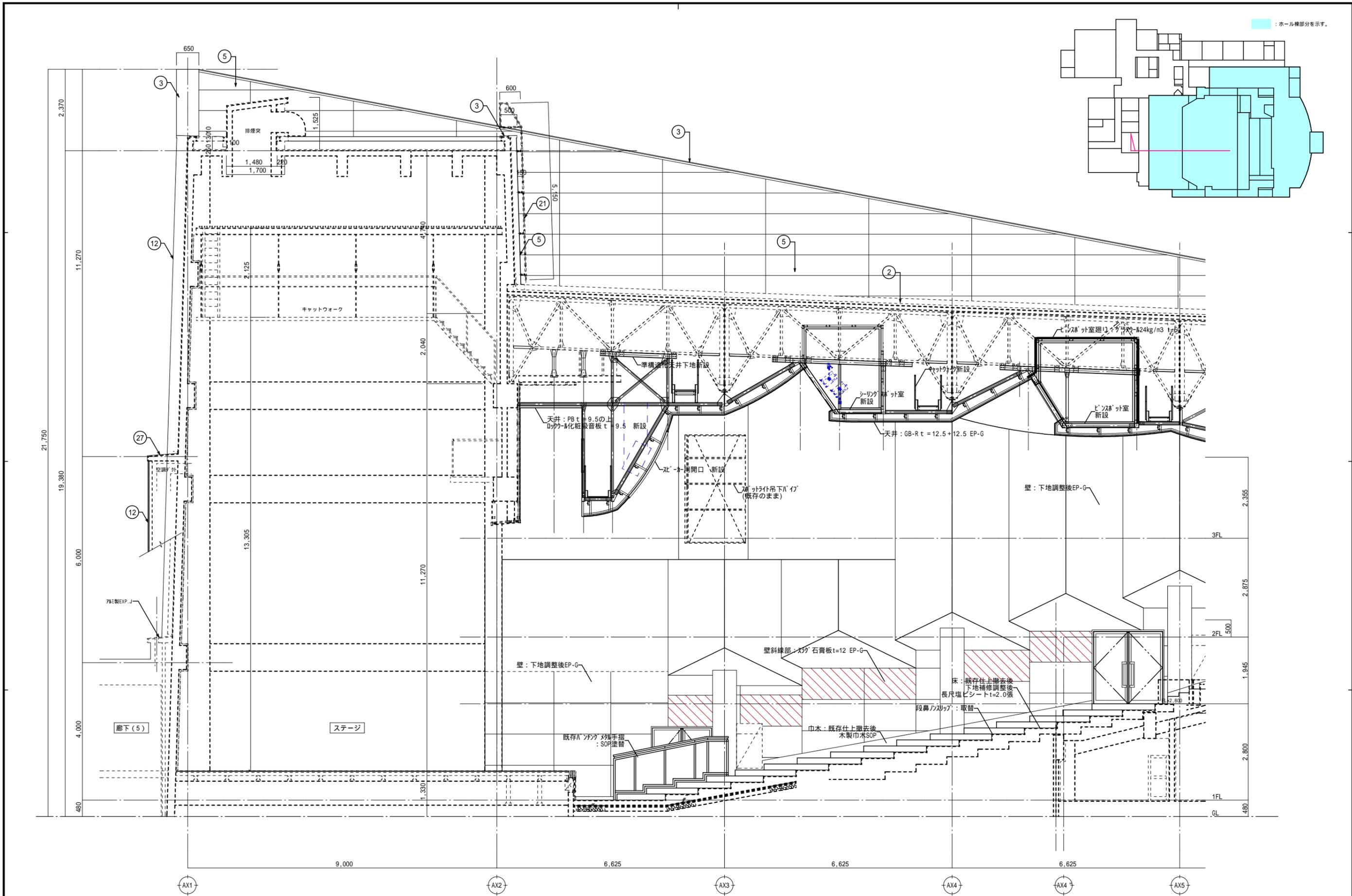
特記事項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		外村 遼	R7.2.	R7露島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図
				縮尺	図面名称	A-61
				1:100(A1) 1:200(A3)	(ホール棟)改修後R階平面図	

：ホール棟部分を示す。



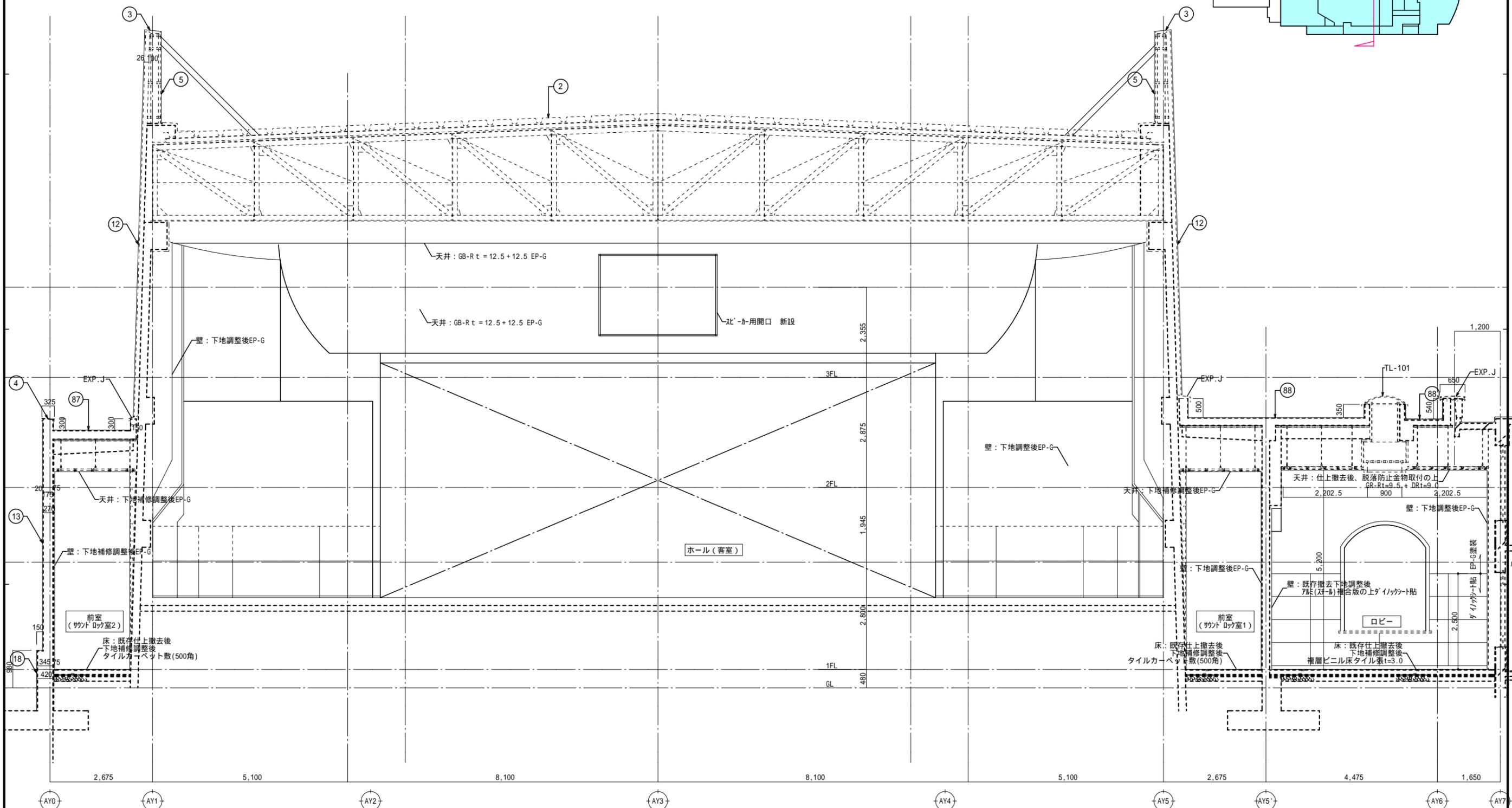
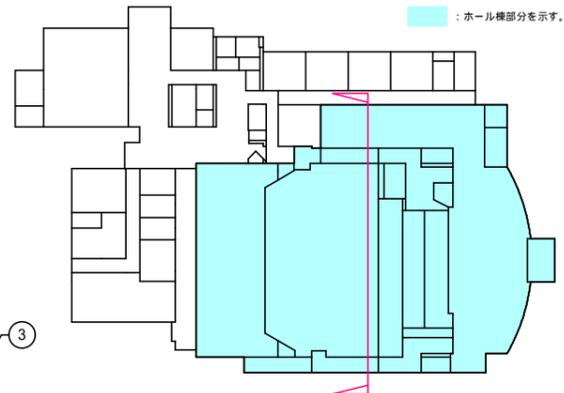
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号
			縮尺					
			一級建築士登録 第160636号	外村 遼				



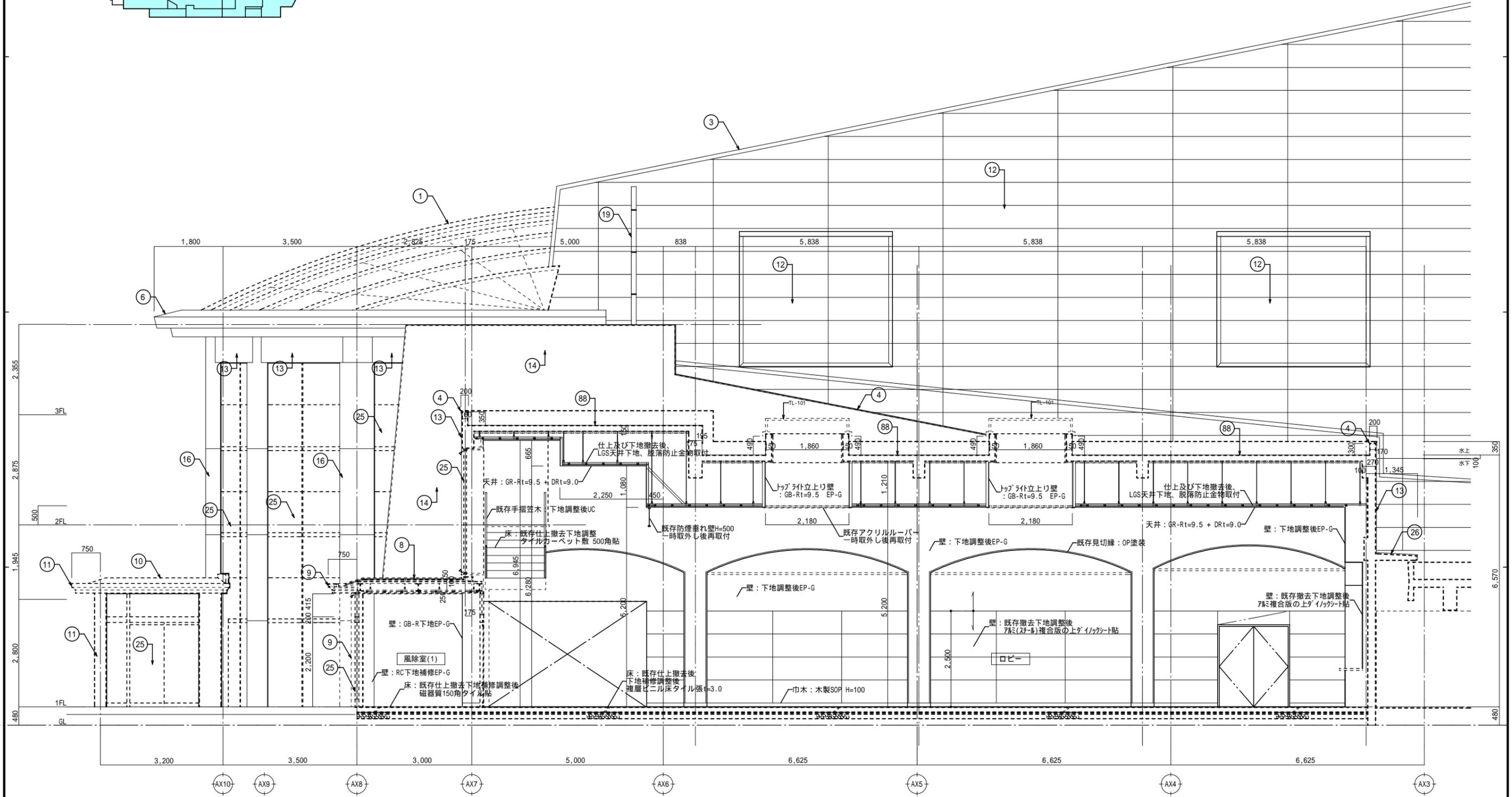
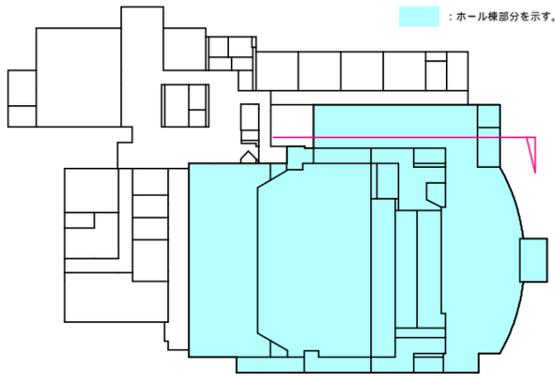
特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		設計年月日 R7・2・	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-63
	一級建築士登録 第160636号 外村 遼		縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	図面名称 (ホール棟)矩計図	

：ホール棟部分を示す。



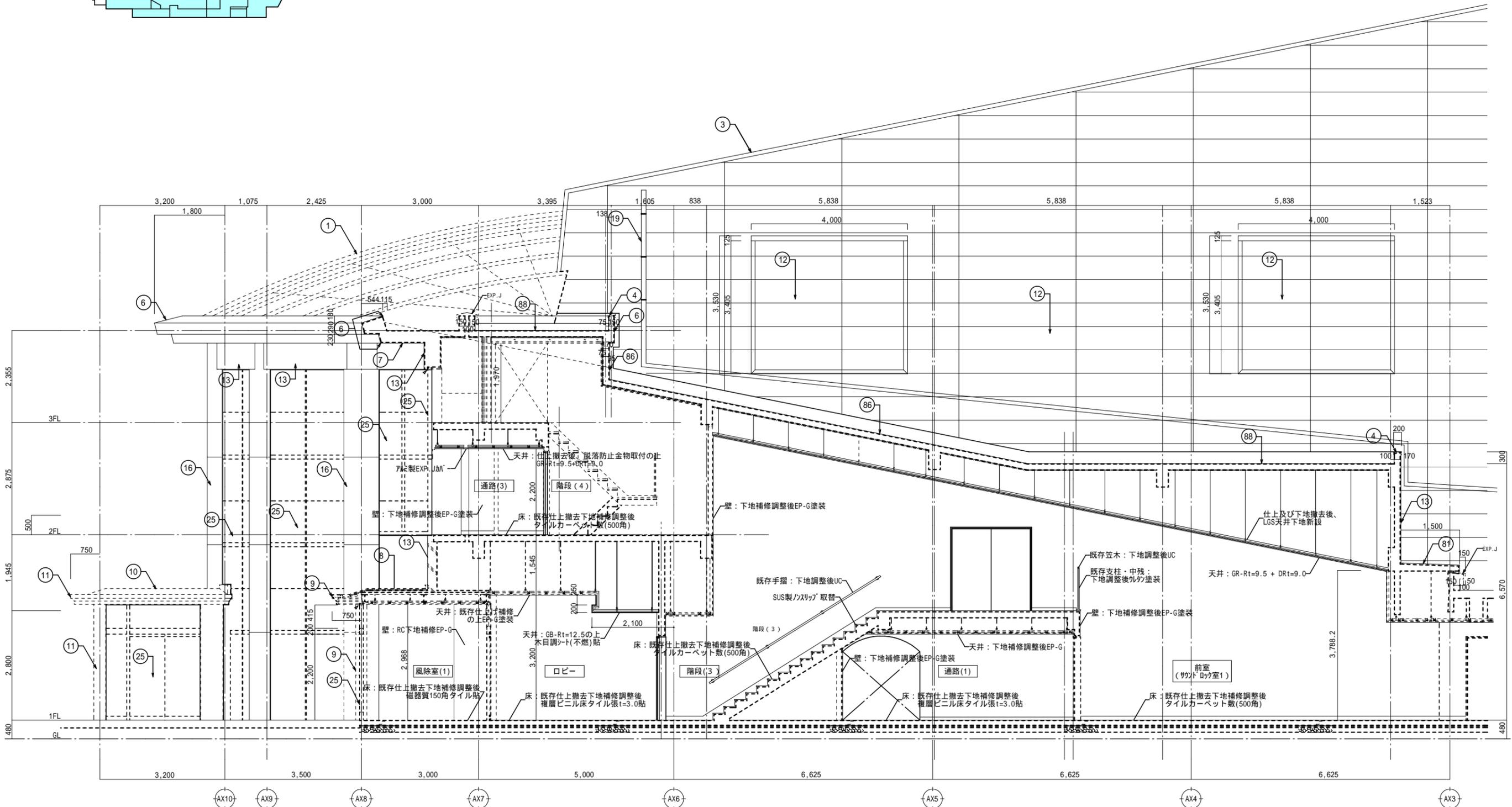
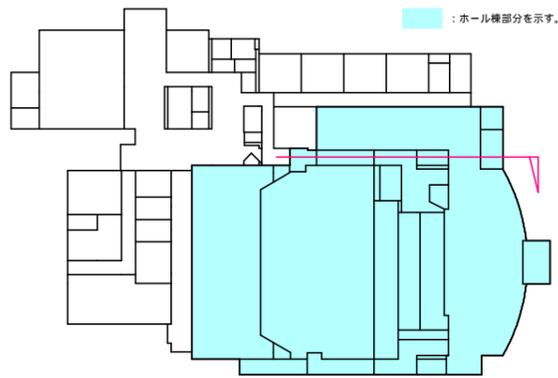
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工 事 名 称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・				
	県知事登録第1-3-164号			縮 尺				
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			1:50(A1) 1:100(A3)				
						図面名称	(ホール棟)矩計図	



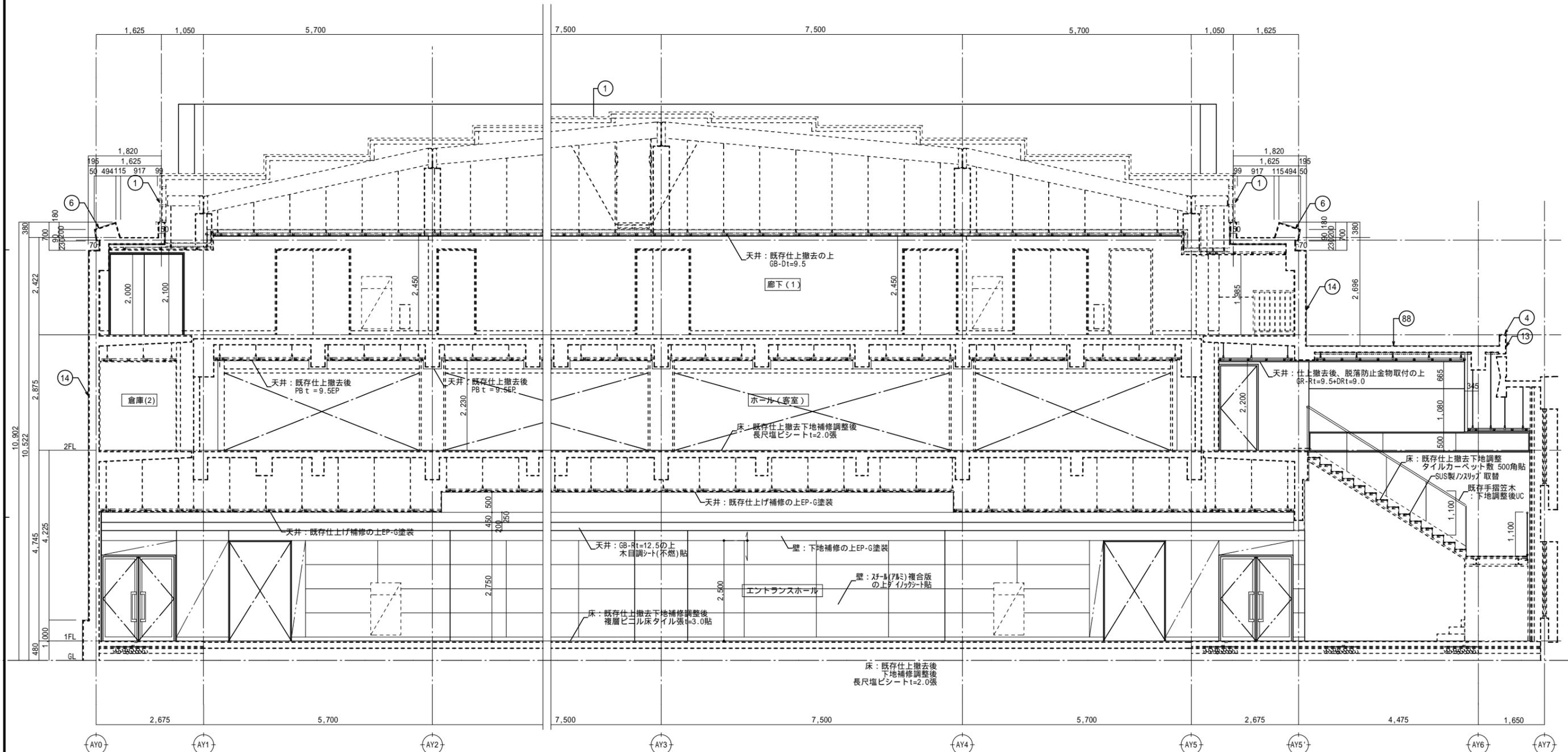
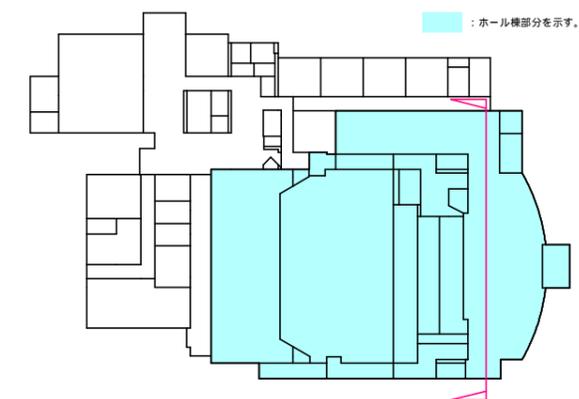
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-65
	一級建築士登録 第160636号 外村 遼		図面名称 (ホール棟) 矩計図		



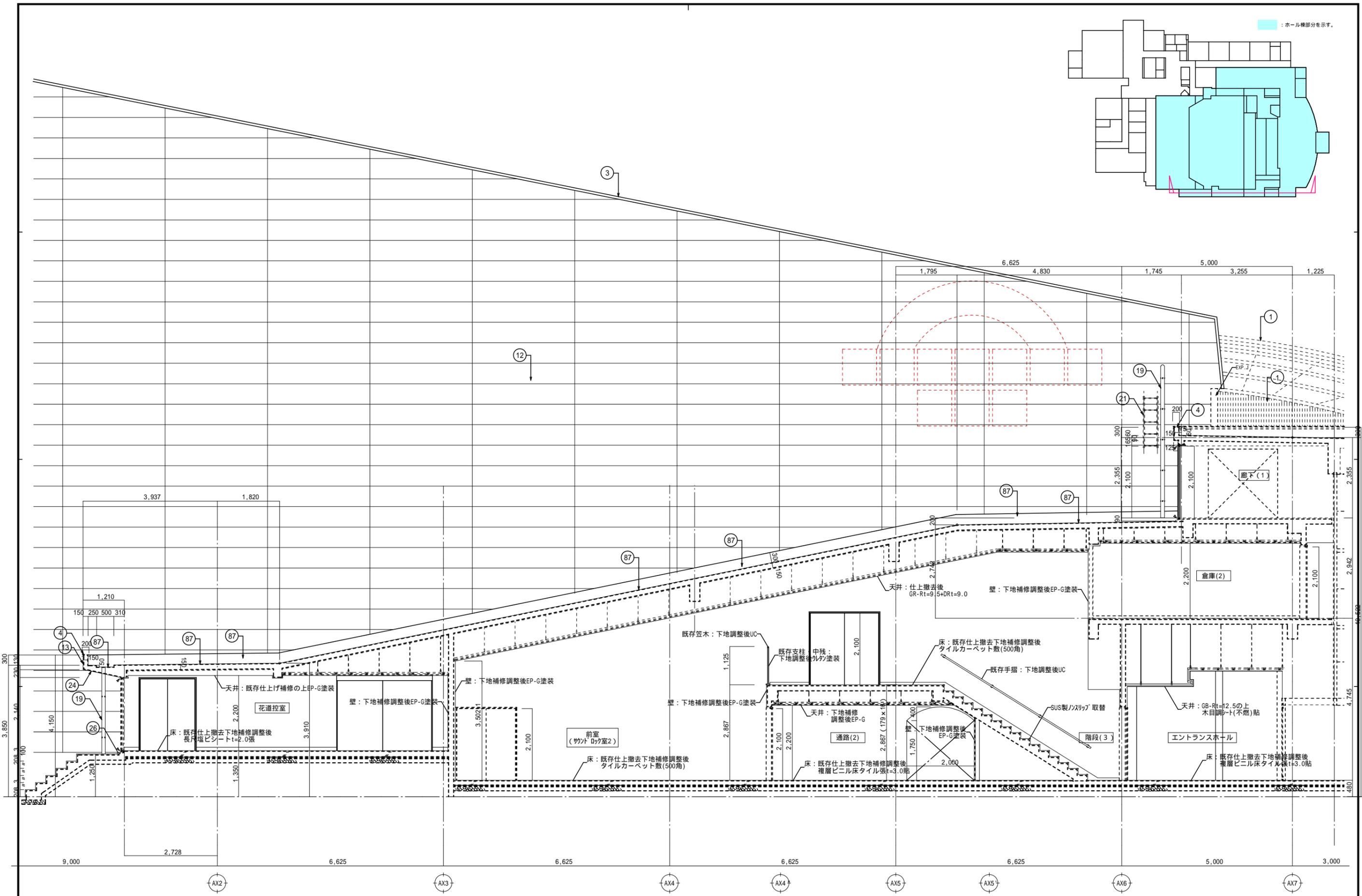
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号
			外村 遼	R7・2・			
				縮尺	図面名称	(ホール棟)矩計図	
				1:50(A1) 1:100(A3)			



図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

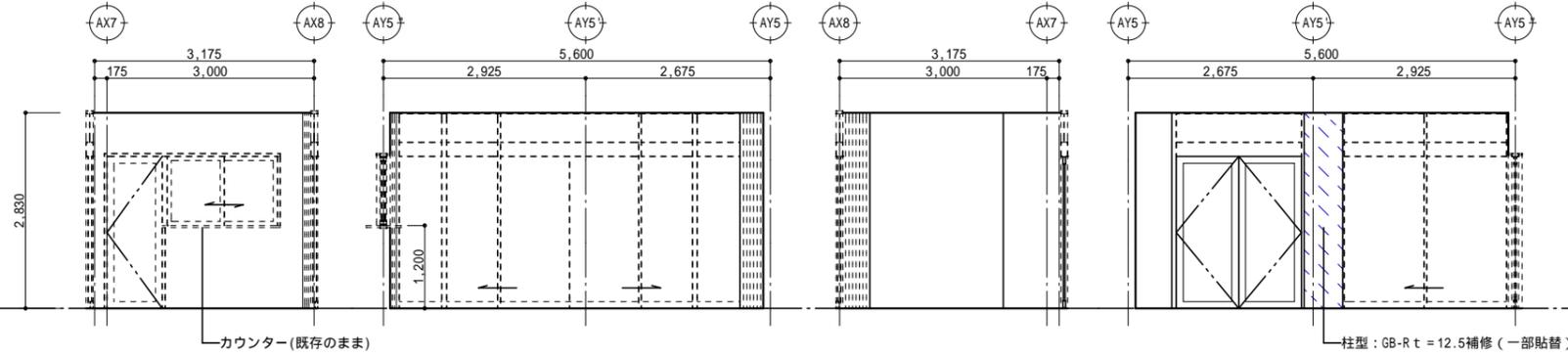
特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号	
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号		外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			縮尺	図面名称	(ホール棟)矩計図	A-67
				1:50(A1) 1:100(A3)			



図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

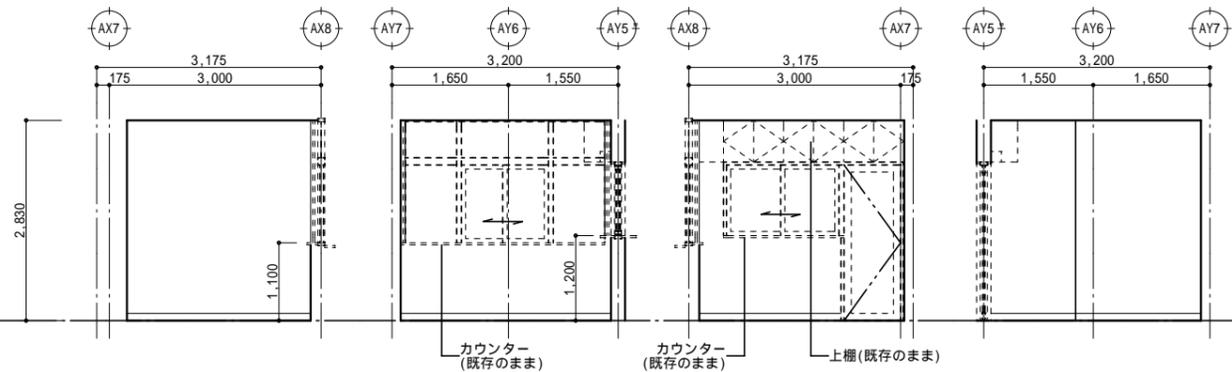
特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号		外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			縮尺	図面名称	(ホール棟)矩計図

風除室(1)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	磁器質300角94体、点字ブロック	撤去 下地調整
	改修後	磁器質150角94体、点字ブロック	
巾木	既存	-	
	改修後	-	
壁	既存	RC、一部GB-R下地	EP 下地補修
	改修後	EP-G	
天井	既存	アルミスバンドレルt=1.6	
	改修後	既存のまま	
備考	既存	カウンター	
	改修後	既存のまま	



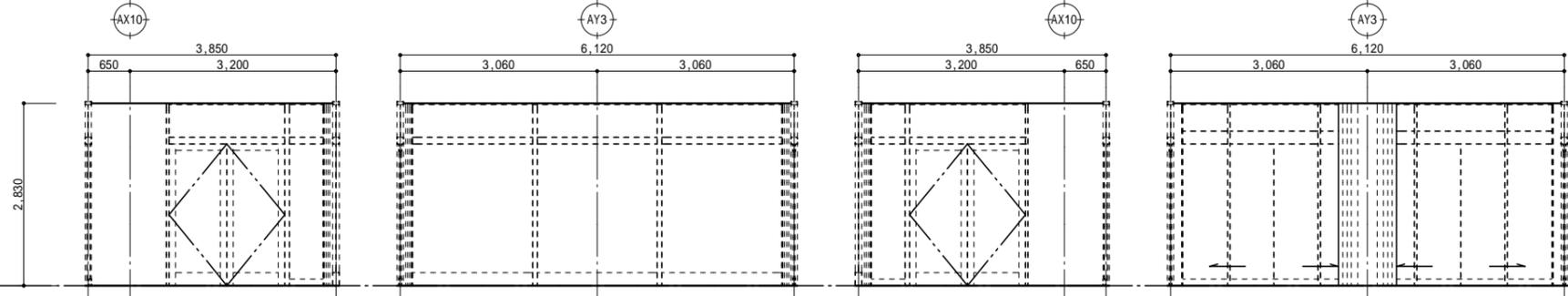
風除室(1) A B C D

チケット売場【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0	撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	RC、一部GB-R下地	EP 下地補修
	改修後	EP-G	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	カウンター、上棚	
	改修後	既存のまま	天井点検口



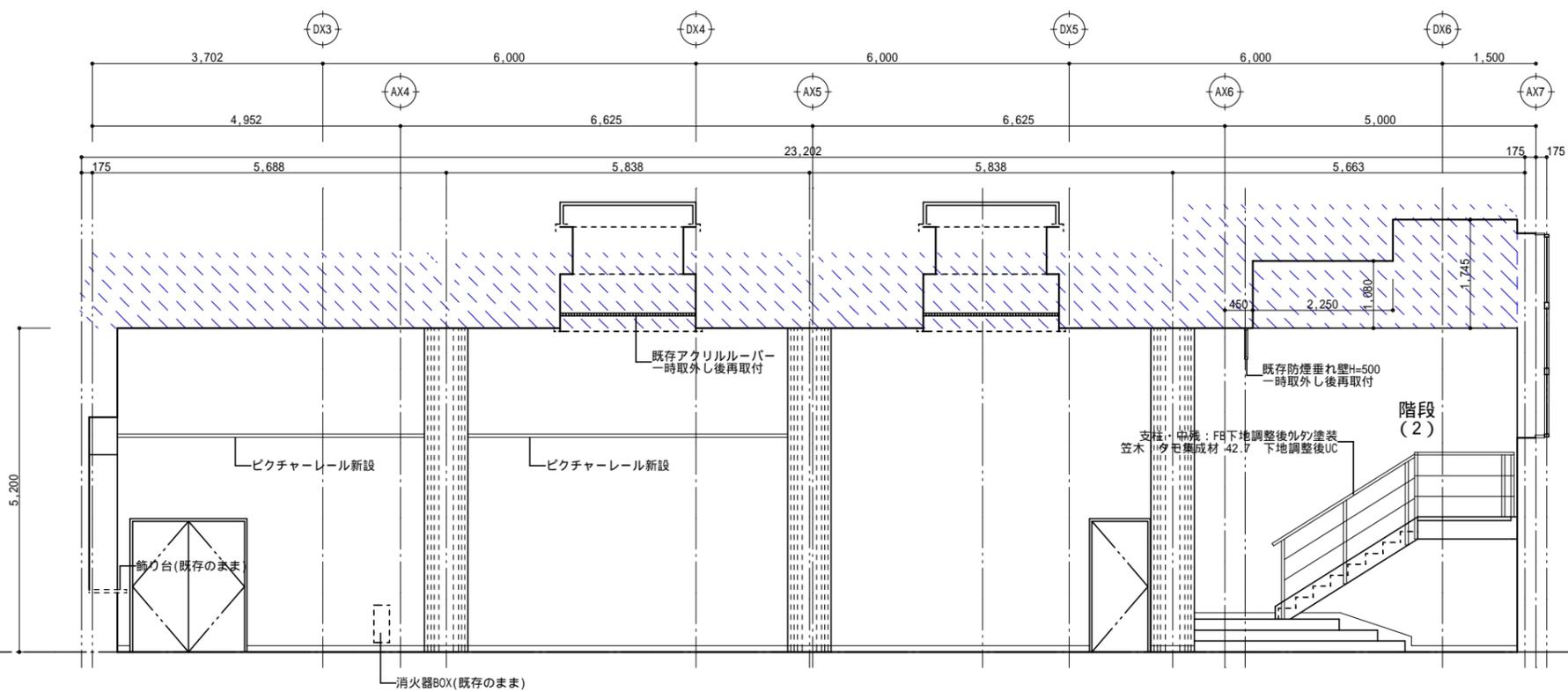
チケット売場 A B C D

風除室(2)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	磁器質300角94体、点字ブロック	撤去 下地調整
	改修後	磁器質150角94体、点字ブロック	
巾木	既存	-	
	改修後	-	
壁	既存	壁: LGS下地アルミパネル(ヒル石裏打) 柱: RC下地EP塗装	下地補修
	改修後	壁: 既存のまま 柱: EP-G	
天井	既存	アルミスバンドレルt=1.6	
	改修後	既存のまま	
備考	既存	-	
	改修後	-	



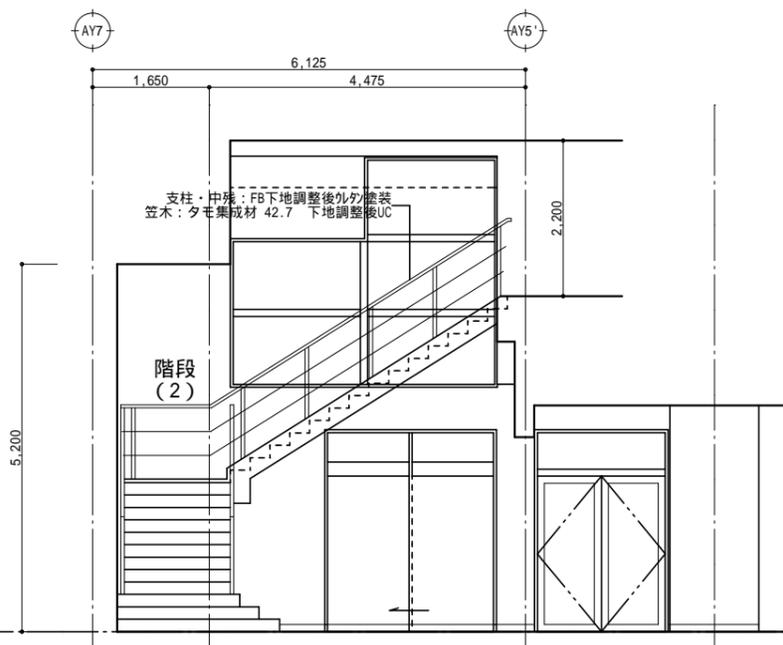
風除室(2) A B C D

ロビー【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック 撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	既存	天然木縁付仕上 H=100 撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100
腰壁	既存	RC、LGS下地天然木縁付仕上材H=1000、1200 撤去下地調整
	改修後	アルミ複合版の上ダ イソシアネート貼 H=2500 斜線部はアルミ複合版の上ダ イソシアネート貼
壁	既存	RC、LGS+GB-R下地 EP 下地補修
	改修後	EP-G塗装
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キーフ)、DRt=9.5 撤去下地共
	改修後	脱着防止金物取付の上GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	ビクチャーレール、床下点検口、消火器BOX
	改修後	既存のまま ビクチャーレール新設 L=5m×2、天井点検口



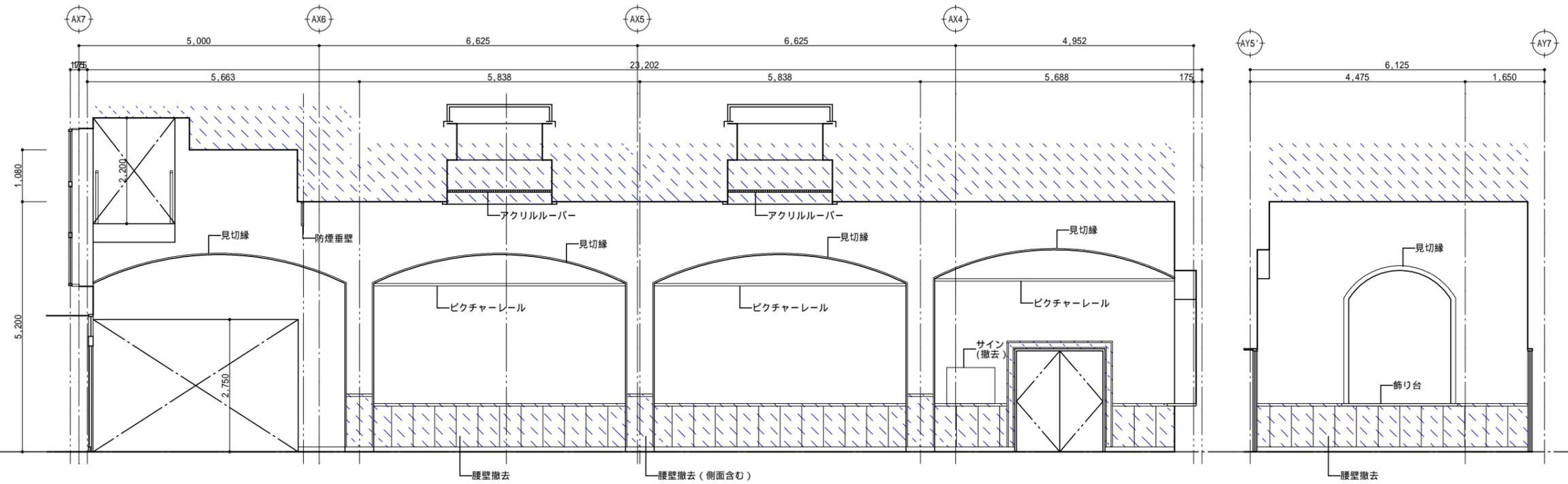
ロビー A

階段(2)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	タイルカーベット敷 500角、点字ブロック 撤去下地調整
	改修後	タイルカーベット敷 500角、点字ブロック
巾木	既存	-
	改修後	-
壁	既存	-
	改修後	-
上裏	既存	アルミスバンドレル t=1.6
	改修後	既存のまま
備考	既存	SUS製ノスリッパ 撤去 支柱・中残: FB外タ塗装 笠木: タモ集成材 42.7
	改修後	SUS製ノスリッパ 取替 支柱・中残: 下地調整後SOP塗装 笠木: 下地調整後UC



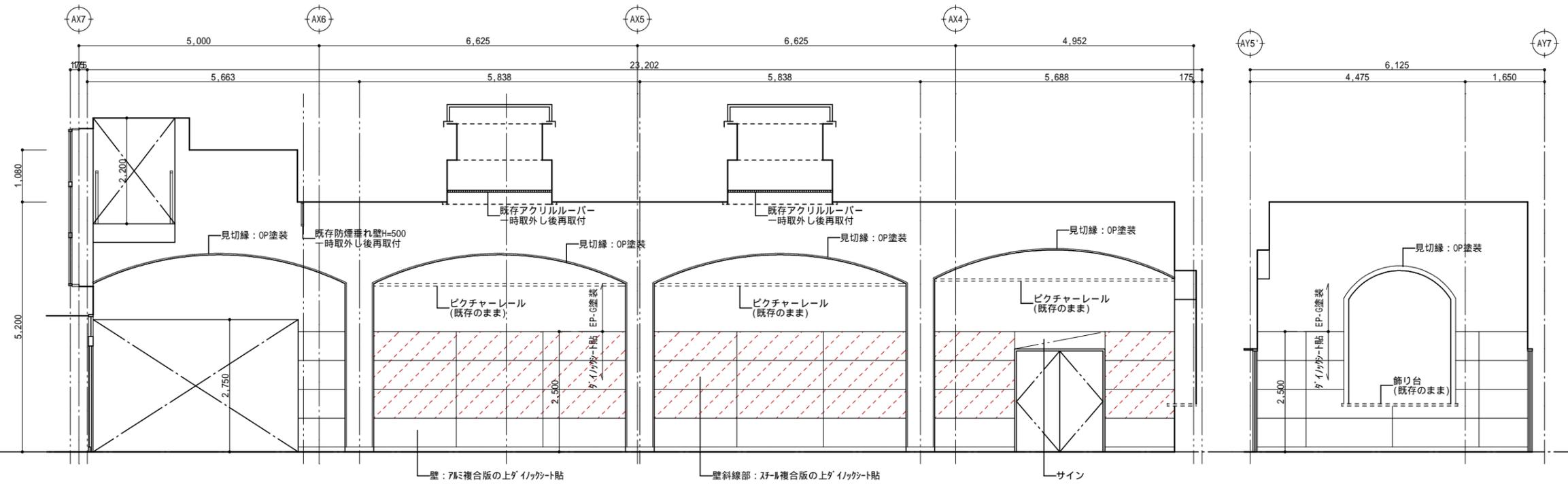
ロビー B

ロビー【既存】仕上表	
床	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック
巾木	天然木縁付上 H=100
壁	RC、LGS+GB-R下地 EP RC、LGS下地天然木縁付上材H=1000、1200
天井	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ)、DRt=9.5
備考	ビクチャーレール、床下点検口、消火器BOX



ロビー C D

ロビー【改修後】仕上表	
床	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	EP-G塗装 一部：7mm複合版の上ダライカット貼 斜線部は7mm複合版の上ダライカット貼
天井	既存仕上げ撤去、脱落防止金物取付の上 GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存のまま ビクチャーレール新設 L=5m x 2 天井点検口

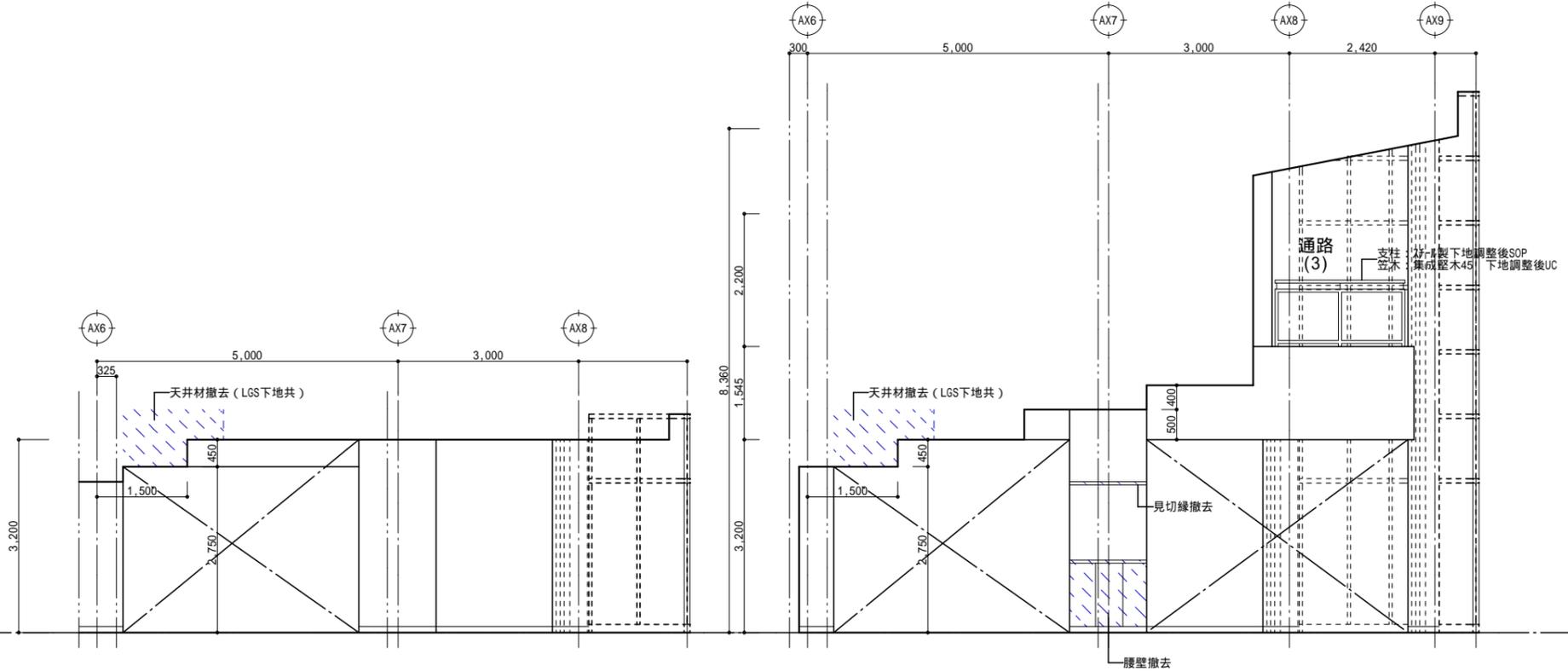


ロビー C D

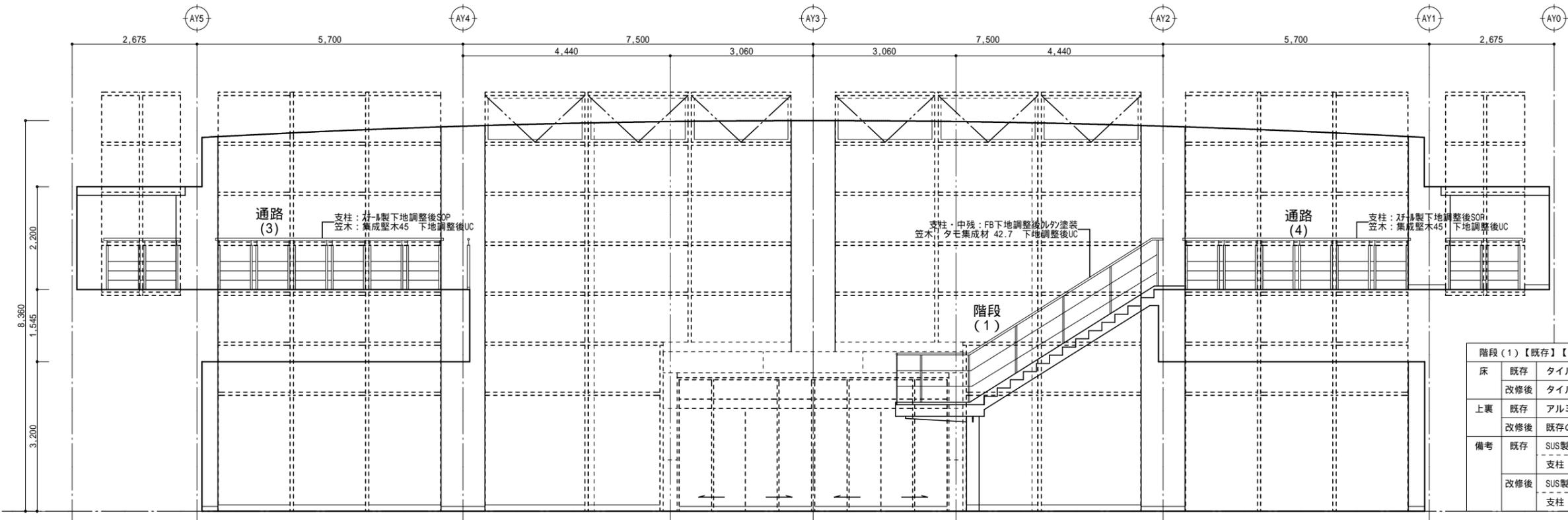
特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・			
	県知事登録第1-3-164号			縮尺			
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			1:50(A1) 1:100(A3)			
					図面名称	(ホール棟)展開図	A-71

通路(3)(4)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	
巾木	既存	天然木練付仕上H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	RC、LGS+GB-R(GB-F)下地 EP	下地補修
	改修後	EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キョーブ)、DRt=9.5	
	改修後	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 一部：脱落防止金物取付の上 GB-Rt=9.5+DRt=9.0	下地補修 仕上撤去
備考	既存	手摺：支柱等鉄製SOP、笠木：集成堅木45 UE	
	改修後	手摺：下地調整後SOP、笠木：下地調整後UC	

エントランス【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック	撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック	
巾木	既存	天然木練付仕上H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
腰壁	既存	RC下地天然木練付仕上材H=1200	撤去下地調整
	改修後	7mm複合版の上がイタクト貼 H=2500, 2750 斜線部は鉄製複合版の上がイタクト貼	
壁	既存	RC、LGS+GB-R下地 EP 一部：ポータータイル張 一部：化粧型枠コンクリート打放しの上FCC吹付	下地補修 撤去下地調整 下地補修
	改修後	EP-G塗装 一部：7mm複合版の上がイタクト貼 H=2500, 2750 ルツク部は鉄製複合版の上がイタクト貼	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キョーブ)、DRt=9.5	
	改修後	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 一部：GB-Rt=12.5の上木目調シート(不燃)貼 一部：脱落防止金物取付の上 GB-Rt=9.5+DRt=9.0	下地補修 撤去(下地共) 仕上撤去
備考	既存	掲示板	撤去
	改修後	ビクチャレール新設 L=35m、天井点検口	



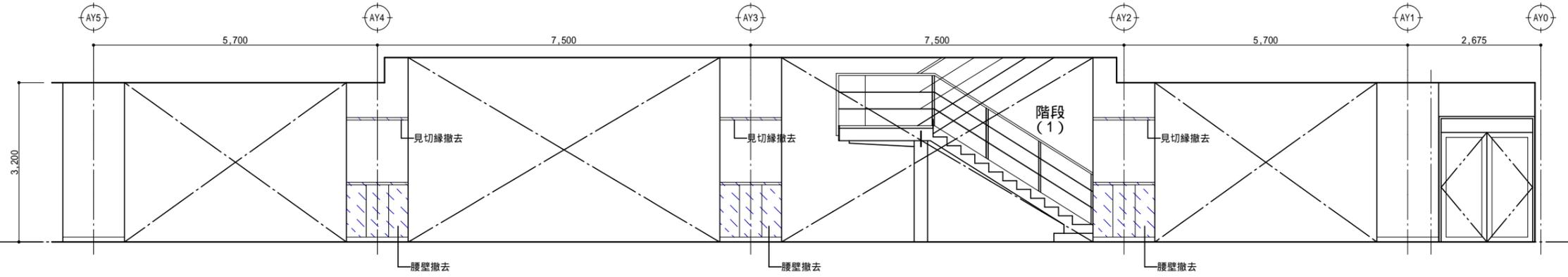
エントランス A (AY4-AY5) A (AY3-AY4)



エントランス B (AX7-AX9)

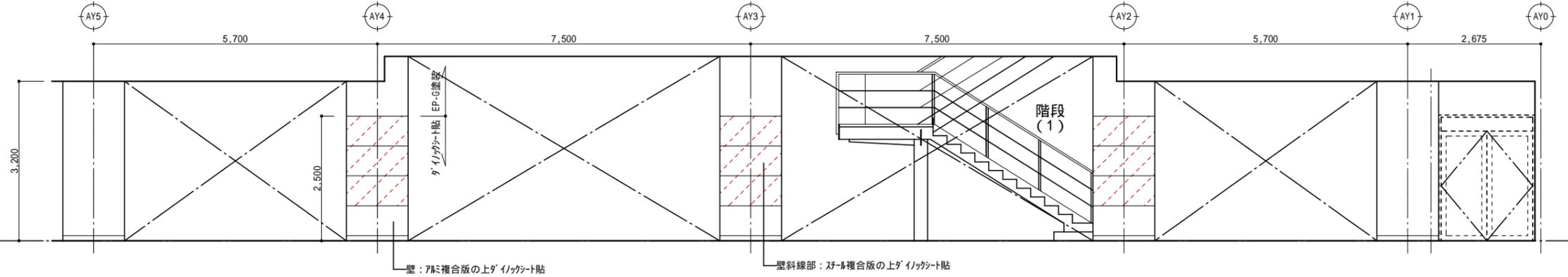
階段(1)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	
上裏	既存	アルミスバンドレルt=1.6	
	改修後	既存のまま	
備考	既存	SUS製ノリッパ 支柱・中残：FB外タ塗装 笠木：タモ集成材 42.7	撤去
	改修後	SUS製ノリッパ 取替 支柱・中残：下地調整後外タ塗装 笠木：下地調整後UC	

エントランス【既存】仕上表	
床	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック
巾木	天然木縁付仕上H=100
壁	RC、LGS+GB-R下地 EP RC下地天然木縁付仕上材H=1200 化粧型枠コンクリート打放しの上FCC吹付
天井	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ)、DRt=9.5
備考	掲示板



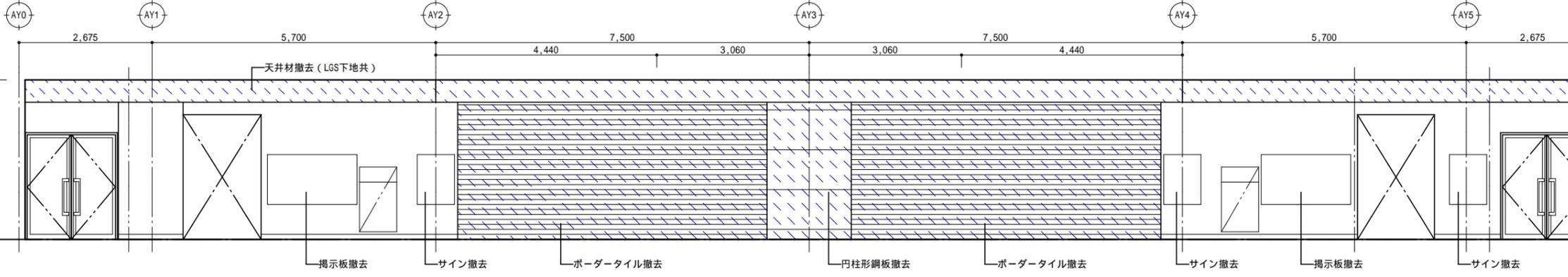
エントランス B (AX6-AX7)

エントランス【改修後】仕上表	
床	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	木製巾木 SOP H=100
壁	下地補修調整 EP-G塗装 一部：FRP複合版の上ダ イクット貼 斜線部はFRP複合版の上ダ イクット貼
天井	既存仕上げ補修の上EP-G塗装
備考	ビクチャレール新設 L=35m 天井点検口



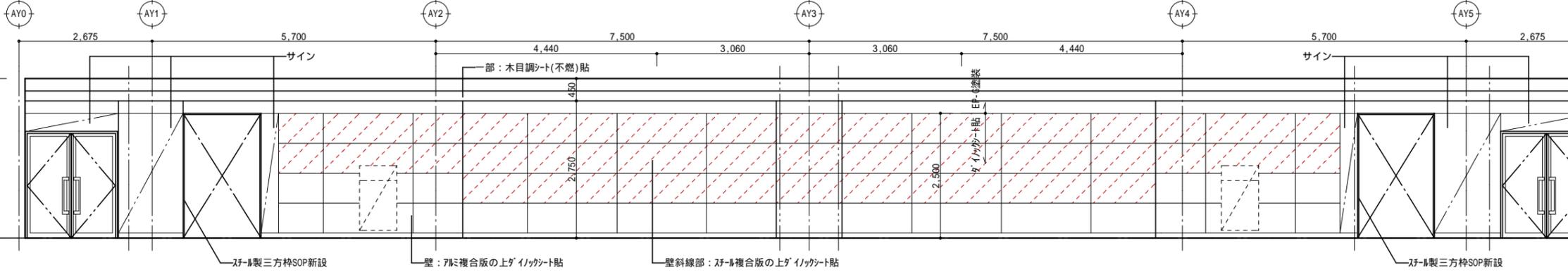
エントランス B (AX6-AX7)

エントランス【既存】仕上表	
床	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック
巾木	天然木縁付仕上H=100
壁	RC、LGS+GB-R下地 EP 一部：ポードータイル張
天井	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ)、DRt=9.5
備考	掲示板



エントランス D (AX6-AX7)

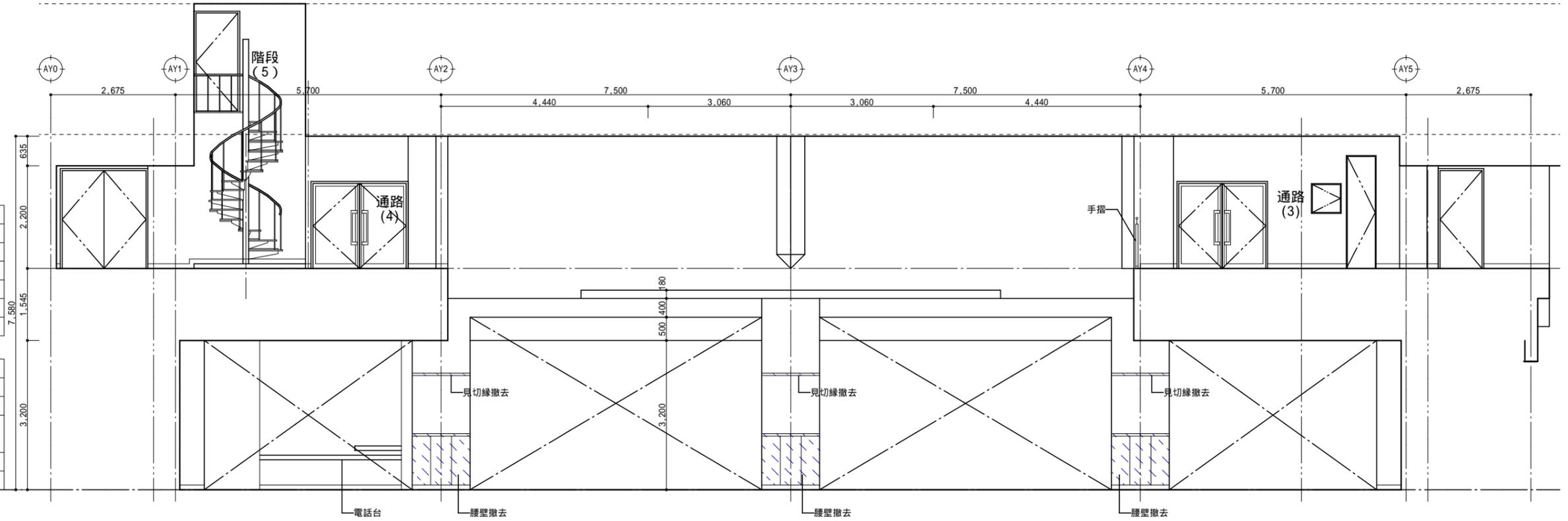
エントランス【改修後】仕上表	
床	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	木製巾木 SOP H=100
壁	下地補修調整 EP-G塗装 一部：FRP複合版の上ダ イクット貼 斜線部はFRP複合版の上ダ イクット貼
天井	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 一部：GB-Rt=12.5の上木目調シート(不燃)貼
備考	ビクチャレール新設 L=35m 天井点検口



エントランス D (AX6-AX7)

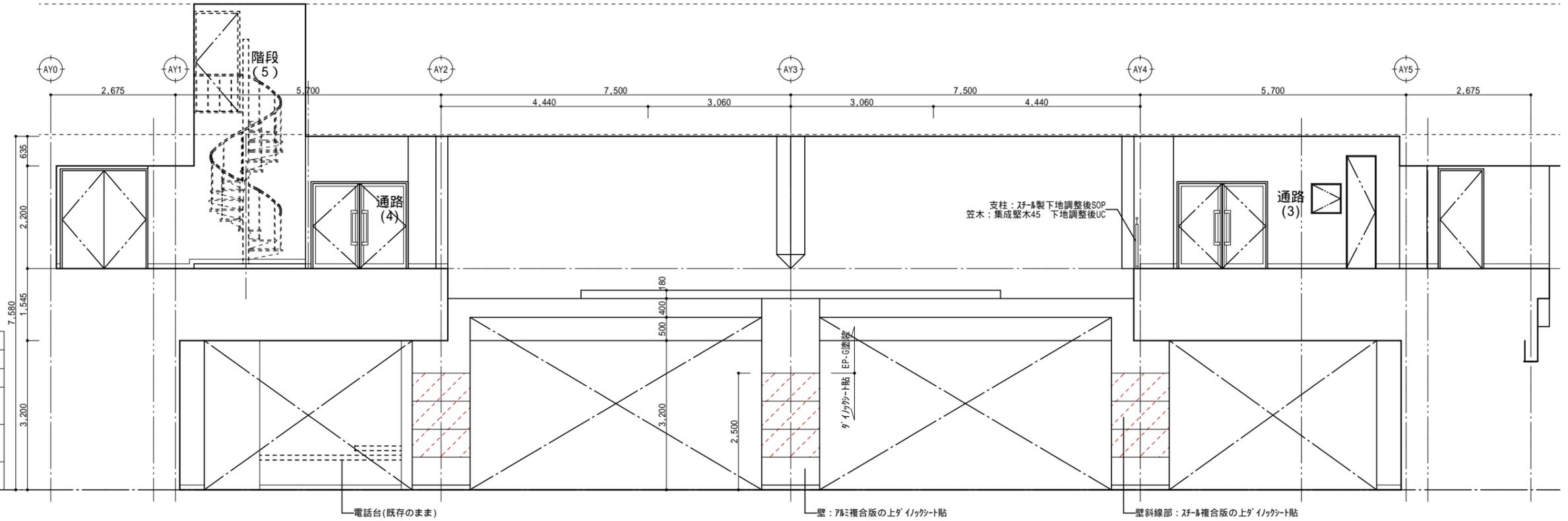
階段(5)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	チェッカープレート
	改修後	既存のまま
天井	既存	FKt=6.0目透し張 EP 仕上撤去
	改修後	FKt=6.0目透し張 EP-G
備考	既存	支柱・段受け・手摺：ｽﾌｰﾙ製SOP
	改修後	既存のまま

エントランスホール【既存】仕上表	
床	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック
巾木	天然木縁付仕上H=100
壁	RC、LGS下地 EP RC下地天然木縁付仕上材H1200 化粧型枠インサート打放しの上FCC吹付
天井	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(ｷｰﾌﾟ)、DRt=9.5
備考	掲示板



エントランスホール D (AX7~AX9)

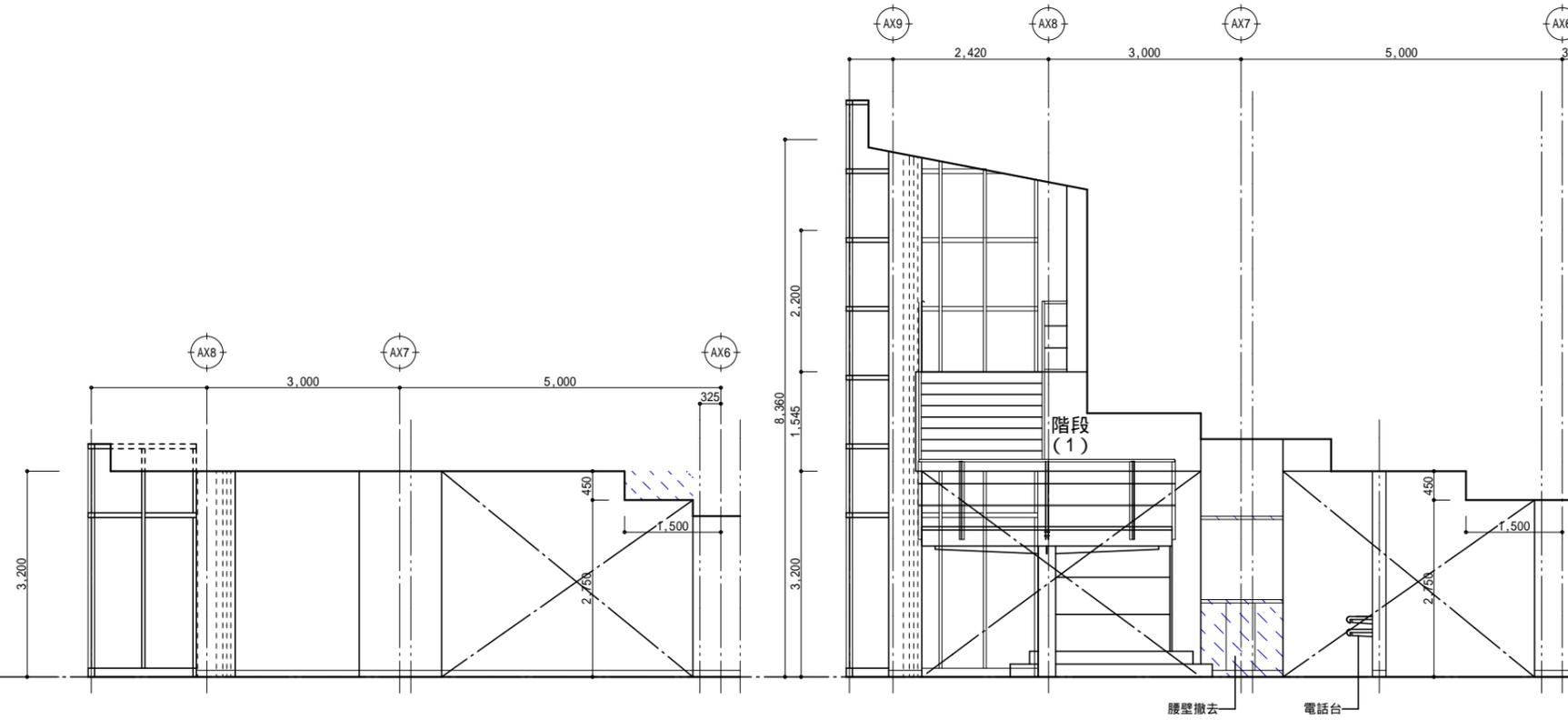
エントランスホール【改修後】仕上表	
床	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地補修調整 EP-G塗装 一部：ﾌﾙ複合版の上ﾀﾞｲｸｯｸﾄ貼 斜線部はｽﾌｰﾙ複合版の上ﾀﾞｲｸｯｸﾄ貼
天井	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 下地補修 一部：脱落防止金物取付の上 仕上撤去 GB-Rt=9.5+DRt=9.0
備考	ビクチャーレール新設 L=35m 天井点検口



エントランスホール D (AX7~AX9)

特 記 事 項		<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号 A-74
			外村 遼	R7・2・		
				縮尺		
				1:50(A1) 1:100(A3)		
					図面名称 (ホール棟)展開図	

エントランスホール【既存】仕上表	
床	塩ビ床タイルt=3.0、点字ブロック
巾木	天然木練付仕上H=100
壁	RC、LGS下地 EP RC下地天然木練付仕上材H1200 化粧型枠コンクリート打放しの上FCC吹付
天井	GB-Rt=9.5 + DRt=15.0(キューブ)、DRt=9.5
備考	掲示板

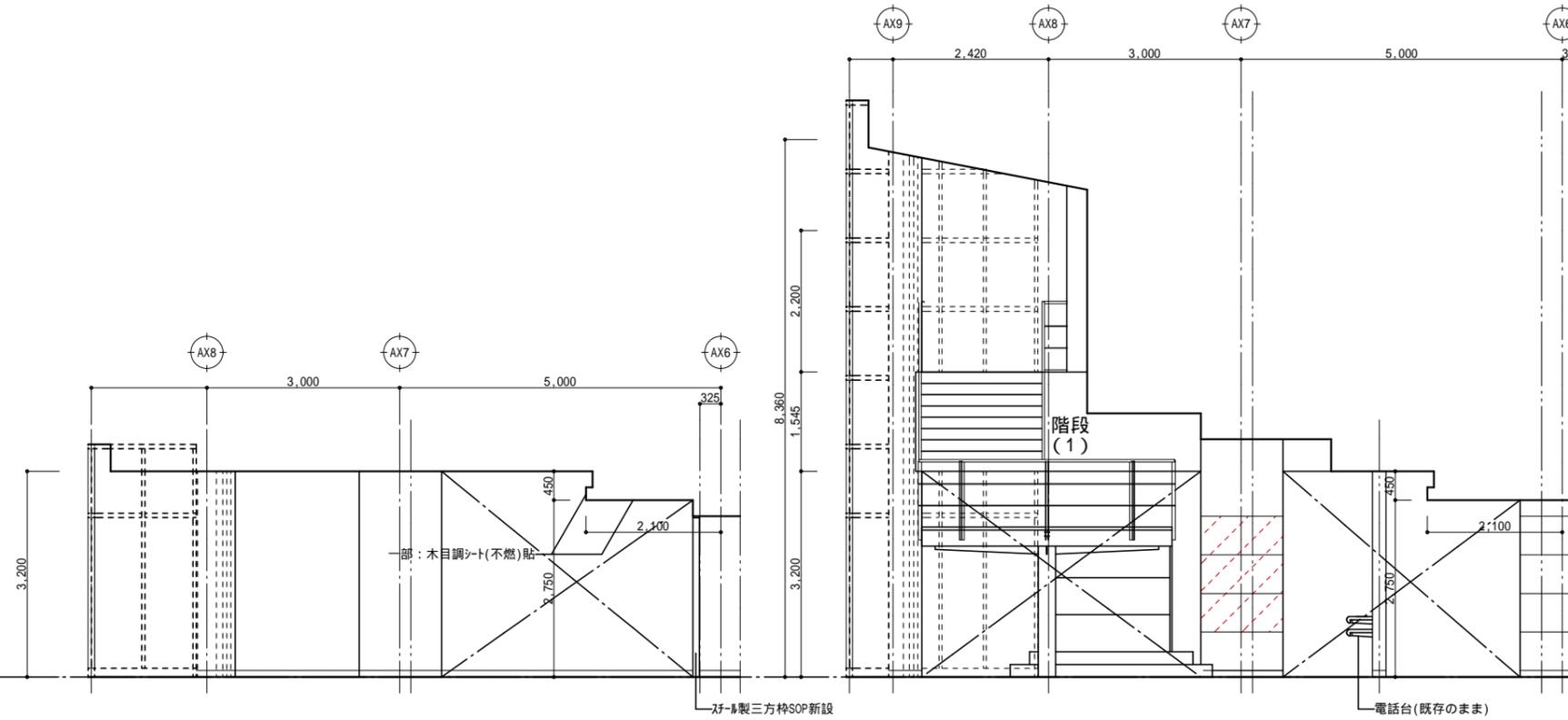


エントランスホール

C (AY1-AY2)

C (AY2-AY3)

エントランスホール【改修後】仕上表	
床	複層ビニル床タイル張t=3.0、点字ブロック
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地補修調整 EP-G塗装 一部：7mm複合版の上ダイヤット貼 斜線部は7mm複合版の上ダイヤット貼
天井	既存仕上げ補修の上EP-G塗装 一部：仕上材撤去(下地共)後、LGS新設 GB-Rt=12.5の上木目調シート(不燃)貼 一部：仕上材撤去後、脱着防止金物取付の上 GB-Rt=9.5+DRt=9.0
備考	ビクチャーレール新設 L=35m 天井点検口

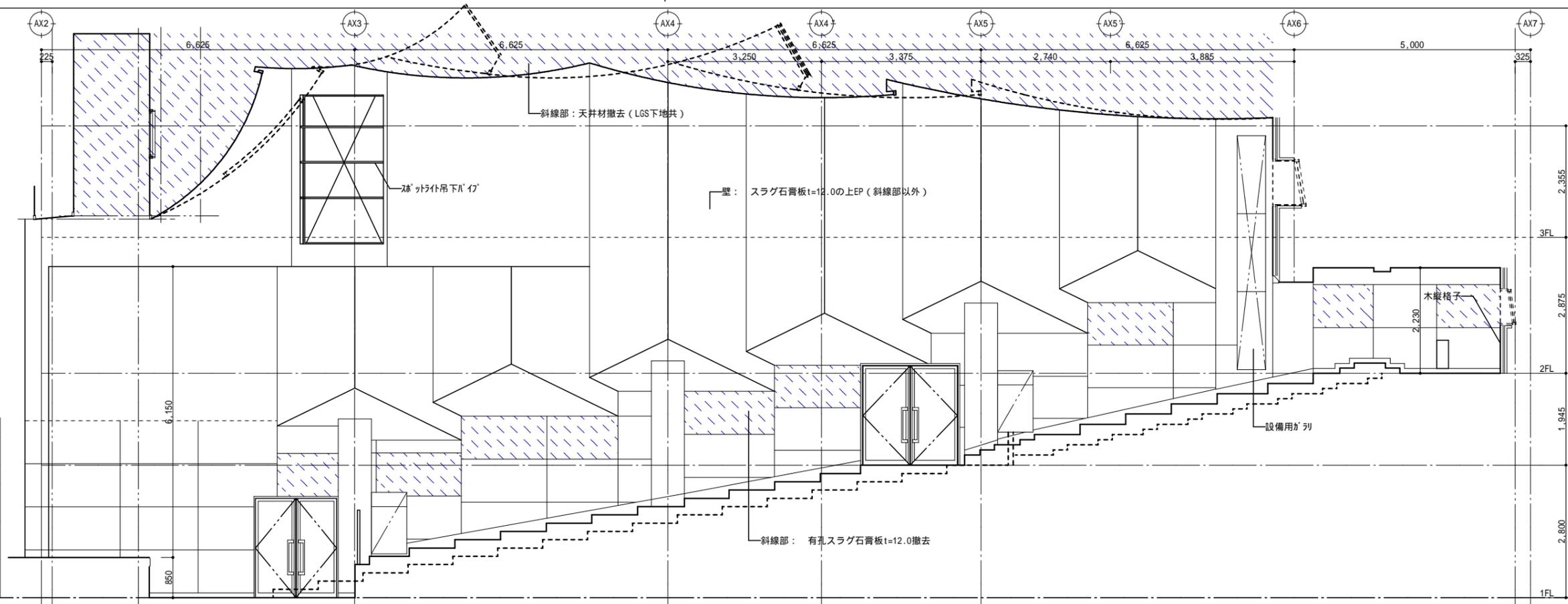


エントランスホール

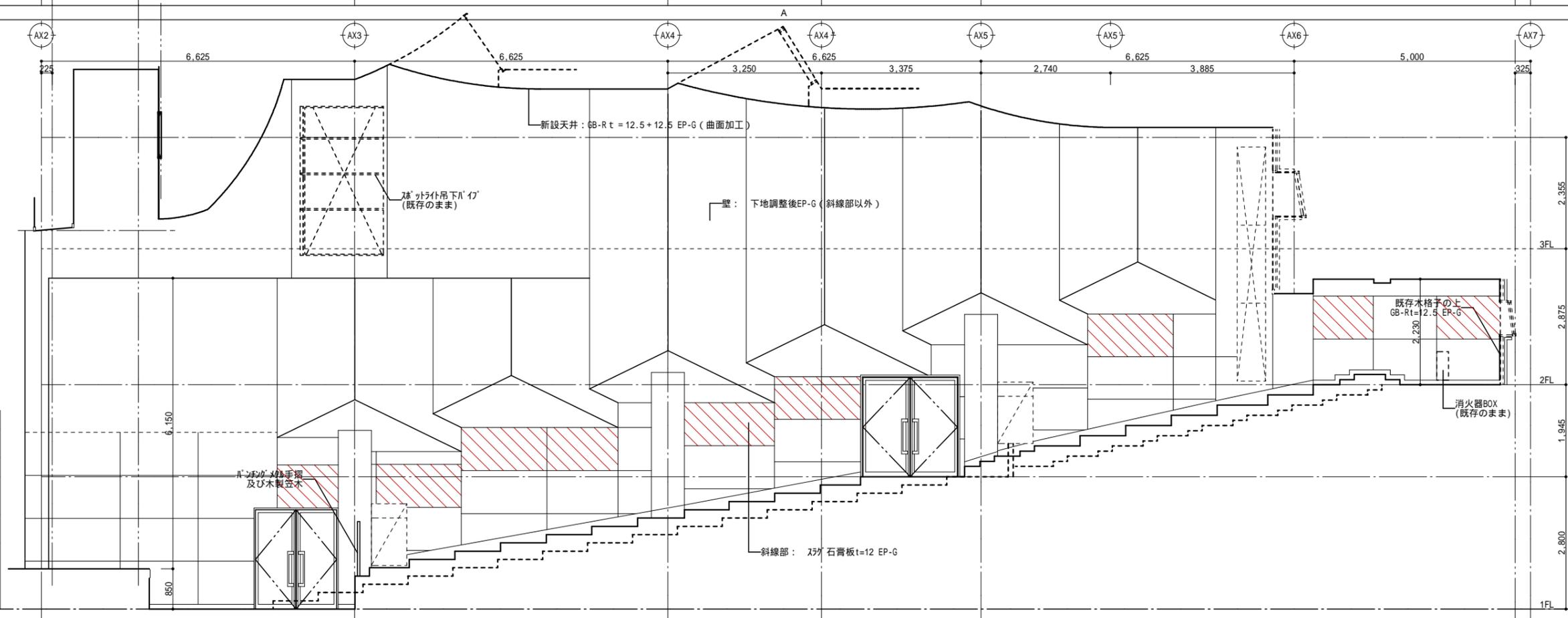
C (AY1-AY2)

C (AY2-AY3)

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号	
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	
	県知事登録第1-3-164号			縮尺	図面名称	(ホール棟)展開図	A-75
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			1:50(A1) 1:100(A3)			

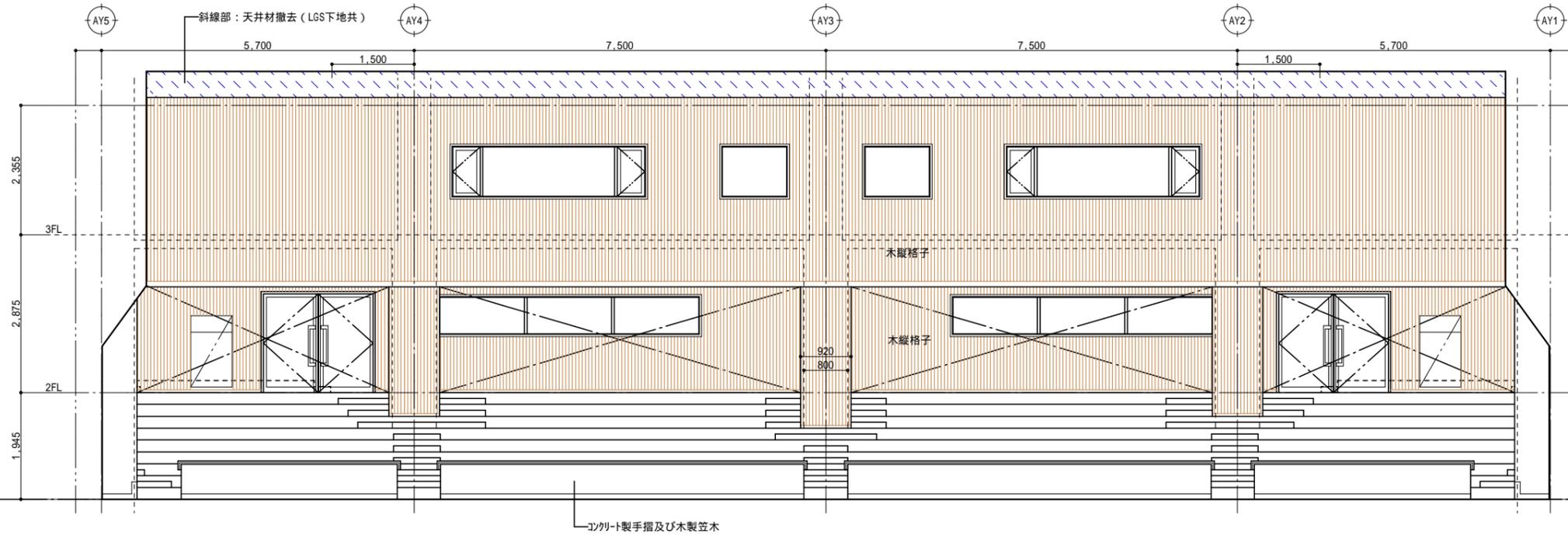


ホール(客席)【既存】仕上表	
床	通路部分:カーベット敷t=6.0 客席部分:長尺シートt=2.0
巾木	木製OP H=100
壁	スラグ石膏板t=12.0の上EP 有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP Gt=50(32kg/m <sup>2</sup> )カ 3/4取木縦格子止
天井	P B t = 12.5 + 9.5 E P P B t = 9.5 + 9.5 + 9.5 E P ロックウール化粧吸音板 t = 9.5
備考	客席、段鼻ノリツ、消火器BOX エンリト製手摺及び木製笠木 ハンソク 2列手摺及び木製笠木



ホール(客席)【改修後】仕上表	
床	通路部分:長尺塩ビシートt=2.0張 客席部分:長尺塩ビシートt=2.0張
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地調整後EP-G 既存仕上撤去後、スラグ石膏板t=12 EP-G 既存木格子の上GB-Rt=12.5 EP-G
天井	GB-R t = 12.5 + 12.5 EP-G(曲面加工) GB-Rt=9.5+EP-G(下地は既存のまま)
備考	客席:一時取外し、段鼻ノリツ:取替 消火器BOX(既存のまま) エンリト製手摺:立上り部EP-G塗替 木製笠木:下地調整後UC ハンソク 2列手摺SOP塗替 花道出入口前:目隠し壁新設

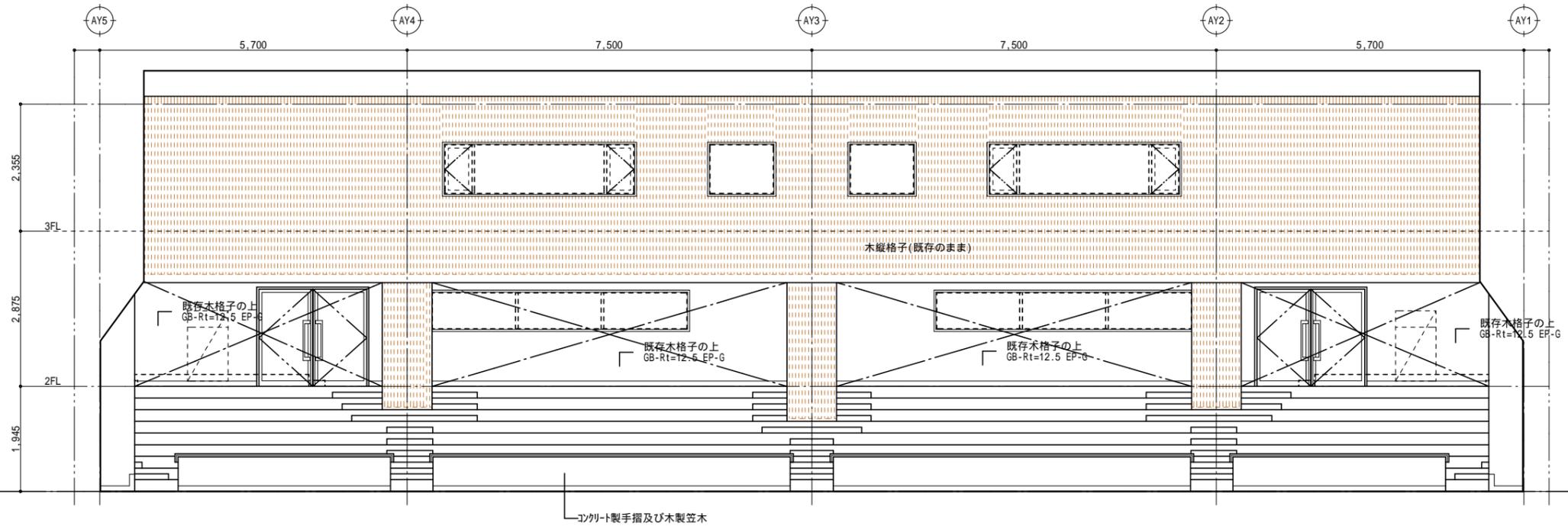
ホール(客席)【既存】仕上表	
床	通路部分:カーペット敷t=6.0 客席部分:長尺シートt=2.0
巾木	木製OP H=100
壁	スラグ石膏板t=12.0の上EP 有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP Gt=50(32kg/m <sup>2</sup> ) 5ヶ所縦格子止
天井	P B t = 12.5+9.5 E P P B t = 9.5+9.5+9.5 E P ロックウール化粧吸音板 t = 9.5
備考	客席、段鼻ノリツ、消火器BOX コンクリート製手摺及び木製笠木 ハンダグ 手摺及び木製笠木



ホール(客席)

B

ホール(客席)【改修後】仕上表	
床	通路部分:長尺塩ビシートt=2.0張 客席部分:長尺塩ビシートt=2.0張
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地調整後EP-G 既存仕上撤去後、スグ石膏板t=12 EP-G 既存木格子の上GB-Rt=12.5 EP-G(Ax-7)
天井	GB-R t = 12.5 + 12.5 EP-G (曲面加工) GB-Rt=9.5+EP-G(下地は既存のまま)
備考	客席:一時取外し、段鼻ノリツ:取替 消火器BOX(既存のまま) コンクリート製手摺:立上り部EP-G塗替 木製笠木:下地調整後UC ハンダグ 手摺SOP塗替 花道出入口前:目隠し壁新設

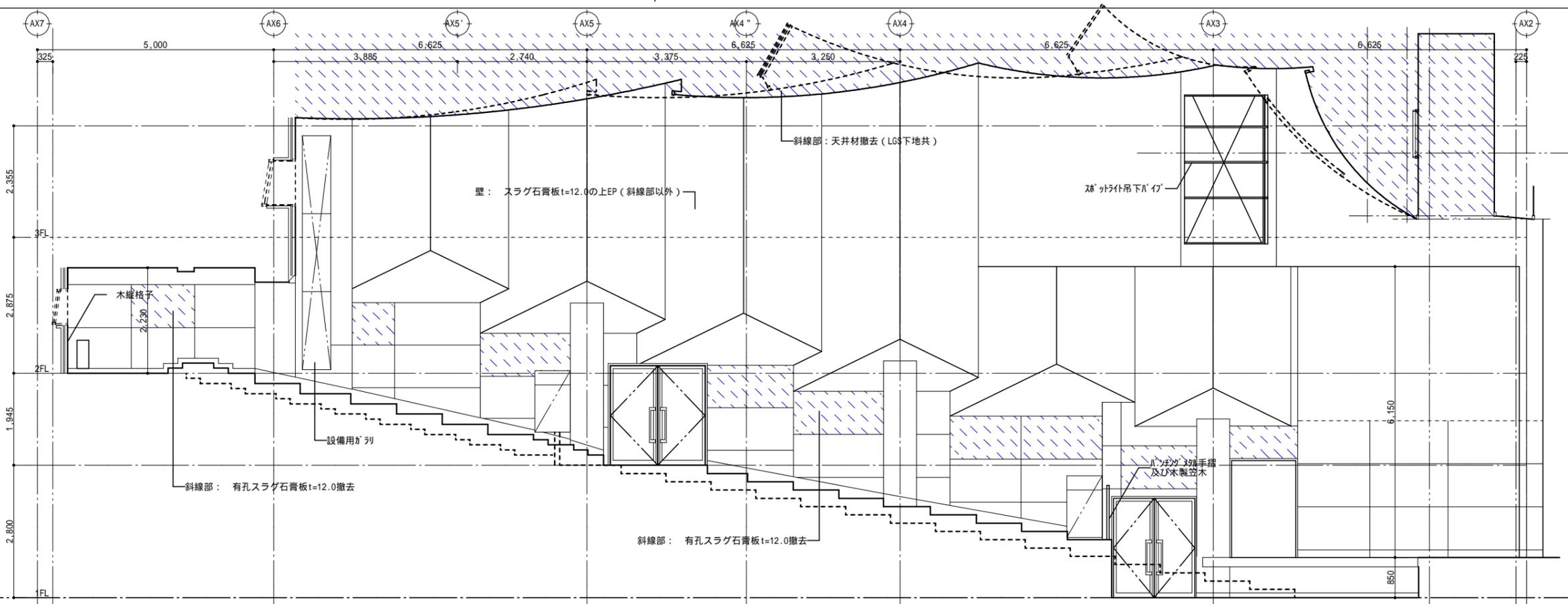


ホール(客席)

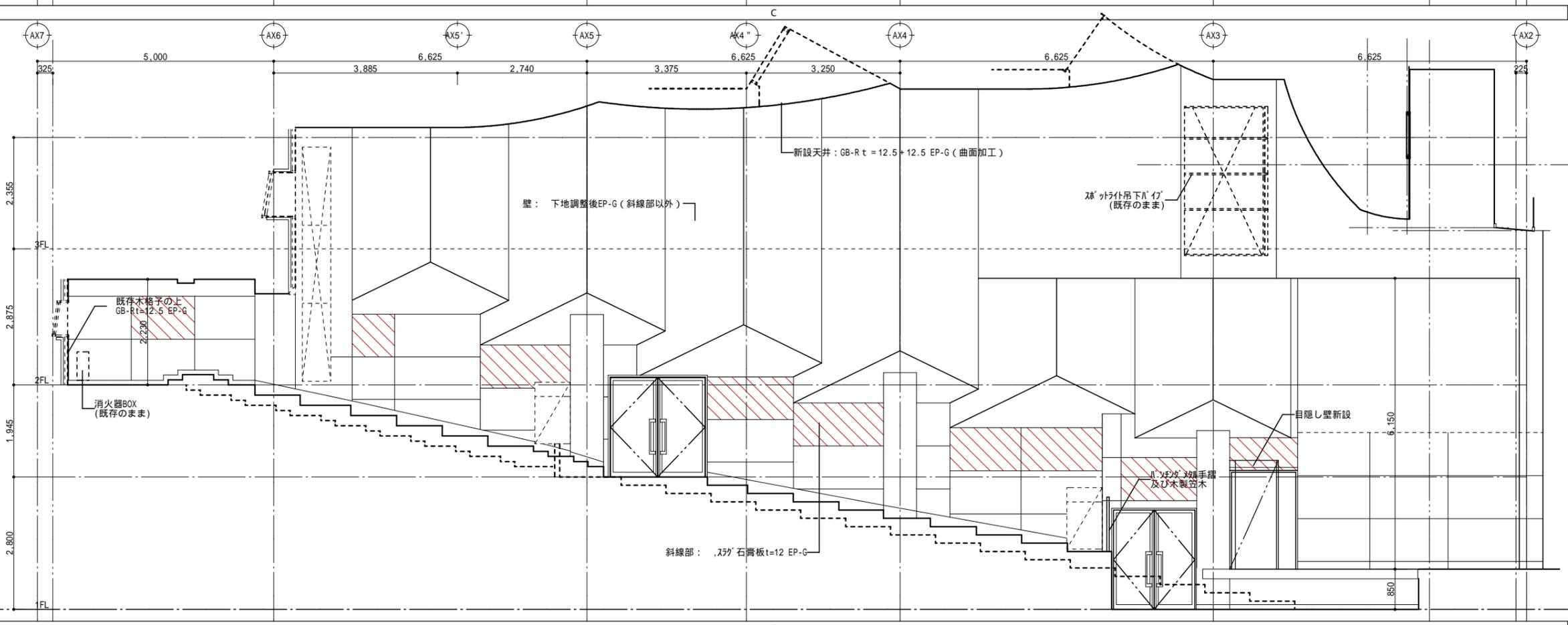
B

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:50,30(A1) 1:100,60(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図 A-77	図面番号
				図面名称 (ホール棟)展開図			

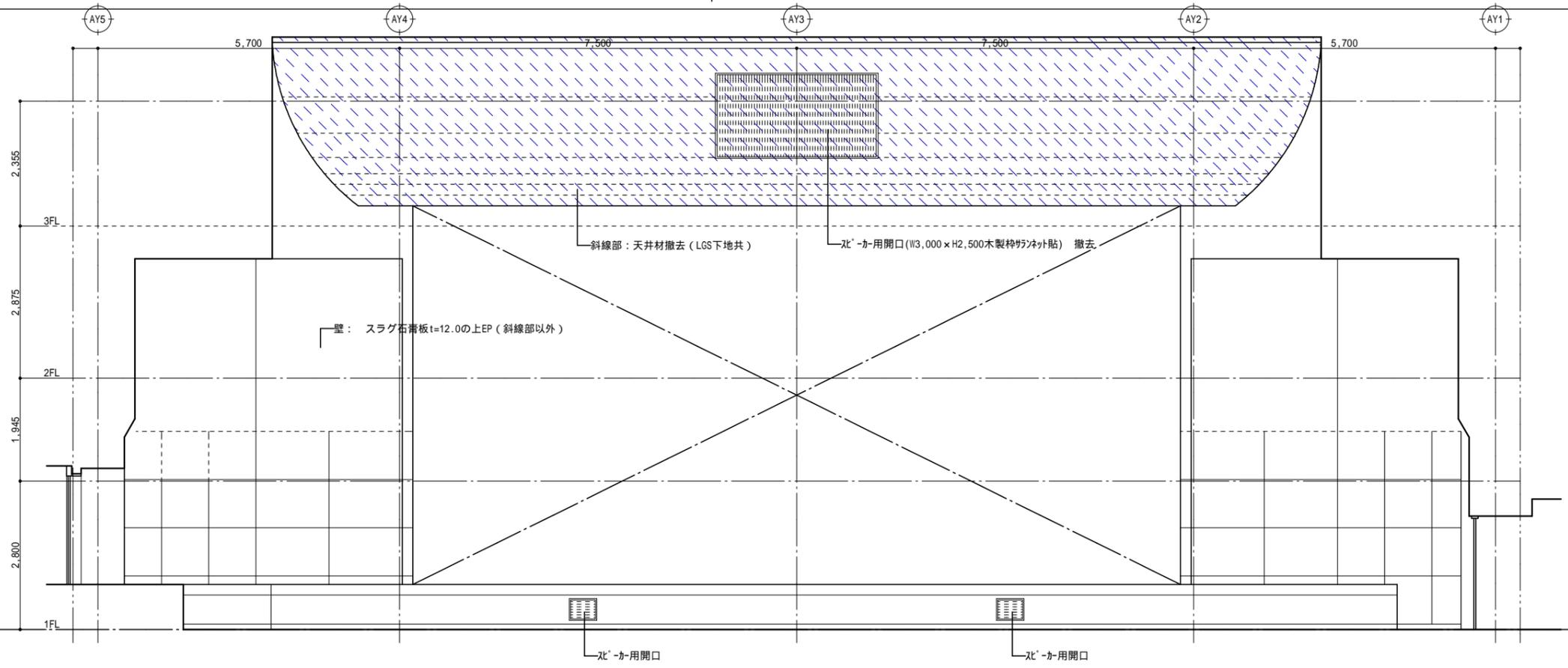
ホール（客席）【既存】仕上表	
床	通路部分：カーペット敷t=6.0 客席部分：長尺シートt=2.0
巾木	木製OP H=100
壁	スラグ石膏板t=12.0の上EP 有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP G/t=50(32kg/m <sup>2</sup> )カ 珞が取木縦格子止
天井	P B t = 12.5 + 9.5 E P P B t = 9.5 + 9.5 E P ロックウール化粧吸音板 t = 9.5
備考	客席、段鼻ノリツ、消火器BOX コンクリート製手摺及び木製笠木 ハンソク 珞が手摺及び木製笠木



ホール（客席）【改修後】仕上表	
床	通路部分：長尺塩ビシートt=2.0張 客席部分：長尺塩ビシートt=2.0張
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地調整後EP-G 既存仕上撤去後、珞が石膏板t=12 EP-G 既存木格子の上GB-Rt=12.5 EP-G (AX-7)
天井	GB-Rt = 12.5 + 12.5 EP-G (曲面加工) GB-Rt=9.5+EP-G(下地は既存のまま)
備考	客席：一時取外し、段鼻ノリツ：取替 消火器BOX(既存のまま) コンクリート製手摺：立上り部EP-G塗替 木製笠木：下地調整後UC ハンソク 珞が手摺SOP塗替 花道出入口前：目隠し壁新設

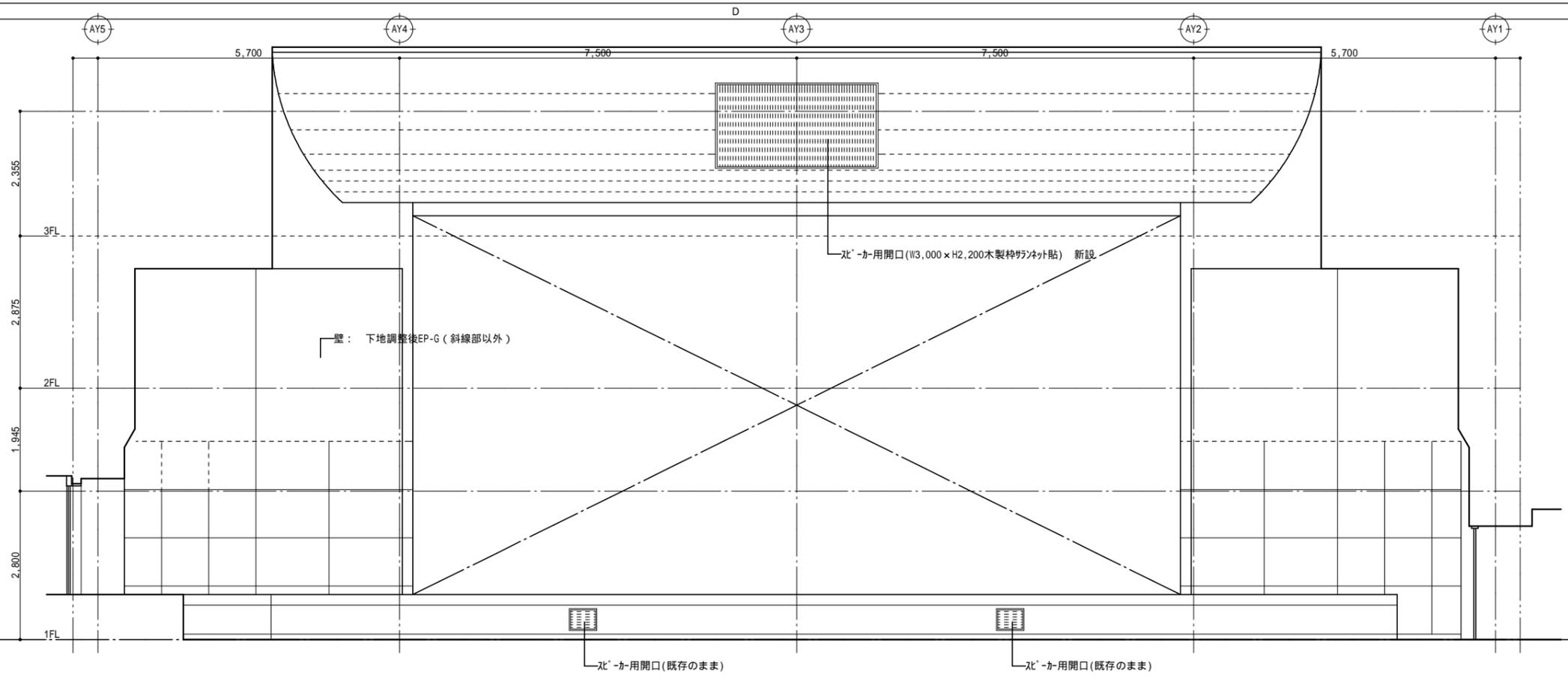


ホール(客席)【既存】仕上表	
床	通路部分:カーペット敷t=6.0 客席部分:長尺シートt=2.0
巾木	木製OP H=100
壁	スラグ石膏板t=12.0の上EP 有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP G/Wt=50(32kg/m <sup>2</sup> )ガ 5ヶ所木縦格子止
天井	P B t = 12.5+9.5 E P P B t = 9.5+9.5+9.5 E P ロックウール化粧吸音板 t = 9.5
備考	客席、段鼻ノリツブ、消火器BOX コケリ製手摺及び木製笠木 ノリツブノリ手摺及び木製笠木



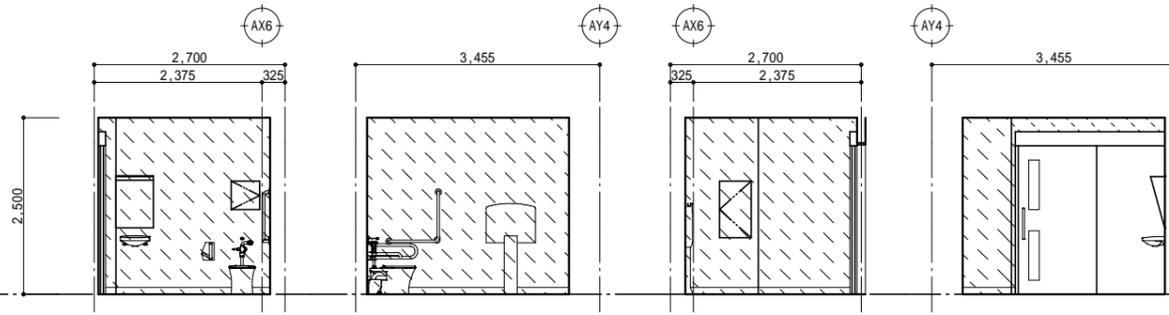
ホール(客席)

ホール(客席)【改修後】仕上表	
床	通路部分:長尺塩ビシートt=2.0張 客席部分:長尺塩ビシートt=2.0張
巾木	木製巾木SOP H=100
壁	下地調整後EP-G 既存上撤去後、スラグ石膏板t=12 EP-G 既存木格子の上GB-Rt=12.5 EP-G(Ax-7)
天井	GB-R t = 12.5 + 12.5 EP-G (曲面加工) GB-Rt=9.5+EP-G(下地は既存のまま)
備考	客席:一時取外し、段鼻ノリツブ:取替 消火器BOX(既存のまま) コケリ製手摺:立上り部EP-G塗替 木製笠木:下地調整後UC ノリツブノリ手摺SOP塗替 花通出入口前:目隠し壁新設



ホール(客席)

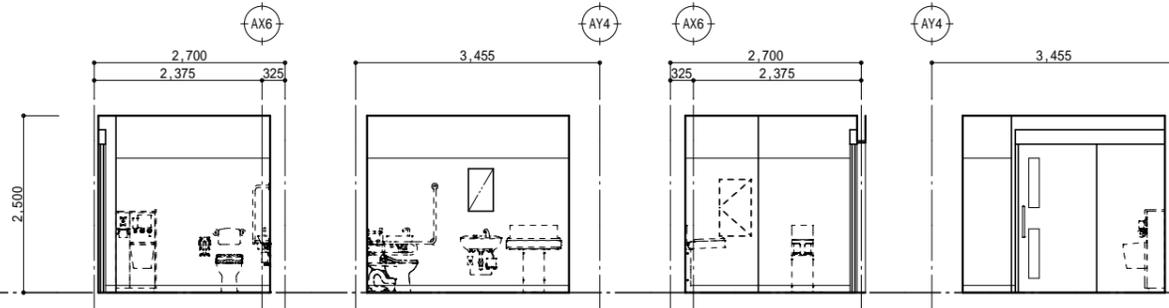
HWC (1) 【既存】仕上表	
床	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	ビニル巾木H=100
壁	RC,LGS下地 FKt=6.0の上EP
天井	FKt=6.0目透し張 EP
備考	鏡(撤去)



HWC (1)

A B C D

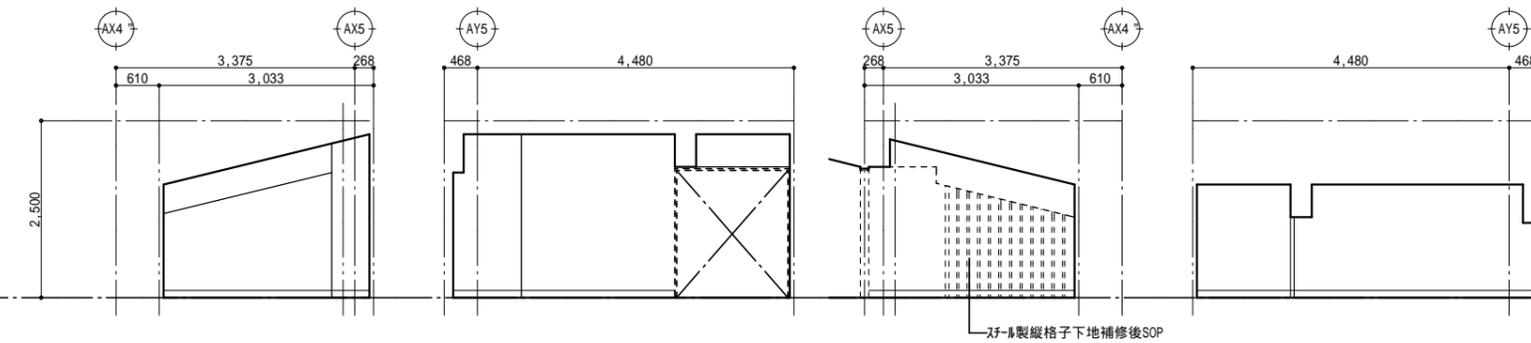
HWC (1) 【改修後】仕上表	
床	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	SUS製巾木H=100
壁	珪藻土化粧板t=3.0(H=1,900) EP-G塗装(H=2000以上)
天井	既存仕上撤去後 FKt=6.0目透し張 EP-G
備考	鏡(W350×H600) 天井点検口



HWC (1)

A B C D

物置【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地 EP
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装
天井	既存	コンクリート下地 EP
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装
備考	既存	ｽﾌﾟｰﾙ製縦格子SOP
	改修後	ｽﾌﾟｰﾙ製縦格子下地補修後SOP



物置

A B C D

特記事項

堂園設計株式会社

一級建築士事務所  
 鹿児島県登録第1-3-164号  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
 外村 遼

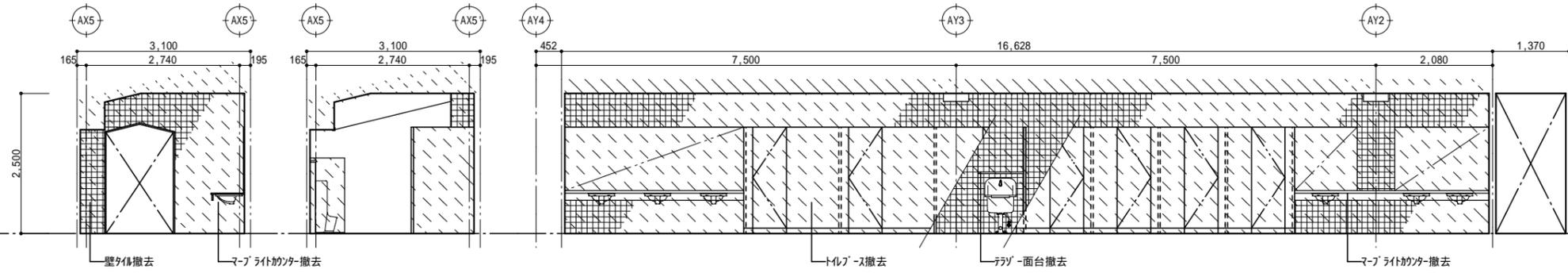
設計年月日  
 R7.2.  
 縮尺  
 1:50(A1)  
 1:100(A3)

工事名称  
 図面名称

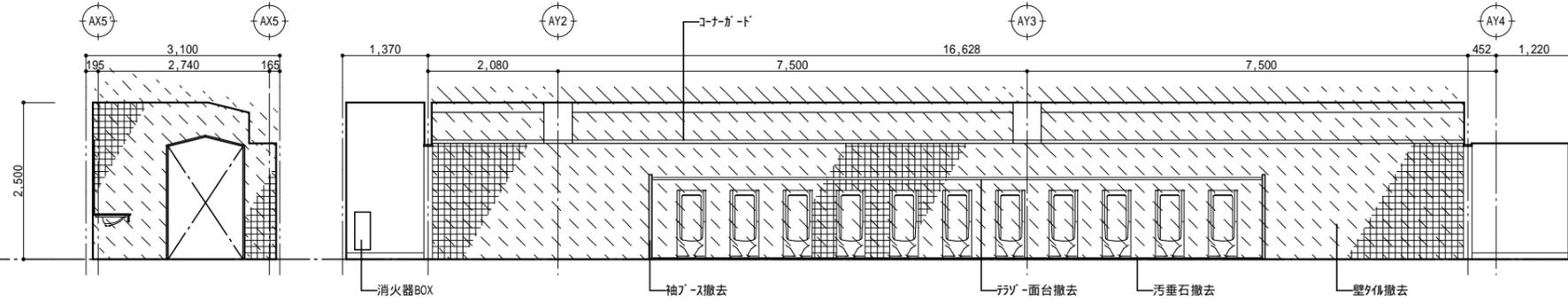
R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)  
 (ホール棟)展開図

図面番号  
 A-80

MWC (1) 【既存】仕上表	
床	モザイクタイル貼 汚垂れ受け:御影石t=30
巾木	陶器質100角タイル
壁	陶器質100角タイル
天井	FKt=6.0目透し張 EP
備考	マブライトカウンター、鏡 テラゾ-面台、コーナーガード(梁)

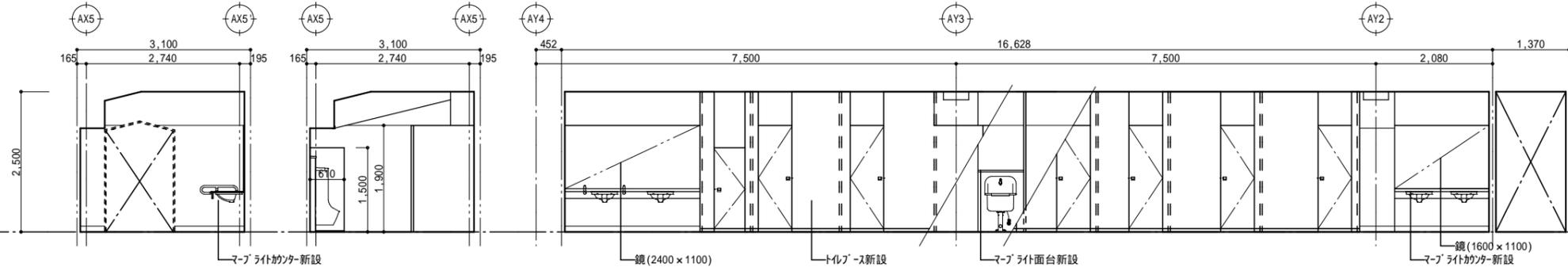


MWC (1) A A B

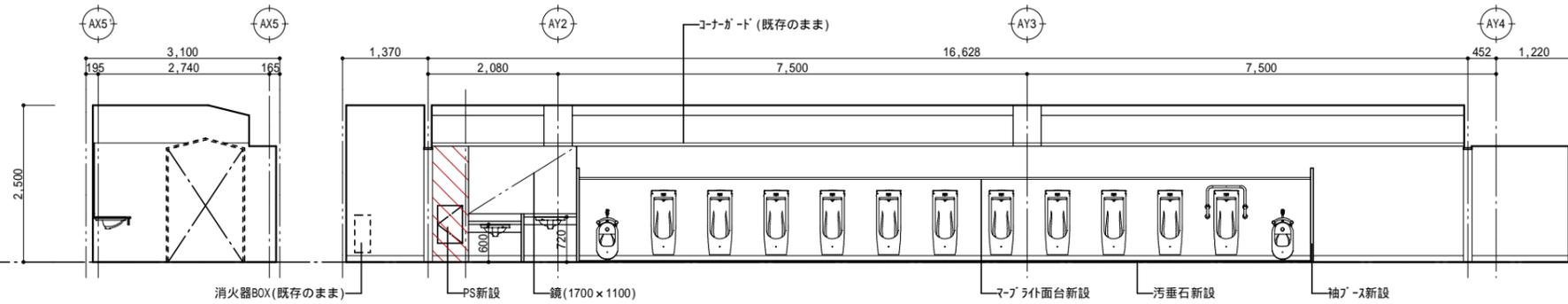


MWC (1) C D

MWC (1) 【改修】仕上表	
床	長尺増ビシ-ットt=2.0張 汚垂れ受け:御影石t=30
巾木	SUS製巾木H=100
壁	タ-ン化紙板t=3.0(H=1,900) EP-G塗装(H=1,900以上)
天井	既存撤去の上LGS下地新設 FKt=6.0目透し張 EP-G
備考	マブライトカウンター、マブライト面台 汚垂石、鏡



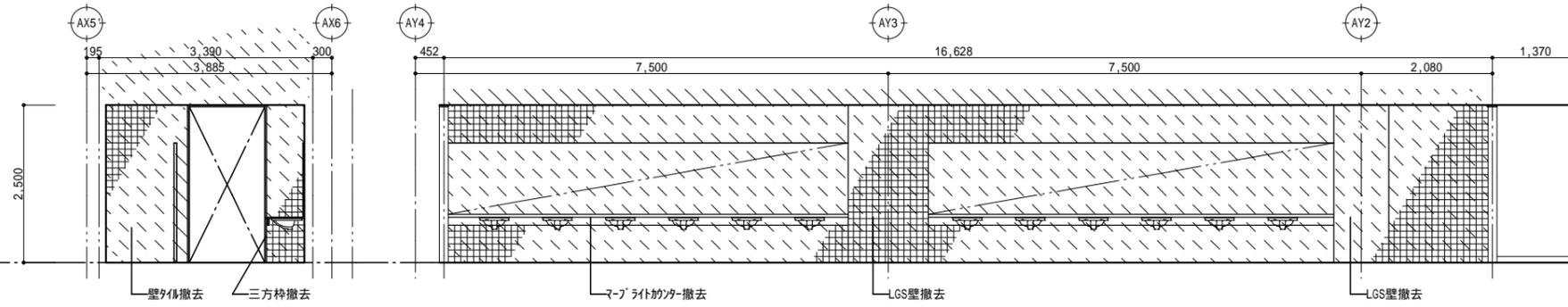
MWC (1) A A B



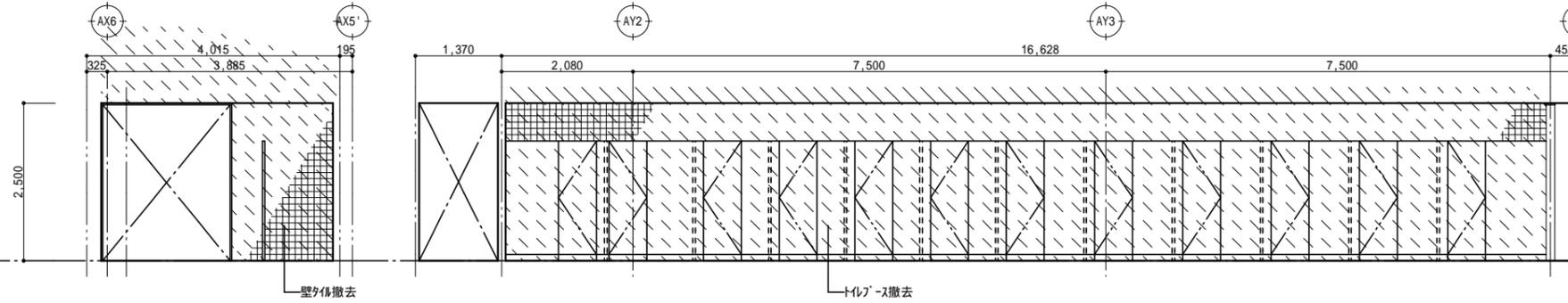
MWC (1) C D

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号	
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	
	鹿児島県登録第1-3-164号			縮尺	図面名称	(ホール棟)展開図	A-81
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			1:50(A1) 1:100(A3)			

WWC (1) 【既存】仕上表	
床	モザイクタイル貼
巾木	陶器質100角タイル
壁	陶器質100角タイル
天井	FK1=6.0目透し張 EP
備考	マップライトカケ、鏡 テゾー面台

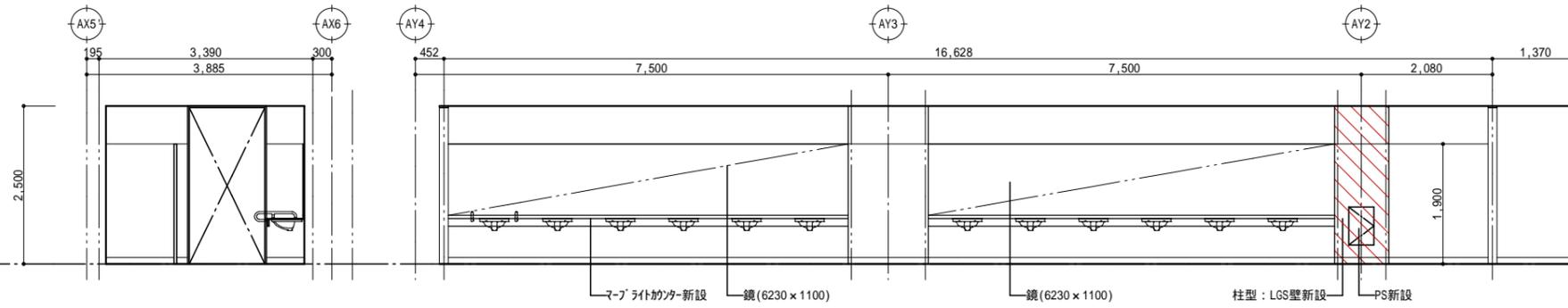


WWC (1) A B

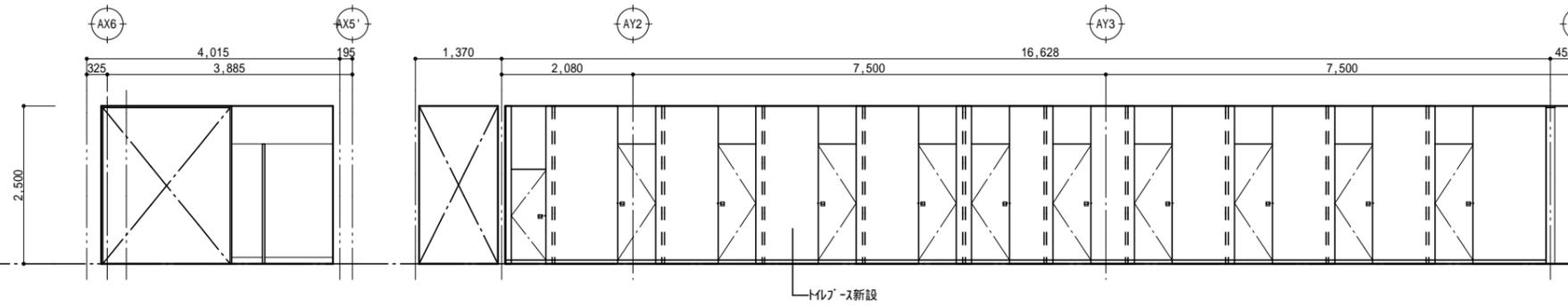


WWC (1) C D

MWC (1) 【改修】仕上表	
床	長尺増ビシートt=2.0張 汚垂れ受け:御影石t=30
巾木	SUS製巾木H=100
壁	砂ニ化紙板t=3.0(H=1,900) EP-G塗装(H=1,900以上)
天井	既存撤去の上LGS下地新設 FK1=6.0目透し張 EP-G
備考	マップライトカケ、カガミ 天井点検口



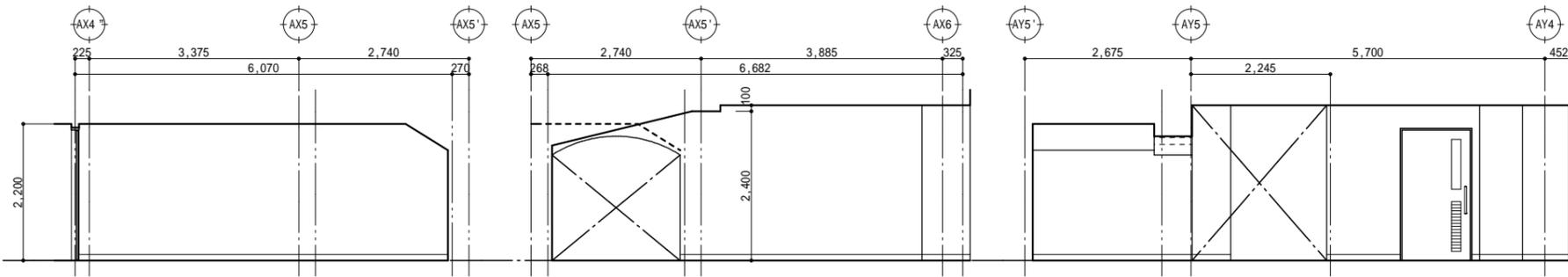
MWC (1) A B



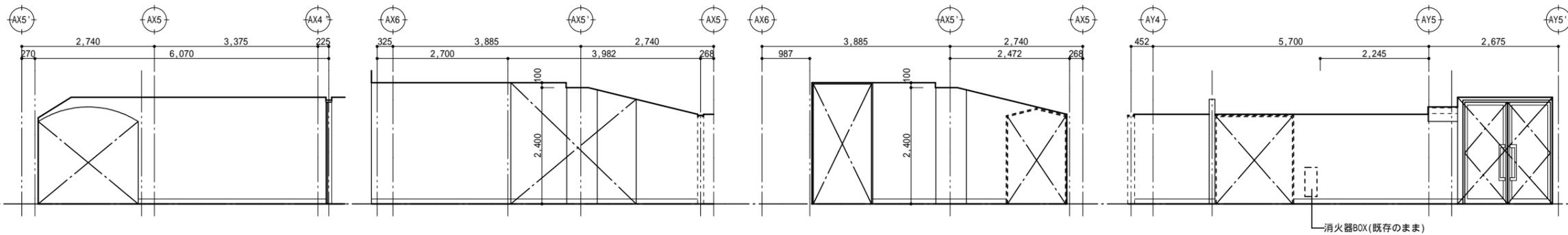
MWC (1) C D

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号
	一級建築士事務所 鹿児島登録第1-3-164号		外村 遼	R7・2・			
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			縮尺	図面名称	(ホール棟)展開図	
				1:50(A1) 1:100(A3)			

通路(1)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	塩化ビニル床 床厚t=3.0	撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイル張t=3.0	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地 EP	
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	既存のまま 仕上撤去
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装 GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	消火器BOX	
	改修後	既存のまま、天井点検口	

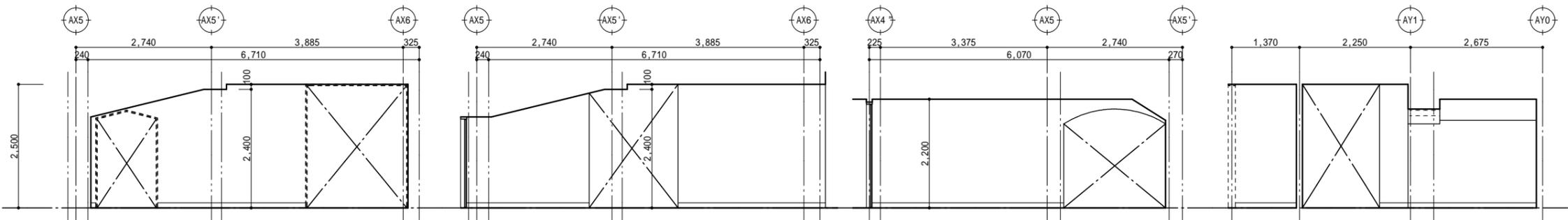


通路(1) A A B

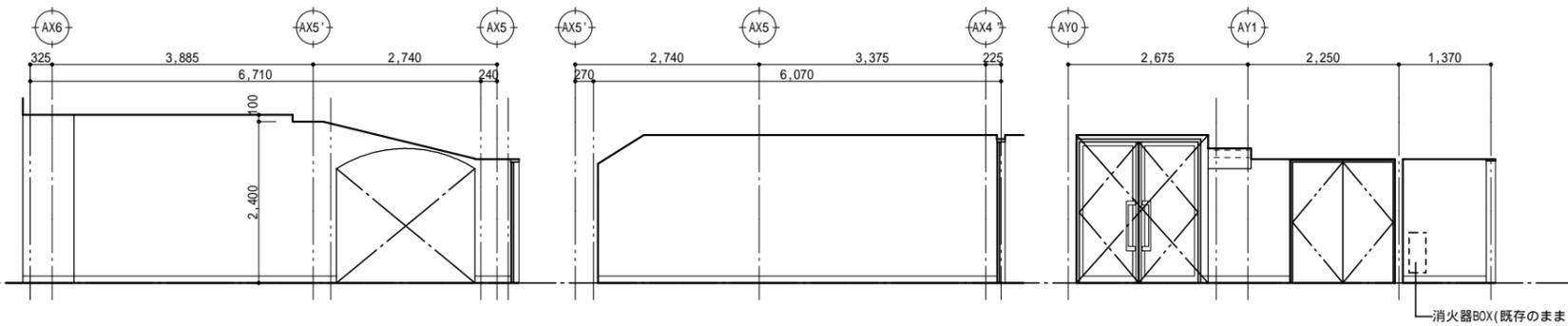


通路(1) C C C D

通路(2)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	塩化ビニル床 床厚t=3.0	撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイル張t=3.0	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地 EP	
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	既存のまま 仕上撤去
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装 GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	消火器BOX	
	改修後	既存のまま、天井点検口	

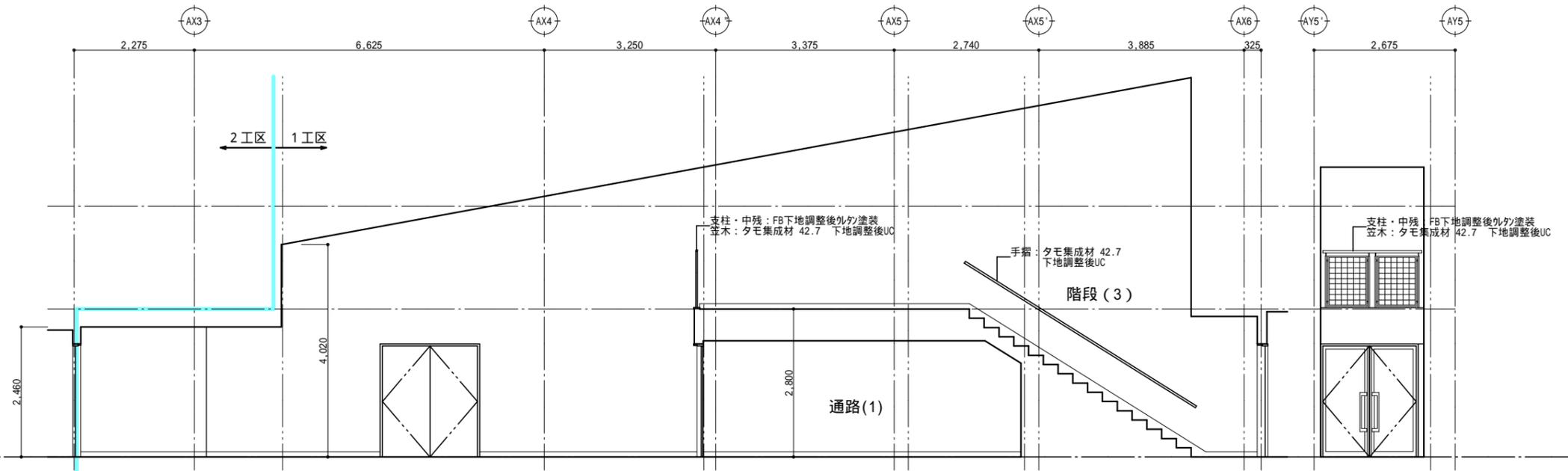


通路(2) A A A B



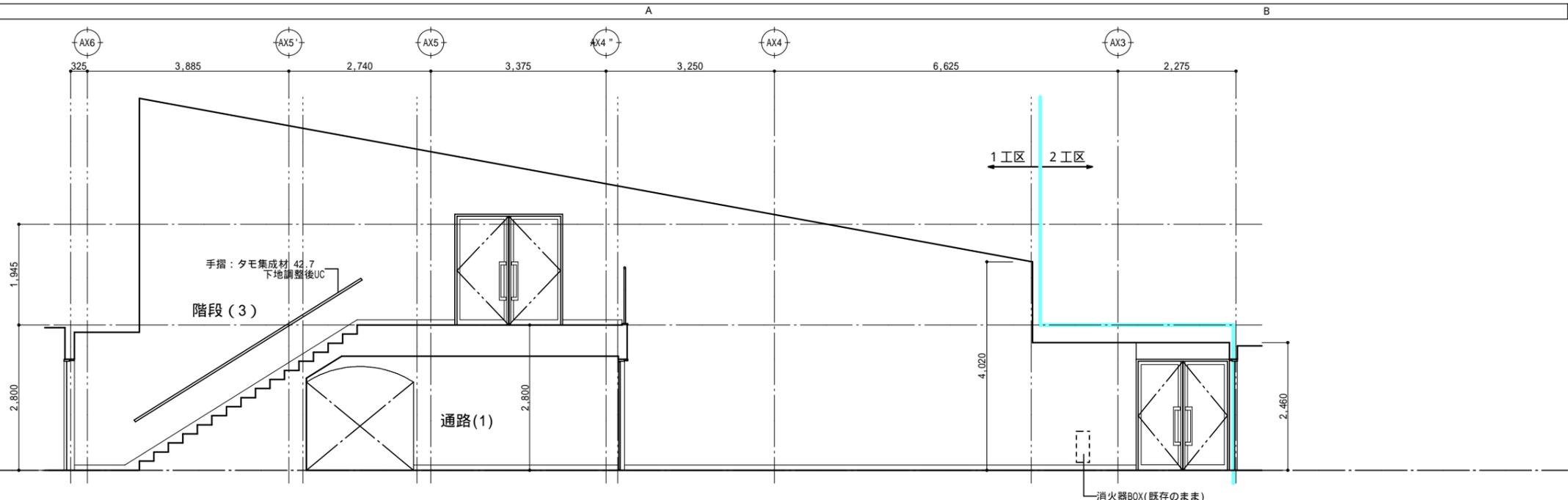
通路(2) C C D

床	既存	タイルカーペット敷 500角	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷(500角)	
巾木	既存	木製OP H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地 EP	
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去下地共
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	消火器BOX	
	改修後	既存のまま、天井点検口	



前室(サウナ)【既存】

床	既存	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷 500角、点字ブロック	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地 EP	下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去下地共 一部既存のまま
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	一部既存のまま
備考	既存	SUS製ノスリップ 手摺笠木：タモ集成材 42.7	撤去
	改修後	SUS製ノスリップ 取替 手摺笠木：下地調整後UC、天井点検口	



前室(サウナ)【既存】

**堂園設計株式会社**

一級建築士事務所  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
 外村 遼

設計年月日  
 R7・2・

縮尺  
 1:50(A1)  
 1:100(A3)

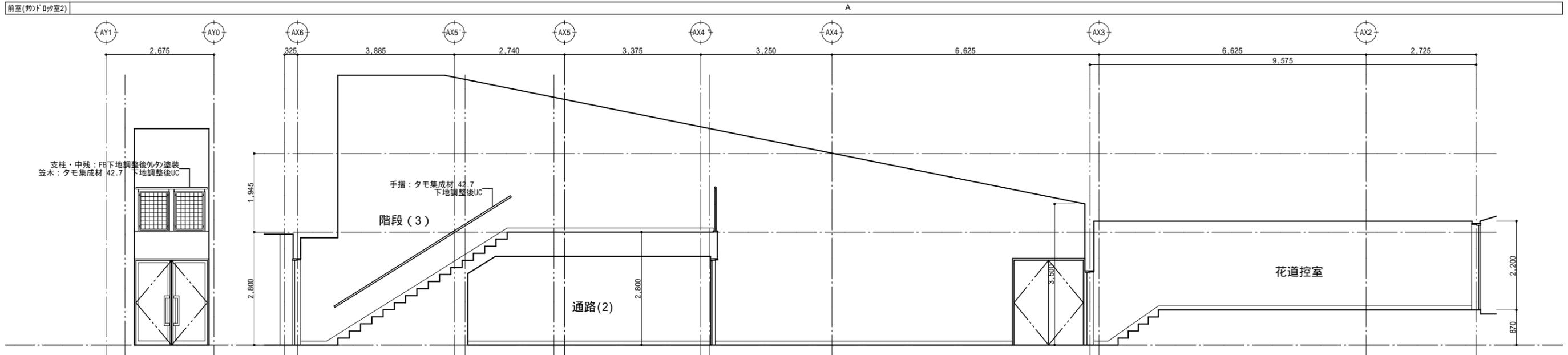
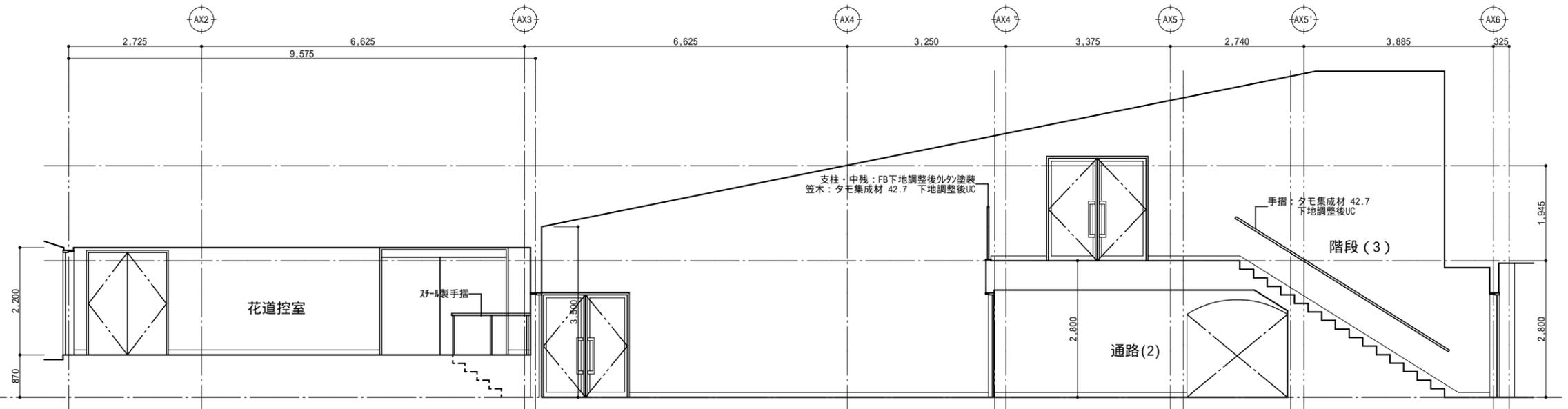
工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

図面名称 (ホール棟)展開図

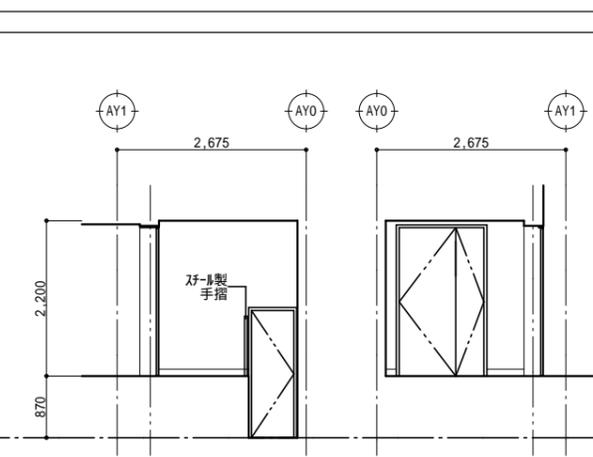
図面番号 A-84

特記事項

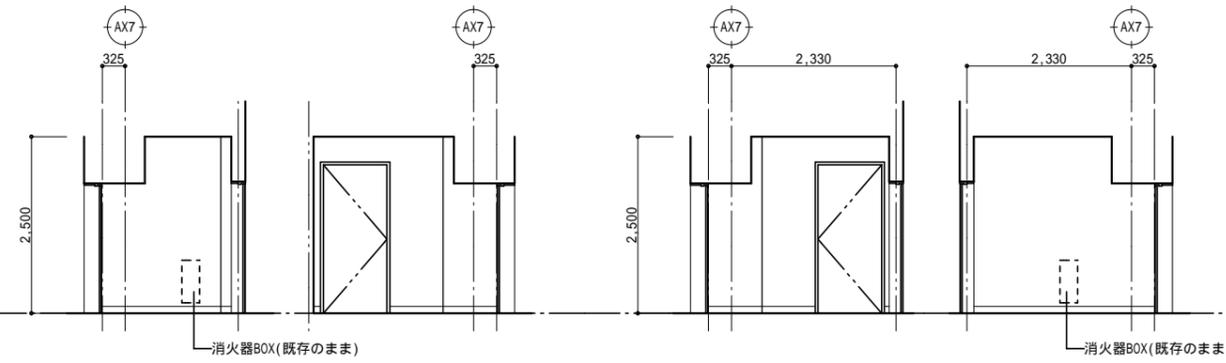
床	既存	タイルカーペット敷 500角	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷(500角)	
巾木	既存	木製OP H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地	EP
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存		
	改修後	天井点検口	



床	既存	長尺ビニル床シートt=2.0	撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0張	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	RC,LGS+GB-R下地	EP 下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G	
備考	既存	SUS製ノスリッパ	撤去下地調整
		SUS製手摺	
	改修後	SUS製ノスリッパ 取替	
		SUS製手摺下地調整後SOP	

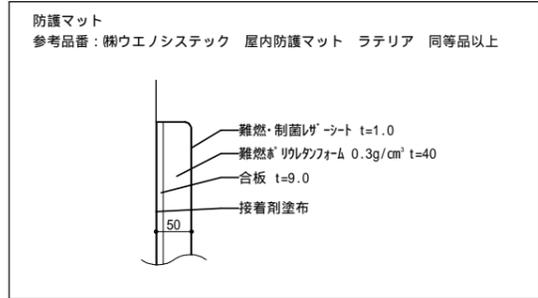
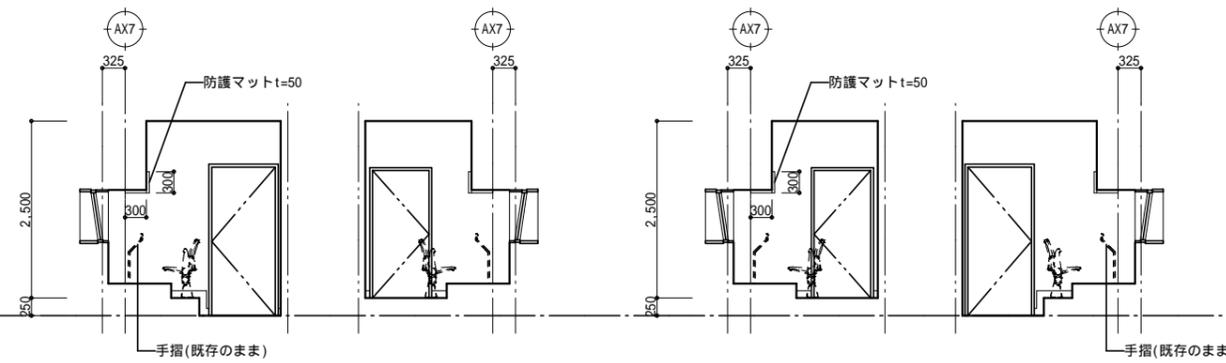


前室(1)(2)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	カーペットt=6.0	撤去下地調整
	改修後	カーペット敷t=6.0	
巾木	既存	木製OP H=100	撤去下地調整
	改修後	木製巾木SOP H=100	
壁	既存	有孔スラグ石膏板t=12.0の上EP 通路(3)(4)側: GB-F15.02重張の上EP	下地調整 下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	
	改修後	既存のまま	
備考	既存	消火器BOX	
	改修後	既存のまま	



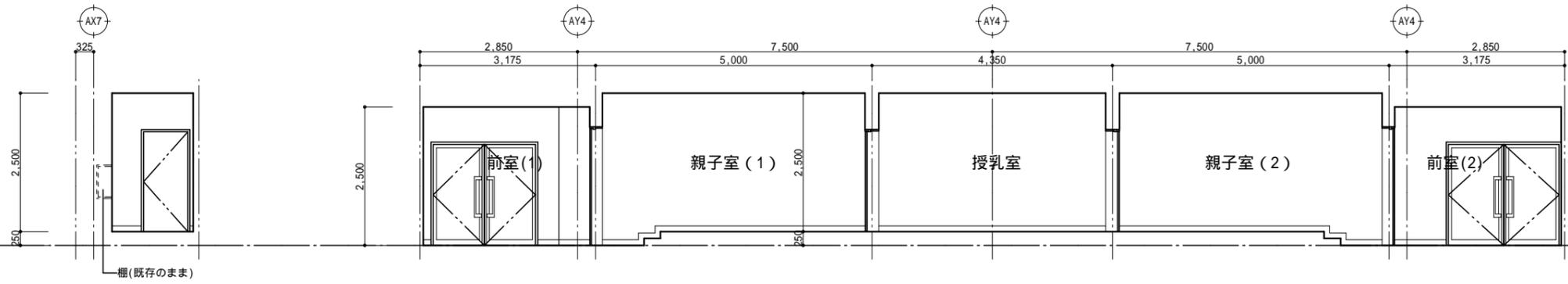
前室(1) A C 前室(2) A C

親子室(1)(2)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷 500角	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷(500角)	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	GB-Rt=12.5の上EP インフラ側: GB-F15.02重張の上EP	下地調整 下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去下地調整
	改修後	GR-Rt=9.5+DRt=9.0の上EP-G	
備考	既存	手摺(既存のまま)	
	改修後	スルスルスリップ(ゴム入)取替、防護マットt=50	

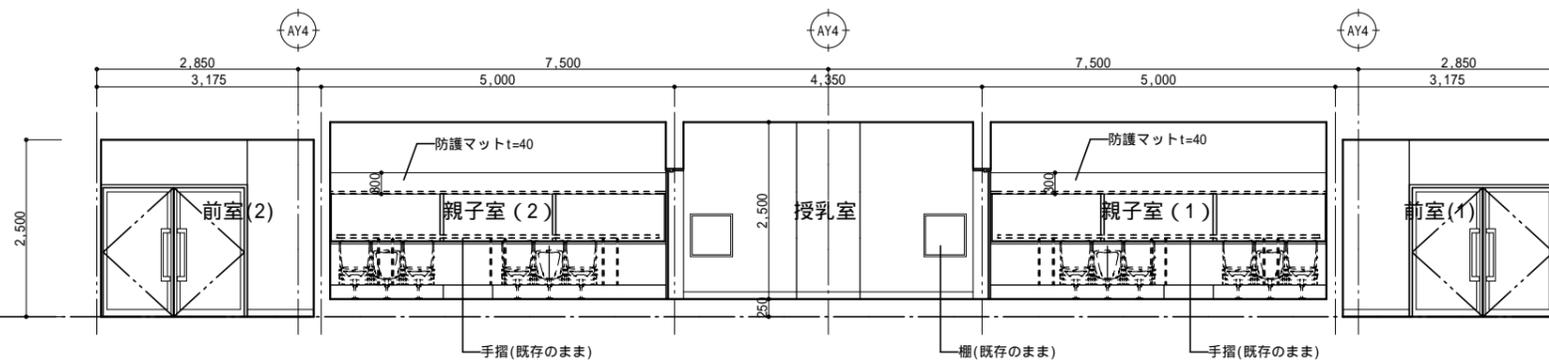


親子室(1) A C 親子室(2) A C

授乳室【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷 500角	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷(500角)	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	GB-Rt=12.5の上EP インフラ側: GB-F15.02重張の上EP	下地調整 下地調整
	改修後	下地補修調整後EP-G塗装	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去下地調整
	改修後	GR-Rt=9.5+DRt=9.0	
備考	既存	柵	
	改修後	既存のまま	



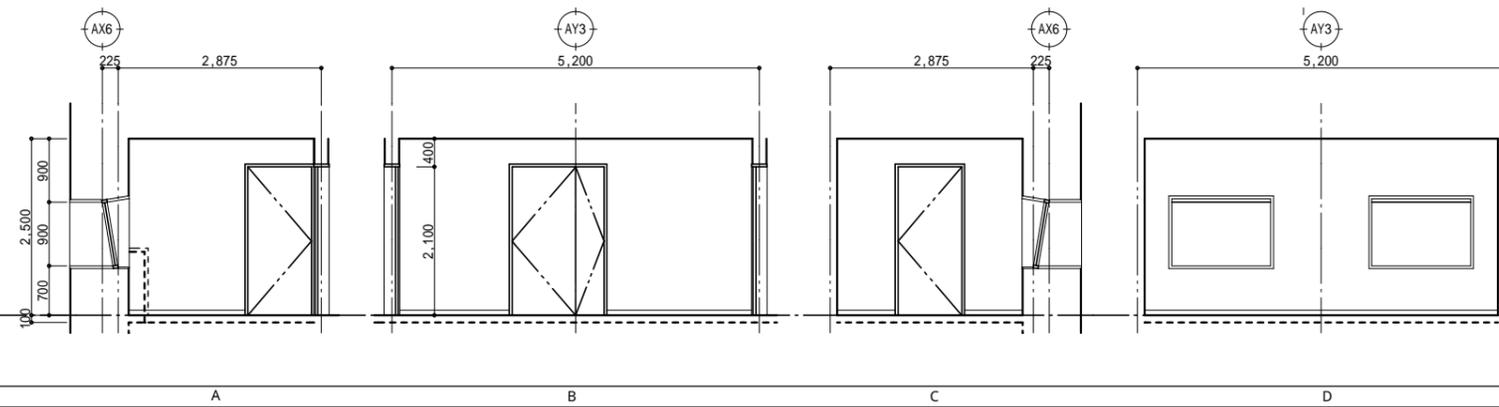
授乳室 A 親子室・授乳室・前室 B



親子室・授乳室・前室 D

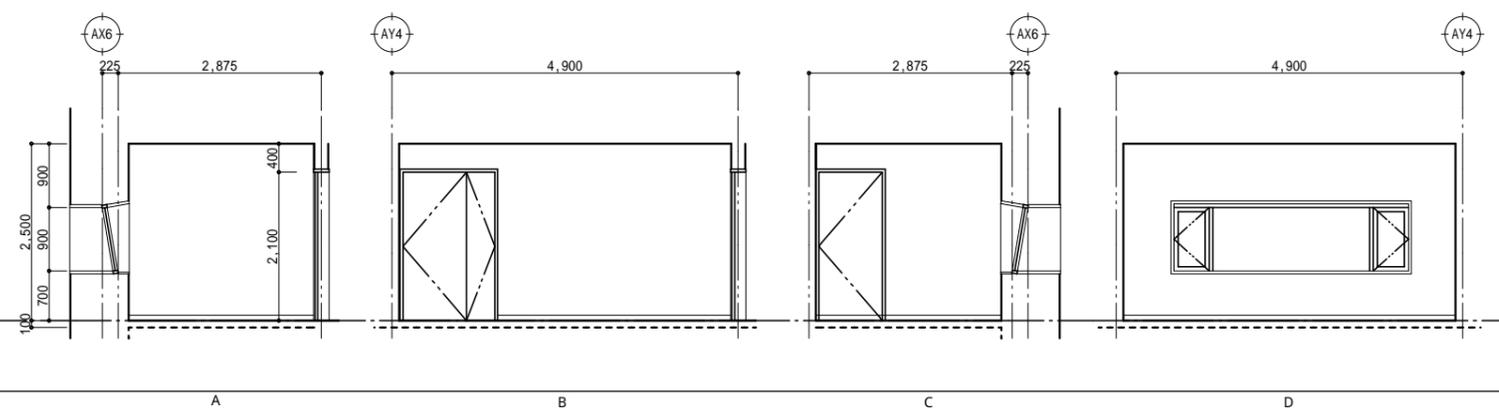
特 記 事 項	堂園設計株式会社		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	A-86
	県知事登録第1-3-164号			縮尺	図面名称	
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			1:50.5(A1) 1:100.10(A3)	(ホール棟)展開図	

映写機器室【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	フリーフロアH=100の上 ニードルパッド敷きt=4.0	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	木製 H=75 OP	
	改修後	既存のまま	
壁	既存	GWt=50(32kg/m <sup>3</sup> )ガラスワール紙止	
	改修後	既存のまま	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上下地共撤去
	改修後	GB-Rt=9.5+DRt=9.0 EP-G	
備考	既存		
	改修後	天井点検口	



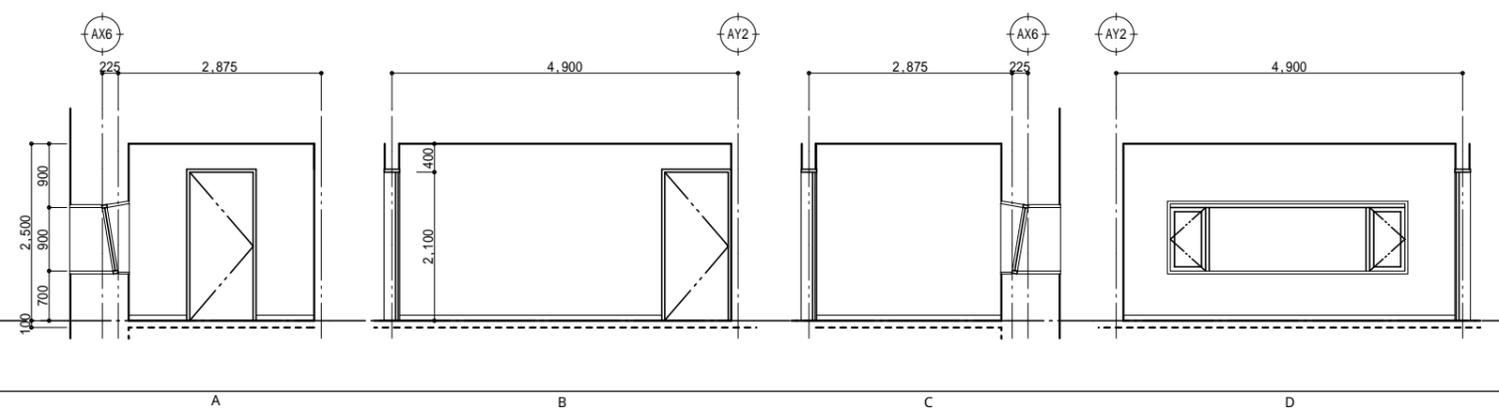
映写機器室 A B C D

調光機器室【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	フリーフロアH=100の上 ニードルパッド敷きt=4.0	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	木製 H=75 OP	
	改修後	既存のまま	
壁	既存	GWt=50(32kg/m <sup>3</sup> )ガラスワール紙止	
	改修後	既存のまま	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上下地共撤去
	改修後	GB-Rt=9.5+DRt=9.0 EP-G	
備考	既存		
	改修後	天井点検口	



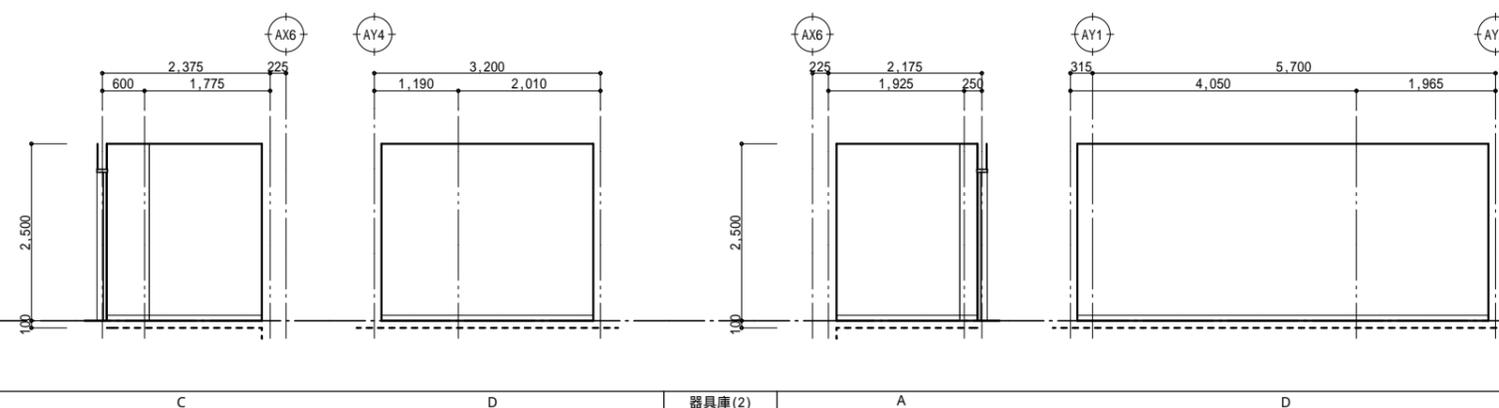
調光機器室 A B C D

音響調整機器室【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	フリーフロアH=100の上 ニードルパッド敷きt=4.0	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	木製 H=75 OP	
	改修後	既存のまま	
壁	既存	GWt=50(32kg/m <sup>3</sup> )ガラスワール紙止	
	改修後	既存のまま	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上下地共撤去
	改修後	GB-Rt=9.5+DRt=9.0 EP-G	
備考	既存		
	改修後	天井点検口	

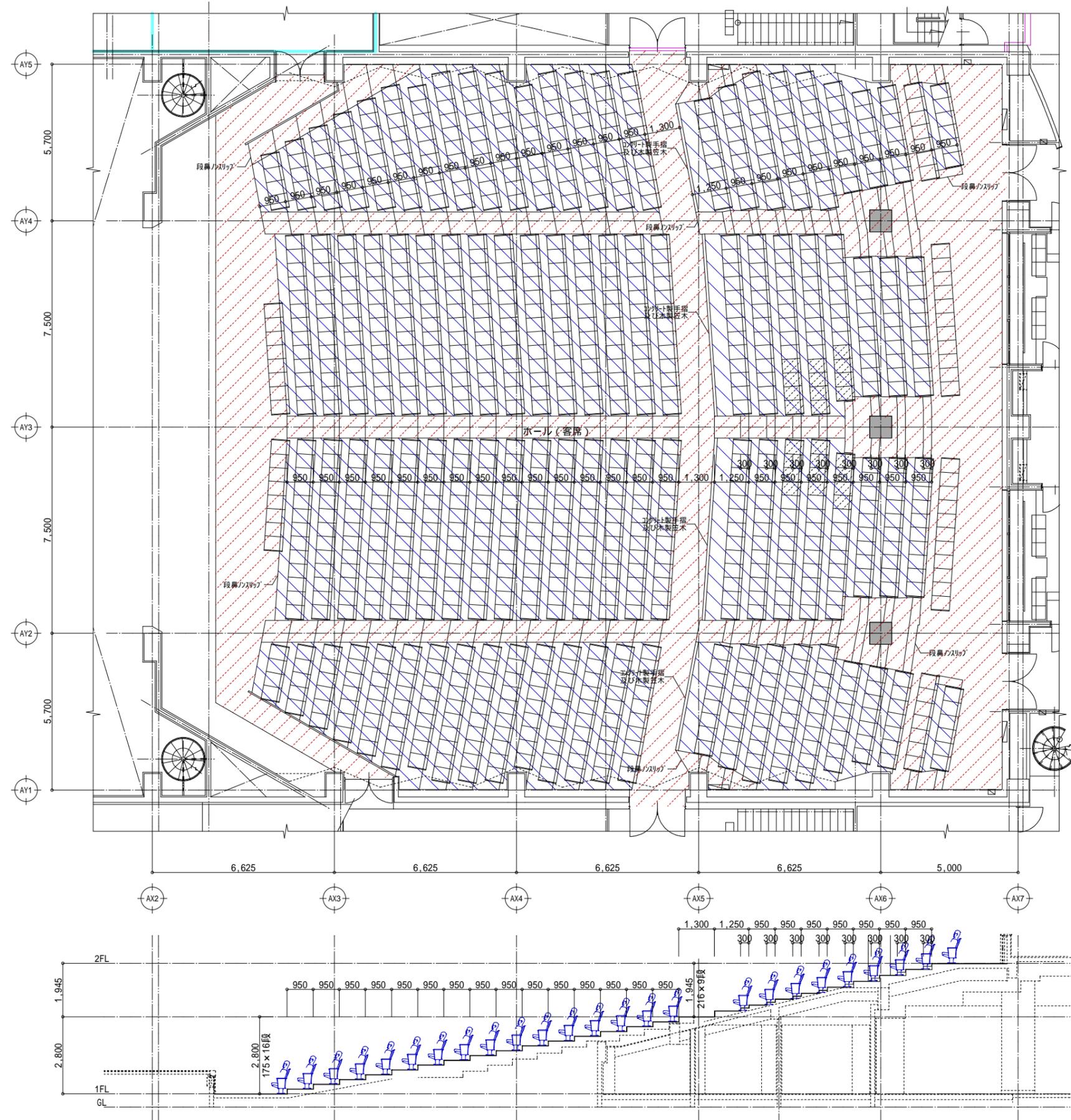


音響調整機器室 A B C D

器具庫(1)(2)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	フリーフロアH=100の上 一部：長尺塩ビシートt=2.0	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	木製 H=75 OP	
	改修後	既存のまま	
壁	既存	FKt=8.0(目透し張)の上EP	
	改修後	既存のまま	
天井	既存	GB-Dt=9.5	仕上下地共撤去
	改修後	GB-Dt=9.5	
備考	既存		
	改修後	天井点検口	



器具庫(1) C D 器具庫(2) A D



特記事項

堂園設計株式会社

一級建築士事務所  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
 外村 遼

設計年月日  
 R7.2.  
 縮尺  
 1:80, 20.2(A1)  
 1:160, 40.4(A3)

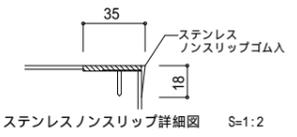
工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)  
 図面名称 (ホール棟)部分詳細図(ホール床仕上げ平面図・座席詳細図)

図面番号 A-88

床仕上について(箇中凡例)

- 客席部分: 既存長尺シートt=2.0仕上げ撤去後下地調整の上、長尺塩ビシートt=2.0張(防汚・抗菌・消臭)
- 通路部分: 既存カーペット敷t=6.0仕上げ撤去後下地調整の上、長尺塩ビシートt=2.0張(防汚・抗菌・消臭)

段鼻ノリツブ ... 既存撤去後、ステンレスノンスリップ取付

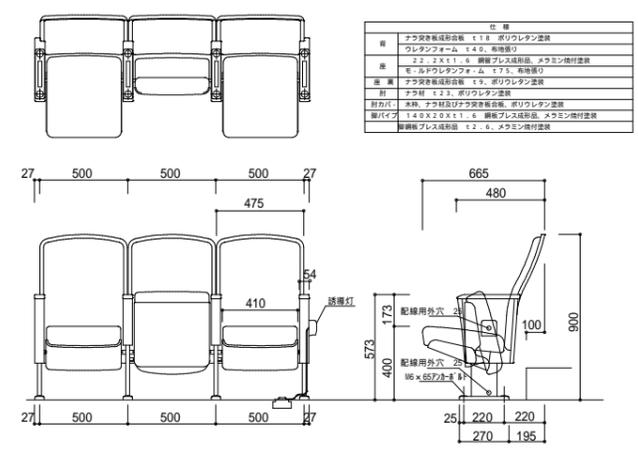


客席について

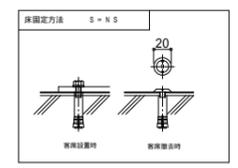
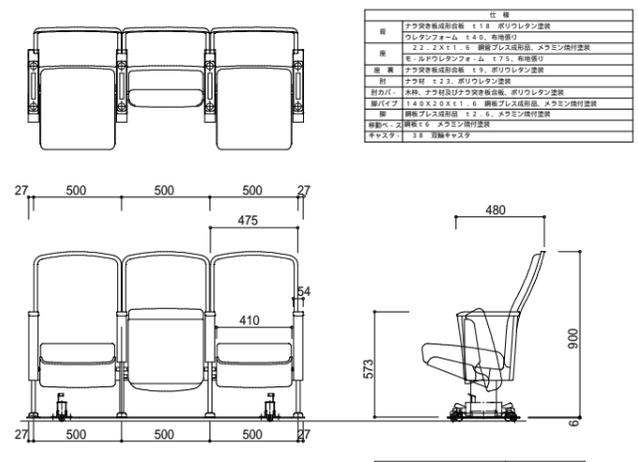
【客席数: ホール 1034席(内、24席は移動式) 親子室 12席】 箇中

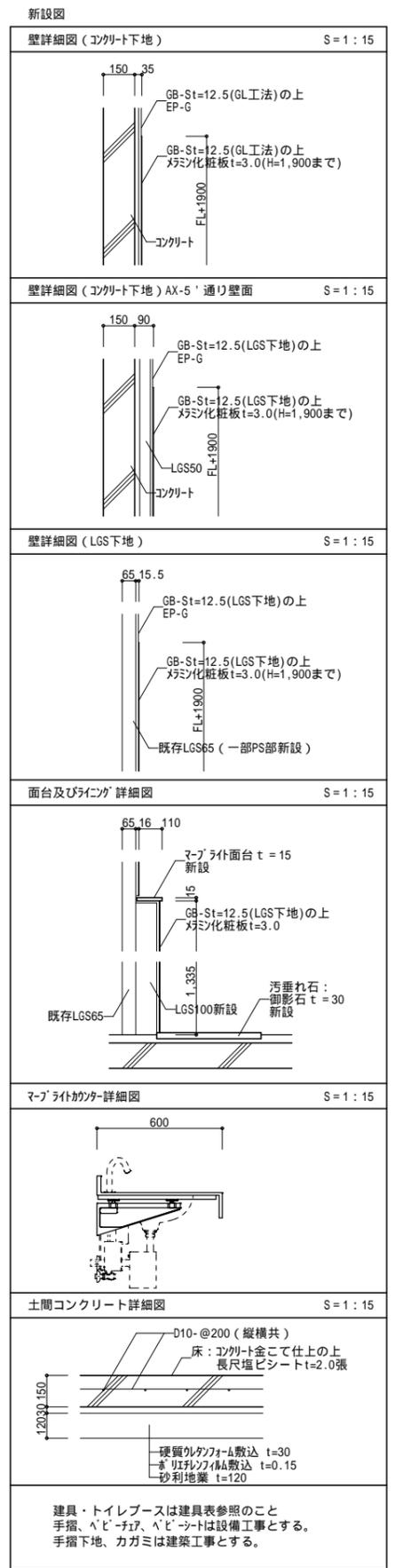
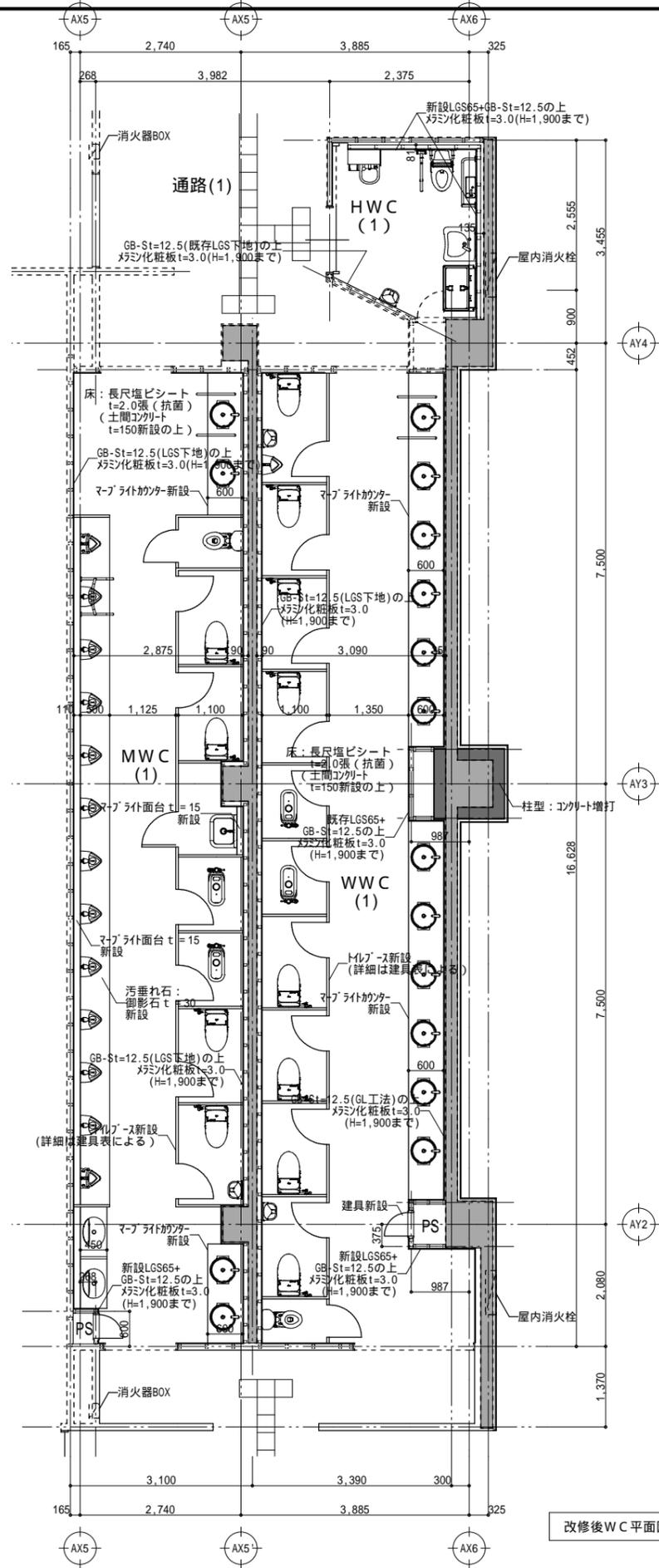
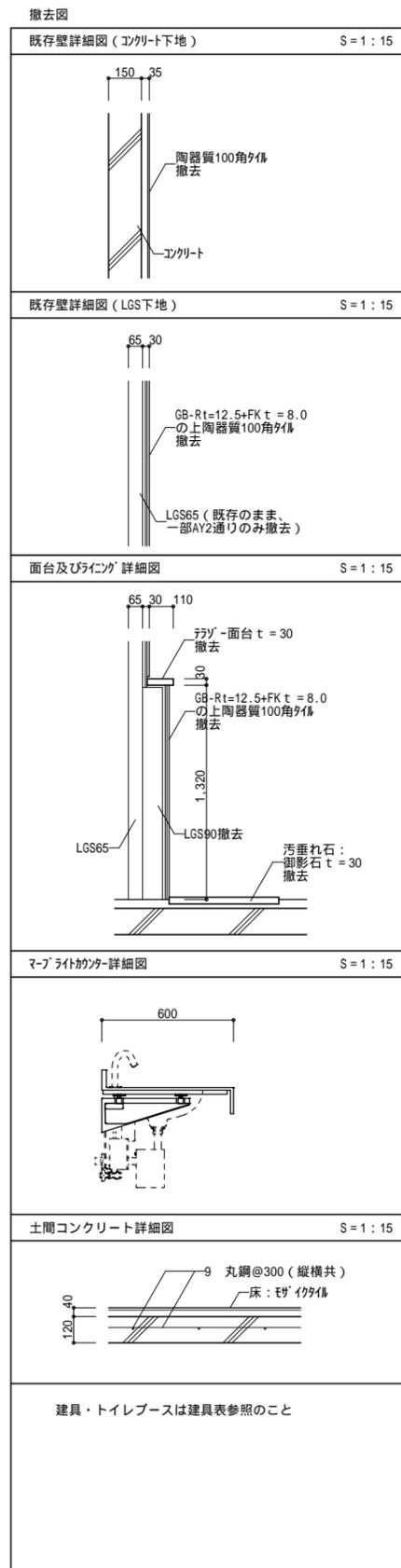
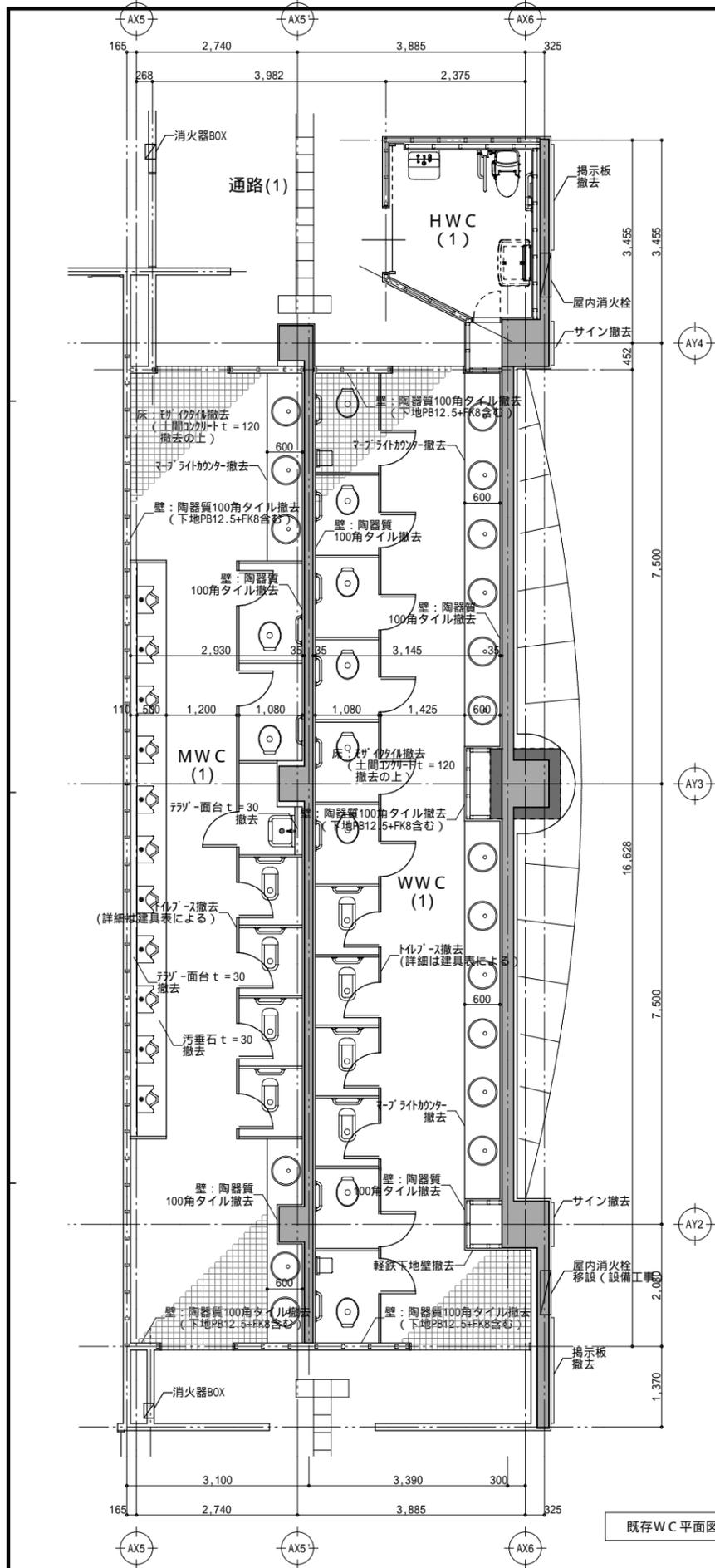
- 客席は全て取外し時保管する。クリーニングを施し、再取付とする。
- 床、周辺の養生及びチェアクリーニング(前処理材・本洗剤を噴霧、ブラッシングにて汚れ落とし後、エクストラクターで濯ぎ洗い、脚部拭き上げ。安定型塩素除菌・消臭剤を噴霧後、絨毯用抗菌剤を噴霧して仕上げる。
- 保管場所(仮設事務所倉庫)・期間については監督員と協議の上、決定の事。

客席詳細図 S=1:20



客席(移動式)詳細図 S=1:20

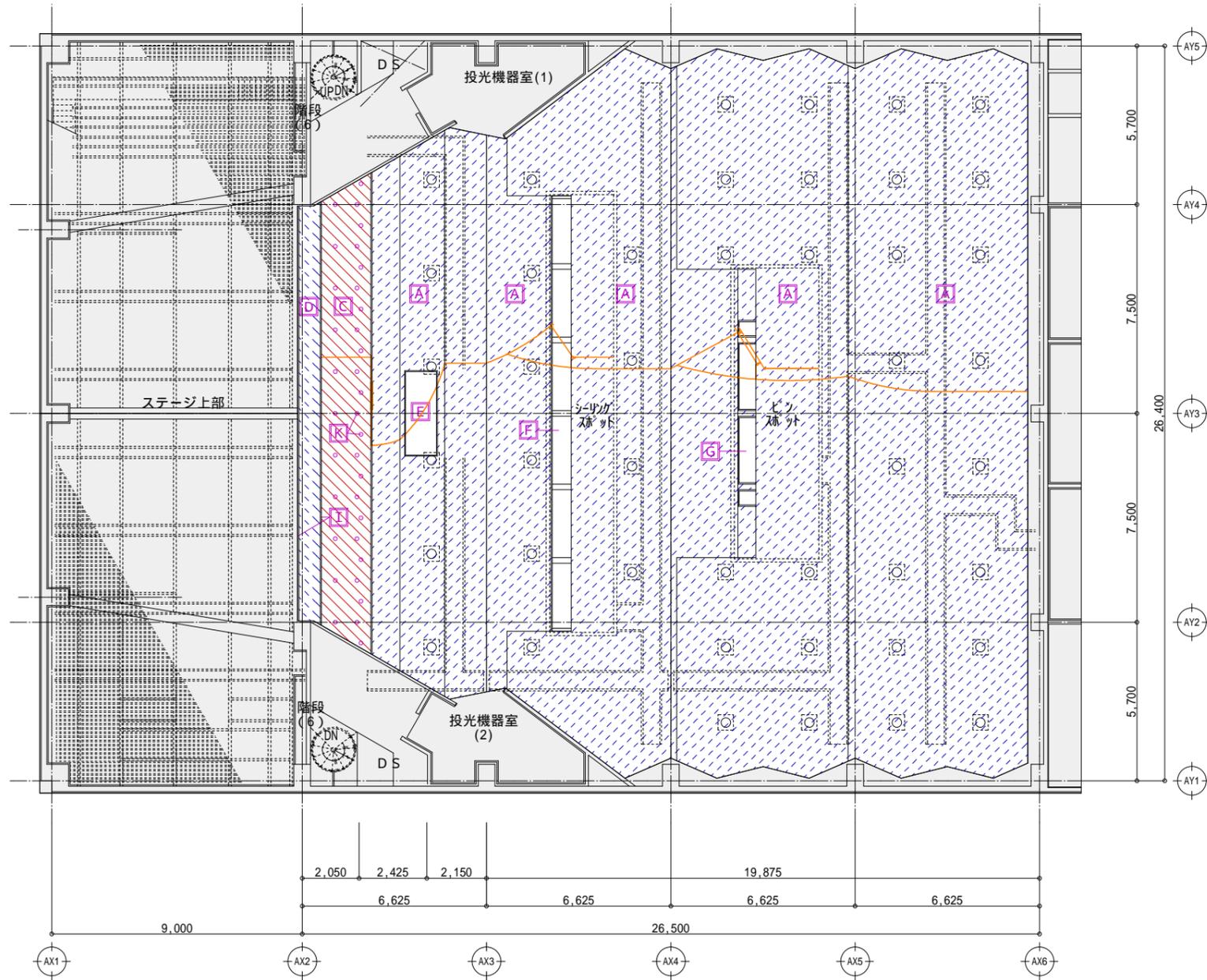




特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:50.15(A1) 1:100.30(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面名称 (ホール棟)部分詳細図(1階WC廻り)	図面番号 A-89
	一級建築士登録第160636号 外村 遼		図面名称 (ホール棟)部分詳細図(1階WC廻り)	設計図	図面番号 A-89	
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		図面名称 (ホール棟)部分詳細図(1階WC廻り)	設計図	図面番号 A-89	

改修後天井伏図

1 : 100

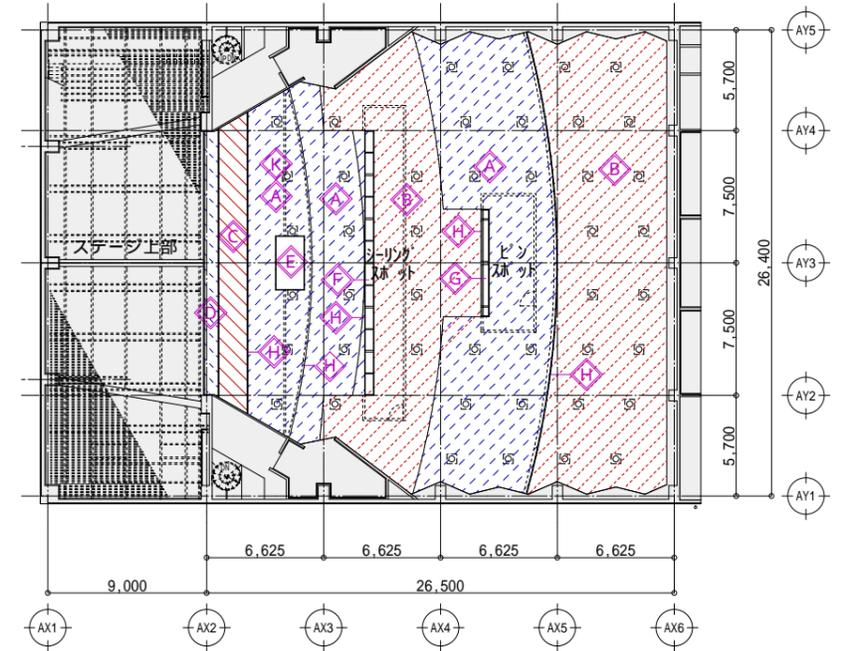


凡例

記号	改修内容	記号	既存撤去内容
A	PB t = 12.5+12.5 EP 新設	A	PB t = 9.5+9.5+9.5 EP 撤去
B	準構造化天井下地、鉄骨共	B	LGS天井下地 (一部鉄骨) 共
C	PB t = 9.5の上リックル化粧吸音板 t = 9.5 新設	C	PB t = 9.5の上リックル化粧吸音板 t = 9.5 撤去
D	準構造化天井下地、鉄骨共	D	LGS天井下地 (一部鉄骨) 共
E	PB t = 9.5の上リックル化粧吸音板 t = 9.5 既存のまま	E	LGS天井下地共
F	スリッパ用開口 (W3,000 x H2,200木製枠サッシ貼) 新設	F	PB t = 9.5の上リックル化粧吸音板 t = 9.5 既存のまま
G	スリッパ用開口 (W15,600 x H1,400 Lアングル下地 クリップ ネット)	G	スリッパ用開口 (W3,000 x H2,500木製枠サッシ貼) 撤去
H	ピンスポット用開口 (建具表参照) 新設	H	スリッパ用開口 (W15,000 x H1,300鉄骨下地 2.3金網50角)
I	-	I	ピンスポット用開口 (建具表参照) 撤去
J	木製見切縁 (45 x 90) 既存のまま	J	木製見切縁 (45 x 90) 撤去
K	空調吹出口カバー 新設 (設備工事)	K	木製見切縁 (45 x 90) 既存のまま
L	空調吹出口カバー 撤去 (設備工事)	L	空調吹出口カバー 撤去 (設備工事)
M	プロセアライト・絞り線帳用ワイヤー開口 既存再利用	M	空調吹出口カバー 撤去 (設備工事)
N	-	N	プロセアライト・絞り線帳用ワイヤー開口 既存再利用
O	-	O	ガラス t = 50 撤去 (天井裏)
制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。		撤去の下地鉄骨等は監督員協議の上、決定の事。	

既存撤去天井伏図

1 : 200



特記事項

堂園設計株式会社

一級建築士事務所  
鹿児島県登録第1-3-164号

鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
外村 遼

設計年月日

R7・2・

縮尺

1:100, 200(A1)  
1:200, 400(A3)

工事名称

R7霧島市民会館大規模改修工事 (建築1工区)

図面名称

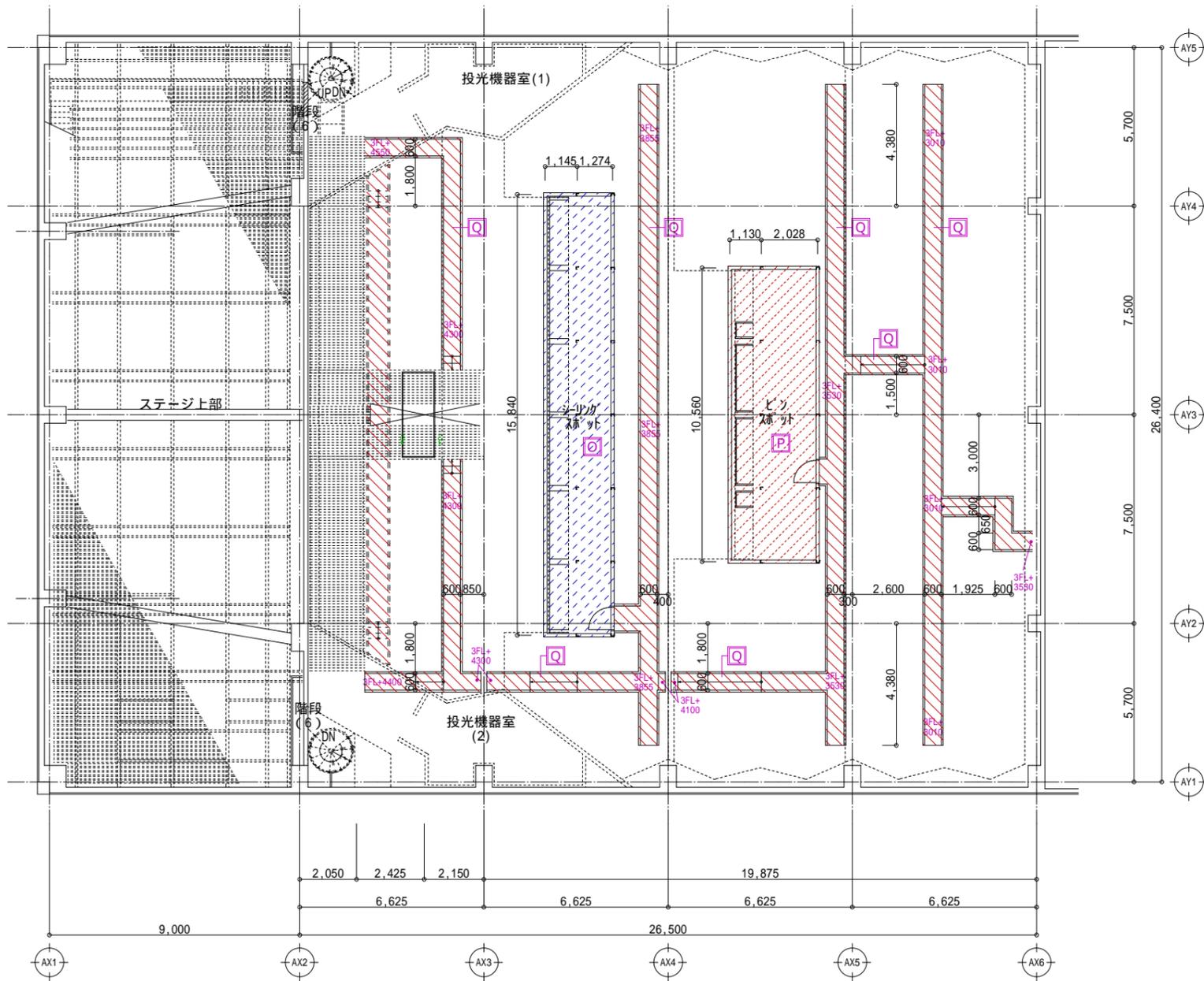
(ホール棟)部分詳細図 (客席ホール天井 撤去・改修図)

図面番号

A-90

改修後天井裏平面図

1:100



凡例

記号	改修内容	記号	既存撤去内容
Q	シーリングスロット室 新設	D	シーリングスロット室 撤去
斜線	詳細図参照	斜線	鋼製建具 W800×H1800、鉄骨下地 共
P	ピンスポット室 新設	P	ピンスポット室 撤去
斜線	詳細図参照	斜線	鋼製建具 W800×H1800、鉄骨下地 共
Q	キャットウォーク 新設	Q	キャットウォーク 撤去
斜線	詳細図参照	斜線	エキストラクタ、吊钩、鉄骨下地 共
R	スベークボックス 新設(別途工事)	R	スベークボックス 撤去(別途工事)
斜線	鉄骨下地は建築工事	斜線	鉄骨下地は建築工事
S		S	天井吊り鉄骨下地 撤去
T			
U			
V			
W			
X			
制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。		撤去の下地鉄骨等は監督員協議の上、決定の事。	

既存天井裏撤去図

1:200



特記事項

堂園設計株式会社

一級建築士事務所  
鹿児島登録第1-3-164号

鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
外村 遼

設計年月日

R7・2・

縮尺

1:100, 200(A1)  
1:200, 400(A3)

工事名称

R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

設計図

図面番号

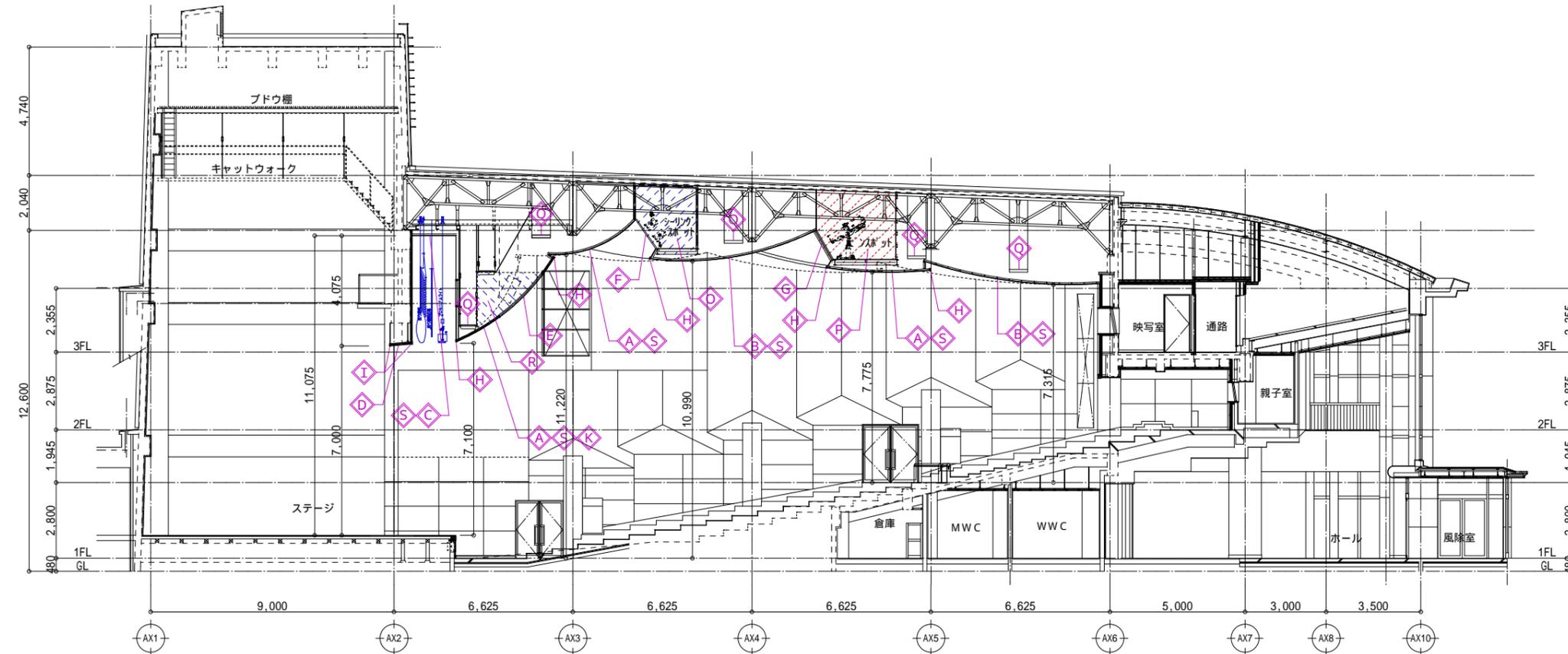
A-91

図面名称

(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井裏 撤去・改修図)

既存撤去断面図

1 : 100

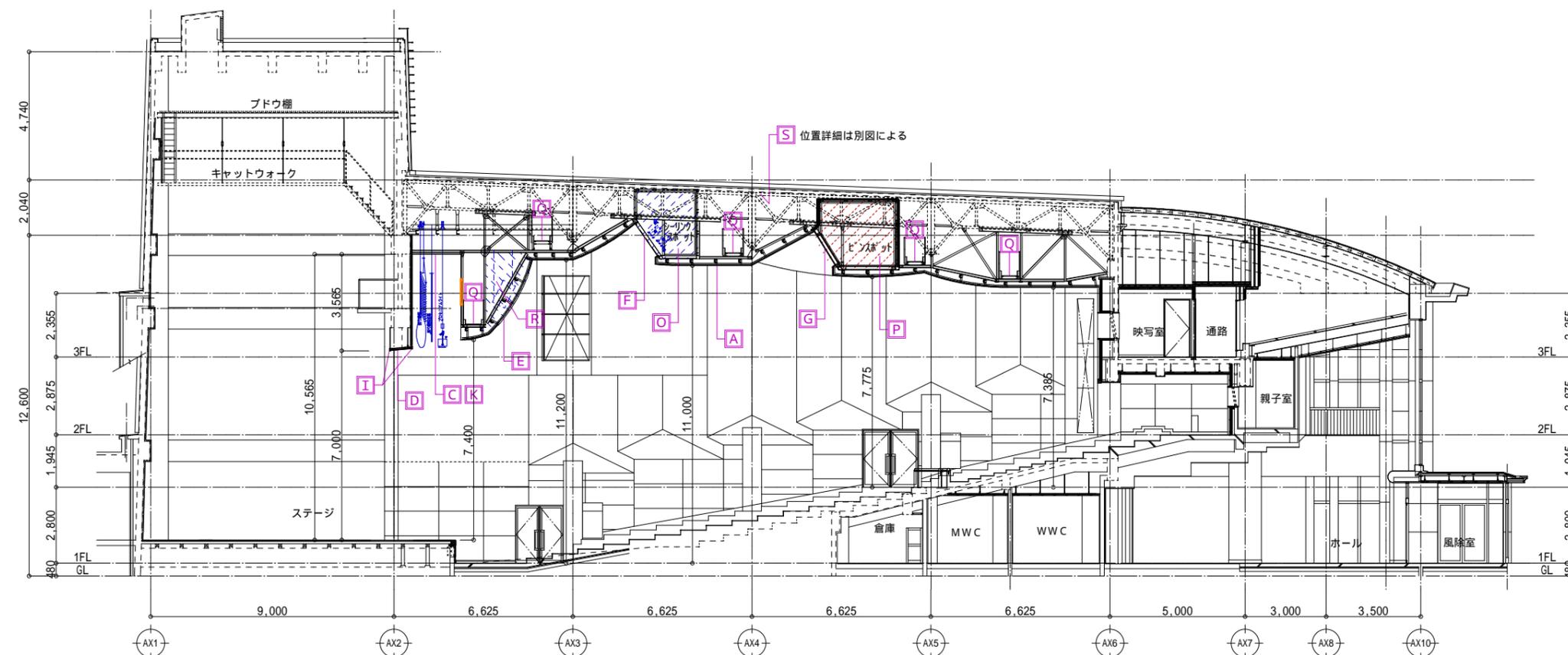


凡例

記号	既存撤去内容
A	PB t = 9.5+9.5+9.5 EP 撤去 LGS天井下地 (一部鉄骨) 共
B	PB t = 12.5+9.5 EP 撤去 LGS天井下地 (一部鉄骨) 共
C	PB t = 9.5の上ロック化化粧吸音板 t = 9.5 撤去 LGS天井下地共
D	PB t = 9.5の上ロック化化粧吸音板 t = 9.5 既存のまま
E	スリット開口 (W3,000 x H2,500木製枠付ネット貼) 撤去
F	シーリングスロット天井開口 撤去 (W15,000 x H1,300鉄骨下地 2.3金網50角)
G	ビンスロット天井開口 (建具表参照) 撤去
H	木製見切縁 (45 x 90) 撤去
I	木製見切縁 (45 x 90) 既存のまま
J	空調吹出口カバー 撤去 (設備工事)
K	ガラスカバールt = 50 撤去 (天井裏)
O	シーリングスロット室 撤去
■	鋼製建具 W800 x H1800、鉄骨下地 共
P	ビンスロット室 撤去
■	鋼製建具 W800 x H1800、鉄骨下地 共
Q	キャットウォーク 撤去 鉄骨下地、吊ボルト、鉄骨下地 共
R	スリット開口 撤去 (別途工事)
■	鉄骨下地は建築工事
S	天井吊り鉄骨下地 撤去
撤去の下地鉄骨等は監督員協議の上、決定の事。	

改修後断面図

1 : 100



凡例

記号	改修内容
A	PB t = 12.5+12.5 EP 新設 準構造化天井下地、鉄骨共
B	-
C	PB t = 9.5の上ロック化化粧吸音板 t = 9.5 新設 準構造化天井下地、鉄骨共
D	PB t = 9.5の上ロック化化粧吸音板 t = 9.5 既存のまま
E	スリット開口 (W3,000 x H2,200木製枠付ネット貼) 新設
F	シーリングスロット天井開口 新設
G	ビンスロット天井開口 (建具表参照) 新設
H	-
I	木製見切縁 (45 x 90) 既存のまま
J	空調吹出口カバー 新設 (設備工事)
K	プロセッサイト・絞り縦帯用ワイヤー開口 既存再利用
O	シーリングスロット室 新設
■	詳細図参照
P	ビンスロット室 新設
■	詳細図参照
Q	キャットウォーク 新設
■	詳細図参照
R	スリット開口 新設 (別途工事)
■	鉄骨下地は建築工事
S	既存鉄骨トラス水平ブレースの補強溶接
制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。	

補強溶接要綱

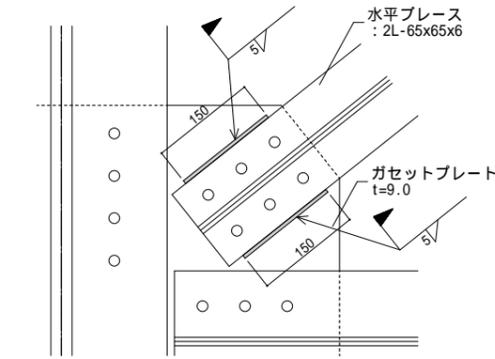
1 : 5

鉄骨トラス伏図 (既存)

1 : 100

既存の水平ブレースとガセットプレートを隅肉溶接し、補強を行う。

- ・溶接技能資格：V以上
- ・既存下地 錆止め塗装ケレン処理の事。
- ・工事前防炎シート(白)にて養生を行う。
- ・溶接後、第三者機関にて全箇所カラーチェックを行う。

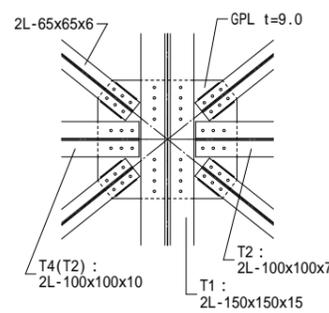


補強溶接部拡大図

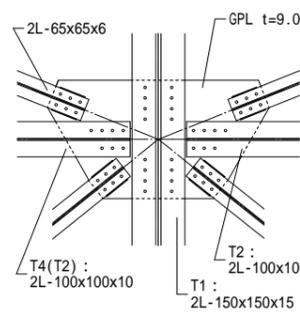
脚長は5mm以上、溶接長 = 150mmでブレース両脇を隅肉溶接

接合部詳細図 (既存)

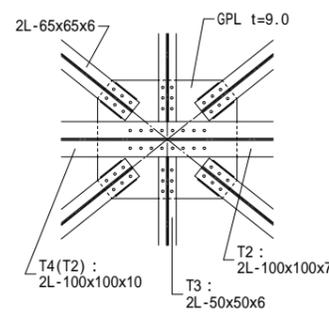
1 : 20



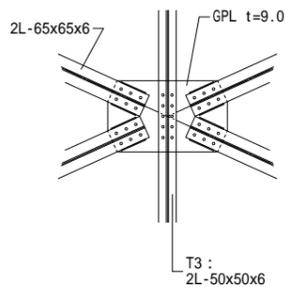
A接合部 (9箇所)



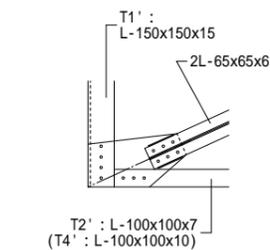
B接合部 (6箇所)



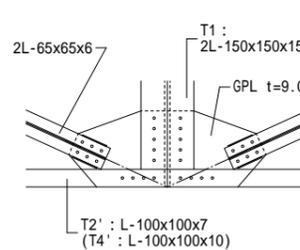
C接合部 (16箇所)



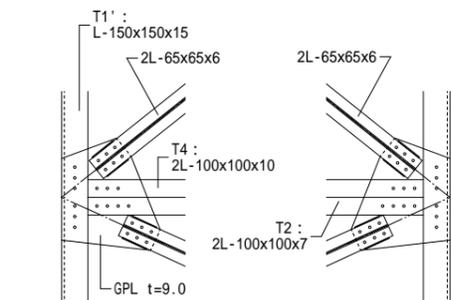
D接合部 (8箇所)



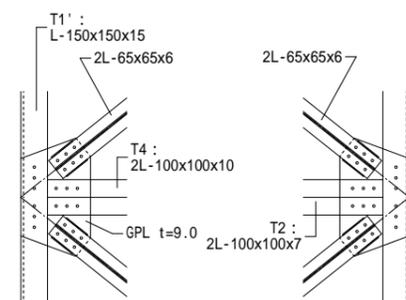
E接合部 (4箇所)



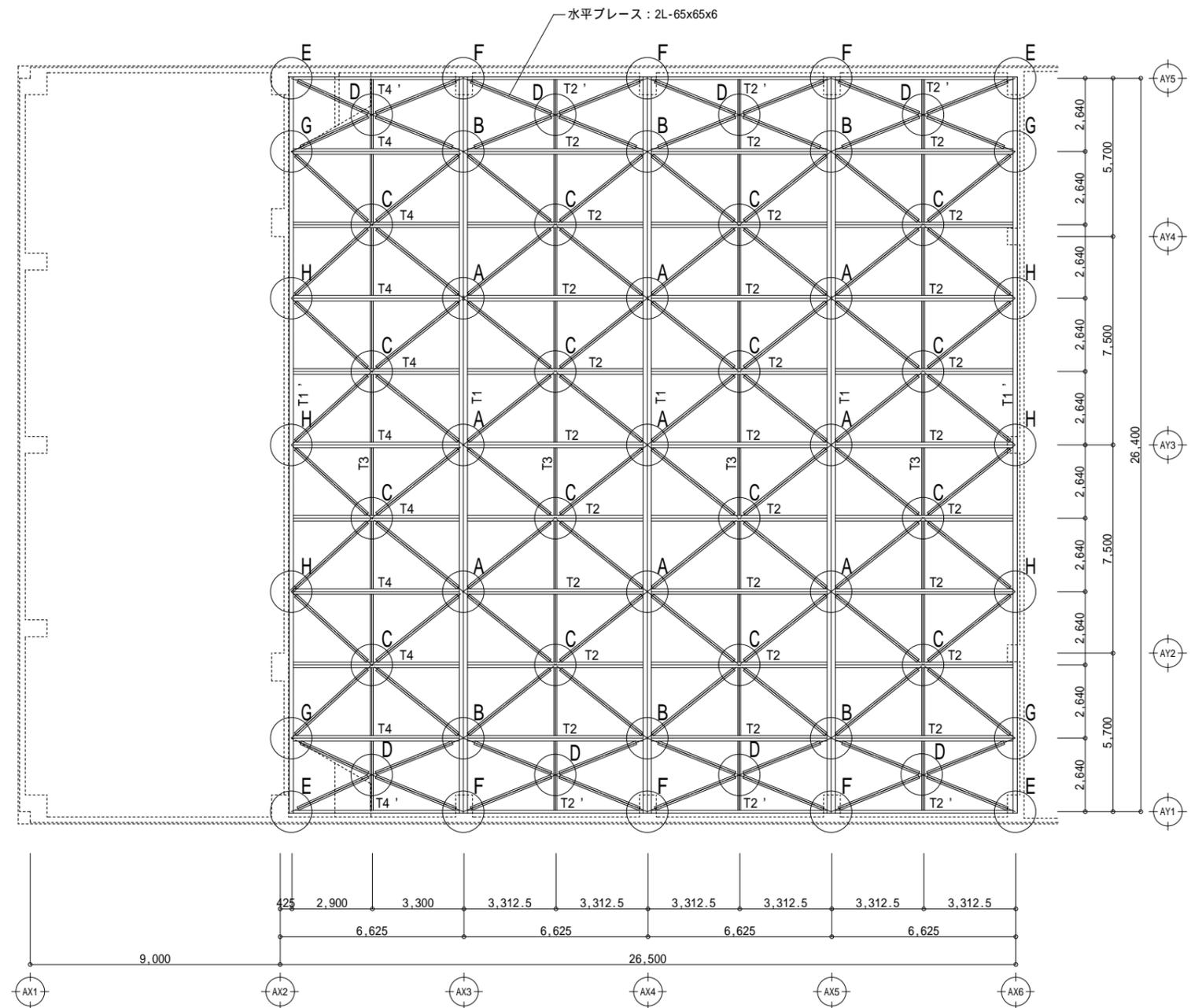
F接合部 (6箇所)



G接合部 (4箇所)



H接合部 (6箇所)



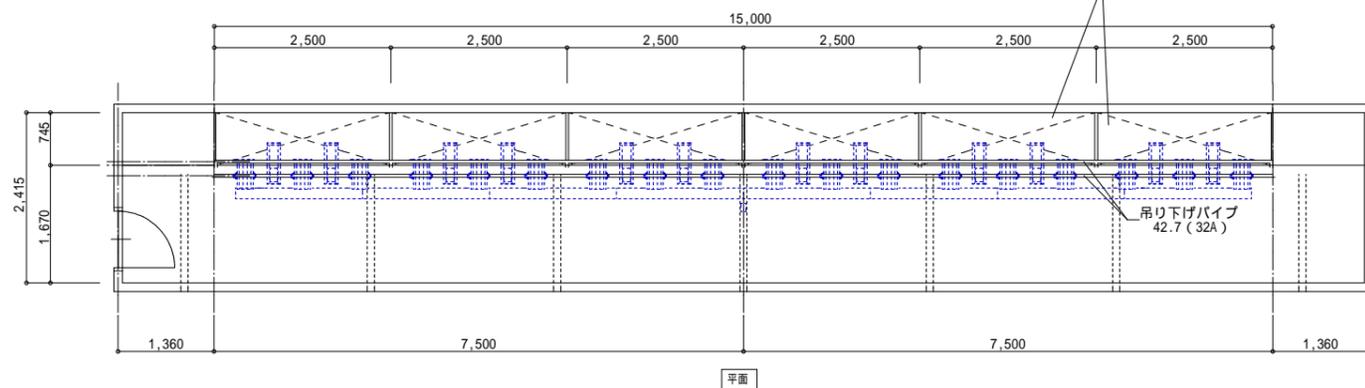
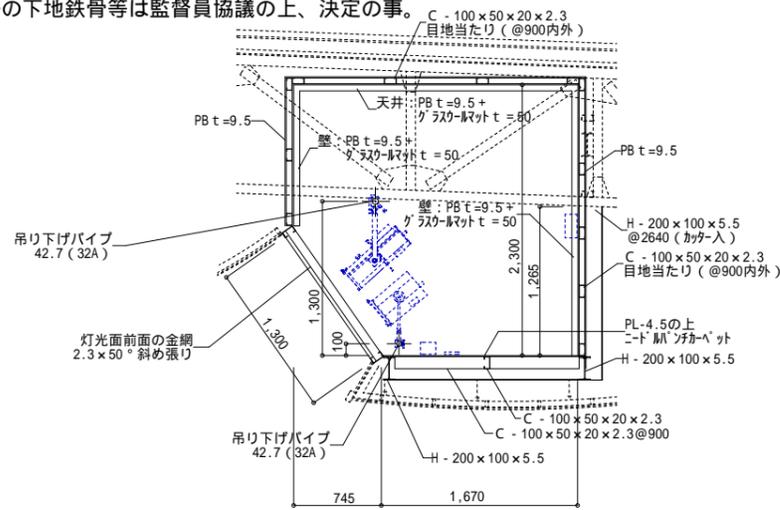
特記事項	

**堂園設計株式会社**  
 一級建築士事務所  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

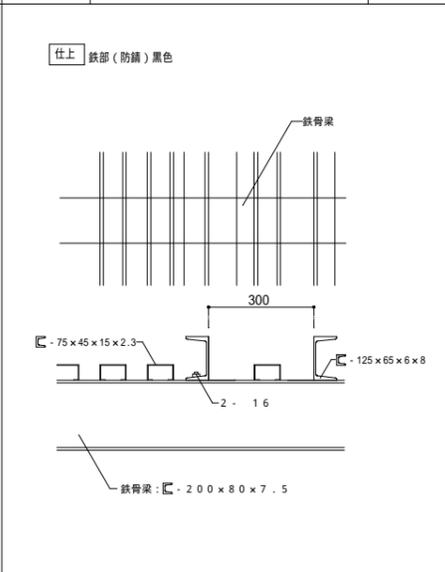
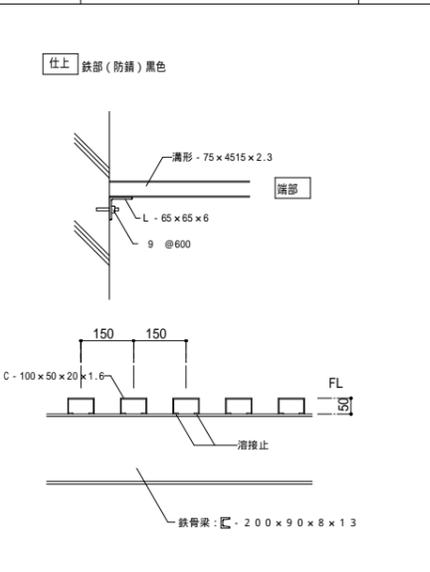
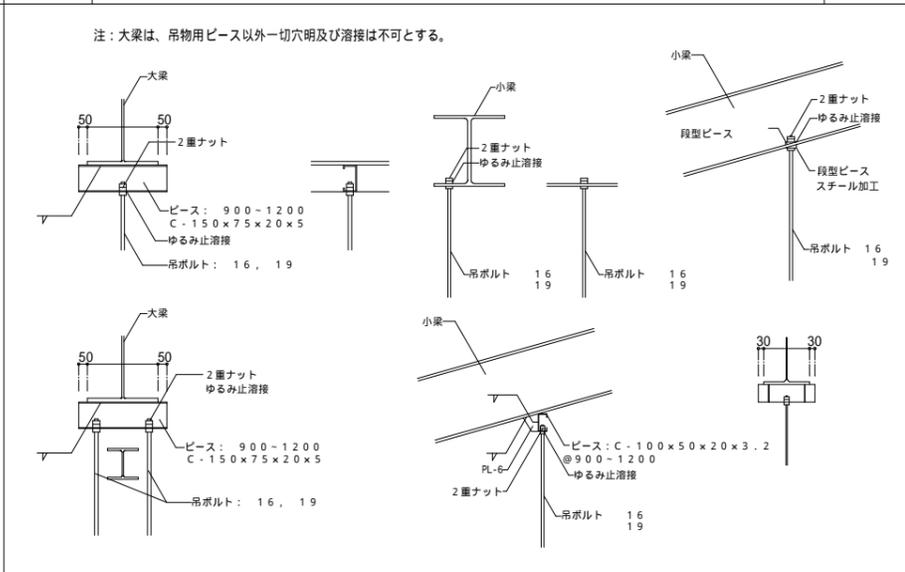
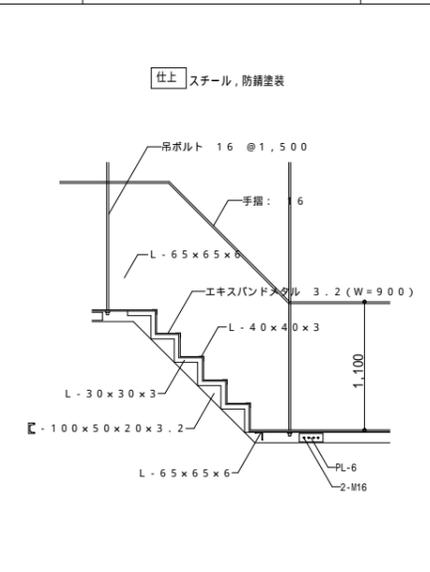
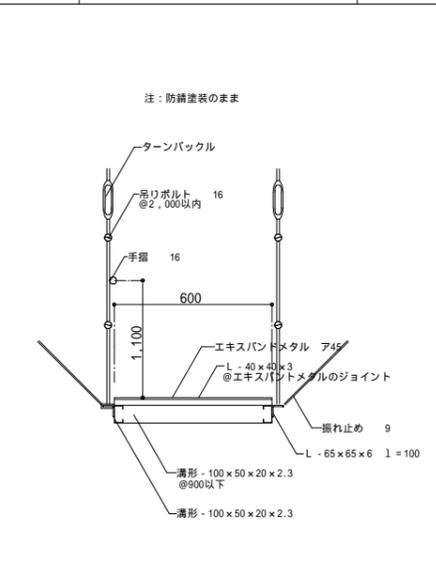
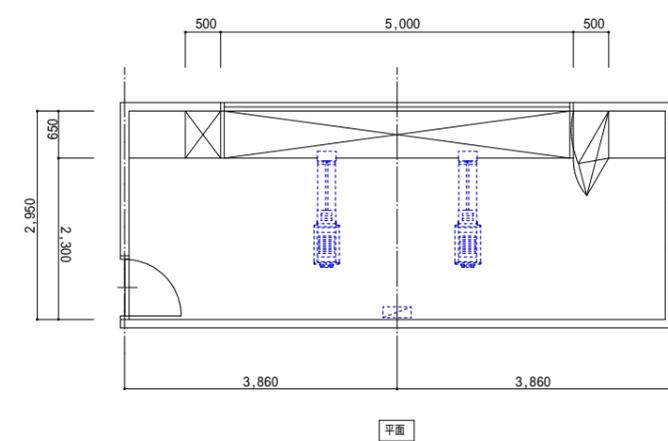
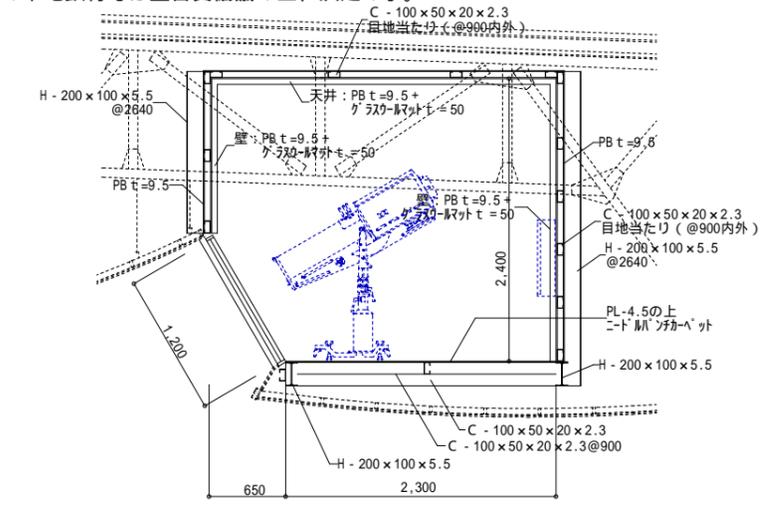
一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7.2.2
	縮尺 1:100, 20, 5(A1) 1:200, 40, 10(A3)

工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事 (建築1工区)	設計図	図面番号 A-93
図面名称	(ホール棟)部分詳細図 (既存ホール屋根 鉄骨トラス溶接詳細図)		

撤去の下地鉄骨等は監督員協議の上、決定の事。



撤去の下地鉄骨等は監督員協議の上、決定の事。



新設 キャットウォーク 【図中 Q】

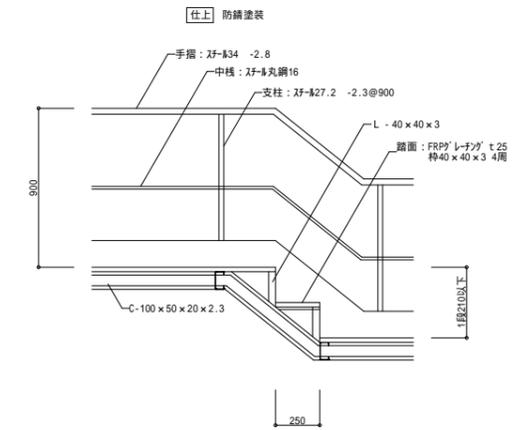
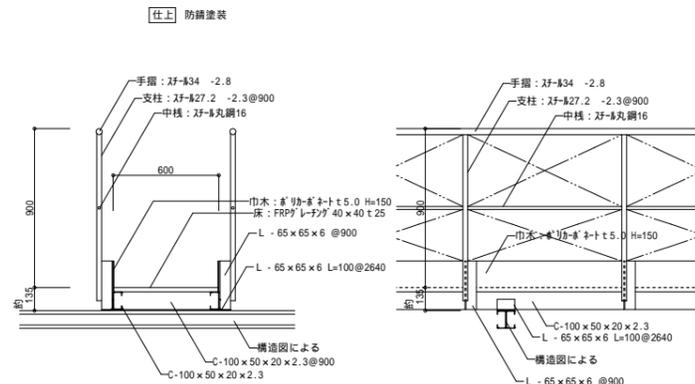
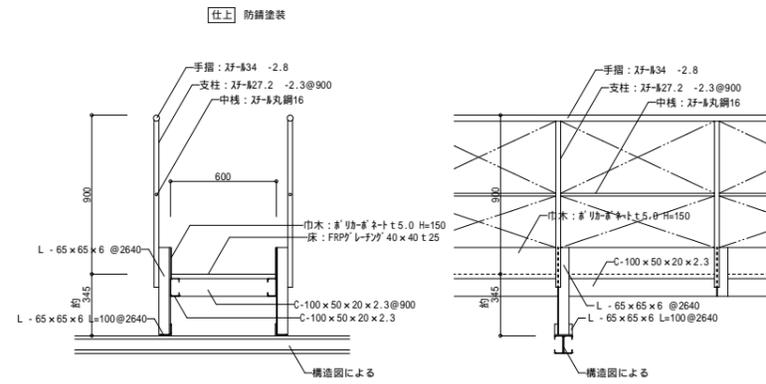
1:20

新設 キャットウォーク階段 【図中 Q】

1:20

制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。

制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。



新設 シーリングスポット室 【図中 O】

1:30

新設 ヒンスポット室 【図中 P】

1:30

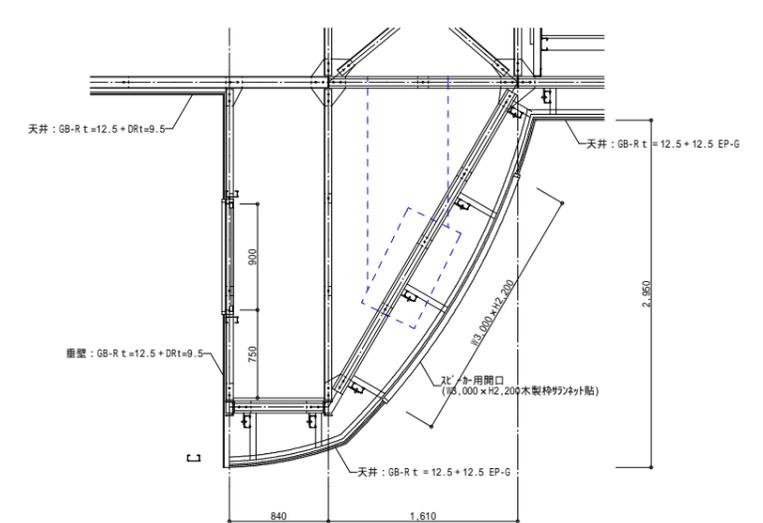
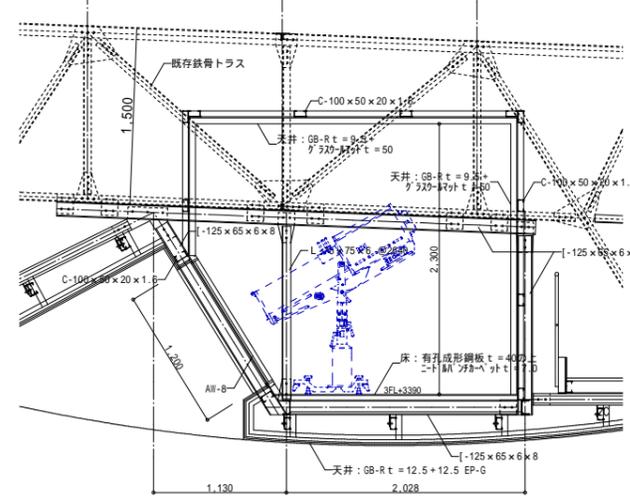
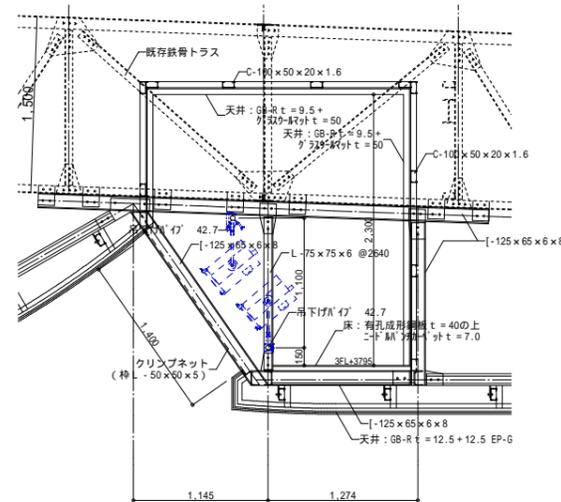
新設 スリカ用開口 【図中 E】

1:30

制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。

制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。

制作施工図作成、監督員協議の上、決定の事。



新設 ヒンスポット室

1:30

特記事項

堂園設計株式会社

一級建築士事務所  
県知事登録第1-3-164号

鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号  
外村 遼

設計年月日

R7・2・

縮尺

1:20,30(A1)  
1:40,60(A3)

工事名称

R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)

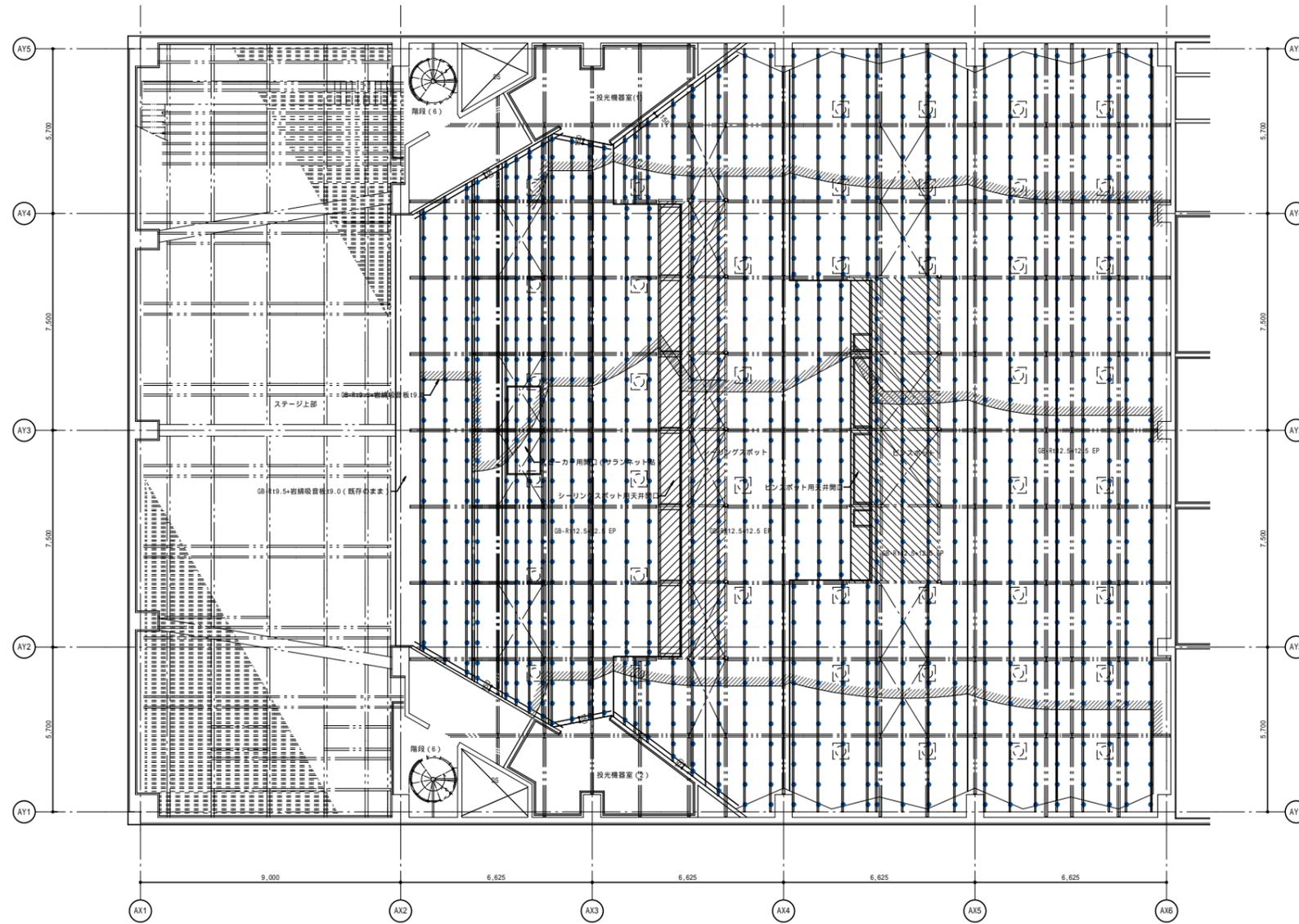
設計図

図面番号

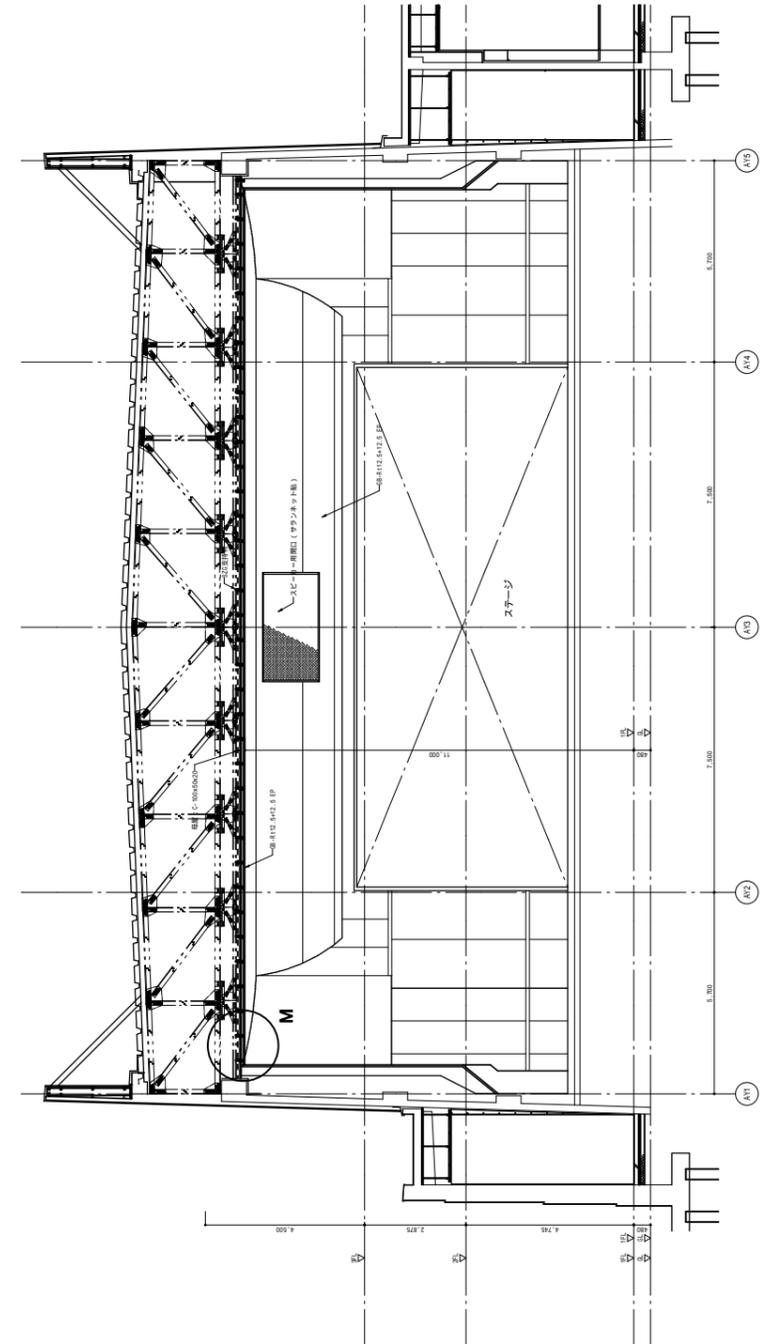
A-95

図面名称

(ホール棟)部分詳細図(客席ホール天井裏 改修詳細図)



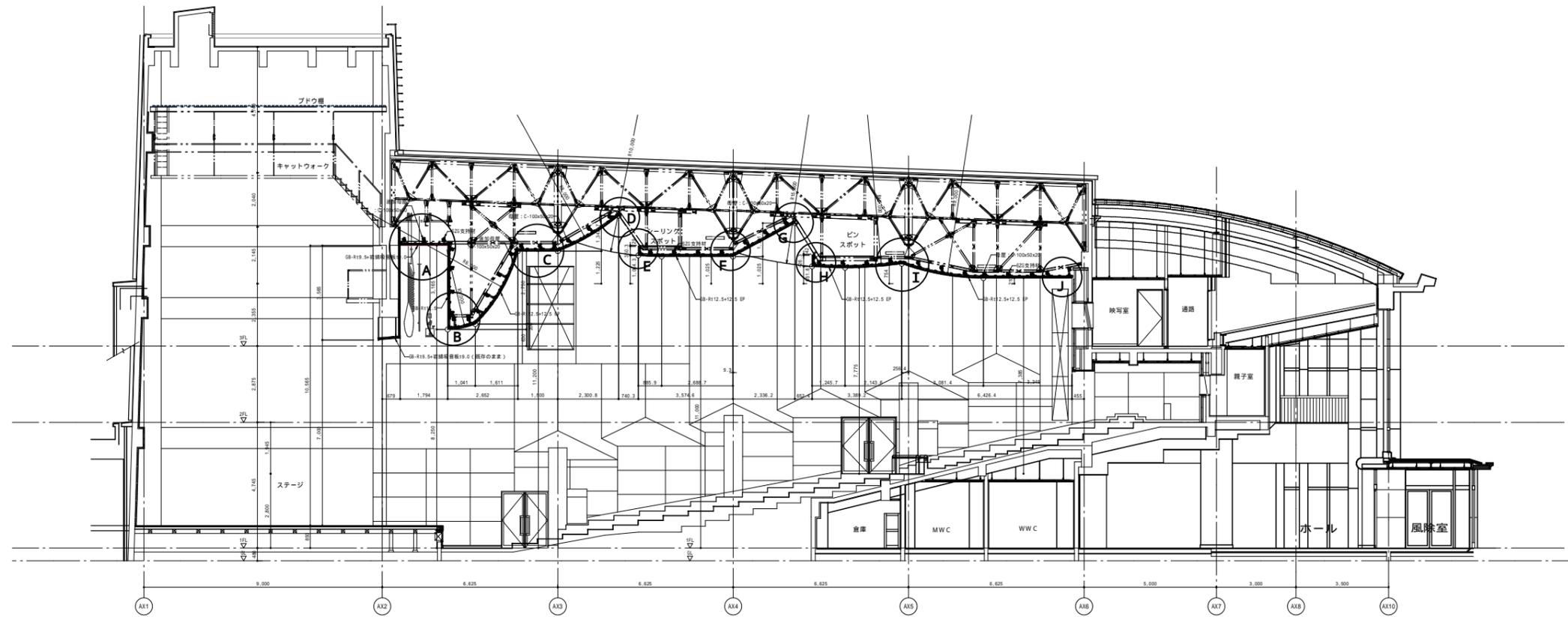
母屋 : C-100x50x20  
 ● 準構造化天井用下地



着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	一級建築士登録 第160636号	設計年月日	<p>工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図</p> <p>図面名称 (ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)</p>	図面番号
竣工	・		外村 遼	R7・2・		A-96
監理			照知事登録第1-3-164号	縮尺		
施工				1:100(A1) 1:200(A3)		

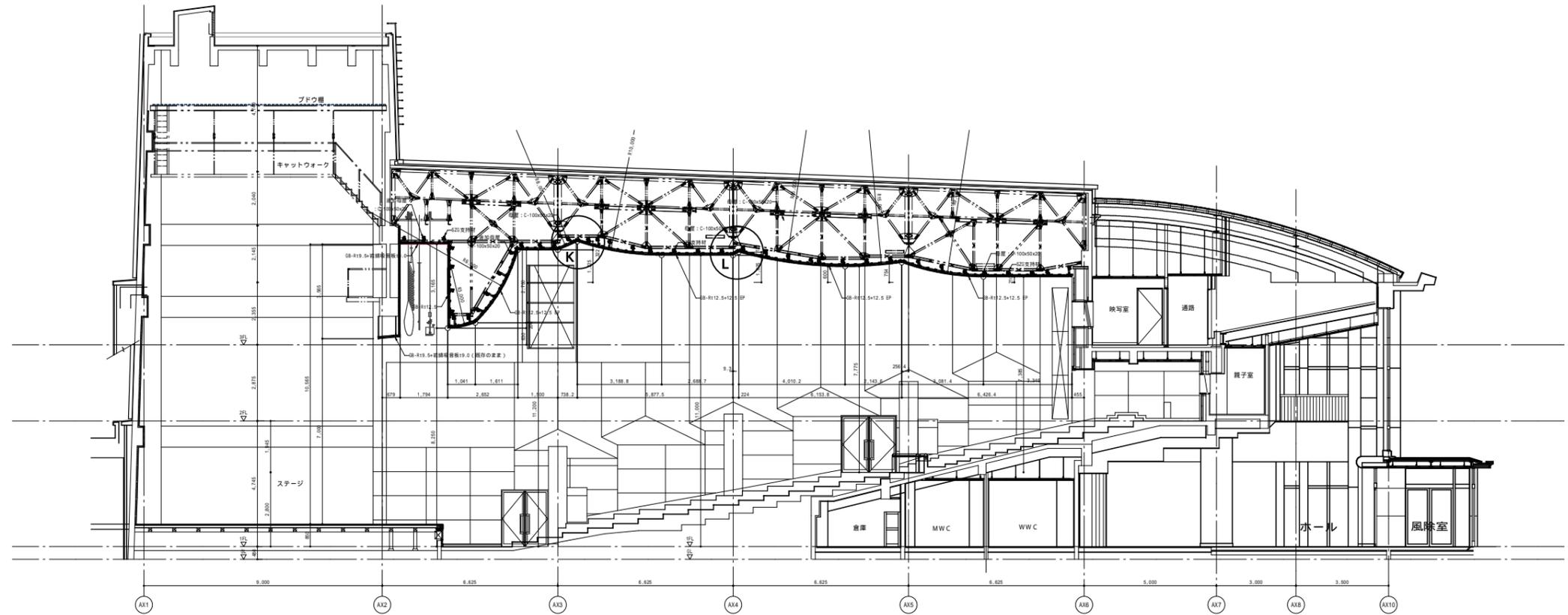
AY3通り断面図

S=1:100(A1)



AY2, 4通り断面図

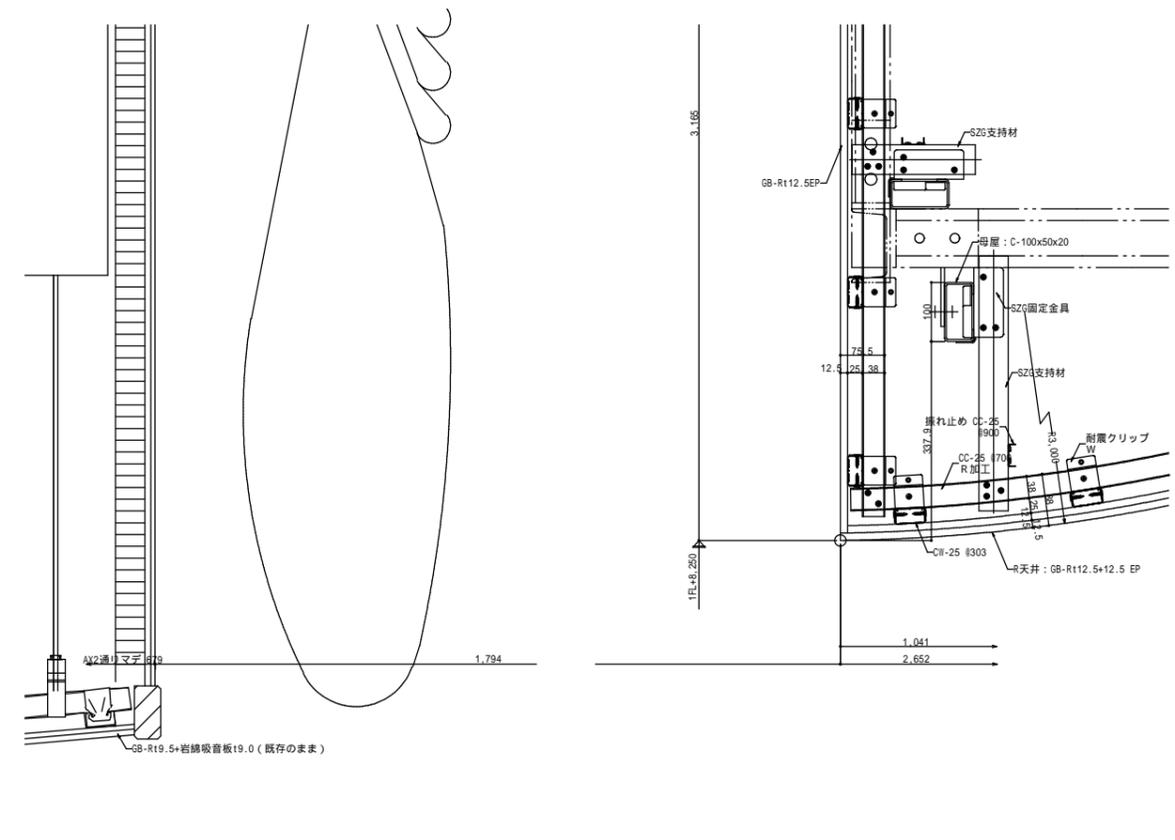
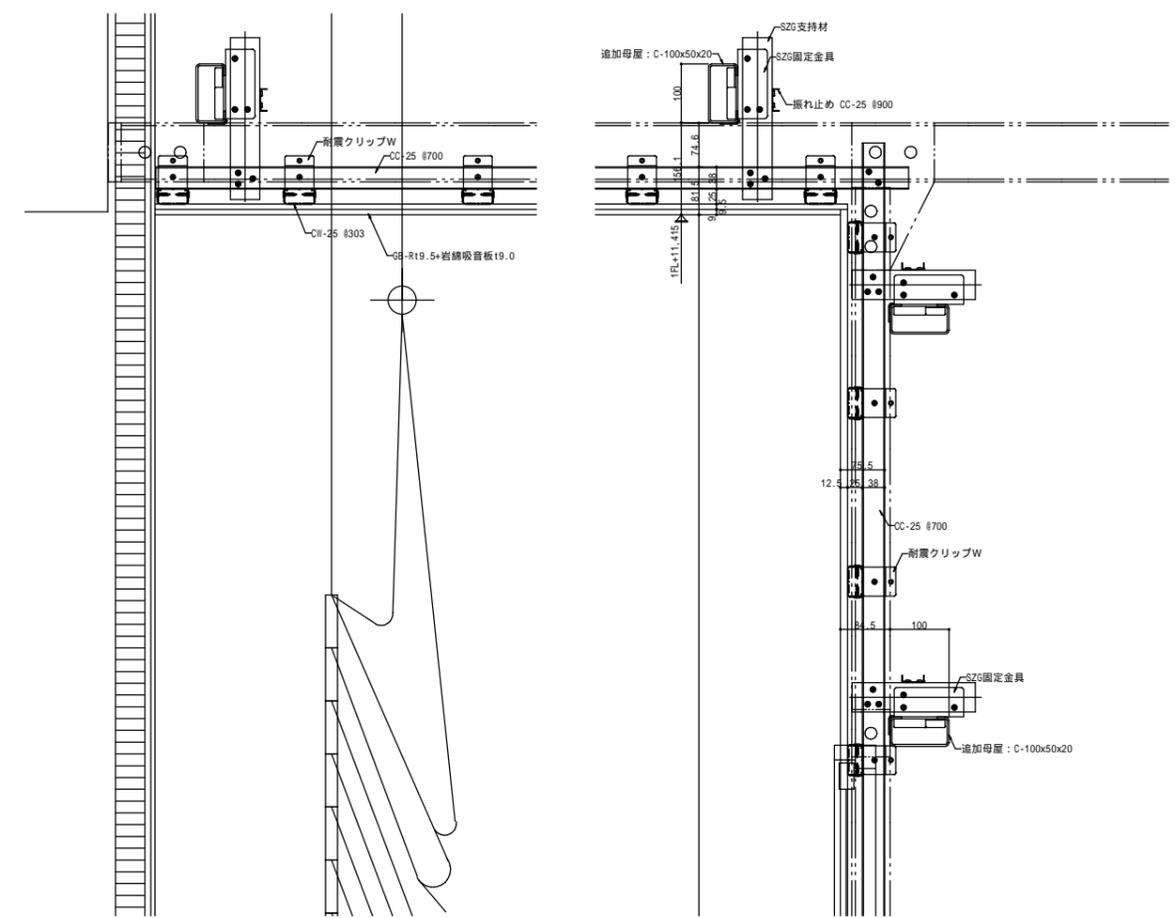
S=1:100(A1)



着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図	図面番号	A-97
竣工	・		一級建築士登録 第160636号	縮尺	図面名称	(ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)		
監理			鹿児島市真砂本町21番7号	外村 遼				
施工			鹿児島市真砂本町21番7号					

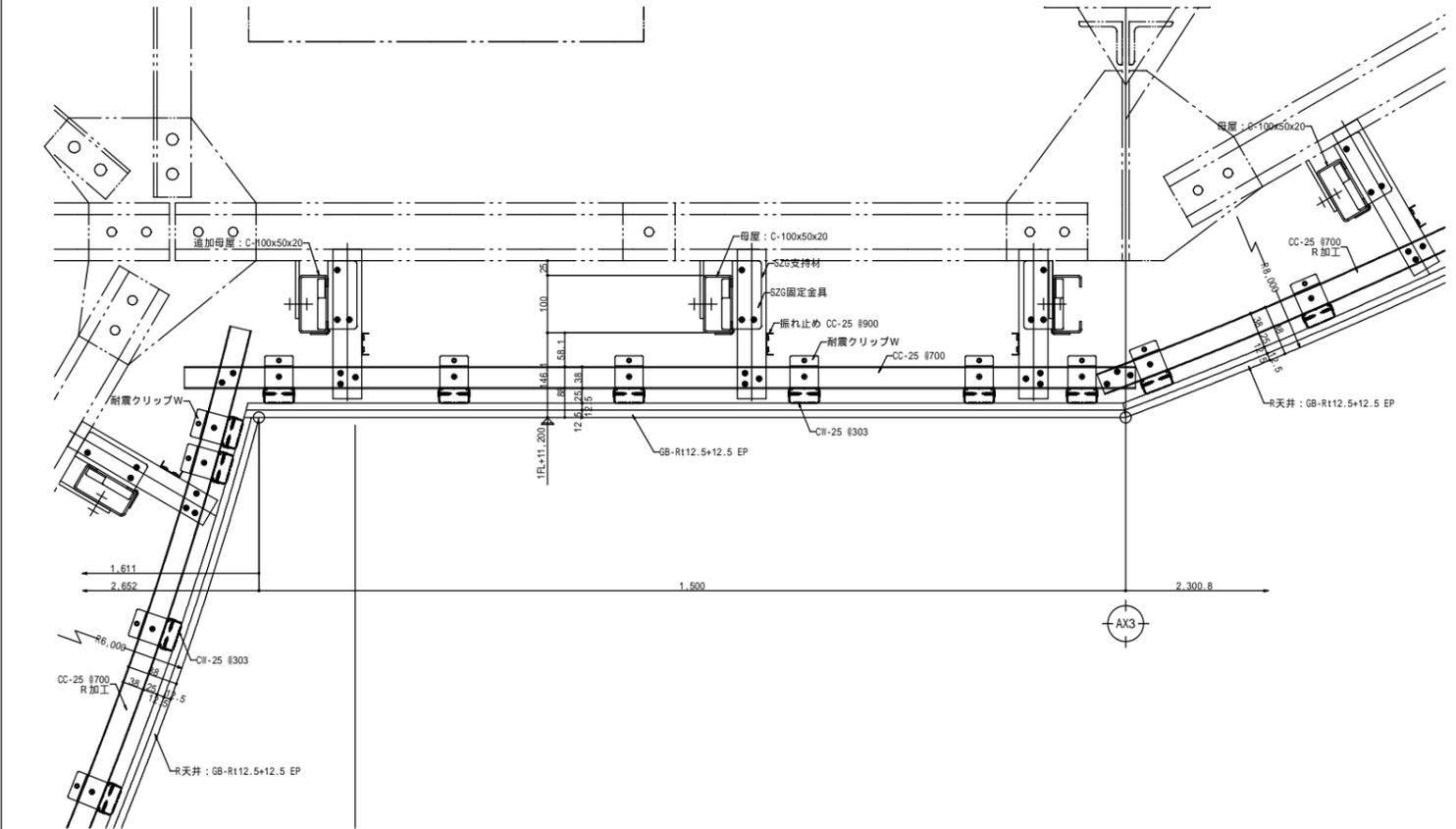
A、B部 詳細図

S=1:6(A1)



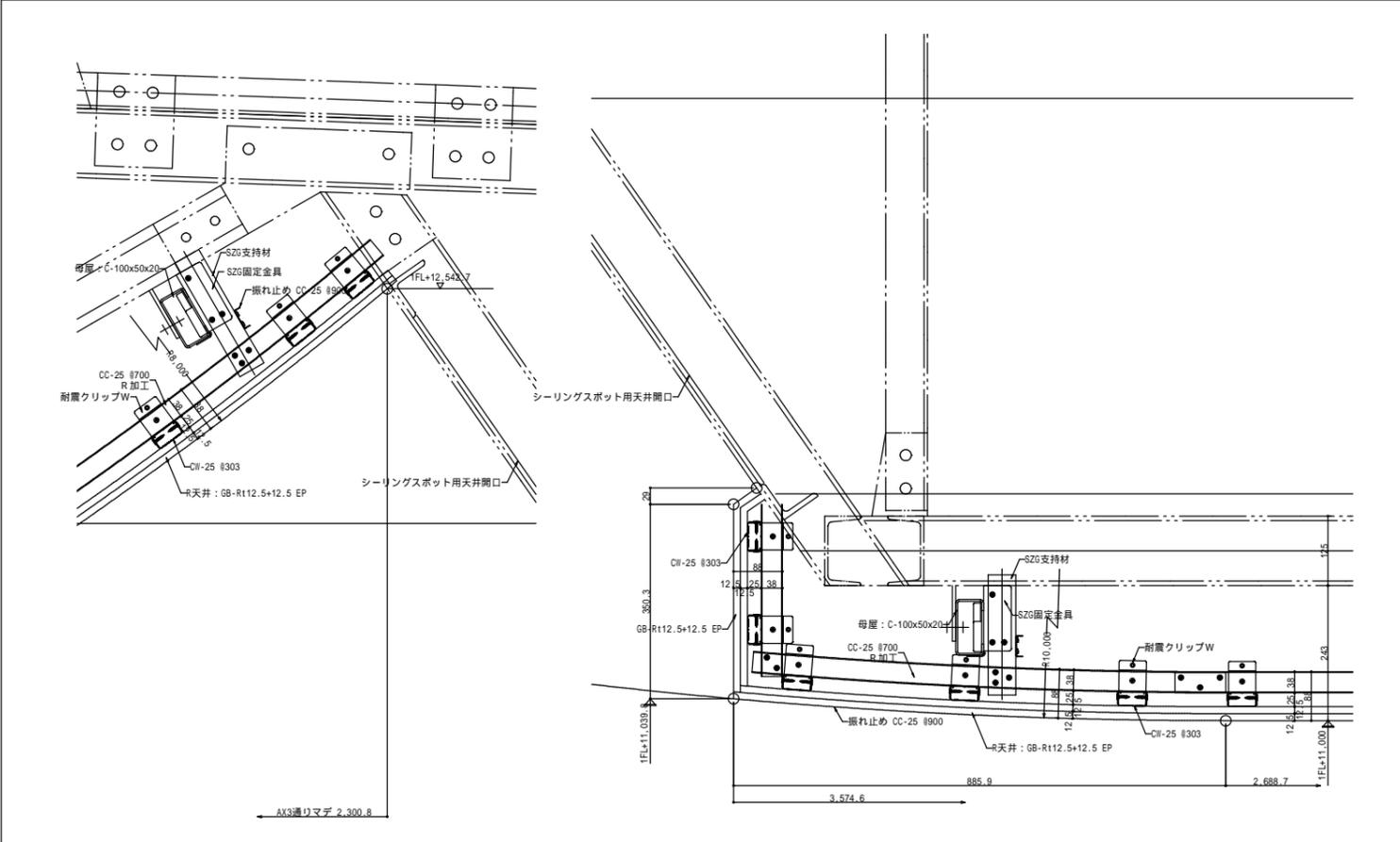
C部 詳細図

S=1:6(A1)



D、E部 詳細図

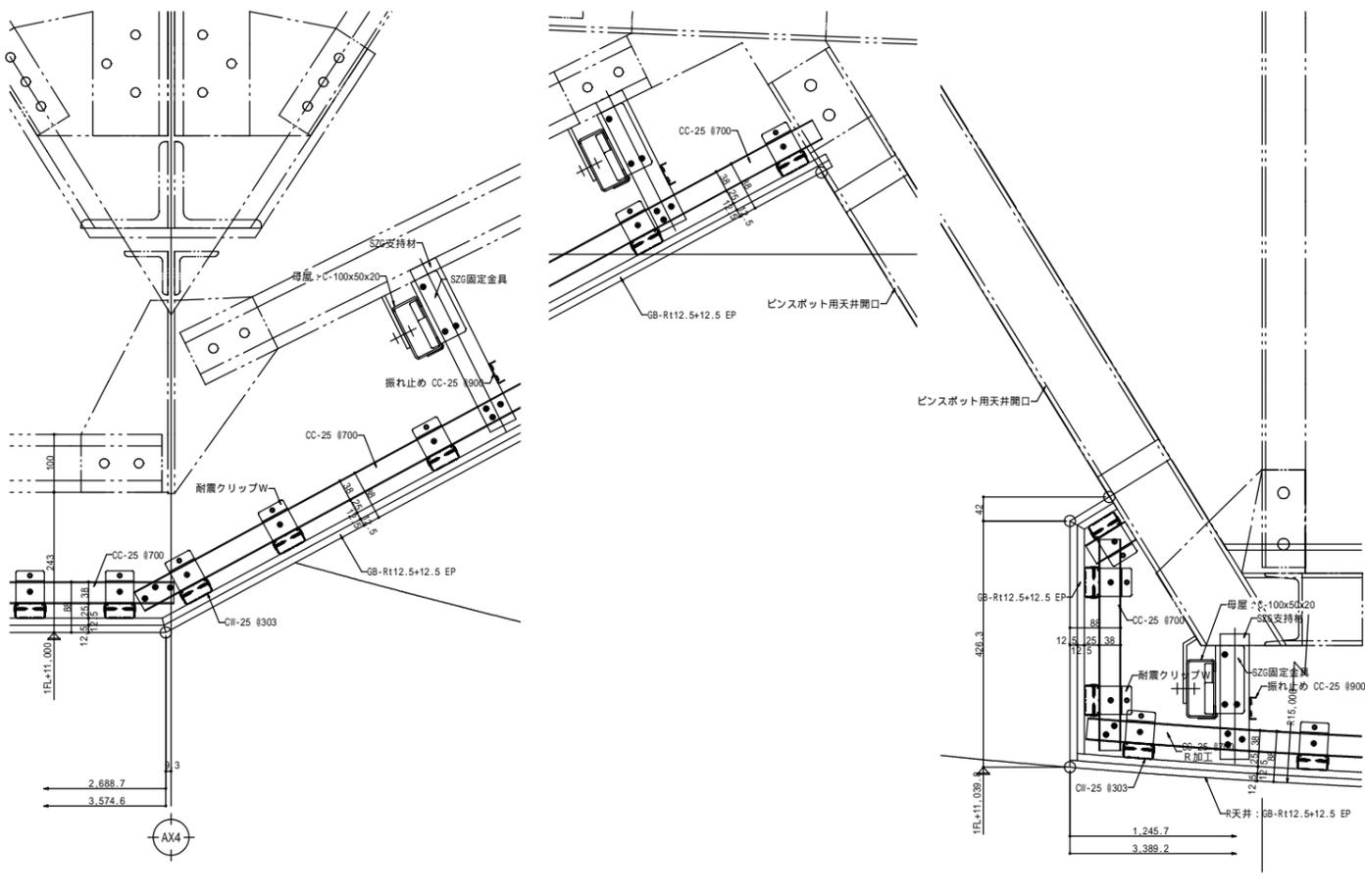
S=1:6(A1)



着工	・	<p style="text-align: center;"><b>堂園設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所</p> <p style="text-align: center;">鹿児島市真砂町21番7号 TEL(代)099-257-1177</p>	一級建築士登録 第160636号	設計年月日	<p>工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図</p> <p>図面名称 (ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)</p>	図面番号
竣工	・		外村 遼	R7・2・		A-98
監理	・		照知事登録第1-3-164号	縮 尺		
施工	・			1:6(A1)		
	・			1:12(A3)		

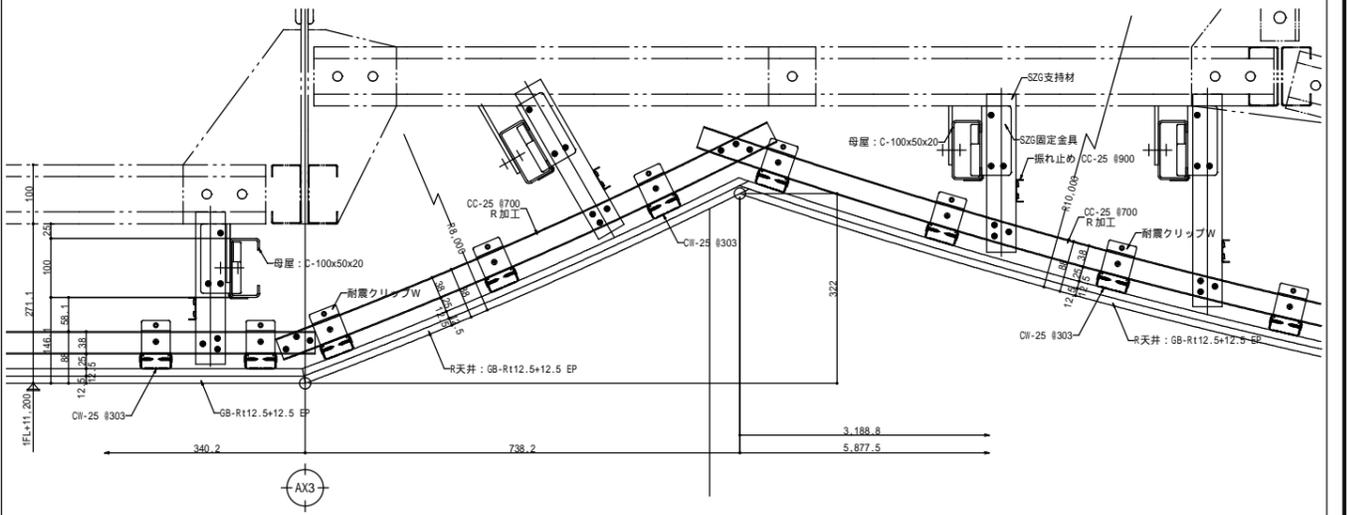
F、G、H部 詳細図

S=1:6(A1)



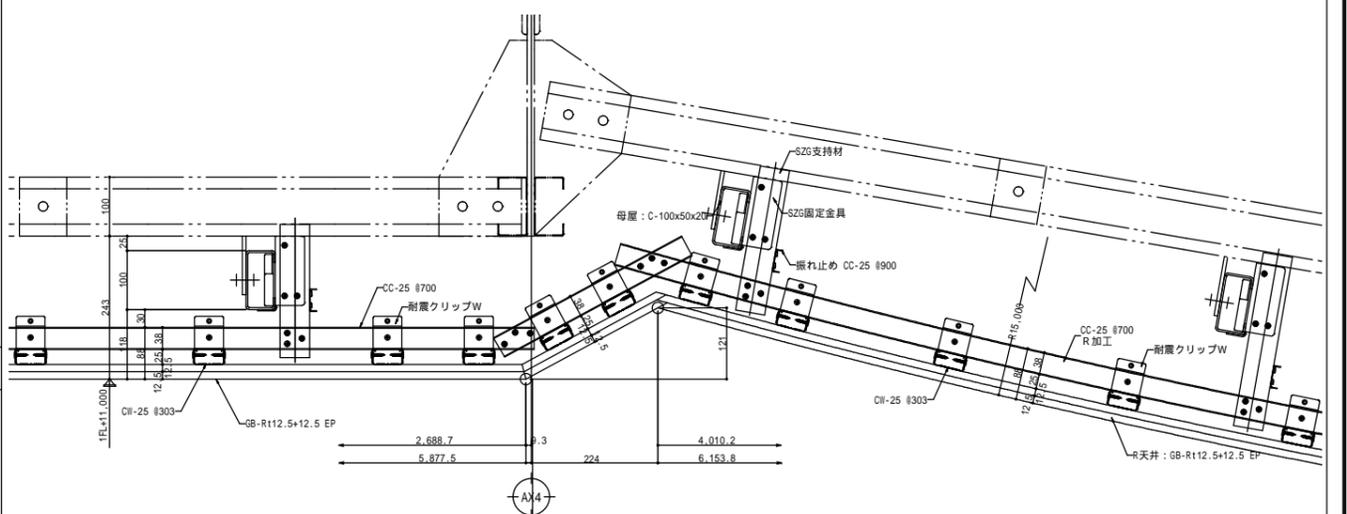
K部 詳細図

S=1:6(A1)



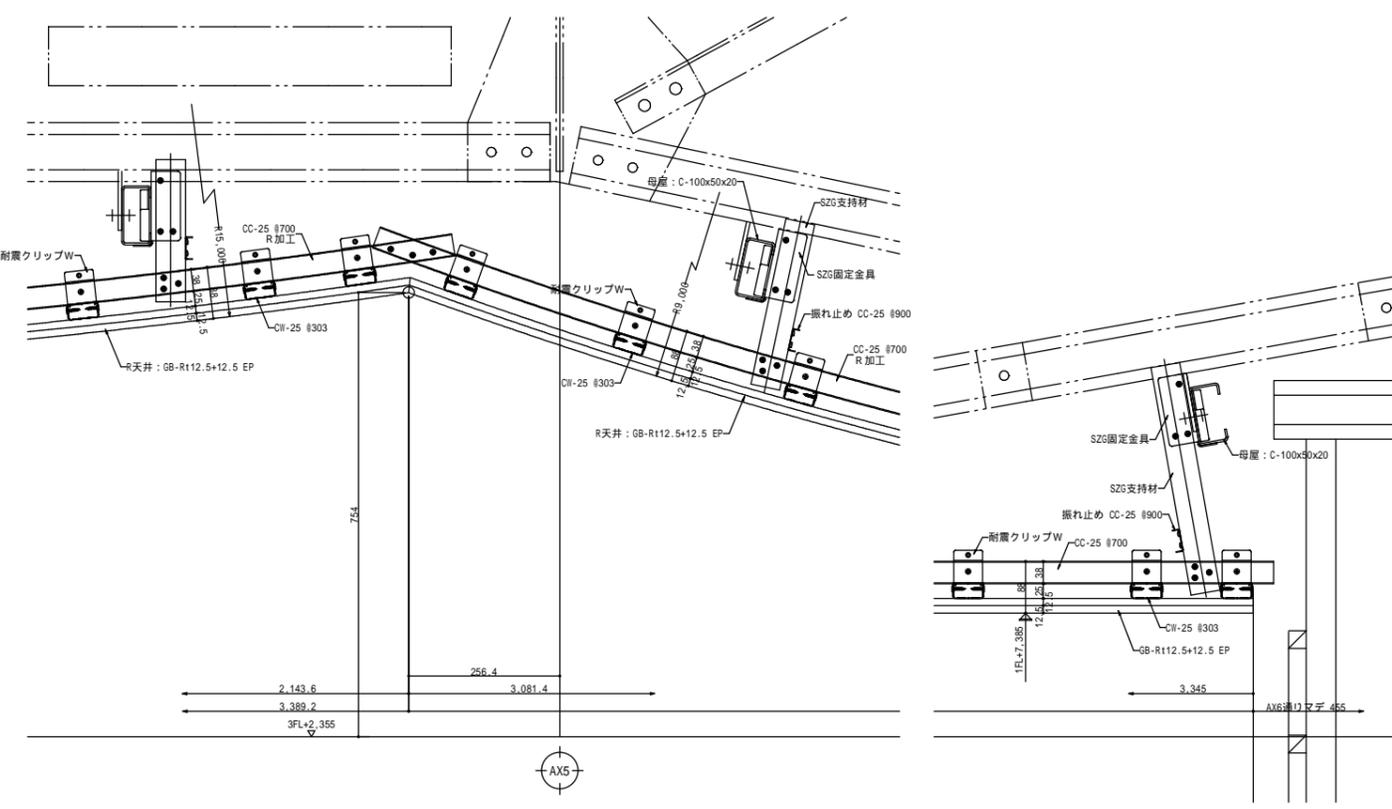
L部 詳細図

S=1:6(A1)



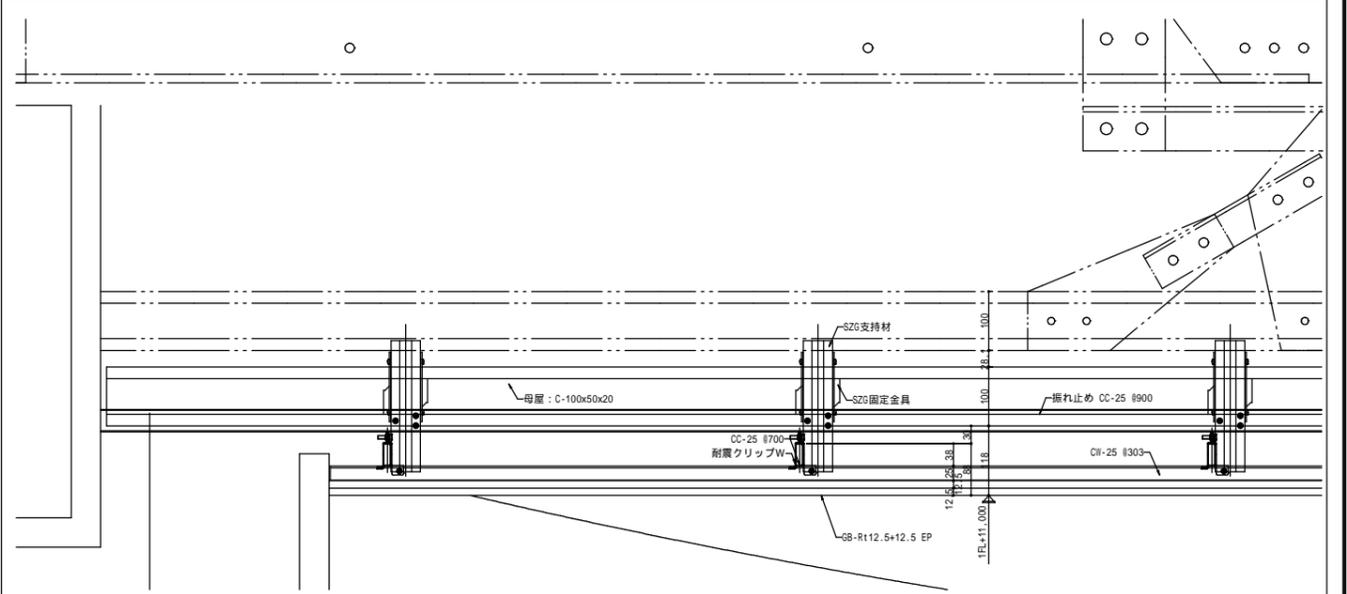
I、J部 詳細図

S=1:6(A1)



M部 詳細図

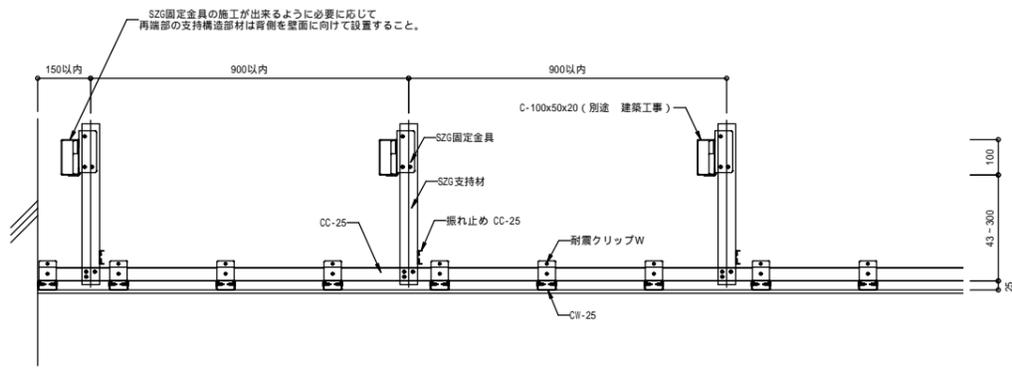
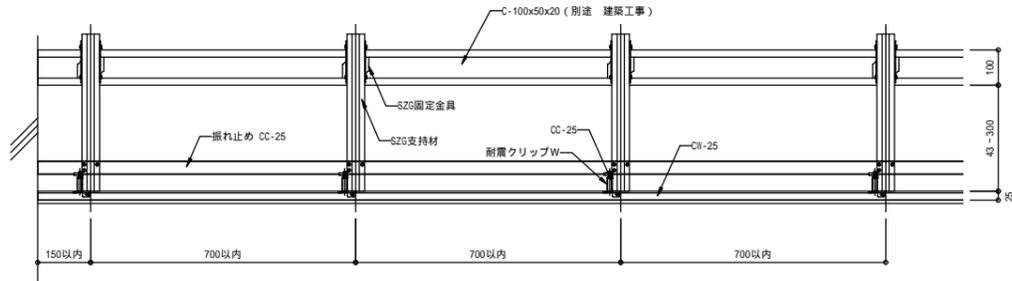
S=1:6(A1)



着工 竣工 監理 施工	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:6(A1) 1:12(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図 図面名称 (ホール棟)部分詳細図(準構造化天井用下地)	図面番号 A-99
----------------------	---	--------------------------	---	--	--------------

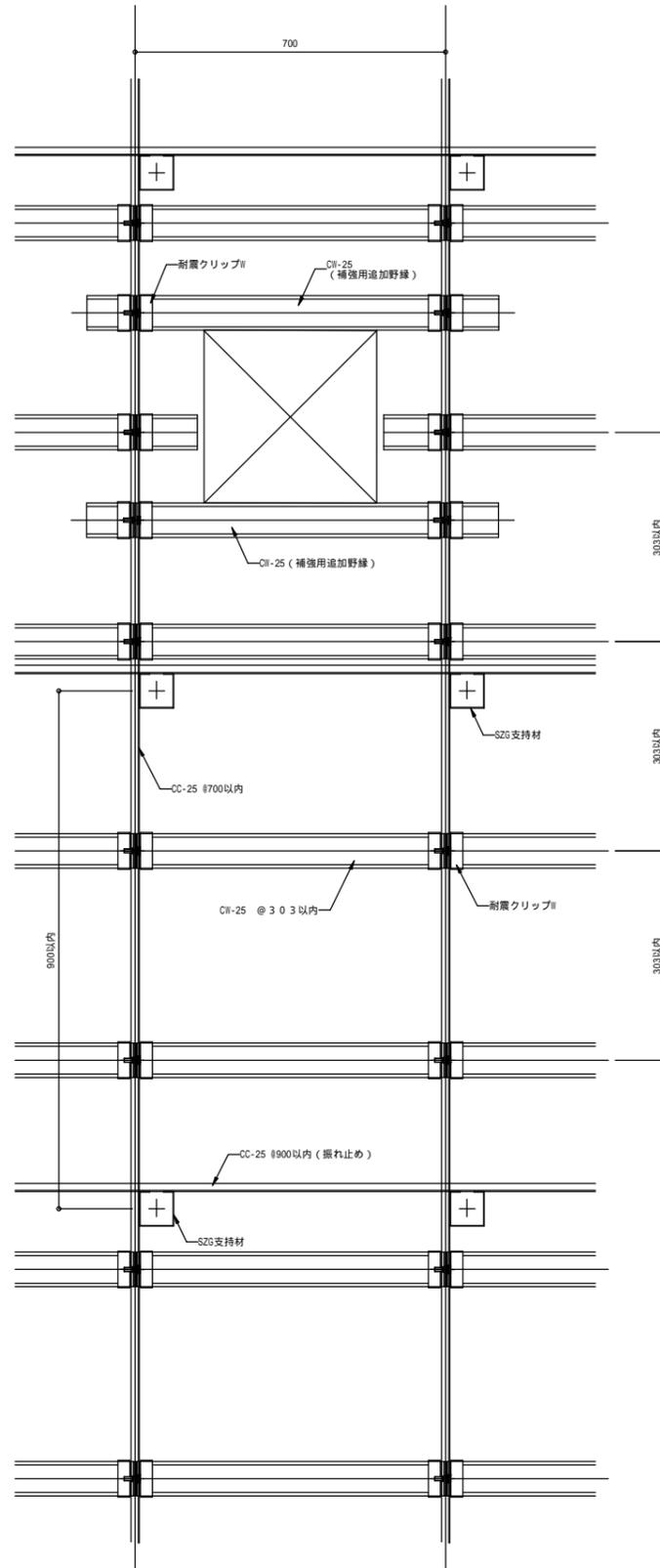
野縁 標準詳細図

S=1:10(A1)



標準割付図・開口補強詳細図

S=1:5(A1)

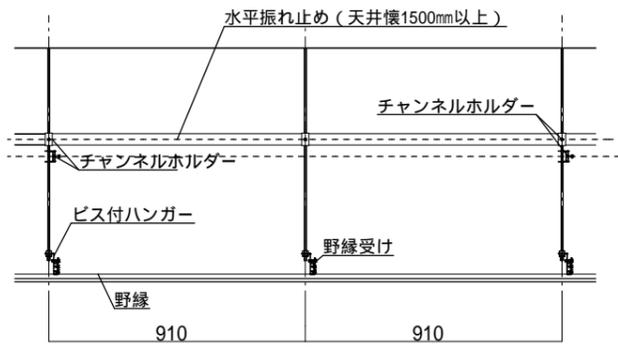
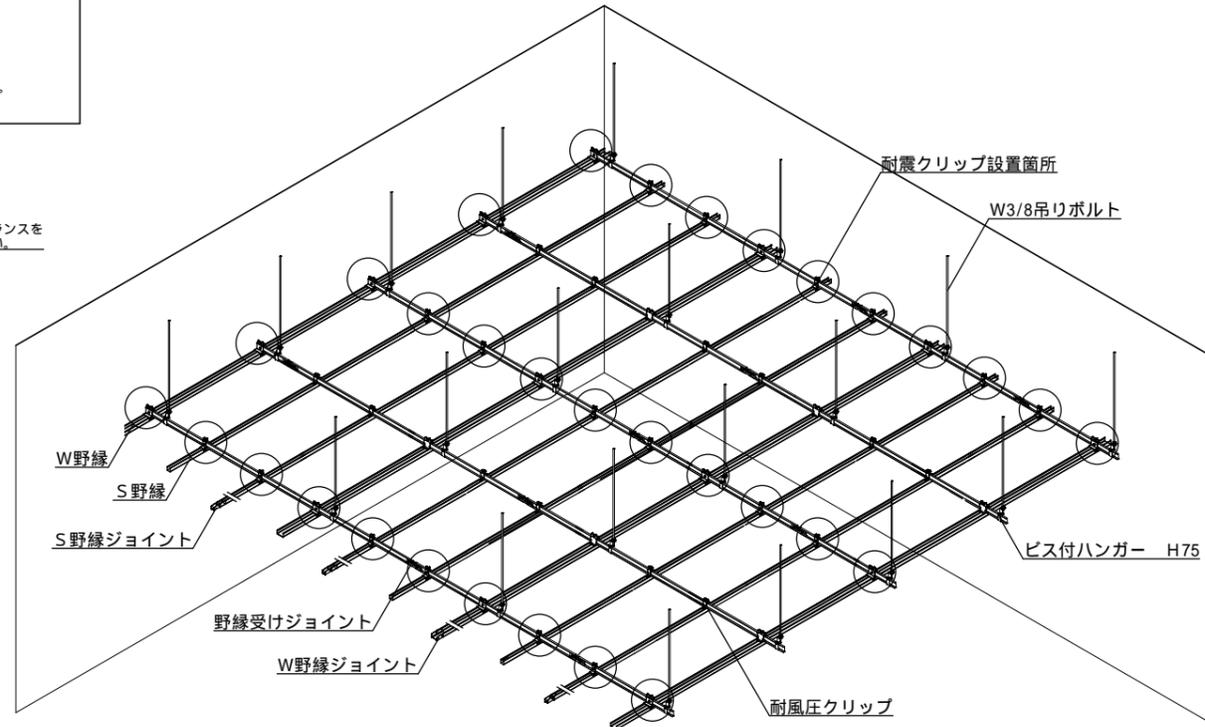
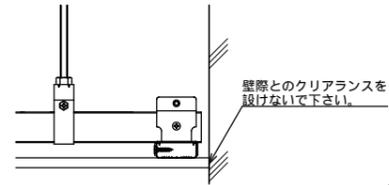


部材参考図

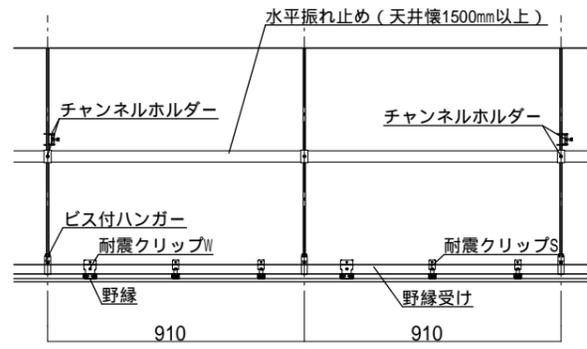
<p><b>固定金具と支持材の固定</b></p> <p>支持材と固定金具の固定 シルタップ 4x16 (計3本)</p> <p>支持材と固定金具の固定 シルタップ 4x16 (計3本)</p> <p>支持構造部と固定金具の固定 シルタップ 4x16 支持構造部のリップへも2本固定 (フランジ1本+リップ上1本+リップ下1本 計3本)</p>	<p><b>野縁受けの固定</b></p> <p>野縁受けCC-25</p> <p>シルタップ 4x16 (計3本)</p>
<p><b>耐震クリップの固定</b></p> <p>M6ボルト 同種</p> <p>耐震クリップII</p> <p>シルタップ 4x16 (計1本) 同種</p> <p>リップ付ワンタッチ 3.5x22 (計2本) 同種</p>	<p><b>振れ止めの固定</b></p> <p>振れ止めCC-25</p> <p>シルタップ 4x16 (計3本)</p>
<p><b>野縁受けジョイントの固定</b></p> <p>野縁受けCC-25</p> <p>シルタップ 4x16 (計2本)</p> <p>シルタップ 4x16 (計2本)</p>	<p><b>野縁ジョイントの固定</b></p> <p>野縁CW-25</p>
<p><b>専用ビス</b></p> <p>シルタップ 4x16</p>	

耐震クリップの設置箇所

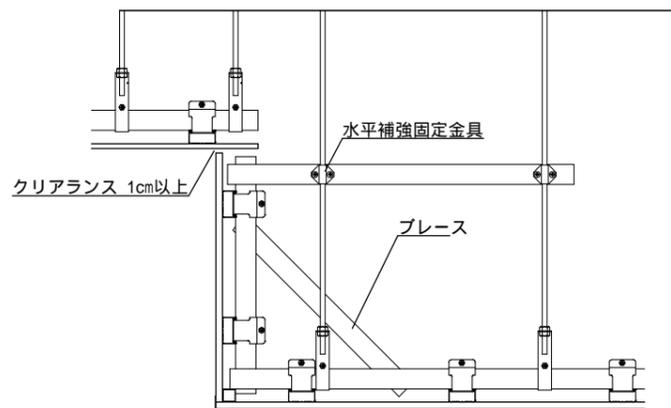
天井周囲部分は耐震クリップを使用してください。  
野縁1本につき、1箇所耐震クリップを使用してください。



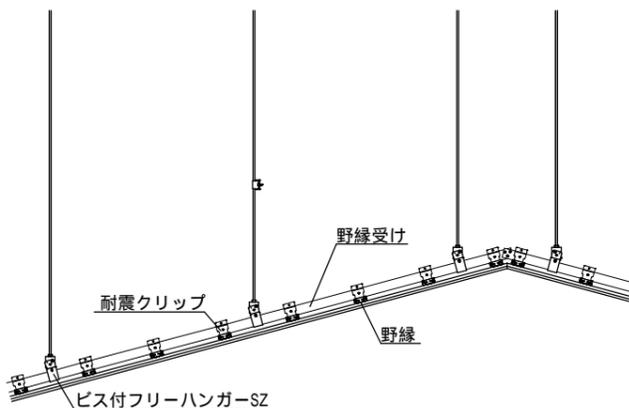
野縁受け直交方向



野縁受け方向

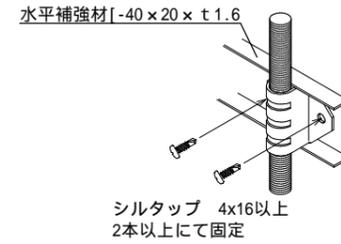


下がり天井 納まり例

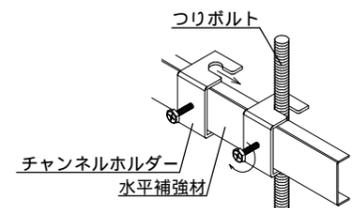


(吊元に勾配がつく場合)野縁受け直交方向

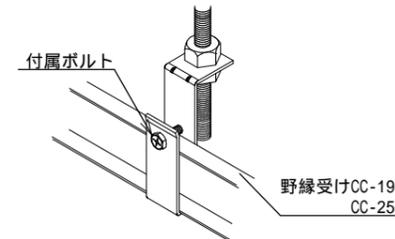
水平補強固定金具



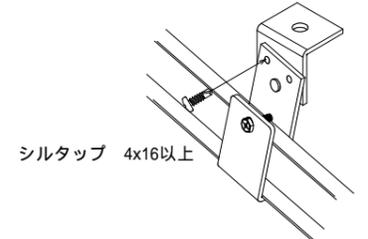
チャンネルホルダー



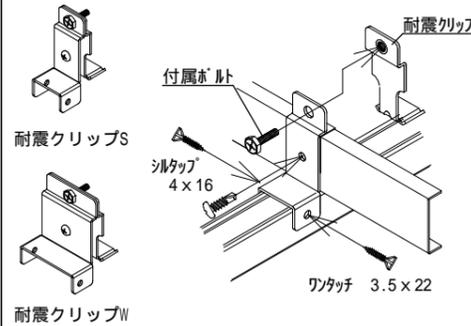
ビス付ハンガー H75



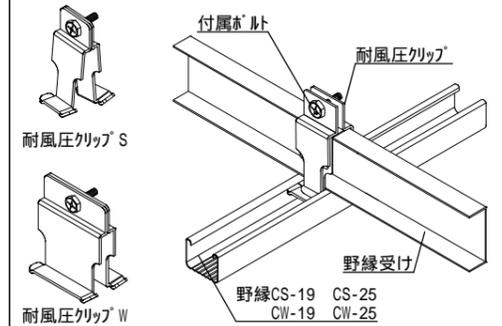
ビス付フリーハンガーSZ



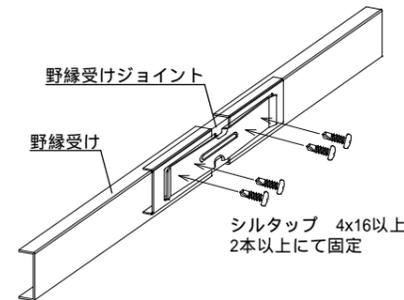
耐震クリップ



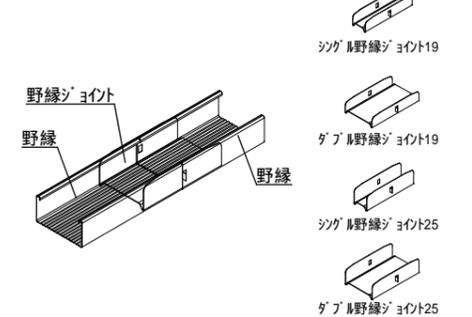
耐風圧クリップ

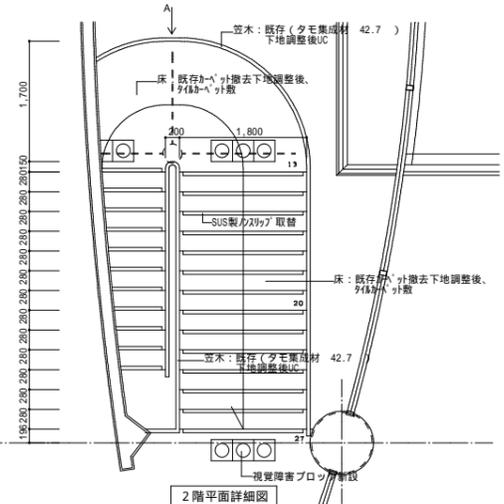


野縁受けジョイント

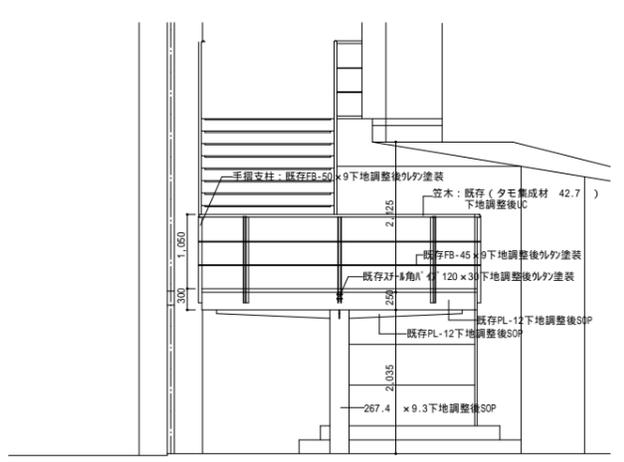


野縁ジョイント

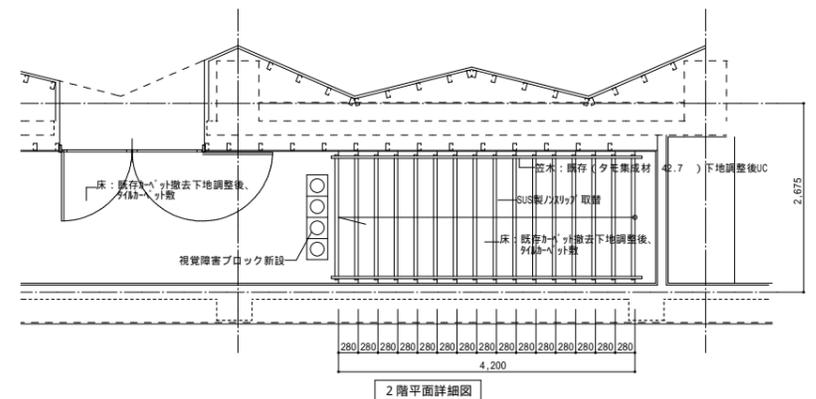




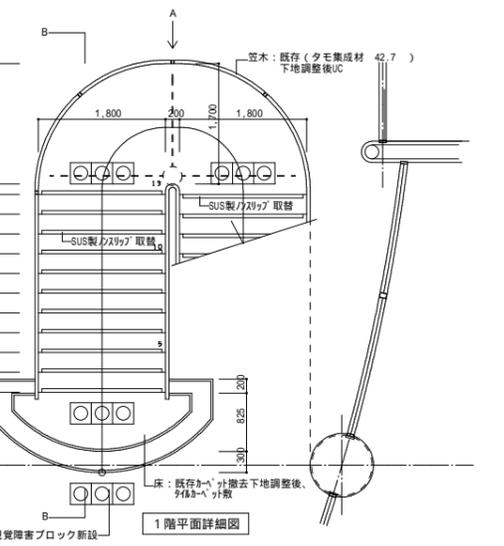
2階平面詳細図



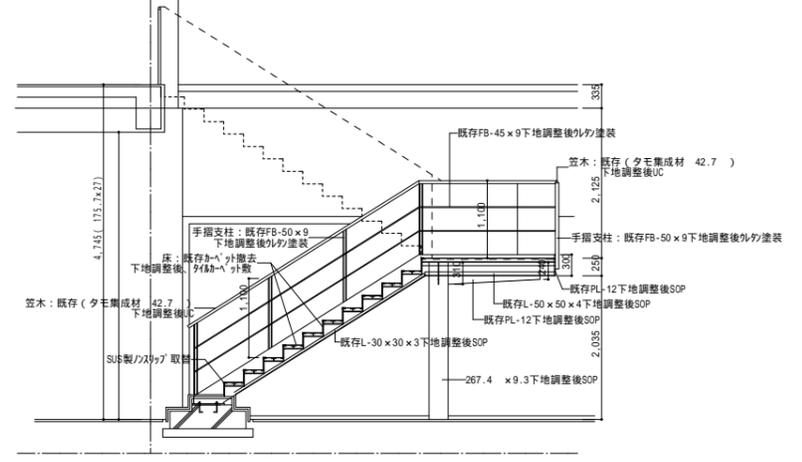
A矢視図



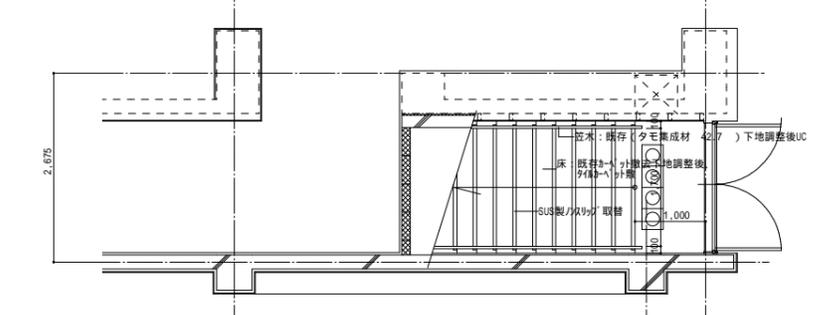
2階平面詳細図



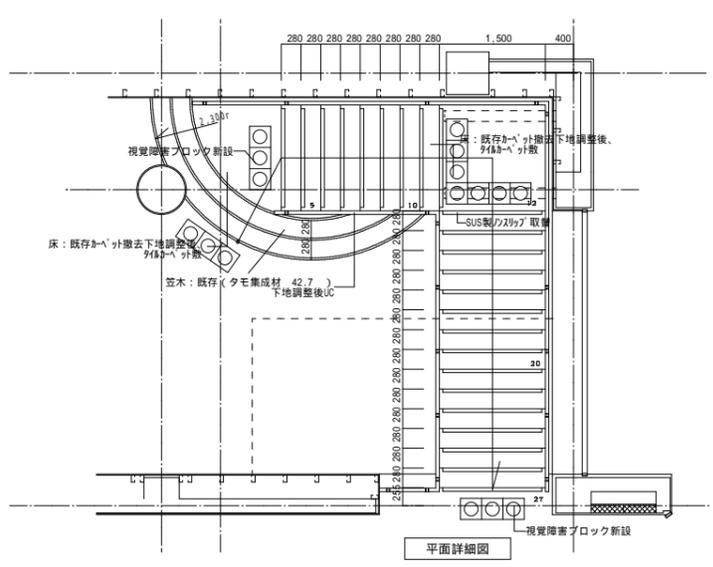
1階平面詳細図



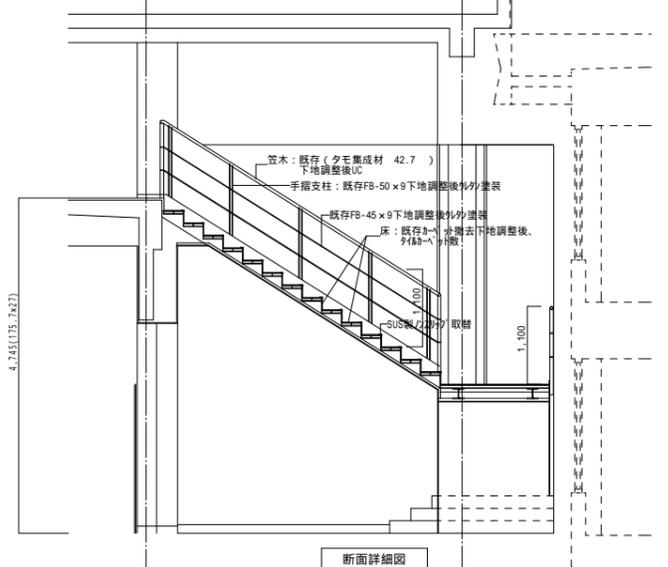
B-B断面詳細図



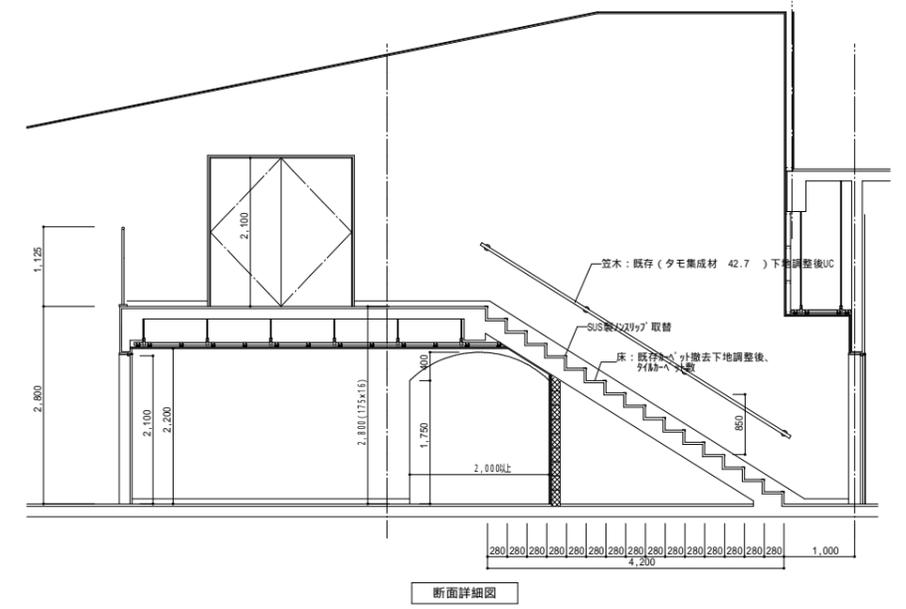
1階平面詳細図



平面詳細図



断面詳細図



断面詳細図

着工	・
竣工	・
監理	・
施工	・

堂園設計株式会社

一級建築士事務所

鹿児島市真砂町1-3-164号

鹿児島市真砂町2番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号 外村 進

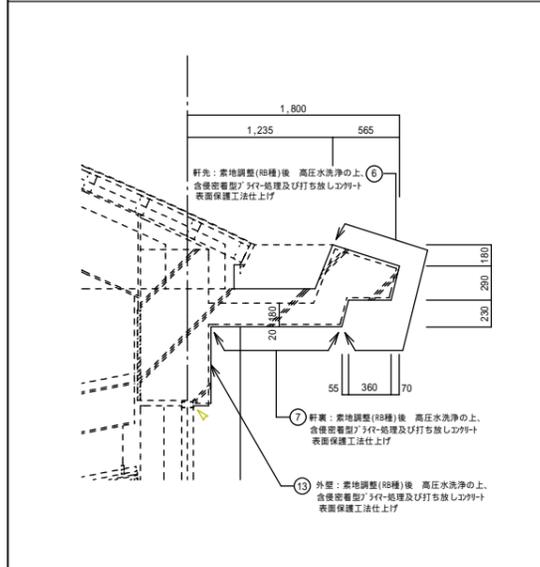
設計年月日	R7・2・
縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)

工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図

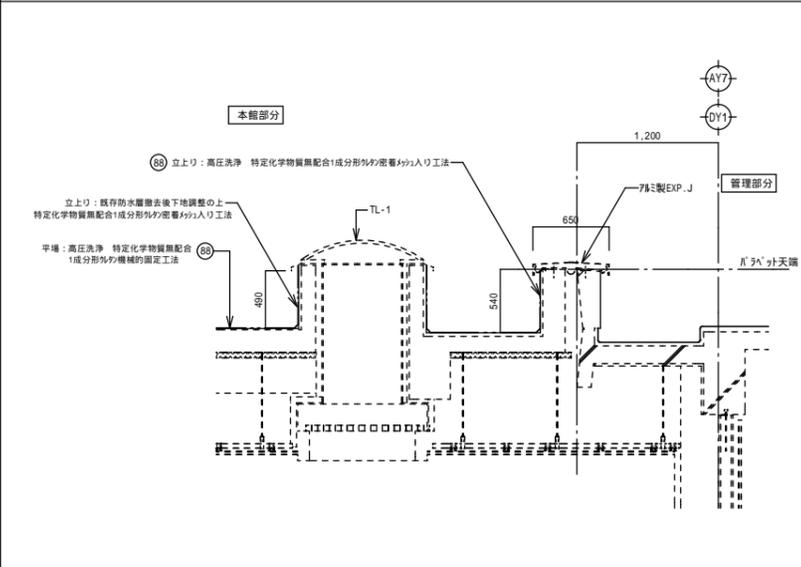
図面名称 (ホール棟)部分詳細図(既存階段廻り)

図面番号 A-102

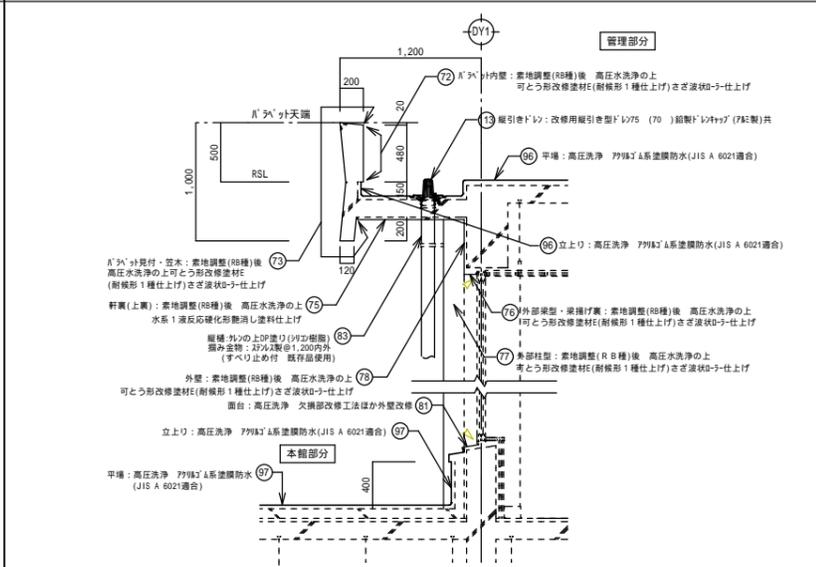
本館部分機械室屋根防水範囲詳細図 S=1:30



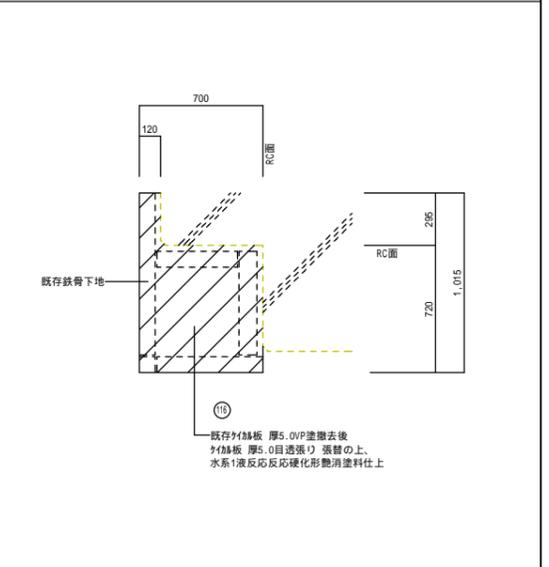
管理部分~本館2階屋根取合部防水範囲詳細図 S=1:30



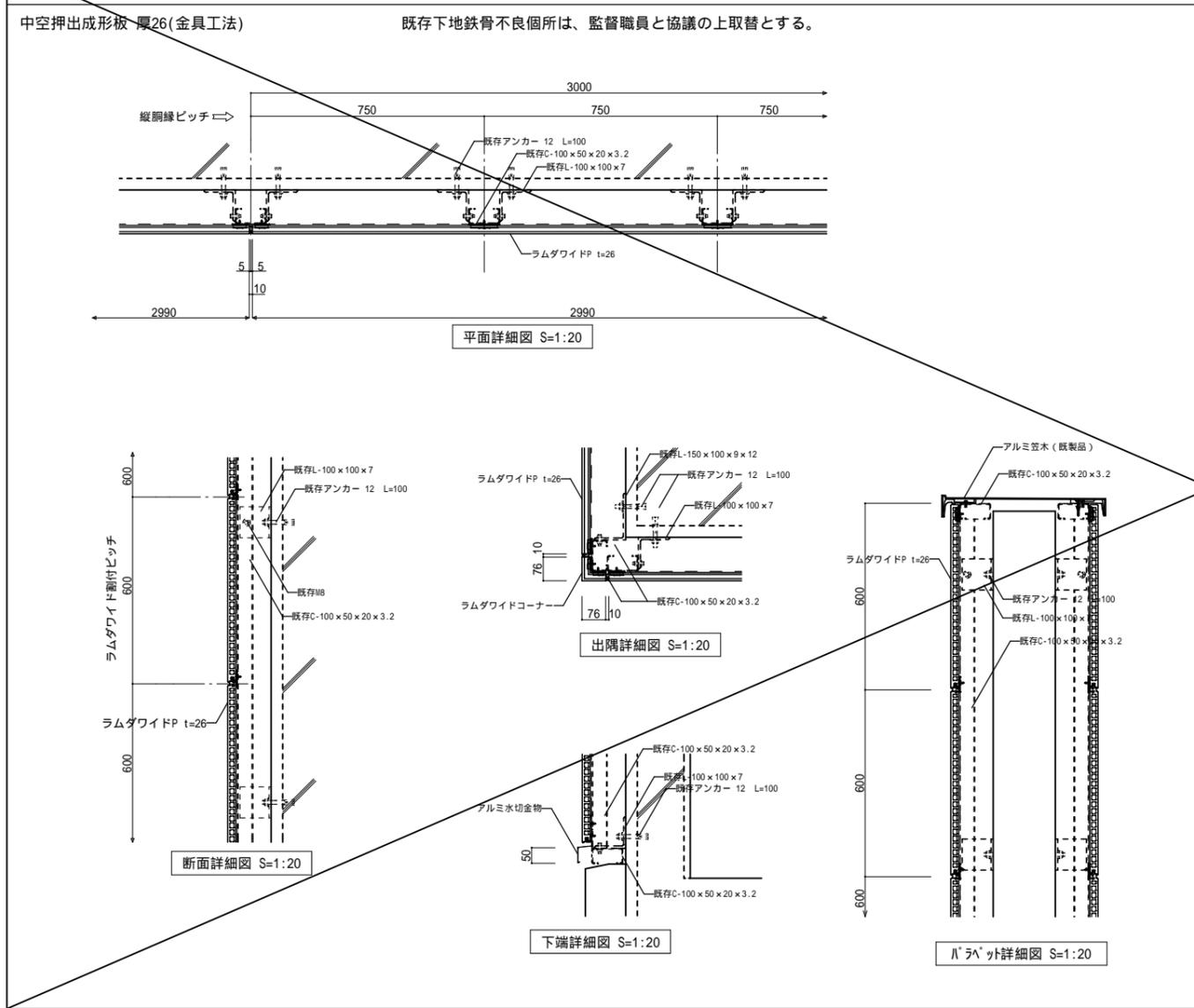
管理部分ハコ外廻り~本館1階屋根取合部防水範囲詳細図 S=1:30



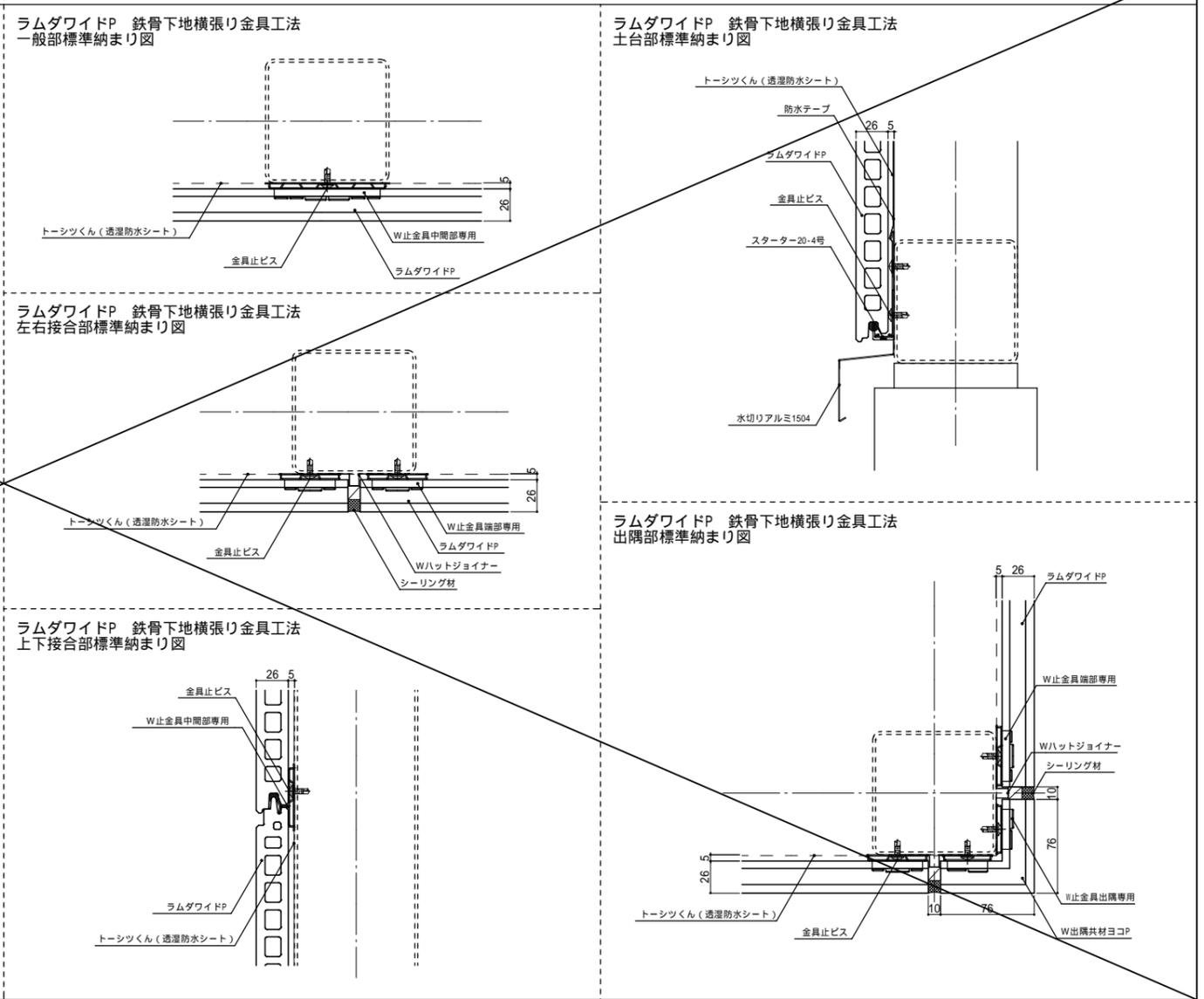
西側外壁コーナー下端上裏詳細図 S=1:20



外壁材詳細図 S=1:20

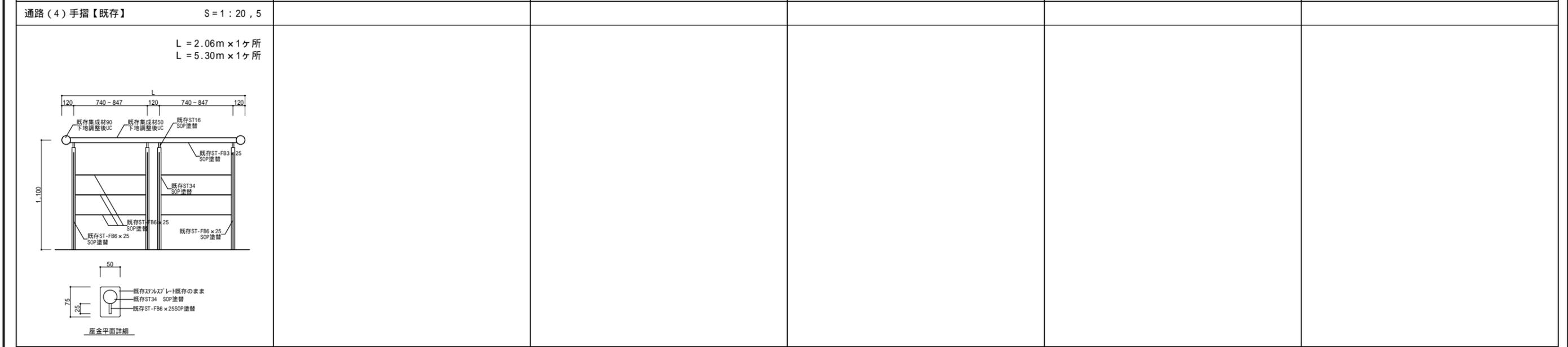
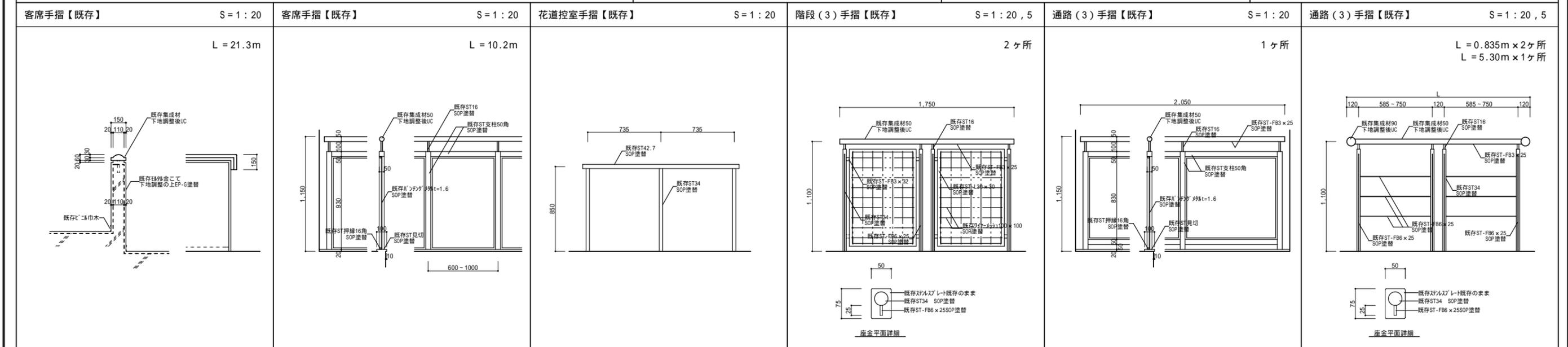
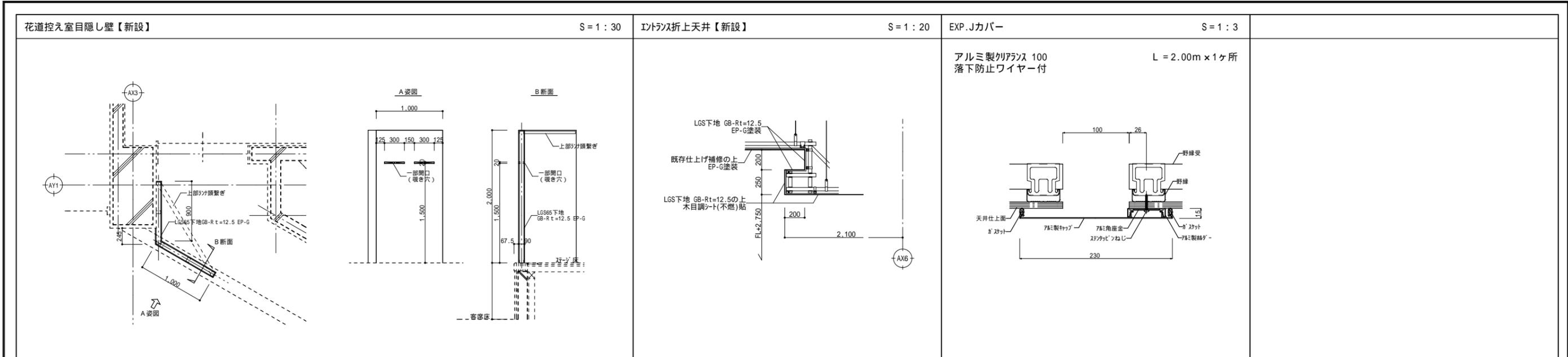


ラムダワイドP 鉄骨下地横張り金具工法 一般部標準納まり図 S=1:5



図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

着工 竣工 監理 施工	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 鹿児島市真砂町21番7号 TEL(代)099-257-1177	設計年月日 R7.2. 縮尺 1:30,20,5(A1) 1:60,40,10(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 設計図 図面名称 (ホール棟)部分詳細図(外部廻り)	図面番号 A-103
----------------------	--	---	---	---------------



南面  
イ-1. 爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法

番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	モルタルカット(m)		縦筋のほつれ さらえ清掃 (m)	鉄筋の脱落とし (m)	防錆材塗布 (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメント モルタル充填 (m <sup>3</sup> )
					計	算				
12	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
13	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
14	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
15	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
16	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
17	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
18	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
19	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
20	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
21	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
22	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
24	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
25	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
27	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
28	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
56	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
88	壁面	0.20	0.30	0.06	( 0.20 + 0.30 ) × 2	1.00	0.06	0.06	0.06	0.06
99	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
108	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
109	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
110	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01	0.01	0.01
116	壁面	0.10	0.10	0.01	( 0.10 + 0.10 ) × 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
120	壁面	0.05	0.05	0.01	( 0.05 + 0.05 ) × 2	0.20	0.01	0.01	0.01	0.01
壁面計					23ヶ所	4.00	0.28	0.28	0.28	0.28
天井面計					0ヶ所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

南面  
イ-2. 欠損部改修ポリマーセメントモルタル充填工法

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	モルタルカット(m)		縦筋のほつれ さらえ清掃 (m)	ポリマーセメント モルタル充填 (m <sup>3</sup> )
					計	算		
23	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
26	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
33	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
34	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
35	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
36	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
37	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
38	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
39	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
40	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
41	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
42	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
43	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
44	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
45	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
46	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
54	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
55	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
57	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
58	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
59	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
60	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
61	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
62	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
63	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
64	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
65	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
66	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
67	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.13	0.01	0.01
71	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
72	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
73	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
74	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
75	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
76	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
77	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
78	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
82	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
83	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
92	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
93	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
94	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
100	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
112	壁面	0.03	0.03	0.01	( 0.03 + 0.03 ) × 2	0.12	0.01	0.01
壁面計					44ヶ所	5.29	0.44	0.44
天井面計					0ヶ所	0.00	0.00	0.00

南面  
ハ-1. フォレックス®部分1' 杉樹脂注入工法(一般部分) m<sup>2</sup>×16本

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	本	フォレックス® (本)
29	壁面	0.40	0.85	0.34	× 16	6
87	壁面	1.30	0.40	0.52	× 16	9
89	壁面	0.50	1.20	0.60	× 16	10
95	壁面	0.25	1.10	0.28	× 16	5
壁面計					4ヶ所	1.74
天井面計					0ヶ所	0.00

南面  
ハ-3. フォレックス®部分1' 杉樹脂注入工法(狭幅部分) m<sup>2</sup>×5本

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	採用値 (m)	本	フォレックス® (本)
2	壁面	0.10	0.20	0.02	0.20	× 5	1
5	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1
6	壁面	0.30	0.20	0.06	0.30	× 5	2
7	壁面	1.00	0.10	0.10	1.00	× 5	5
8	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1
9	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1
10	壁面	0.20	0.60	0.12	0.60	× 5	3
11	壁面	0.40	0.10	0.04	0.40	× 5	2
30	壁面	2.50	0.10	0.25	2.50	× 5	13
31	壁面	2.50	0.10	0.25	2.50	× 5	13
90	壁面	0.10	0.40	0.04	0.40	× 5	2
91	壁面	1.80	0.05	0.09	1.80	× 5	9
壁面計					12ヶ所	10.20	53
天井面計					0ヶ所	0.00	0

南面  
ホ. 自動式低圧1' 杉樹脂注入工法

図面番号	部位	長さ(m)	図面番号	部位	長さ(m)
1	壁面	0.70			
32	壁面	0.50			
47	壁面	0.40			
48	壁面	0.60			
49	壁面	0.50			
50	壁面	0.60			
84	壁面	0.50			
111	壁面	0.75			
117	壁面	1.50			
118	壁面	1.25			
121	壁面	0.60			
122	壁面	0.75			
123	壁面	0.75			
124	壁面	0.30			
125	壁面	0.30			
126	壁面	0.30			
壁面計			16ヶ所		10.30
天井面計			0ヶ所		0.00

南面  
ハ-2. フォレックス®部分1' 杉樹脂注入工法(指定部分) m<sup>2</sup>×25本

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	本	フォレックス® (本)
3	天井面	2.00	0.10	0.20	× 25	5
4	天井面	0.10	0.10	0.01	× 25	1
51	天井面	1.75	0.10	0.18	× 25	5
52	天井面	1.75	0.10	0.18	× 25	5
53	天井面	1.75	0.10	0.18	× 25	5
68	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
69	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
70	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
79	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
80	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
81	天井面	2.10	0.05	0.11	× 25	3
85	天井面	1.70	0.10	0.17	× 25	5
86	天井面	1.70	0.10	0.17	× 25	5
壁面計					0ヶ所	0.00
天井面計					13ヶ所	1.75

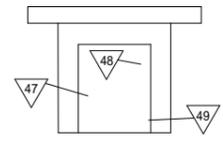
南面  
二. タイル浮き

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	本	フォレックス® (本)
96	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
97	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
98	壁面	0.40	0.20	0.08	× 50	4
101	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
102	壁面	1.00	1.00	1.00	× 50	50
103	壁面	1.00	0.90	0.90	× 50	45
113	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
114	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
115	壁面	0.20	0.20	0.04	× 50	2
119	壁面	1.10	0.10	0.11	× 50	6
壁面計					10ヶ所	2.33
天井面計					0ヶ所	0.00

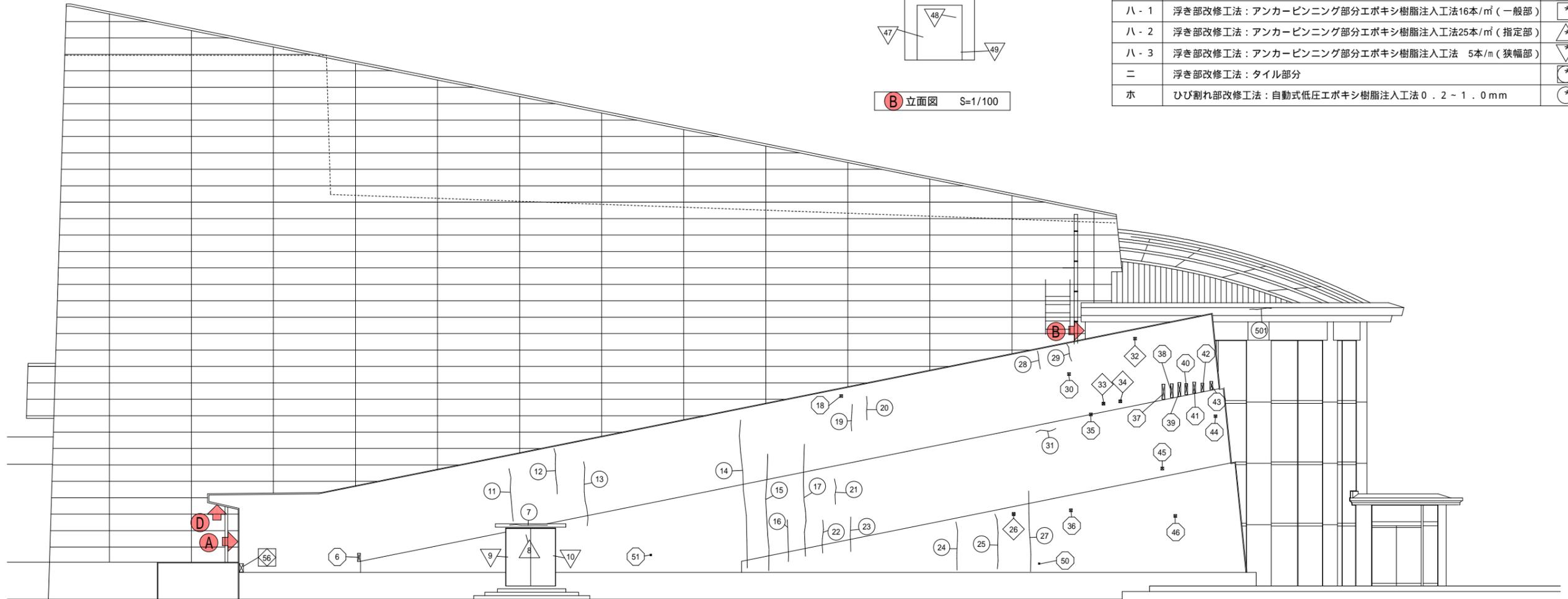
西面  
イ-1. 爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法(放散し画)

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(m <sup>2</sup> )	モルタルカット(m)		縦筋のほつれ さらえ清掃 (m)	鉄筋の脱落とし (m)	防錆材塗布 (m <sup>2</sup> )	ポリマーセメント モルタル充填 (m <sup>3</sup> )
					計	算				

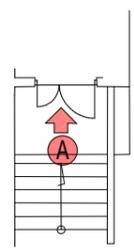
補修工法名(参考)	番号	マーク
イ-1 爆裂部改修工法:爆裂部ポリマーセメントモルタル工法(打放し面)	⊙*	⊗
イ-2 欠損部改修工法:欠損部ポリマーセメントモルタル工法(モルタル面)	◇*	⊗
ロ 欠損部改修工法:ポリマーセメントモルタル工法(ハツリ部)	⊠*	⊗
ハ-1 浮き部改修工法:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m <sup>2</sup> (一般部)	⊙*	〰
ハ-2 浮き部改修工法:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m <sup>2</sup> (指定部)	⊙*	〰
ハ-3 浮き部改修工法:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 5本/m(狭幅部)	⊙*	〰
ニ 浮き部改修工法:タイル部分	⊙*	〰
ホ ひび割れ部改修工法:自動式低圧エポキシ樹脂注入工法0.2~1.0mm	⊙*	〰



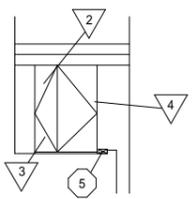
B 立面図 S=1/100



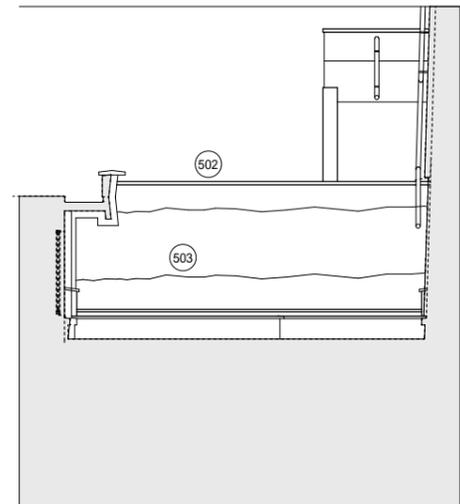
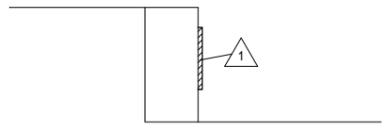
西側立面図 S=1/80



A 立面図 S=1/80

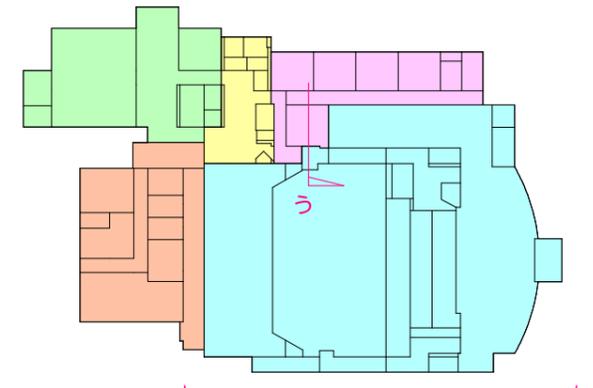


D 天井伏図 S=1/80



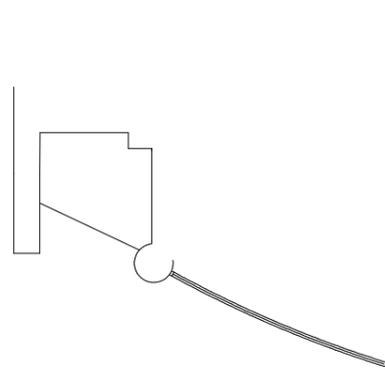
ホール棟 北側立面図(う断面) S=1/80

数量は西面へ計上

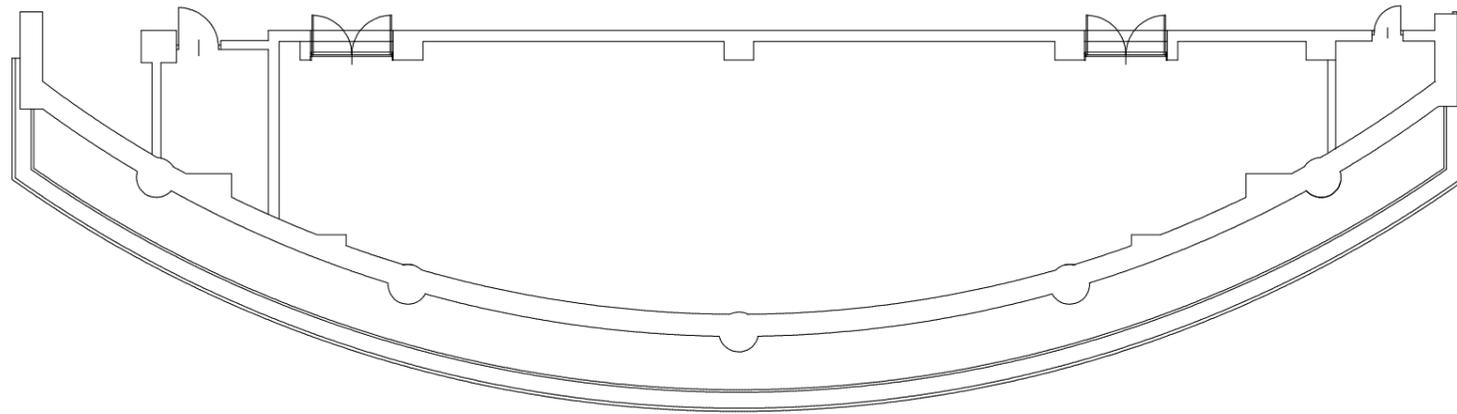


西

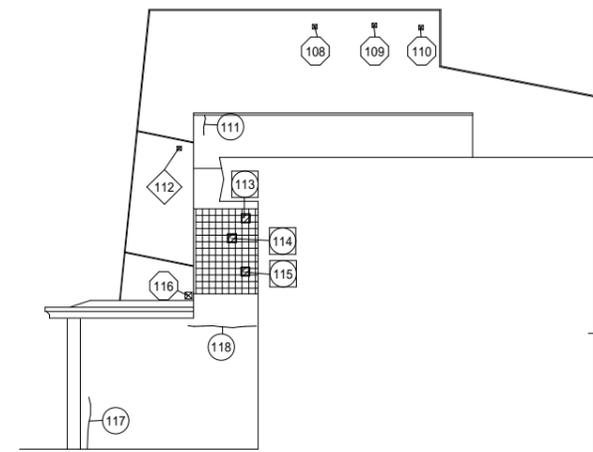
特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号		外村 遼	R7.2.	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			縮尺 A1 1:80 A3 1:160	図面名称	(ホール棟)外壁調査図(1)



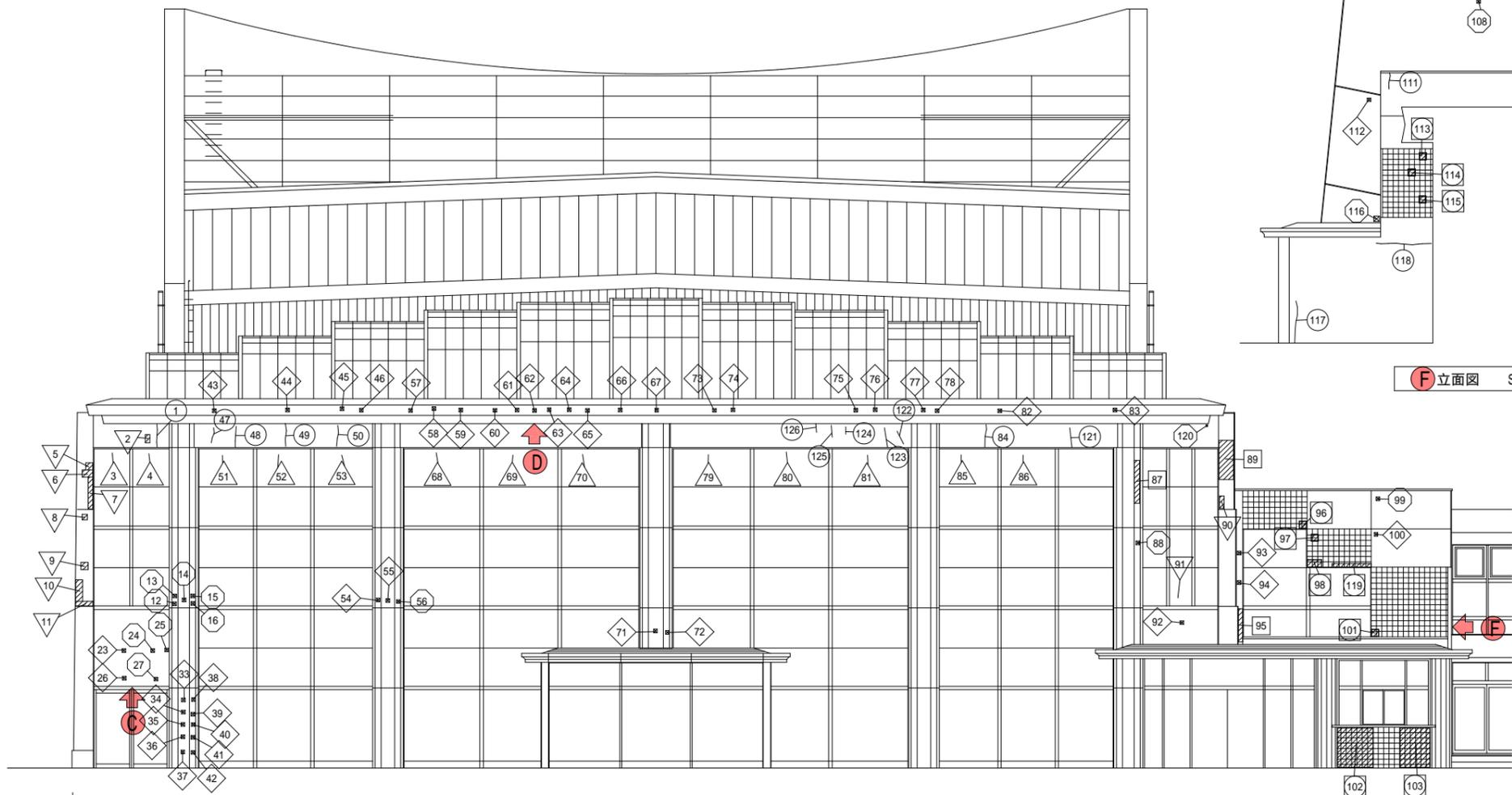
C 天井伏図 S=1/100



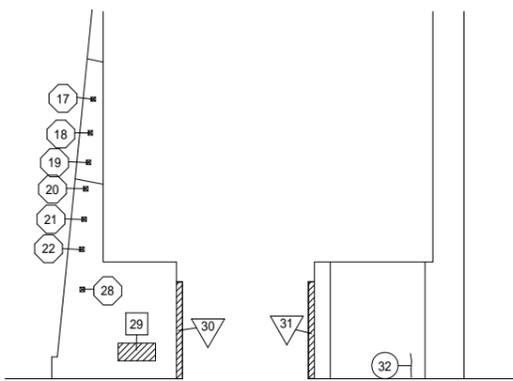
D 天井伏図 S=1/100



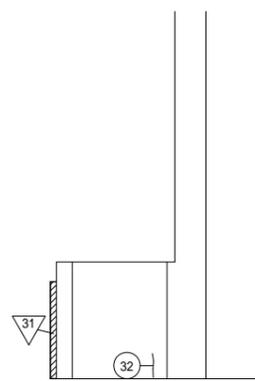
F 立面図 S=1/80



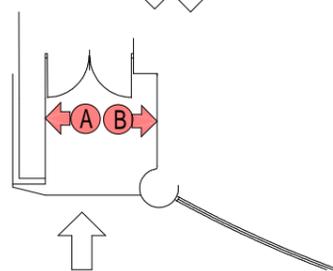
南側立面図 S=1/80



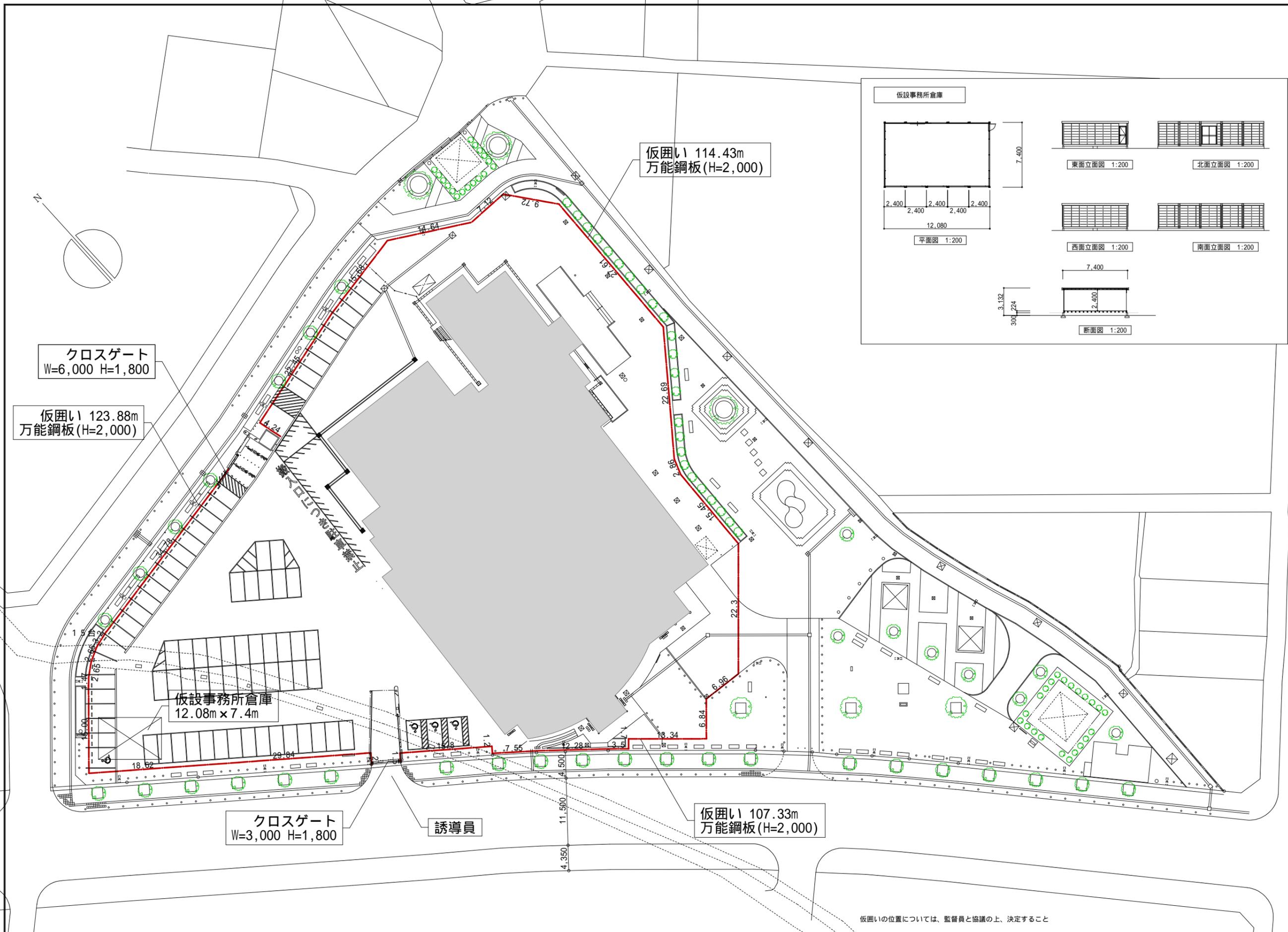
A 立面図 S=1/100



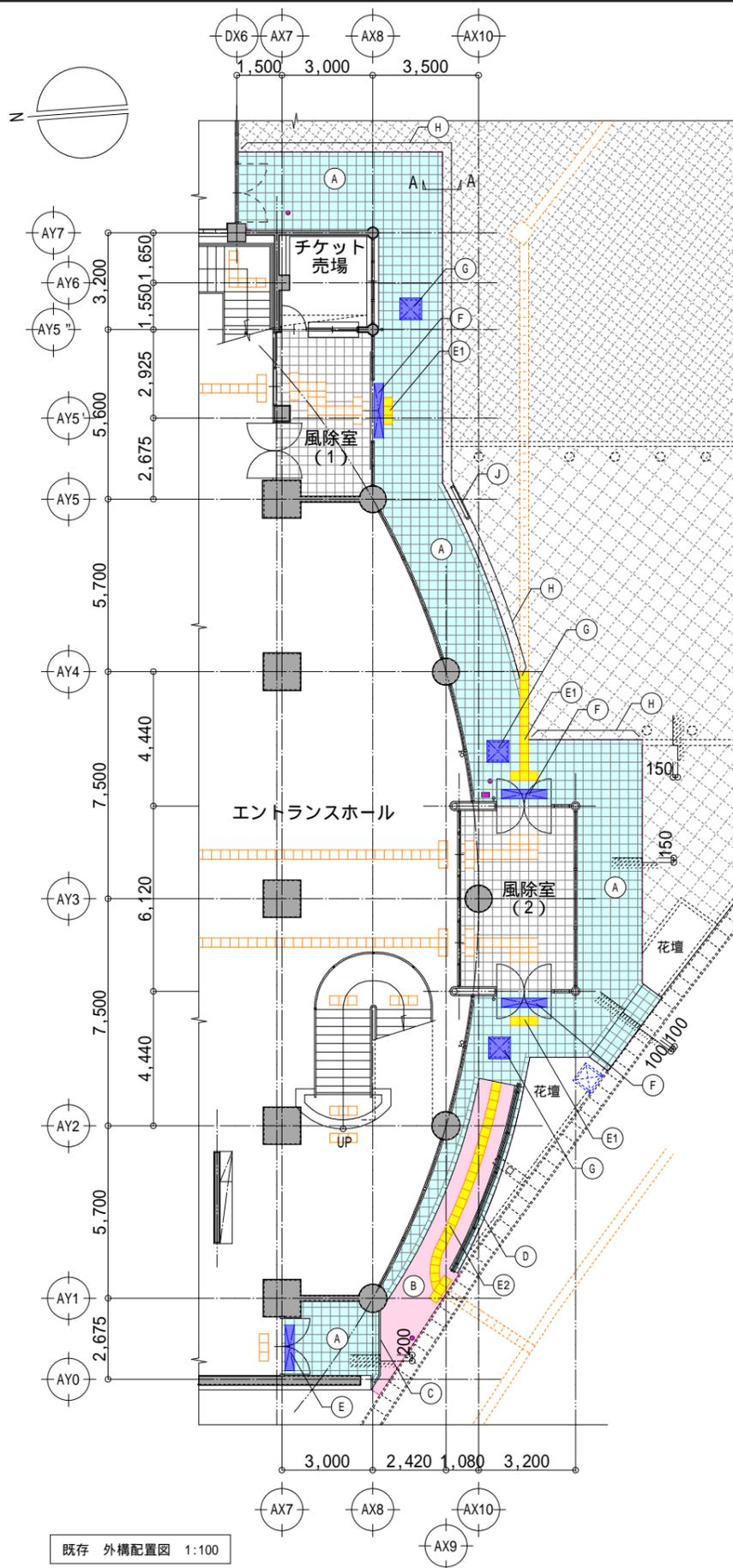
B 立面図 S=1/100



特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	図面番号
			外村 遼	R7・2・			
				縮尺	図面名称	(ホール棟)外壁調査図(2)	
				A1 1:80 A3 1:160			

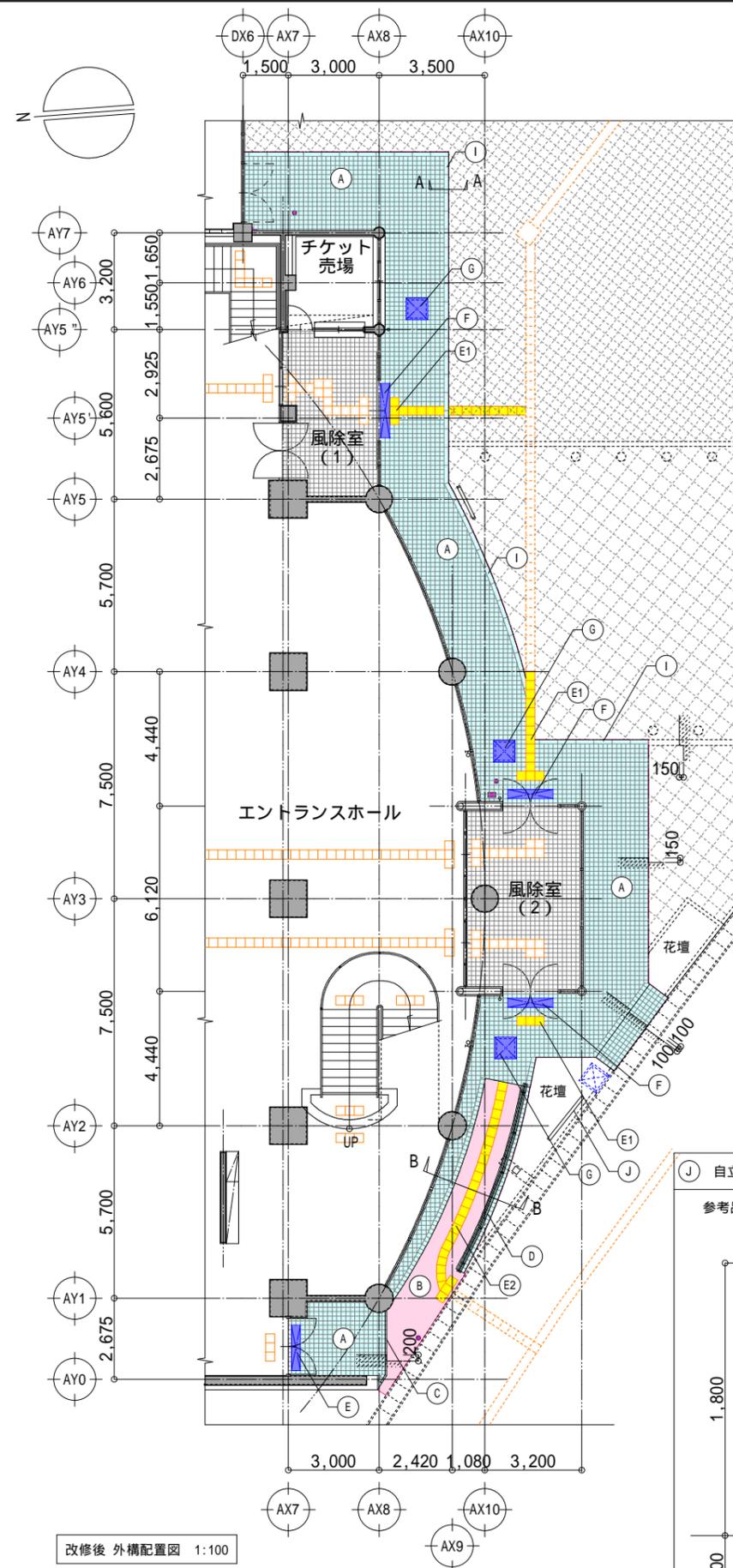
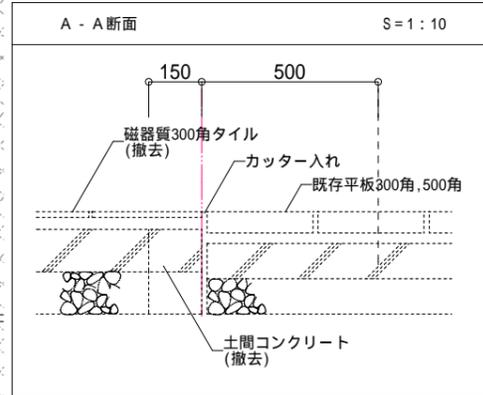


巻工 竣工 監理 施工	〃 〃 〃 〃	<b>堂園設計株式会社</b> 一級建築士事務所 鹿児島県登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・ 縮尺 1:400(A1) 1:800(A3)	工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区) 図面名称 (ホール棟)仮設計画図	設計図 図面番号 A-108
----------------------	------------------	--	--------------------------	--	---	----------------------



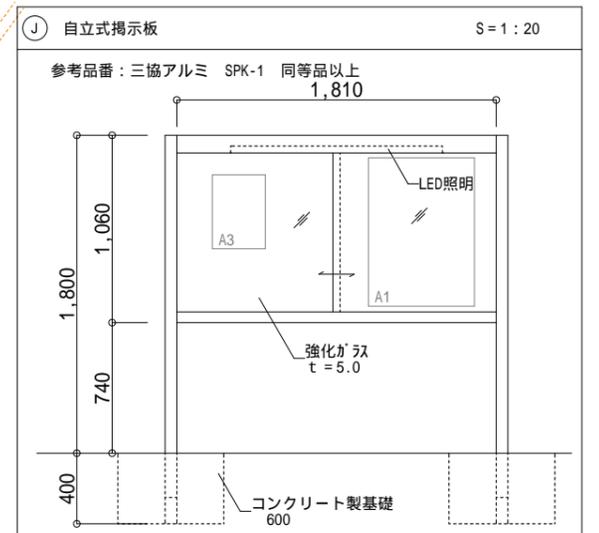
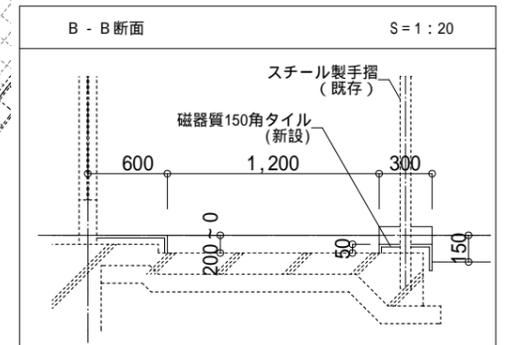
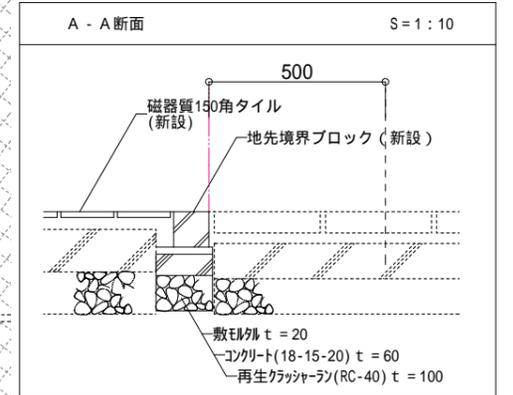
既存 外構配置図 1:100

図中凡例		
A	磁器質300角タイル(立上り含む)	撤去 110.00 m <sup>2</sup>
B	スロープ 土間コンクリート	既設のまま 13.10 m <sup>2</sup>
C	ノンスリップタイル	撤去 2.50 m
D	スチール製手摺	既設のまま 6.60 m
E1	視覚障害者用ブロック(コンクリート製)	撤去 1.80 m <sup>2</sup>
E2	視覚障害者用ブロック(塩ビ製)	撤去 2.40 m <sup>2</sup>
F	ステンレス製水切り	既設のまま 4ヶ所
G	雨水集水枘600角	既設のまま 3ヶ所
H	カッター入れ	撤去 28.40 m
J	自立式掲示板	既設のまま 1ヶ所



改修後 外構配置図 1:100

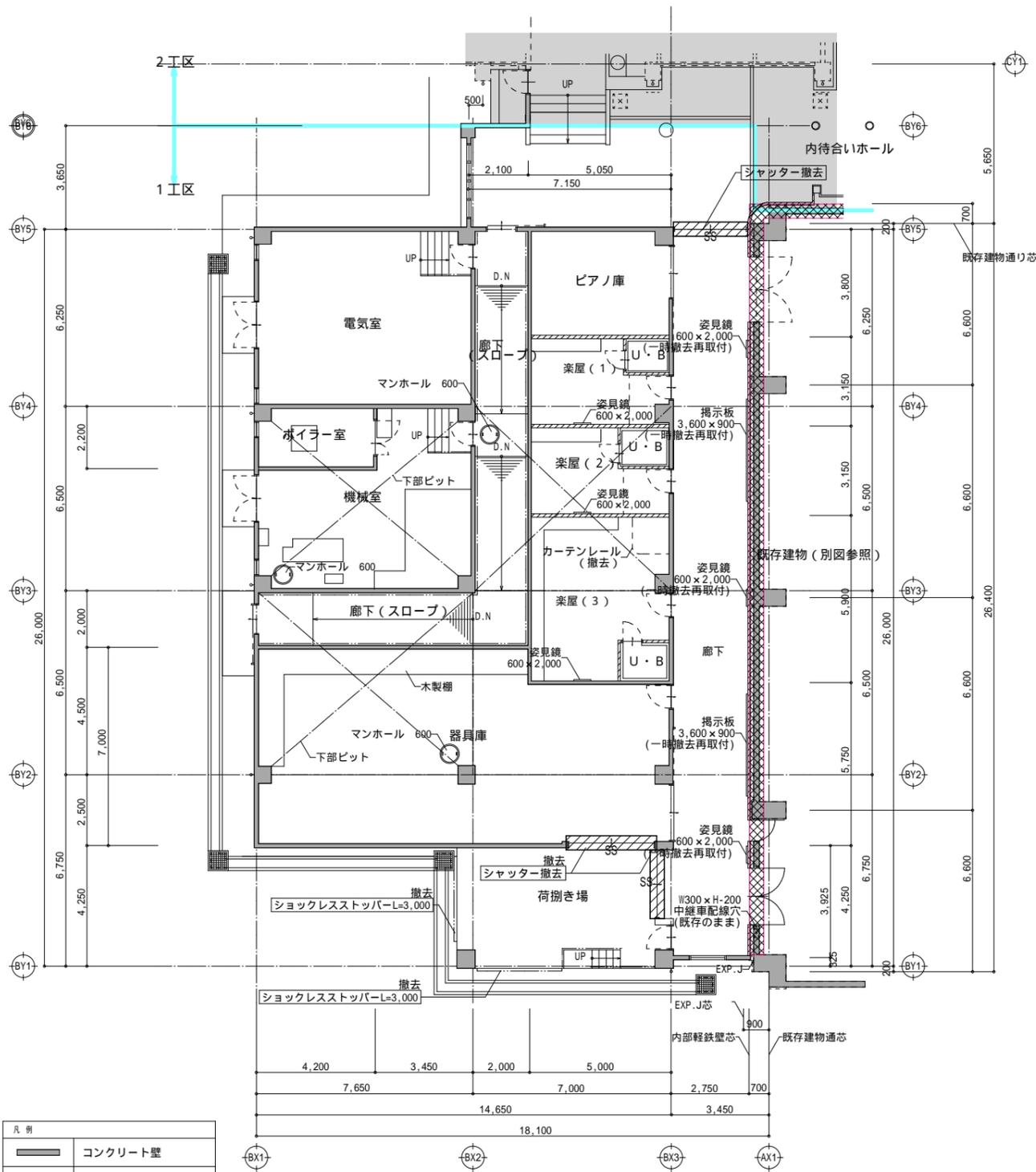
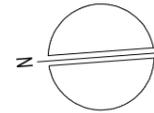
図中凡例		
A	磁器質150角タイル(立上り、段鼻タイル含む)	新設 110.00 m <sup>2</sup>
B	スロープ 土間コンクリート	既設のまま 13.10 m <sup>2</sup>
D	スチール製手摺	既設のまま 6.60 m
E1	視覚障害者用ブロック(コンクリート製)	新設 3.10 m <sup>2</sup>
E2	視覚障害者用ブロック(塩ビ製)	新設 2.40 m <sup>2</sup>
F	ステンレス製水切り	既設のまま 4ヶ所
G	雨水集水枘600角	既設のまま 3ヶ所
H		
I	地先境界ブロック100角	新設 25.00 m
J	自立式掲示板(アルミ製)	新設 1ヶ所



外部仕上表		表中 (00) は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。		仕 様		部 位		仕 様	
部 位	既 存	改 修 後	部 位	既 存	改 修 後	部 位	既 存	改 修 後	部 位
屋 根	ゴムシート防水(非歩行用) (89)	平場：高圧洗浄、特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水(機械的固定工法) コーナー部押入金物取付、脱気筒設置、改修用ドレン取付	巾 木	コンクリート打放し(A)種の上 フッ素クリア塗装 (32)	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機どうり塗材(シーラー共)仕上げ				
		立上り：既存防水層撤去後下地サンディング、樹脂モルタルノ口引き 特定化学物質無配合1成分形ウレタン密着メッシュ工法	樋	縦樋：硬質塩ビカラーパイプ100 掴み金物:ステンレス製φ1,000内外 (38)	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 改修用横引き型ドレン100 (90)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共				
	機械置場(フェンス内):ゴムシート防水(S-1工法)コンクリートこて仕上(A種) (90)	平場：高圧洗浄、特定化学物質無配合1成分形ウレタンX-1工法 コーナー部押入金物取付、脱気筒設置、改修用ドレン取付 伸縮目地20×100撤去及びMGテープ張付け 樹脂モルタルノ口引き	ストッパー	ショックレストッパー L=3,000 (36)	既存撤去後カーストップパー新設 W100×H100×L3,000(肉厚18)2カ所 (本木ゴム工業㈱カーストップパー D型・中空タイプ CSD-0110黒+黄色タイプ入 同等品程度)				
外 壁	コンクリート打放し FCC吹付 (29)	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ	開閉式テント		電動オーニングテント 7,000×2,000 4,250×2,000 (120) (ロ-材-コング EIMV -ネクス-ル -マキムス/クダ -ド タイプ :BX700V 同等品程度)				
軒 裏	コンクリート打放しの上外装薄塗材E吹付 (30) (31)	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ							

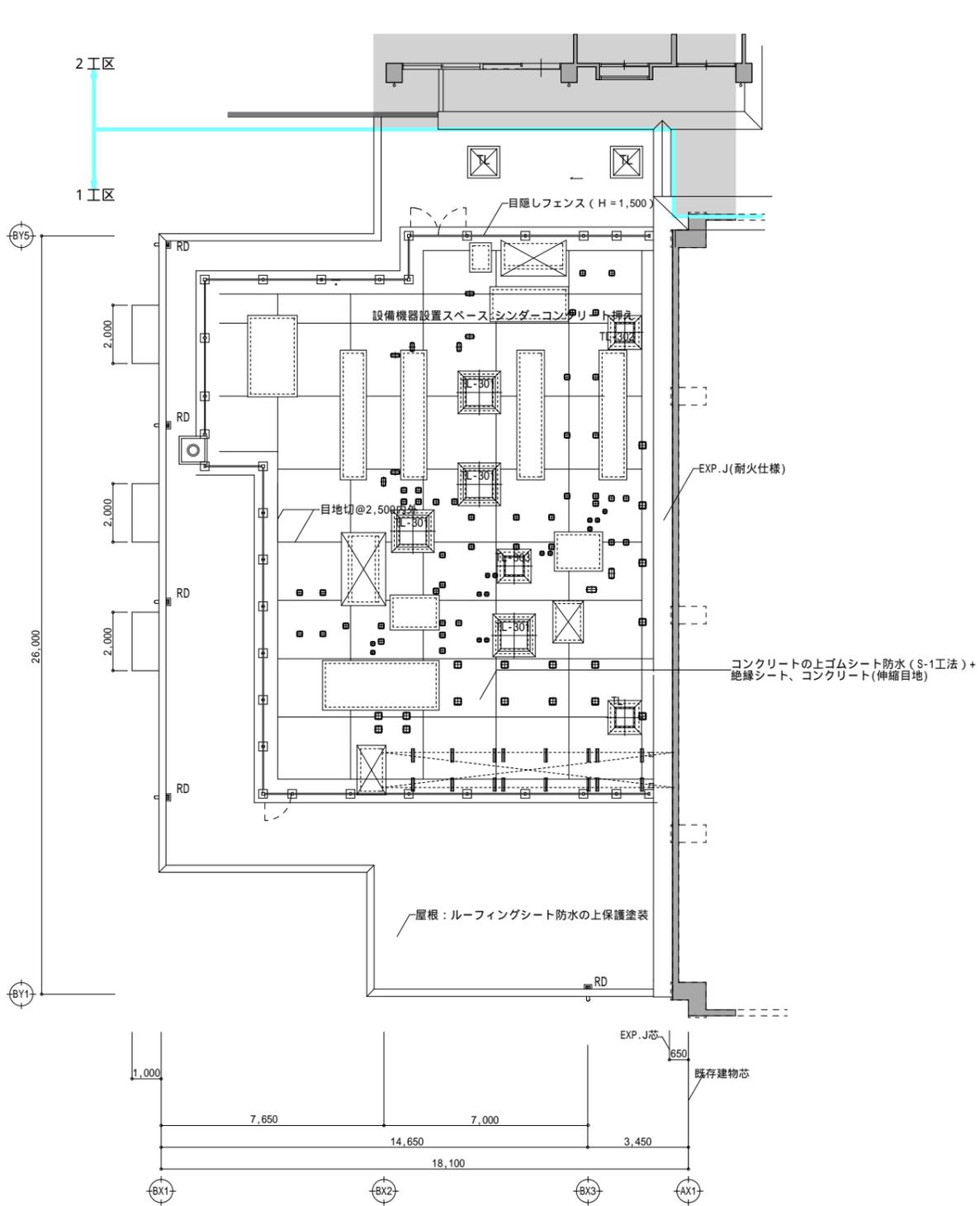
内部仕上表 (上段:仕上材・下段:下地材)														
階	室 名	内装制限 排煙方式 免除根拠	床		巾 木		壁		天井		天井高		備 考	
			既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後	既 存	改 修 後		
1	電気室	(不)	-	既存のまま	RC打放 H=200	既存のまま	打放し	既存のまま	木毛板t=25打込み	既存のまま	4,065 ~ 4,130	4,065 ~ 4,130	電気室	
		免除 告へ(2)	RC											
		(不)	-	既存のまま	RC打放 H=200	既存のまま	打放し	既存のまま	木毛板t=25打込み	既存のまま	4,065 ~ 4,130	4,065 ~ 4,130		機械室
ボイラー室	ボイラー室	(不)	-	既存のまま	RC打放 H=200	既存のまま	打放し	既存のまま	木毛板t=25打込み	既存のまま	3,865 ~ 3,930	3,865 ~ 3,930	ボイラー室	
		免除 告へ(2)	RC											
		(不)	-	既存のまま	RC打放 H=200	既存のまま	打放し	既存のまま	木毛板t=25打込み	既存のまま	3,865 ~ 3,930	3,865 ~ 3,930		
ピアノ庫	ピアノ庫	(不)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GWt=50(32kg/m)ガラスウールキャップ 止め	既存のまま	GB-D	一部既存仕上撤去後GB-D(T)t=9.5	2,400	2,400	天井点検口	ピアノ庫
		免除 告へ(2)	RC											
		(難)	タイルカーベット敷500角	タイルカーベット敷	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	EP	下地補修後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0	2,450	2,450	カーテン及びカーテンレール、天井点検口	楽屋(1)
楽屋(1)	楽屋(1)	自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整			GB-Rt=9.5+9.5継目処理(GL工法)	既存のまま	LGS	既存のまま				
		(難)	タイルカーベット敷500角	タイルカーベット敷	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	EP	下地補修後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0	2,450	2,450	カーテン及びカーテンレール、天井点検口	楽屋(2)
		自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整										
楽屋(2)	楽屋(2)	(難)	タイルカーベット敷500角	タイルカーベット敷	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	EP	下地補修後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0	2,450	2,450	カーテン及びカーテンレール、天井点検口	楽屋(3)
		自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整										
		(難)	タイルカーベット敷500角	タイルカーベット敷	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	EP	下地補修後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0	2,450	2,450	カーテン及びカーテンレール、天井点検口	楽屋(3)
楽屋(3)	楽屋(3)	自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整			GB-Rt=9.5+9.5継目処理(GL工法)	既存のまま	LGS	既存のまま				
		(不)	長尺塩ビシートt=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	打放し	既存のまま(一部クラック補修) 一部(シャッター撤去後)ALCt=100の上EP-G	木毛板t=25打込み	既存のまま	2,985 ~ 3,185	2,985 ~ 3,185	壁補修 W=0.4、0.3×計4本	器具庫
		免除 告へ(2)	RC											
廊下(スロープ)	廊下(スロープ)	(不)	長尺塩ビシート(ノンスリップ)t=2.0	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP	既存のまま	GB-D(T)t=9.5	既存仕上撤去後GB-D(T)t=9.5	2,500	2,500	天井点検口	廊下 (スロープ)
		自	RC											
		(不)	長尺塩ビシートt=2.0	一部長尺塩ビシート張替え 他既存のまま	ビニル巾木 H=100	床仕上張替部は 既存撤去後 ビニル巾木H=100 他は既存のまま	EP	下地補修後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	一部既存仕上げ撤去後 GB-Rt=9.5+DRt=9.0	2,400	2,400	天井点検口	廊下(5)
廊下(5)	廊下(5)	免除 告へ(2)	RC	張替え部:既存仕上げ撤去後下地調整			LGS下地部分:GB-Rt=12.5+9.5	既存のまま	LGS	既存のまま				
		(不)	長尺塩ビシートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	塗装(アスベスト含有)	既存仕上げ撤去後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	既存仕上げ撤去後 GB-Rt=9.5+DRt=9.0	2,400 2,250	2,400 2,250	天井点検口	内待合ホール
		自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整										
内待合ホール	内待合ホール	(不)	長尺塩ビシートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	RC	LGS下地部分:GB-Rt=12.5+9.5	LGS	既存のまま				
		自	RC	既存仕上げ撤去後下地調整										
		(不)	長尺塩ビシートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	RC	LGS下地部分:GB-Rt=12.5+9.5	LGS	既存のまま				

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>				一級建築士登録 第160636号 外村 暲	設計年月日	工 事 名 称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号 A-110
	一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号					R7・2・				
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177					縮 尺				
						NO.SCALE				

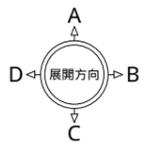


凡例	
	コンクリート壁
	軽量鉄骨壁組
	防火区画

1階平面図 1:100



屋根伏図 1:100

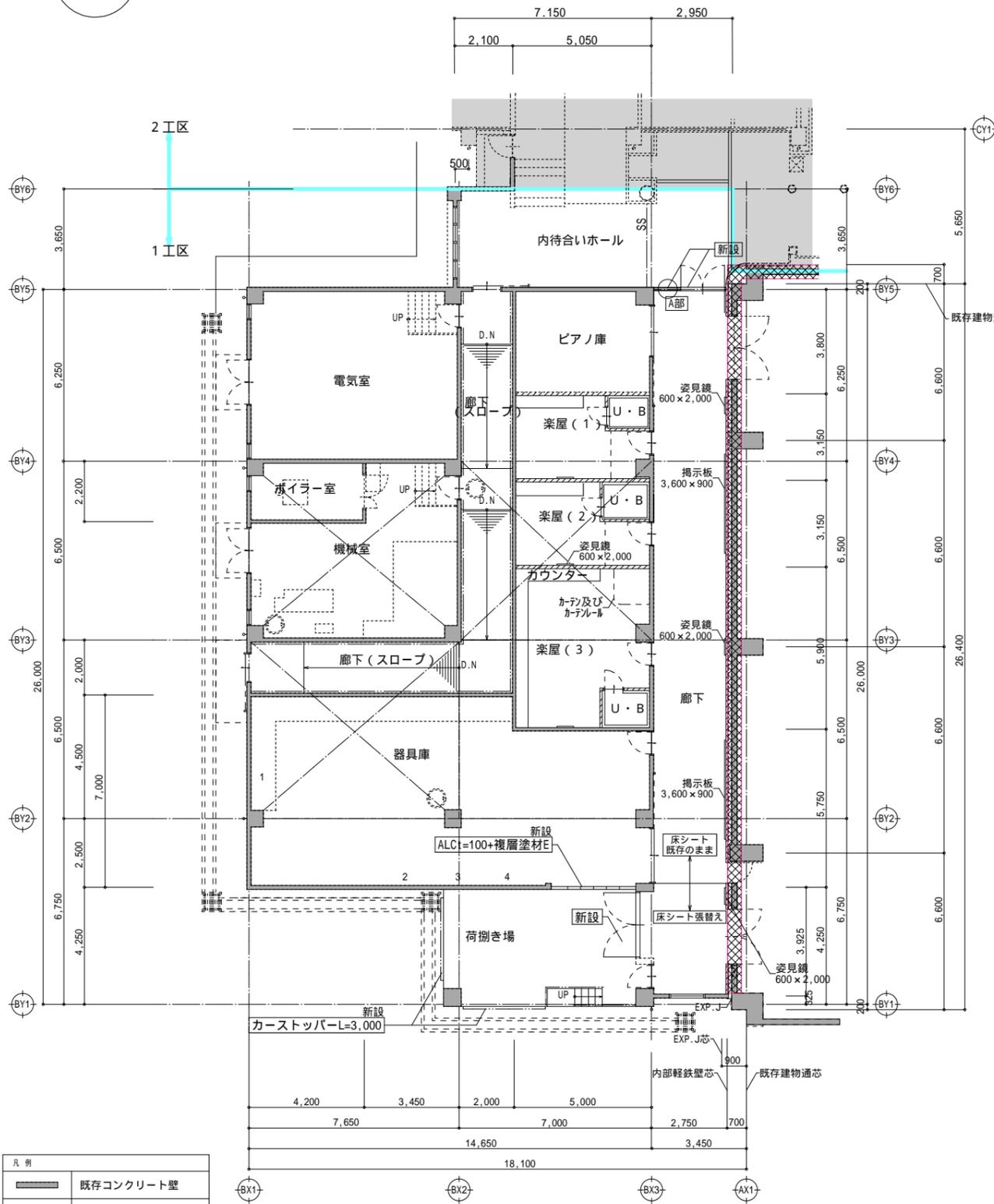
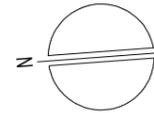


特記事項	
------	--

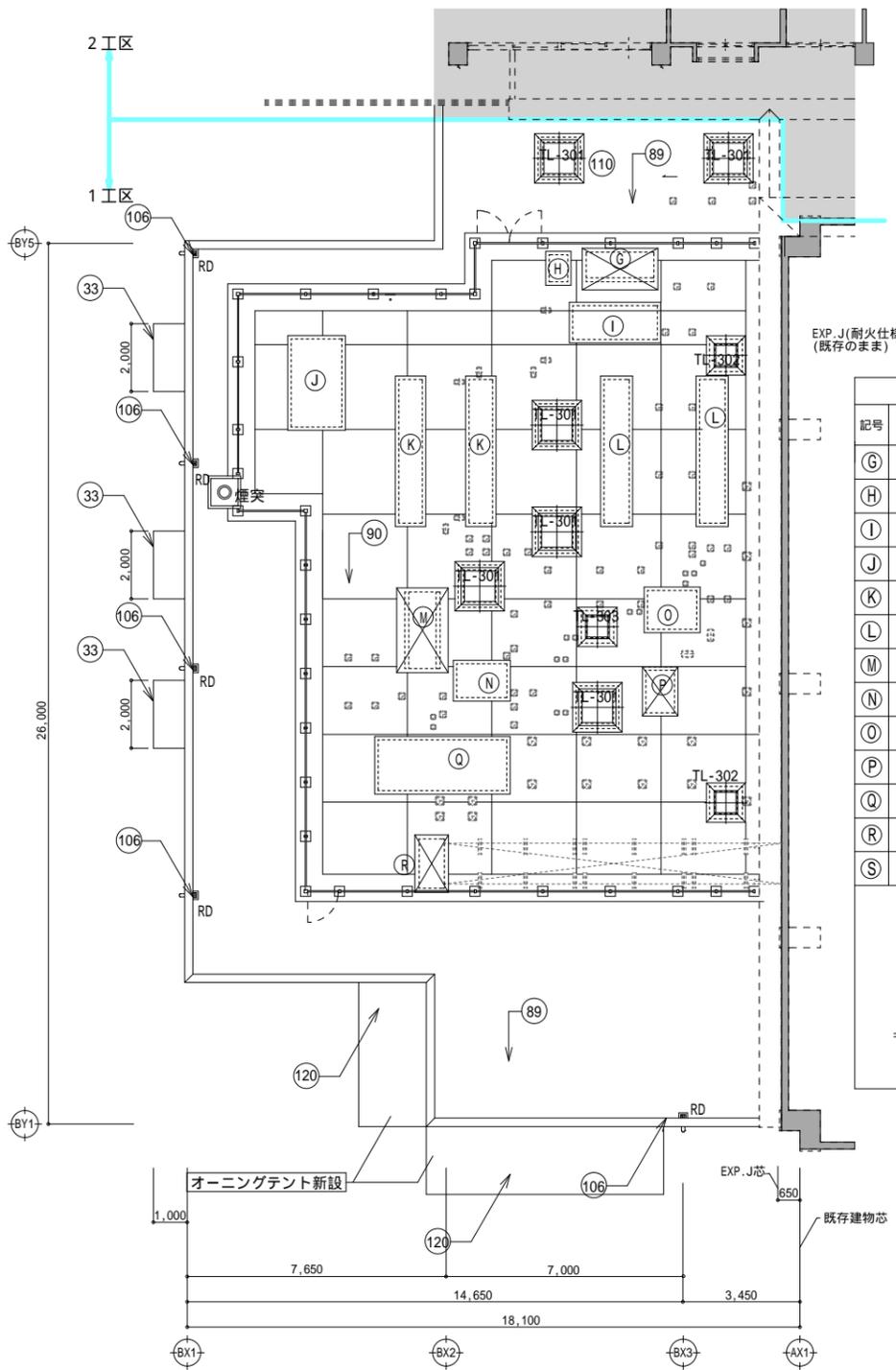
**堂園設計株式会社**  
 一級建築士事務所  
 県知事登録第1-3-164号  
 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177

一級建築士登録 第160636号 外村 遼	設計年月日 R7・2・
	縮尺 A1 1:100 A3 1:200

工事名称 R7霧島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	図面番号 A-111
図面名称 (楽屋棟)既存1階・屋上平面図		



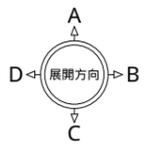
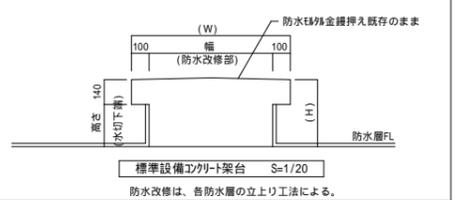
1階平面図 1:100



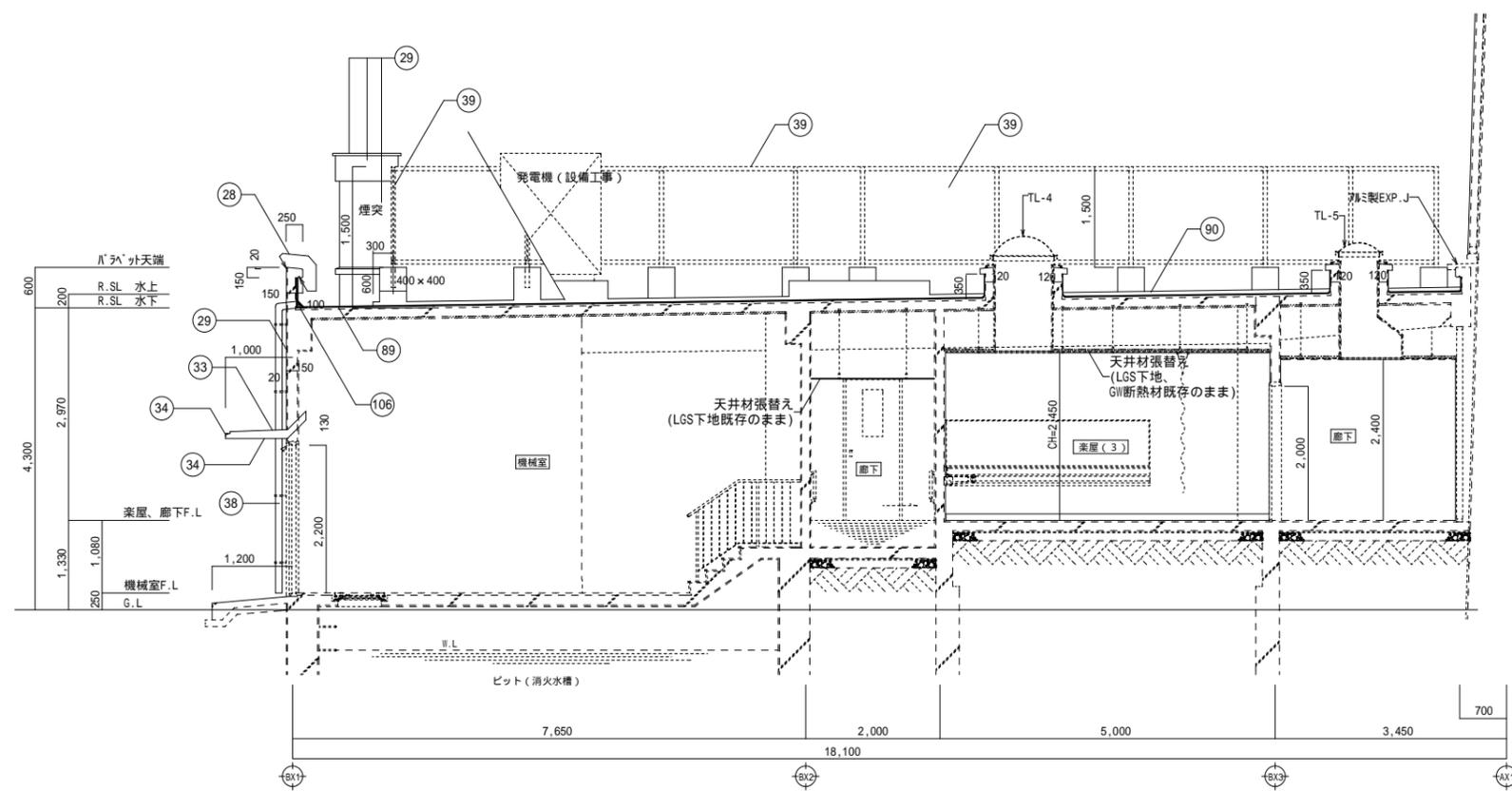
屋根伏図 1:100

屋根 T・L・設備架台 範囲仕上表

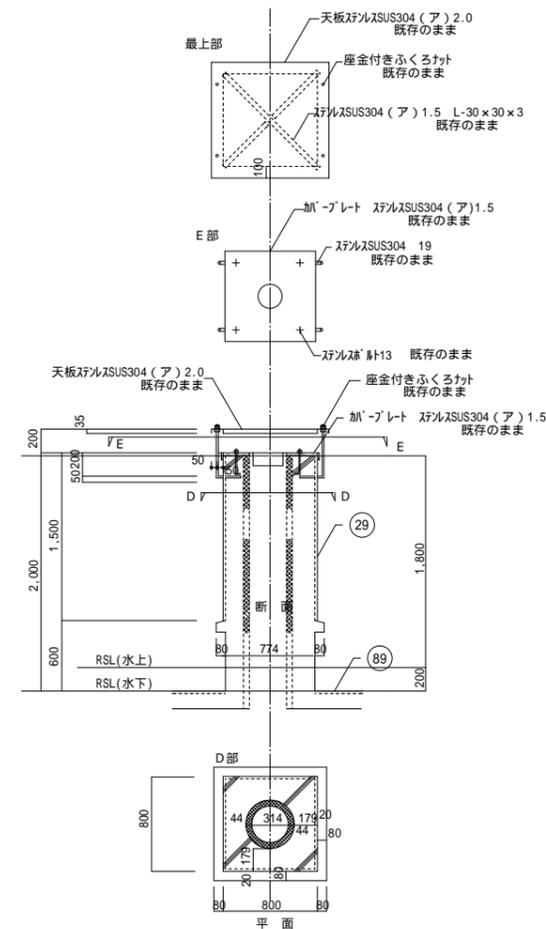
記号	名称	幅×奥行	高さ	水切下 高さ	数量
G	設備架台 1,210×2,240	970 × 2,240	H=230		1
H	設備架台 750×1,000	550 × 800	H=230		1
I	設備架台 1,200×2,700	1,000 × 2,500	H=200		1
J	設備架台 1,700×2,800	1,500 × 2,600	H=280		1
K	設備架台 900×4,440	700 × 4,040	H=240		2
L	設備架台 950×4,440	750 × 4,040	H=240		2
M	設備架台 1,200×2,500	1,000 × 2,300	H=230		1
N	設備架台 1,200×1,690	1,000 × 1,490	H=200		1
O	設備架台 1,350×1,650	1,150 × 1,450	H=160		1
P	設備架台 1,050×1,400	850 × 1,200	H=160		1
Q	設備架台 1,700×4,000	1,500 × 3,800	H=200		1
R	設備架台 980×1,640	780 × 1,440	H=240		1
S	目隠しフェンス架台 400×400	400 × 400	H=450		30



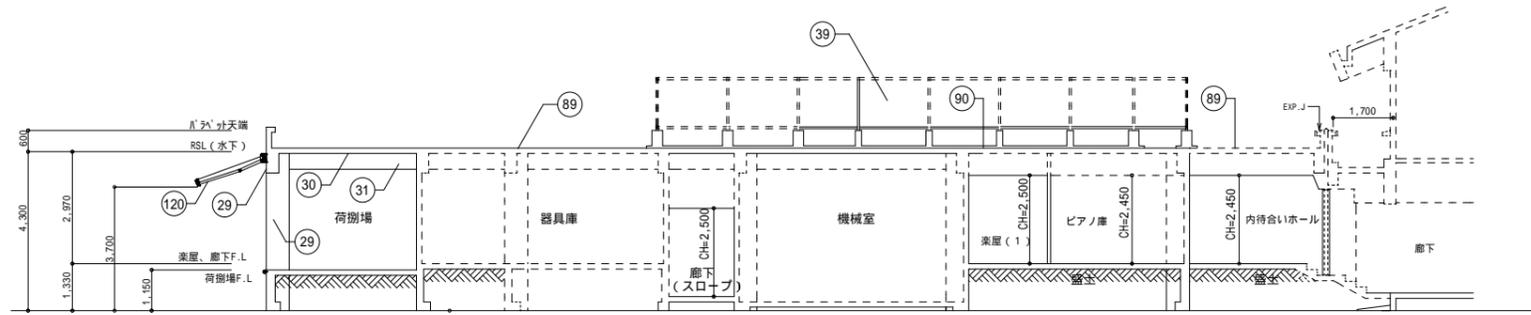
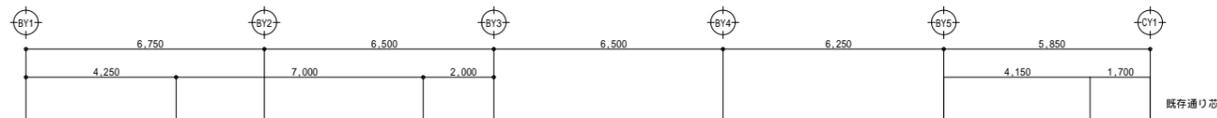
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。



菜屋部分矩計図 S=1/50



煙突部分詳細図 S=1/30

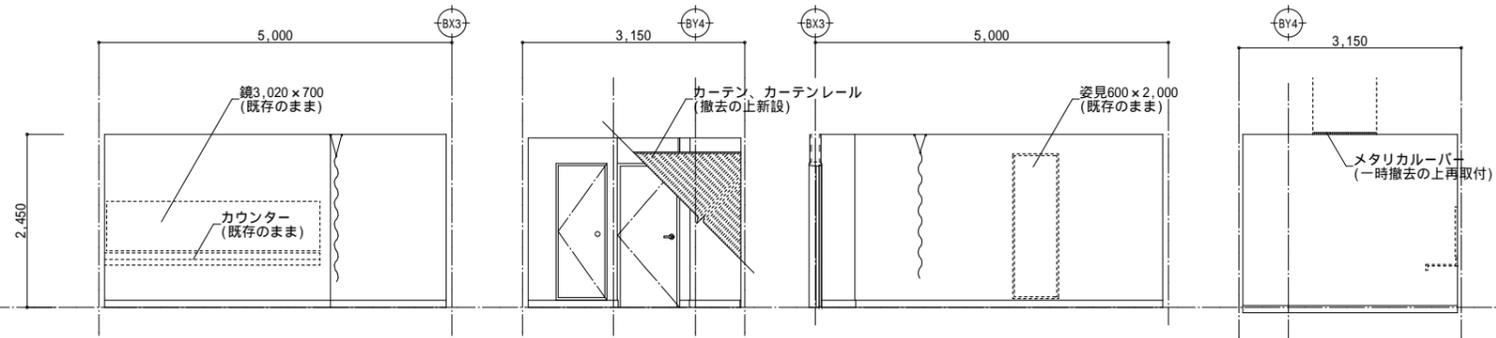


菜屋部分断面図 S=1/100

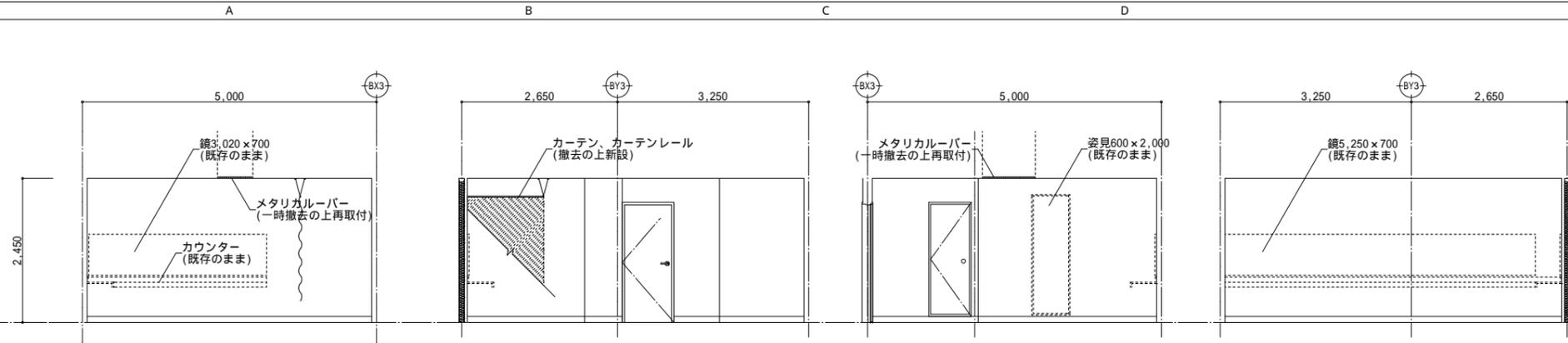
図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号	
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・	R7露島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	
	県知事登録第1-3-164号			縮尺	図面名称	(菜屋棟)断面図	A-113
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			A1 1:100 A3 1:200			

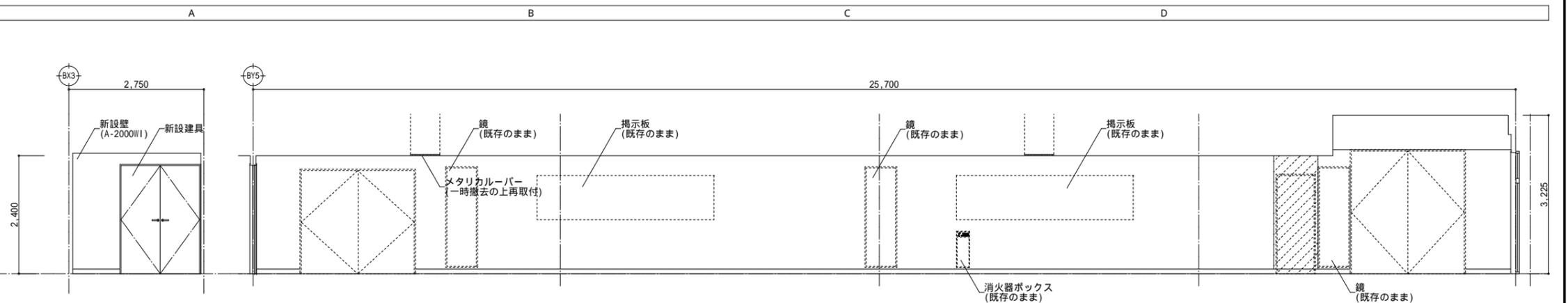
楽屋(1)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	EP塗装	下地補修
	改修後	EP-G塗替	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	カウンター、鏡、UB、メタリカーバー、カーテン	
	改修後	既存のまま、ルーバーは一時撤去再取付 カーテン及びカーテンレール、天井点検口	



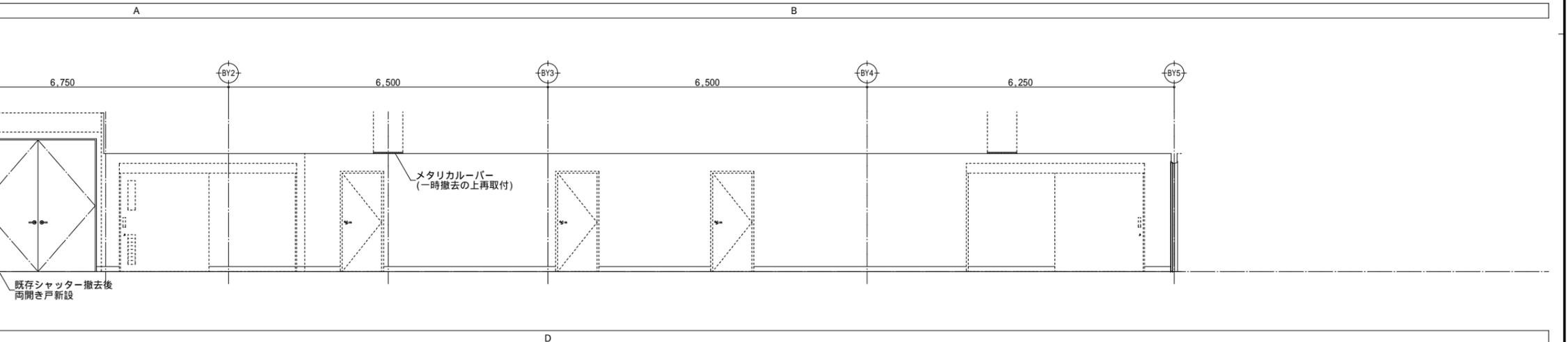
楽屋(3)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	タイルカーペット敷	撤去下地調整
	改修後	タイルカーペット敷	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	EP塗装	下地補修
	改修後	EP-G塗替	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	カウンター、鏡、UB、メタリカーバー、カーテン	
	改修後	既存のまま、ルーバーは一時撤去再取付 カーテン及びカーテンレール、天井点検口	



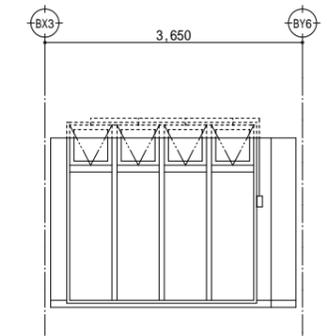
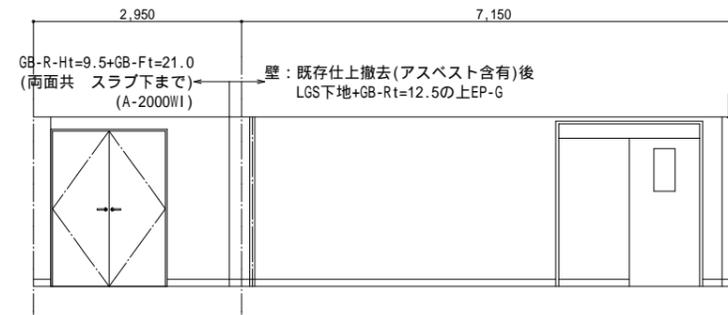
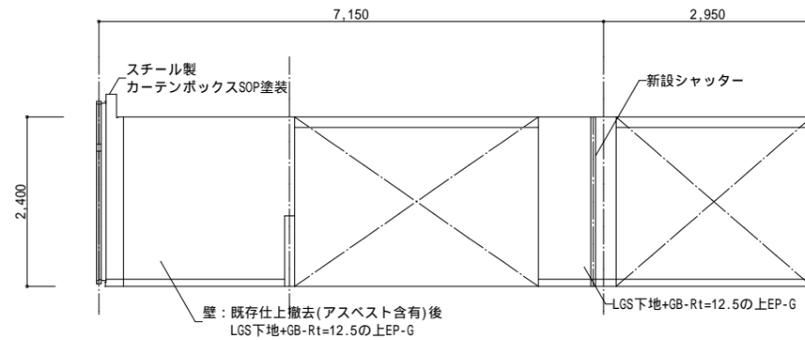
廊下(5)【既存】【改修後】仕上表			
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0 一部長尺塩ビシート張替え	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	ビニル巾木H=100	撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100	
壁	既存	EP塗装	下地補修
	改修後	EP-G塗替	
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5	撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	
備考	既存	カーテン、掲示板	
	改修後	既存のまま、天井点検口	



廊下(5)			
C			

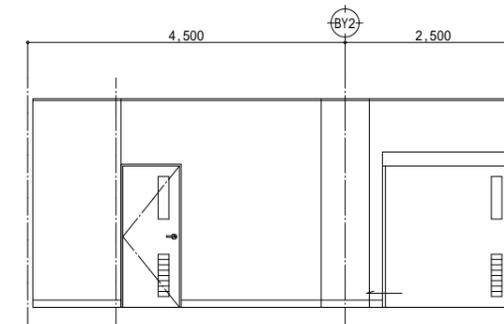
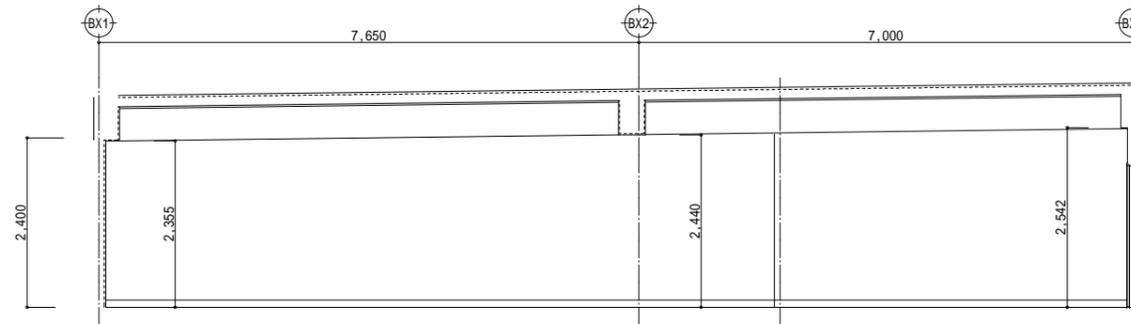


内待合ホール【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0 撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100 撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	塗装(アスベスト含有) 撤去下地調整
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5
備考	既存	
	改修後	天井点検口

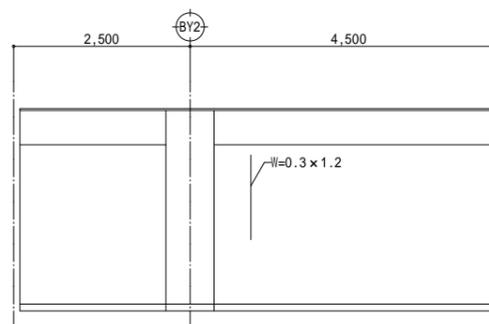
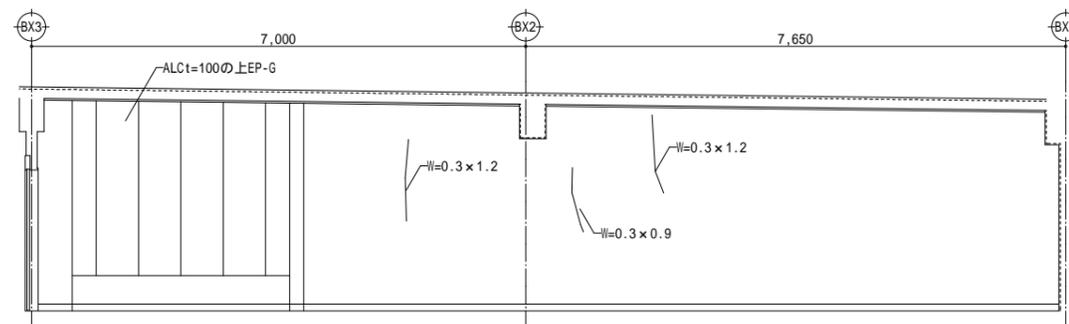


内待合ホール A C D

器具庫【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	打放し補修
	改修後	既存のまま(クック補修)
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	



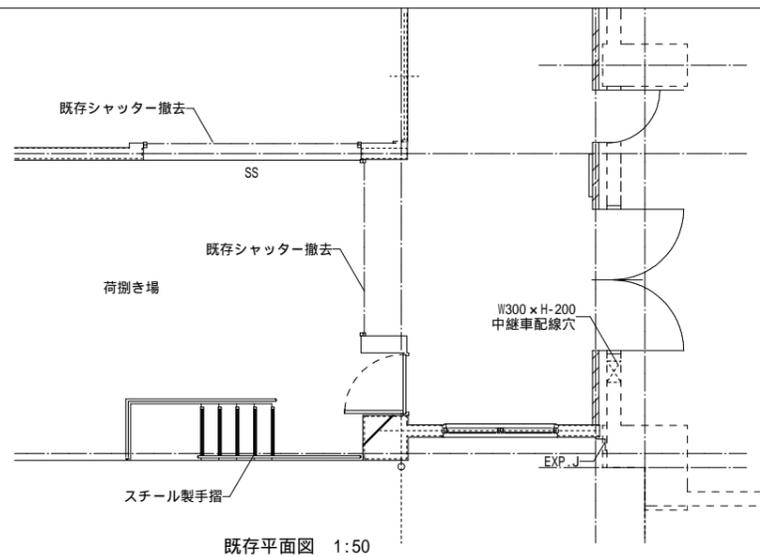
器具庫 A B



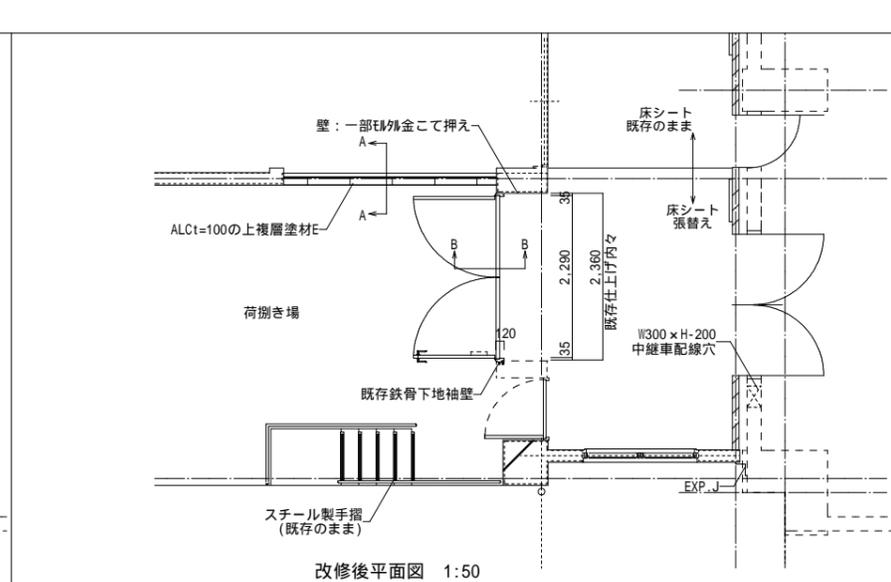
器具庫 C D

備考			
<p>既存アスベスト含有塗装の撤去について</p> <p>下記法令等に基づき施工の事。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)</li> <li>建築改修工事監理指針 令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)</li> <li>建築物解体工事共通仕様書・同解説 令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)</li> <li>石綿含有廃棄物等処理マニュアル第3版(環境省)</li> <li>建築物の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策マニュアル 令和3年3月(令和6年2月改正)</li> <li>(厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省水・大気環境局大気環境課)</li> <li>建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針(国立研究開発法人建築研究所、日本建築仕上材工業会)</li> <li>[新石綿技術指针对応版]石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設業労働災害防止協会)</li> <li>[令和2年石綿障害予防規則改正対応版]建築物等の解体・改修工事等における石綿障害の予防(建設業労働災害防止協会)</li> </ul>	<p>作業範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1階内待合ホール 壁面塗材</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>レベル3の石綿含有建材相当の措置(集塵機能付ディスクラインダー工法)を講じ、適切に処理すること。</li> <li>内待合ホール 壁面については、施工前にアスベスト定性分析(1ヶ所)を行い、アスベストが含有するか否かの判定を行うこと。</li> </ol>	

荷捌き場シャッター改修詳細図

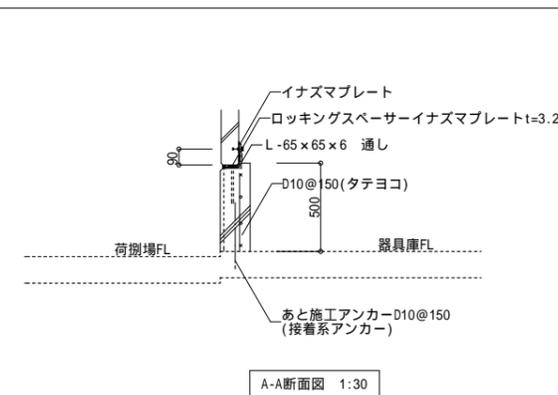


既存平面図 1:50



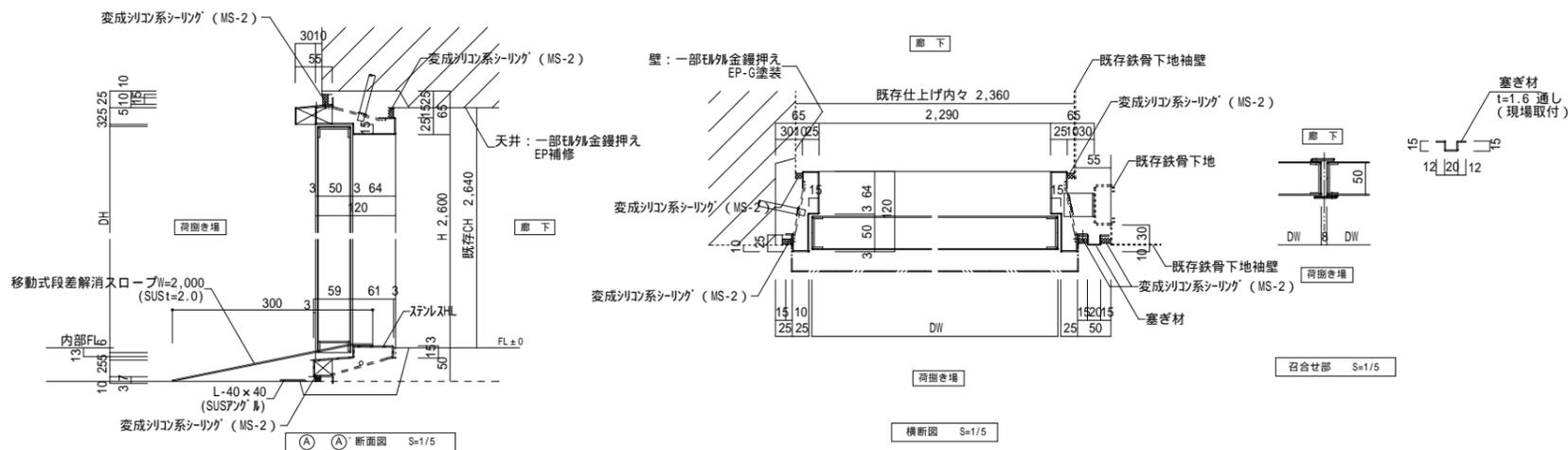
改修後平面図 1:50

A-A断面詳細図



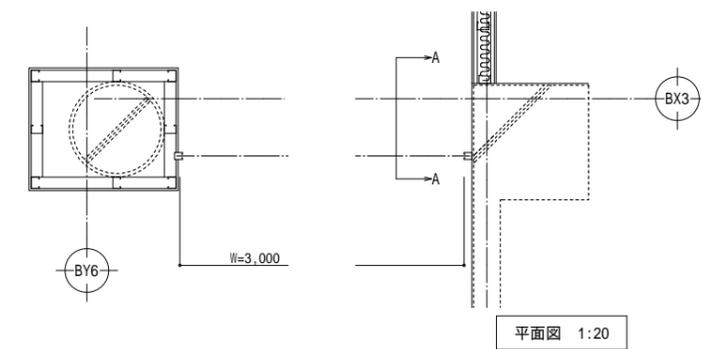
A-A断面図 1:30

B-B詳細図



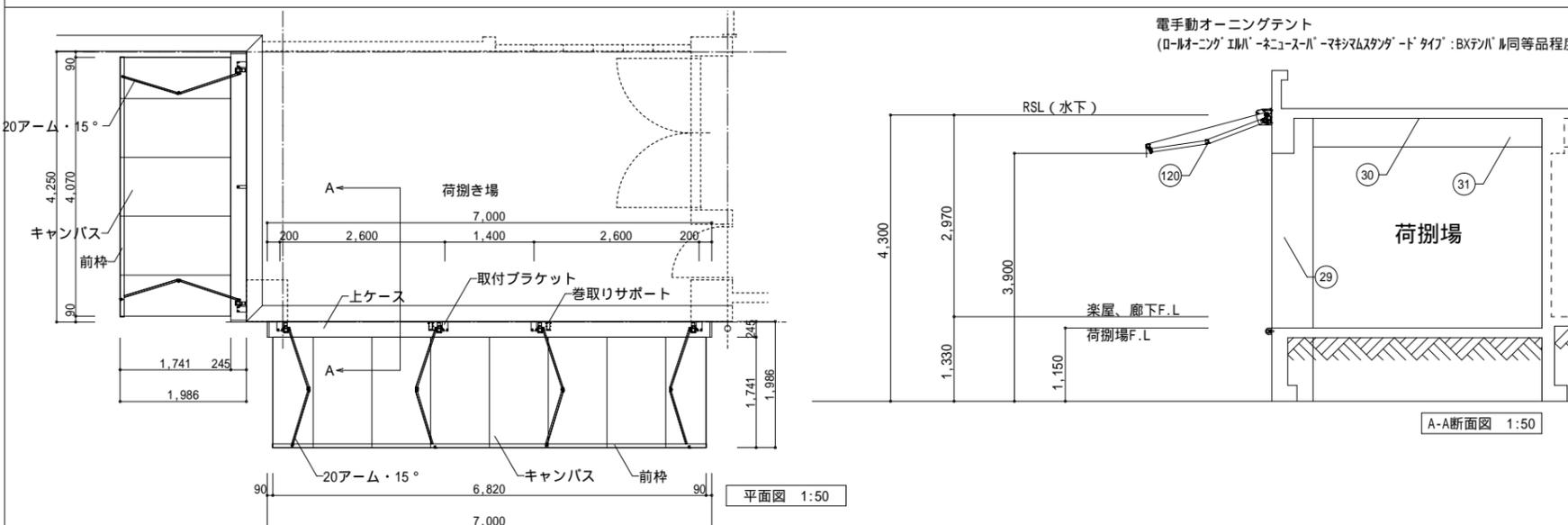
横断面 S=1/5

新設シャッター廻り詳細図

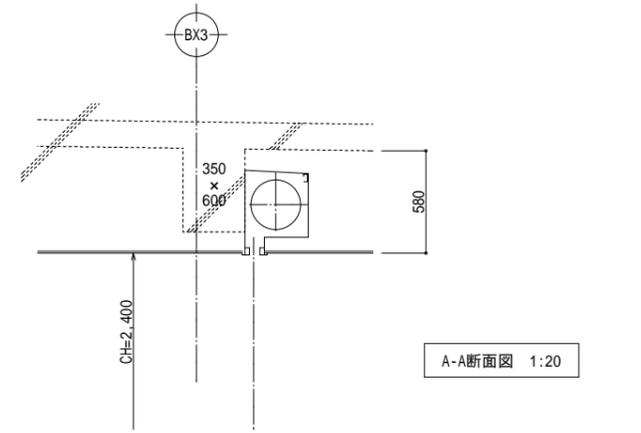


平面図 1:20

荷捌き場オーニングテント詳細図

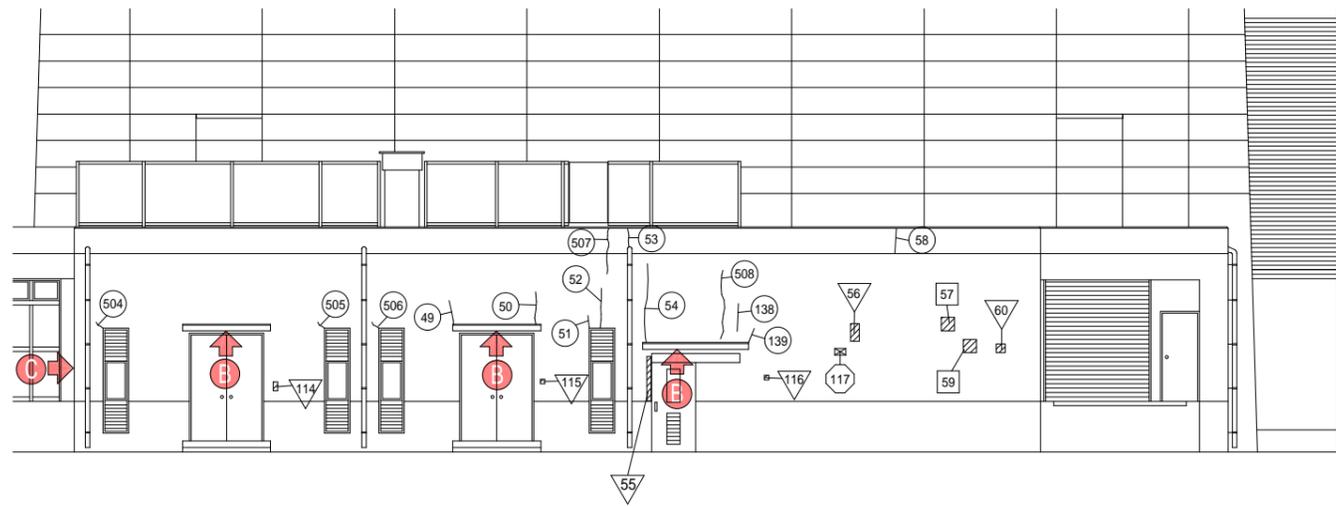


A-A断面図 1:50

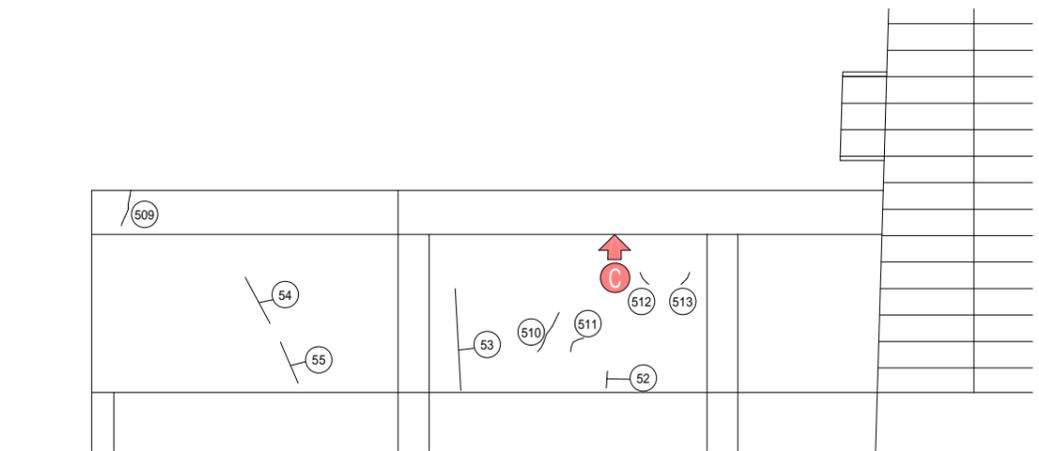


A-A断面図 1:20

特 記 事 項	<b>堂園設計株式会社</b>		一級建築士登録 第160636号	設計年月日	工事名称	図面番号	
	一級建築士事務所		外村 遼	R7・2・	R7露島市民会館大規模改修工事(建築1工区)	設計図	
	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177			縮 尺	図面名称	(楽屋棟)部分詳細図	A-116
				A1 1:50 A3 1:100			



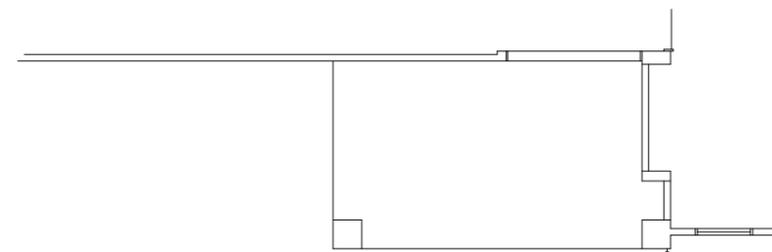
楽屋棟 北側立面図 1:80



楽屋棟 西側立面図 1:80



B 天井伏図 1:80



C 天井伏図 1:80

北面  
イ-1. 爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法(打放し面)

番号	部位	W(m)	H(m)	A(m)	モルタルカット(m)		原野部の はつり さら入れ清掃 (m)	鉄筋の露出とし (m)	防錆材塗布 (m)	ε'W-セメント 砂充填 (m)
					計	算				
117	壁面	0.25	0.15	0.04	(0.25 + 0.15) × 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
壁面合計					1ヶ所	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
天井面合計					0ヶ所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

北面  
ハ-1. アンカーピンニング部分Eポキシ樹脂注入工法(一般部分) m<sup>2</sup>×16本

番号	部位	W(m)	H(m)	A(m)	本	アン カー ピン (本)
57	壁面	0.30	0.30	0.09	×16	2
59	壁面	0.30	0.30	0.09	×16	2
壁面計					2ヶ所	0.18
天井面計					0ヶ所	0.00

北面  
ハ-3. アンカーピンニング部分Eポキシ樹脂注入工法(狭幅部分) m×5本

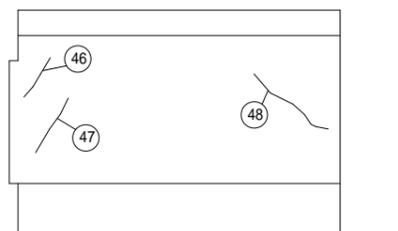
番号	部位	W(m)	H(m)	A(m)	採用幅 (m)	本	アン カー ピン (本)
55	壁面	1.00	0.10	0.10	1.00	×5	5
56	壁面	0.20	0.40	0.08	0.40	×5	2
60	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	×5	1
114	壁面	0.10	0.20	0.02	0.20	×5	1
115	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	×5	1
116	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	×5	1
壁面計					6ヶ所	2.00	11
天井面計					0ヶ所	0.00	0

北面  
ホ. 自動式低圧Eポキシ樹脂注入工法

番号	部位	長さ (m)	番号	部位	長さ (m)	
49	壁面	0.60	138	壁面	1.10	
50	壁面	0.70	139	壁面	0.40	
51	壁面	0.60	504	壁面	0.20	
52	壁面	1.50	505	壁面	0.20	
53	壁面	0.50	506	壁面	0.20	
54	壁面	1.40	507	壁面	1.40	
58	壁面	0.40	508	壁面	1.40	
壁面計					14ヶ所	10.60
天井面計					0ヶ所	0.00

西面  
ホ. 自動式低圧Eポキシ樹脂注入工法

番号	部位	長さ (m)	番号	部位	長さ (m)	
52	壁面	1.10	509	壁面	0.30	
53	壁面	2.40	510	壁面	1.00	
54	壁面	0.70	511	壁面	0.40	
55	壁面	1.00	512	壁面	0.20	
			513	壁面	0.20	
壁面計					9ヶ所	7.30
天井面計					0ヶ所	0.00



C 東側立面図 1:80

東面  
ホ. 自動式低圧Eポキシ樹脂注入工法

番号	部位	長さ (m)	番号	部位	長さ (m)	
46	壁面	1.50				
47	壁面	0.60				
48	壁面	1.20				
壁面計					3ヶ所	3.30
天井面計					0ヶ所	0.00

補修工法名(参考)	番号	マーク
イ-1 爆裂部改修工法: 爆裂部ポリマーセメントモルタル工法(打放し面)	☆	⊗
イ-2 欠損部改修工法: 欠損部ポリマーセメントモルタル工法(モルタル面)	☆	⊗
ロ 欠損部改修工法: ポリマーセメントモルタル工法(ハツリ部)	☆	⊗
ハ-1 浮き部改修工法: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m <sup>2</sup> (一般部)	☆	⊗
ハ-2 浮き部改修工法: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m <sup>2</sup> (指定部)	☆	⊗
ハ-3 浮き部改修工法: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 5本/m(狭幅部)	☆	⊗
ニ 浮き部改修工法: タイル部分	☆	⊗
ホ ひび割れ部改修工法: 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法0.2~1.0mm	☆	⊗